

# 中医古籍珍稀抄本精选 (九)

## 竹 亭 医 案

(下 册)

清·孙采邻 撰

赵善祥 点校

金芷君 审订

上海科学技术出版社

# 目 录

- 竹亭医案卷之六 ..... 源员
- (案 员) 陈杏干湿痰中阻误治半载 ,几  
成寒热滞下 ..... 源员
- (案 圆) 吴寿谷高年嗜酒 ,痰多成膈 ,粥  
饮入口即吐 ..... 源圆
- (案 猿) 徽歙姚树良呕吐奇疾垂危救苏  
治验 ..... 源源
- (案 源) 幕友陆松涛咳逆、呕哕有年 ,药  
投罔效治验 ..... 源远
- (案 缘) 海盐周玉如由胸前胀闷 ,渐自  
歧骨间起一梗如指粗 ,长约四  
寸 ,积岁沉痾迄今三载治验 ..... 源员
- (案 远) 浒关陆肯堂喘咳有年 ,咳痰挟  
血复发之验 ..... 源缘
- (案 苑) 孙天池乃郎两腿足肿、面浮、腹  
膨治验 ..... 源远

- (案 愿) 山西武良佐脉象沉紧 ,畏寒、舌白、胸闷作痛、得食即呕吐极重治验 ,论治颇的 细阅便悉 ..... 源苑
- (案 怨) 山西门人曹生乃尊伯侯兄脚气屡发 ,两足肿 ,寸步难行 脘腹攻痛 ,遍体不舒极重治验 ..... 源愿
- (案 园) 黄安舒时行感冒 ,头胀、耳聋、咽嗑不爽治验 ..... 源怨
- (案 夙) 治湖州周维丰两足腿内侧痒极难忍 ,抓之滋水淋漓 ,病经七载 ,遍治罔效 ,得余方制焙研细搽擦 ,不数日而收全功 称为仙丹 ,快矣 ! 快矣 ! ..... 源园
- (案 圆) 山西赵士英湿鼓将成 ,肢腿阴囊俱肿硬治验 ..... 源员
- (案 猿) 山东陶君怀贪凉饮酒 ,夜半腹痛、呕吐治验 ..... 源园
- (案 源) 王梧轩湿阻胃不和 ,舌白、不饥治验 ..... 源猿
- (案 缘) 嘉兴汪啸竹梦泄、腰疼、晡热、溲赤治验 (并丸方) ..... 源猿
- (案 苑) 海盐周北园风寒湿痹 ,周身疼痛治验 ..... 源苑

- (案 苑) 安兆昱病后复感垂危救生  
治验..... 源苑
- (案 愿) 山西范永顺痛症屡发无定，  
痛剧难忍治验 (两案并论)..... 源苑
- (案 愿) 吴姓伤寒垂危救生治验，并  
详论起病缘由 ..... 源愿
- (案 园) 金士元胎症初发 寒甚于热  
治验..... 源园
- (案 园) 文学汪书蕉二兄气逆痰多，  
丸方调理 ..... 源园
- (案 园) 山西范永顺痛病复发 呕吐、  
寒热治验 ..... 源园
- (案 缘) 刘姓右齿疼痛无宁治验..... 源缘
- (案 缘) 倪愚溪湿痰、中虚便溏有年，  
近感客邪治验 (两案并注)..... 源缘
- (案 缘) 王英堂甥风暑挟湿 忽寒忽热，  
从重转轻治验 ..... 源缘
- (案 园) 周北园长夏湿阻 手臂肩项  
动辄牵疼治验 ..... 缘园
- (案 园) 任富泰湿阻气郁 手足掣痛，  
屈伸不便治验 ..... 缘园
- (案 愿) 山西张兆文辜丸肿痛偏左，  
证名偏坠治验 ..... 缘园

- (案 圆) 乍浦沈三可五兄丸方 ,详论  
六载头风治验 ..... 缘圆
- (案 猿) 胡启坤淋症 ,搜出茎中疼痛 ,  
败精留阻治验 ..... 缘源
- (案 猿) 杭州陈北海病后脘闷食减、  
肠燥便秘治验 ..... 缘源
- (案 猿) 孝廉叶卓卿乃祖梅坡翁病  
后调理膏滋方 ..... 缘缘
- (案 猿) 塘口吴安吉脘痛八载奇效  
并附丸方 ..... 缘远
- (案 猿) 南浔李心葵素善饮 ,夜间  
手足发热治验 ..... 缘苑
- (案 猿) 阮万资肺卫表疏 ,易于冒风  
治验..... 缘苑
- (案 猿) 葑门姚惠时脘痛经月 ,痛  
剧几危救生治验 ..... 缘愿
- (案 猿) 镇江刘馨堂痧后余邪未楚  
几成痧劳奇验 ..... 缘园
- (案 猿) 石门沈姓冒风寒热误作伏邪  
治之增重治验 ..... 缘园
- (案 猿) 绍兴陆芦汀病后湿蕴坤土发  
为黄疸治验 ..... 缘员
- (案 源) 陆碧怡虚鼓危症奇效 ,病者自

- 误不终其用 ..... 缘园  
 (案 源) 孝廉华卓卿乃祖梅坡翁湿温  
 挟利危症治验 ..... 缘远  
 (案 源) 曹士英冬感风寒 ,身热、舌白、  
 骨疼、昏语治验 ..... 缘愿  
 (案 源) 李芳园淋症 ,溺疼、茎中作痒  
 治验 ..... 缘愿  
 (案 源) 山东陶君怀求定丸方专解鸦  
 片烟奇效 ..... 缘怨  
 (案 源) 乍浦沈云峤时气嗑痛误治 ,喉  
 腐危症奇验 ..... 缘园  
 (案 源) 上舍戴琴 时邪内伏 ,身热、  
 便溏几误治验 ..... 缘员  
 (案 源) 山西荣成森脘腹胀异常  
 治验 ..... 缘猿  
 (案 源) 山西张日源脐腹作楚、腰痛、  
 畏寒急症治验 ..... 缘猿  
 (案 源) 周北园风寒夹食 ,欲成滞下急  
 症奇验 ..... 缘原  
 (案 缘) 乍浦沈星五风寒束肺 ,客途暴  
 病治验 ..... 缘缘  
 (案 缘) 山西李正居淋症 ,搜出尿管如  
 针刺治验 ..... 缘远

- (案 缘) 王省斋翁次郎雅堂时邪转为胎疰奇效并论 (附竹亭自制松胡白蜜煎) ..... 缘苑
- (案 缘) 平湖进士杨莘香先生冒风挟湿夹食治验 ..... 缘园
- (案 缘) 方执衡由水泻而转红白利危症奇验 ..... 缘园
- (案 缘) 王殿占暑湿夹食成疰泄泻治验..... 缘源
- (案 缘) 胡步佳身热、耳聋、胸闷、泄泻治验 ..... 缘源
- (案 缘) 山西陈良甫身热、胸闷、腹痛、呕吐蛔虫治验 ..... 缘缘
- (案 缘) 山西党达顺胸脘得食即胀且疼等症奇效 ..... 缘远
- (案 缘) 门人曹晓峰乃尊伯侯兄痛痹复发治验 ..... 缘远
- (案 远) 王省斋翁歧骨间痛复发危症治验两案并论 (附案) ..... 缘苑
- (案 远) 溧阳医者吴春田颧疽治案并论..... 缘宸
- (案 远) 徽歙汪信安脐腹绞痛危症立救奇验 ..... 缘缘

- (案 源) 戈心梅肠红屡发治验 ..... 缘愿
- (案 源) 汀州傅上铺吐血论治奇验  
并收功丸方 ..... 缘愿
- (案 源) 山西许庆亭淋症败精留阻作  
疼治验 ..... 缘源
- (案 源) 汪书蕉二兄时邪内伏身热胸  
闷治验 ..... 缘远
- (案 源) 广东卢贤杰白浊未止,大便秘  
结异常治验 (并附戒鸦片烟瘾  
药酒方奇验) ..... 缘苑
- (案 愿) 蒋子香贫儒病鼓危症奇验 ..... 缘愿
- (案 源) 山西张惟一淋症溺时疼痛  
治验..... 缘愿
- (案 苑) 许玉田间日症治验 ..... 缘园
- (案 苑) 周二如腰胁作疼治验 ..... 缘园
- (案 苑) 乍浦朱梅坞阴虚呛血治验 ..... 缘员
- (案 苑) 高朗亭乃郎癫症治法,并辨明  
与惚症各别 ..... 缘员

竹亭医案女科卷一 ..... 缘源

妇女经产杂症 ..... 缘缘

- (案 员) 朱南山内人行经饮冷,小腹刺  
痛治验 ..... 缘缘

- (案圆) 胡耀文乃室咳嗽过甚, 鼻衄不止治验 ..... 缘远
- (案猿) 葛明扬乃室新产之后感冒发热治验 ..... 缘苑
- (案源) 蒋奎光弟媳怀胎五月兼染疮毒(附洗浴方) ..... 缘愿
- (案缘) 文连万内人两目胀痛羞明治验 ..... 缘愿
- (案远) 高茂千女肝脾两亏, 经停半载治验 ..... 缘怨
- (案苑) 予老母头面浮肿, 痛痒无定治验 ..... 缘园
- (案愿) 崔诚一幼女外感身热误作痘治变症治验 ..... 缘园
- (案怨) 予胞妹牙痛无时, 午后尤甚治验 ..... 缘员
- (案园) 许元明内人时热误治, 结胸危候治验 ..... 缘圆
- (案员) 陆佩佐内人病后复感, 腹痛块攻, 药熨治验(附熨) ..... 缘猿
- (案圆) 程小山室人四肢浮肿、骨节疼痛治验 ..... 缘源
- (案猿) 吴圣扬乃室腰疽, 疮顶不起,

- 振盘散大 ..... 缘缘
- (案 源) 胡氏妇下焦感寒, 停经腹痛,  
瘀血内蓄治验 ..... 缘苑
- (案 缘) 李玉山内人寒热咳嗽半载,  
几成虚怯治验 ..... 缘愿
- (案 苑) 予老母下牙龈肿痛畏寒治验 ..... 缘怨
- (案 苑) 木川陆献村乃室呕吐半载危  
症治验 (附丸方, 丸方内用金  
华香附丸专治调经, 用椿皮  
丸以治带下, 甚妙!) ..... 缘园
- (案 愿) 王应奎乃室怀胎五月, 鼻衄如  
涌治验 ..... 缘源
- (案 怨) 张宏川女喘咳屡发治验 ..... 缘缘
- (案 园) 予先慈牙龈上下肿痛治验 ..... 缘缘
- (案 园) 沈廷柱内人暑湿痢里急后重  
治验 ..... 缘远
- (案 园) 谈禹范乃堂血崩危症立救  
奇验 ..... 缘苑
- (案 园) 黄万程媳小溲涓滴, 溺痛、手  
背漫肿奇验 (附淋方) ..... 缘怨
- (案 源) 予内人怀胎足月正产, 腹痛瘀  
血停留治验 ..... 缘员
- (案 缘) 木川阴佩南内人怀胎七月食

- 入即吐治验 ..... 缘猿
- (案 圆) 顾承天内人素多劳役 胀痛、  
停经半载治验 ..... 缘猿
- (案 圆) 予妹新产头痛难忍治验 ..... 缘源
- (案 圆) 木川郭渭南内人经水淋漓不  
止治验 (附丸方) ..... 缘远
- (案 圆) 予先慈素有咳嗽 寒痰闭肺，  
丸剂调理治验 ..... 缘愿
- (案 猿) 朱景如内人痰厥脑痛丧明、咳  
嗽延绵奇验 ..... 缘怨
- (案 猿) 徐瞻君侄女幼年背心 疼 腹  
痛发厥奇验 (附丸方) ..... 远猿
- (案 猿) 黄埭许氏女咳嗽、寒热 经水五  
月未通治验 ..... 远远
- (案 猿) 汪鸣吉室人咳嗽、肌削 经停五  
月虚怯治验 ..... 远苑
- (案 猿) 通邑文学顾萃芙先生令媳憊症，  
丸剂调理 ..... 远园
- (案 猿) 海门厅尊李枚九先生令姐呕吐  
危症治验 ..... 远猿
- (案 猿) 毛家镇沈炳文乃室梅核气症  
奇验 ..... 远源
- (案 猿) 通邑王东山荐治林姓室人呕

- 吐两月治验 ..... 远远
- (案 猿) 江云洲乃媳寡居 厥症有年 ,  
丸剂调理收功 ..... 远苑
- (案 猿) 戴元魁乃婢痛症不治案 ..... 远愿
- (案 源) 潘莘庄三女天癸未通 大腹胀  
胀块攻治验 ..... 远愿
- (案 源) 时象明侧室头发脱落 丸剂  
调理 ..... 远园
- (案 源) 陆平庄幼女两胯滋水及汪氏、  
方氏女治验 ..... 远员
- (案 源) 女贞观百寿师湿毒溃烂药误  
几危治验 ..... 远猿
- (案 源) 沈氏女下体不洁玉门生疮  
奇验 ..... 远源
- (案 源) 木川吴师瞻内人疔未楚 两  
胁硬块治验 ..... 远缘
- (案 源) 太仓杨炳德内人产后三月腹  
膨、足肿治验 (附丸方) ..... 远远
- (案 源) 芜湖邑宰张槎客令爱舟中冒  
暑寒热治验 ..... 远苑
- (案 源) 文连万内人疔发间日 寒热交  
作治验 ..... 远愿
- (案 源) 木川殷氏小姐食入呕吐治验 ..... 远怨

- (案 缘) 上舍钱云峰侧室经水愆期, 胁痛彻背治验 ..... 远缘
- (案 缘) 陆氏姬齿衄蓄血有年用釜底抽薪法果验 ..... 远圃
- (案 缘) 予内人身微热、头顶痛、无汗, 湿气内侵治验 ..... 远袁
- (案 缘) 黄埭朱氏妇经水两月未止治验..... 远圃
- (案 缘) 予先慈高年患痢, 腹痛、白冻、里急后重奇验 ..... 远圃
- (案 缘) 陆配佐幼女痧发复感, 外熨内服治验 ..... 远缘
- (案 缘) 休邑上舍程梅溪继室行经腹痛、腰疼治验 (附丸方) ..... 远缘
- (案 缘) 陆我斋女腹痛胀满, 新谷与故寒相争治验 ..... 远苑
- (案 缘) 周氏妇肝脾胀痛挟块治验 ..... 远苑
- (案 缘) 予内人呕吐、脐腹块攻痛极高突危症奇验 ..... 远苑
- (案 远) 谈秉衡乃堂肝胃痛, 两胁块攻危症奇验 ..... 远袁
- (案 远) 湖州程锦堂室人经行腹痛、腰疼等症治验 ..... 远袁

- (案 迺) 西跨桥吴氏妇伤胎后气逆、头眩、烦躁治验 ..... 迺源
- (案 迺) 陆守愚幼女温邪内蕴 壮热不解治验 ..... 迺缘
- (案 迺) 陆我斋三女感寒停食 身热无汗治验 ..... 迺源
- (案 迺) 陆守愚内人经水适来寒热间作治验 ..... 迺苑
- (案 迺) 孙府女阴虚邪乘 夜间身热、骨节疼痛治验 ..... 迺惠
- (案 迺) 吴氏女牙龈肿痛 内如针刺，咽疼口干治验 ..... 迺惠
- (案 迺) 黄埭吴豫得女内热 咳嗽痰红、腹块经闭治验 ..... 迺园
- (案 迺) 程梅溪继室怀胎五月子嗽治验 ..... 迺源
- (案 苑) 昆邑朱廷光室人妊娠下痢垂危奇验 ..... 迺源
- (案 苑) 邹氏妇腹痛呕吐治验 ..... 迺缘
- (案 苑) 张荣廷乃室产后三月咳嗽、气逆、畏寒治验 ..... 迺源
- (案 苑) 李朗夫女经止、寒热、恶心、头顶痛治验 ..... 迺源

- (案 苑) 黄埭陈氏女产后咳嗽有年 近  
冒暑复发治验 ..... 远邰
- (案 苑) 陆我斋乃室经行后欲呕 遍体  
不疏治验 ..... 远园
- (案 苑) 章氏幼女痘出三朝极险危症 ..... 远园
- (案 苑) 胡氏幼女复感夹食治验 ..... 远员
- (案 苑) 文学张敬斋室人调经兼论诸  
证 (换膏方并附膏蜜成规) ..... 远员
- (案 苑) 陆熙堂乃妹肝气感寒 胸闷、  
脊痛治验 ..... 远猿
- (案 愿) 陆氏妇癩症气郁痰凝治验 ..... 远源
- (案 愿) 星士胡宝光长媳产后垂危再  
生始末奇验 ..... 远源
- (案 愿) 王氏妇三阴症治验 ..... 远愿
- (案 愿) 文学汪书蕉室人嘈杂症治验 ..... 远愿
- (案 愿) 文学张敬斋内人外感泄泻  
治验 ..... 远怨
- (案 愿) 陆半峰乃堂脾虚泄泻、带下  
治验 ..... 远怨
- (案 愿) 张竹坡乃室经停两月 畏寒、  
头痛、呕吐治验 ..... 远园
- (案 愿) 许关李东阳内人小产 壮热危  
症治验 ..... 远员

- 竹亭医案女科卷二 ..... 选隸
- 妇女经产杂症 ..... 选隸
- (案员) 凌景扬内人干咳无痰、气逆喉  
痒治验 ..... 选隸
- (案圆) 陈元隆妾因咳嗽、喷嚏以致鼻  
衄常发治验 ..... 选远
- (案猿) 张敬修内人寒邪客肺 身热、咳  
呛、无汗治验 ..... 选苑
- (案源) 汪书蕉乃嫂身热、烦躁、胸闷、  
呕吐治验 ..... 选愿
- (案缘) 文学陆鉴亭伯岳次媳齿衄不止  
治验 ..... 选园
- (案远) 上舍钱云峰侧室腹痛、呕吐不  
禁治验 ..... 选员
- (案苑) 吴师瞻内人呕吐、腹痛、气胀垂  
危治验 ..... 选园
- (案愿) 张敬修乃室经水过多 血下成  
块治验 ..... 选缘
- (案怨) 予小女日晡发热 夜间更甚  
治验 ..... 选苑
- (案园) 钱云峰侧室时邪内伏 寒热、咳  
呛治验 ..... 选苑

- (案 源) 费天如内人寒热、滞下腹痛点  
滴治验 ..... 远惠
- (案 源) 王南乔乃室伏邪误治垂危  
治验..... 远惠
- (案 源) 孙姬喘咳冬甚 ,贫苦惜费 ,奇  
方神验 ..... 远惠
- (案 源) 周氏姬胃土衰败 ,舌起雪花苔  
不治症 ..... 远园
- (案 源) 陆诚斋室人感冒风邪 ,咳嗽、头  
疼治验 ..... 远猿
- (案 源) 李鸣山内人寒热内蕴 ,头重、呕  
恶治验 ..... 远源
- (案 源) 金竹溪内人肝气作楚 寒热、块  
攻治验 ..... 远缘
- (案 源) 予妹脂瘤廿载自溃治验..... 远缘
- (案 源) 姚元章女虚劳 寒热、咳嗽几  
危治验 ..... 远苑
- (案 源) 邢天一乃堂虚劳 咳嗽、外寒  
内热治验 ..... 苑园
- (案 源) 沈裕昆侄女经水适来邪热内  
陷药误不治症 ..... 苑园
- (案 源) 吴师瞻内人湿脚气症治验 ..... 苑源
- (案 源) 谈禹范襟兄乃室产后腹痛误

- 作肠痛几危 ..... 苑缘
- (案 圆) 程梅溪继室经水淋漓、小腹块  
痛治验 ..... 苑愿
- (案 圆) 张铁珊乃室阴虚内热,肝火易  
生治验 ..... 苑愿
- (案 圆) 陆氏姬巅顶痛、畏寒、咳嗽、呕  
恶治验 ..... 苑园
- (案 圆) 王质愚女风暑内蕴,身热、无汗、  
腹中虫痛治验 ..... 苑员
- (案 圆) 上洋陈杏千内人产后感冒,头  
疼、腹痛、滞下症 ..... 苑猿
- (案 圆) 许氏女经行腹痛,时值三冬  
治验..... 苑猿
- (案 猿) 潘氏女素有痰厥,不时举发  
治验..... 苑源
- (案 猿) 谈星昭内人胸腹急痛,呕吐发  
厥治验 ..... 苑源
- (案 猿) 沈氏姬食入即胀,胀甚则痛  
治验..... 苑缘
- (案 猿) 张氏姬发热二月肝火内郁  
治验..... 苑远
- (案 猿) 孙氏女中脘作疼波及左肋  
治验..... 苑苑

- (案 猿) 云间陶大奎乃室新产发热、腹痛治验 ..... 苑惠
- (案 猿) 海盐王芝峤侧室咳嗽吐血渐成虚怯症 ..... 苑圃
- (案 猿) 崇明夏建中内人肠覃症详论治法..... 苑源
- (案 猿) 陈仪山女憊症常发治验 (附紫雪丹) ..... 苑远
- (案 猿) 费氏姬胃气作楚 近感暑风, 呕痛并至治验 ..... 苑惠
- (案 源) 昆邑徐云坡内人寒热、头胀、腰疼、腹胀治验 ..... 苑园
- (案 源) 徽歙洪季威夫人虚感邪误治几危治验 ..... 苑员
- (案 源) 王锦堂乃媳产后停经两载几成虚劳治验 ..... 苑苑
- (案 源) 詹氏女经水愆期 腰腹疼、头眩胀、带浊治验 ..... 苑园
- (案 源) 文学吴芳林室人产后玉门生菌症..... 苑员
- (案 猿) 张铁珊内人脾胃不舒、右胁疼刺治验 ..... 苑猿
- (案 源) 门人金书山之内经行愆期、

- 腹膨时疼治验 ..... 苑猿
- (案源) 陆诚斋女咽嗝腐白作疼治验 ..... 苑源
- (案源) 又, 诚斋室人调经丸剂治验 ..... 苑缘
- (案源) 嘉兴郑惕庵庶母腹块有年, 攻  
痛发厥治验 ..... 苑缘
- (案缘) 又, 壬午春得上消症治验 ..... 苑远
- (案缘) 叶素堂内人三月胎孕治验 ..... 苑苑
- (案缘) 张氏女二目白珠甚红, 肺火内  
郁治验 ..... 苑苑
- (案缘) 又, 咳嗽喉疼治验 ..... 苑愿
- (案缘) 锡山张华国内人气郁成膈  
治验 ..... 苑愿
- (案缘) 方氏妇新产五朝左目失明  
治验 ..... 苑愿
- (案缘) 张铁珊室人六月感寒, 腹痛垂  
危救苏治验 ..... 苑园
- (案缘) 山阴虞文庸内人产后恶露未  
尽误药之治验 ..... 苑园
- (案缘) 吴菊圃室人呕痛作胀, 沉痾积  
岁治验 ..... 苑猿
- (案缘) 黄圣涛内人素有肝胃气, 脐下  
作痛治验 ..... 苑猿
- (案远) 木川吴师瞻内人脾虚作胀, 腰

- 腿漫肿治验 ..... 苑源
- (案 远) 文学刘小峰室人呕吐有年,不  
时举发治法 ..... 苑缘
- (案 远) 予妹脑漏治法并详明奇验  
妙方..... 苑缘
- (案 远) 吴声振孙女患湿毒疮之治验 ..... 苑苑
- (案 远) 戴松林母泄泻肠红,腹中疼胀  
治验..... 苑愿
- (案 远) 吴春泉女经行饮冷,结块如杯  
误药成痛治验 ..... 苑怨
- (案 远) 予内人下脘感寒,腹痛、泄泻  
治验..... 苑员
- (案 远) 先慈咳嗽喉鸣,朝重暮轻  
治验..... 苑员
- (案 远) 予内人小腹痛甚、微寒治验 ..... 苑圆
- (案 远) 黄埭周氏女寒热两月治验 ..... 苑薇
- (案 苑) 胡氏女头疼畏寒治验 ..... 苑薇
- (案 苑) 白杨湾顾氏妇感寒停食,腹痛、  
泄泻治验 ..... 苑源
- (案 苑) 李氏妇腰痛如折兼之身热  
治验..... 苑源
- (案 苑) 予内人盛夏炎热惯用冷水灌  
汗发热治验 ..... 苑缘

- (案 殒) 薛松涛妻左胁块痛 ,发则胀泻  
不宁治验 ..... 苑缘
- (案 殒) 周氏女风疹屡发 ,骨节疼痛 ,风  
化为热治验 ..... 苑远
- (案 苑) 王松涛女腹痛、便溏 ,寒食凝滞  
治验..... 苑远
- 竹亭医案女科卷三 ..... 苑愿
- (案 员) 王氏女产后腹痛 ,寒热汗多误  
作外感几殆 ..... 苑愿
- (案 圆) 潘氏女泄泻 ,大腹胀且疼 ,溲  
少治验 ..... 苑怨
- (案 猿) 先慈仲太孺人右胁痛波及胃脘、  
背疼治验 ..... 苑园
- (案 源) 朱氏女表虚易感 ,头疼、咳嗽 ,  
兼之痰火治验 (附论)..... 苑员
- (案 缘) 嘉兴郑惕庵乃室产后身热发  
厥危症治验 (附膏滋方)..... 苑圆
- (案 远) 木川吴氏女胎怀五月 ,腰 下  
坠急固之验 ..... 苑苑
- (案 苑) 吴姬素喜烧酒 ,左鼻溃肉有年  
治法 ..... 苑愿
- (案 愿) 山西门人曹生乃母冒风咳嗽、

- 痰稠治验 ..... 苑恩
- (案 怨) 予内人陆氏气血双补、冲任并  
调丸方 ..... 苑園
- (案 苑) 王氏女三岁痘出七朝不治症 ..... 苑恩
- (案 苑) 郑文山女险痘变顺几为庸工  
所误之验 ..... 苑恩
- (案 苑) 予内人左牙上齦痛甚难忍  
治验..... 苑園
- (案 苑) 程氏女长夏经行感寒 小腹  
胀痛难忍治验 ..... 苑猿
- (案 苑) 石氏女六月咳嗽上气、微热、  
瘦短之验 ..... 苑猿
- (案 苑) 妹倩王履安令堂太夫人患肥  
气有年 左胁块攻 寒热交作，  
发则叫呼如狂 形如捉物 药  
颇合宜 拔去沉疴奇验 ..... 苑源
- (案 苑) 吴梅村女两岁 微热、咳嗽、腹  
膨 医人误投寒凉以致病增 反  
嘱其断乳 病剧更医 几乎无□，  
嗣后永禁不许庸医妄言断乳 当  
审证论治 于四诊中求之无不愈  
疾者 予之治梅村之爱可鉴也 ..... 苑愿
- (案 苑) 詹文焕乃堂素多思虑劳神 心

- 脾两伤,吐血之后头汗无时,  
渐自耳聋、昏倦,服药无功,再  
以扶阳固气一法,头汗顷止…… 苑恩
- (案 愿) 文学程子和乃室,症由肝郁厥  
逆转为寒热无期,虚怯已成,所  
苦者又受外虱之累,约有千万  
之多,痒无宁刻,明知前症无  
救,而现在之虱岂无法治绝其  
虱,庶免时刻之苦,治之果然  
立绝称奇…………… 愿因
- (案 愿) 郑氏女孀居,痛痹症自头至足  
皆痛治验…………… 愿因
- (案 愿) 海盐上舍张铁珊乃室血崩、汗  
多几危治验…………… 愿源
- (案 愿) 洞庭东山金氏女素有肝胃气,  
发则腹痛且胀、欲呕,兼之目疾  
频发奇效…………… 愿缘
- (案 愿) 黄圣涛室人素有肝气,当脐作  
痛发厥治验…………… 愿缘
- (案 愿) 李建之内人下消症治验…………… 愿范
- (案 愿) 邹氏姬年高泄泻、呕吐、腹痛  
治验(附注)…………… 愿愿
- (案 愿) 郑氏女肝气作楚,脐上块攻

- 作胀治验 ..... 愿愿
- (案 愿) 姜仰斋侧室痰厥火升等症  
治验..... 愿愿
- (案 愿) 汪书蕉二兄令爱九岁出正痧  
治验..... 愿愿
- (案 愿) 张乙庭室人阴虚体质,神倦、肌  
瘦、口干、食少,甚至内热如蒸,  
汗出如洗,用益气养荣法果获  
奇效..... 愿愿
- (案 愿) 张春山内人脘腹痛极,当脐块攻  
立救之验 ..... 愿愿
- (案 愿) 金德升女干脚气症兼大小腹痛  
胀、食少、两足能屈不能伸危症  
奇验..... 愿愿
- (案 愿) 葑门姚惠时内人左胁块痛,兼  
之寒热、吐血、咳嗽等证几危  
奇效..... 愿愿
- (案 愿) 张氏女肝胃气痛,痛甚块攻、  
呕酸、便溏治验 ..... 愿愿
- (案 愿) 张乙庭乃室中脘胀痛、小腹  
膨急、发厥治验 ..... 愿愿
- (案 愿) 袁蔼堂内人寒热、脘腹膨胀、  
小腿浮肿治验 ..... 愿愿

- (案 獠) 徐氏女咳呛、气逆、喉痒、呕痰  
治验..... 愿起
- (案 獠) 朱小伧女暑湿热阻 ,得于行经  
之后 ,以故寒热无期 朝轻夕  
重等症极验 ..... 愿起
- (案 獠) 张养斋室人腕腹胀痛、呕酸等症  
治验..... 愿起
- (案 獠) 又 ,侧室腕腹作楚、欲呕、发厥、  
牙紧等治验 ..... 愿起
- (案 獠) 海盐张铁珊乃室唇肿痛、寒热、  
发疗治验 ..... 愿起
- (案 源) 叶氏女经行腹痛、呕吐酸水作  
泻治验 (附注赤带) ..... 愿缘
- (案 源) 予内子陆氏冒风头痛且重、骨  
节痛治验 ..... 愿远
- (案 源) 詹氏女风暑相搏 ,头胀、腹闷、  
疼痛难忍治验 ..... 愿远
- (案 源) 吴师瞻内人脾湿下注 ,痰多、腹  
膨、背胀、腰胯漫肿、阴户湿痒、  
白带频下、经停三月极验 ..... 愿范
- (案 源) 陆春帆乃室头颈痰毒自溃 ,温  
养气血自痊 ..... 愿愿
- (案 源) 黄埭朱姬夏间劳役 ,食后作胀 ,

- 腹疼兼块治验 ..... 愿恩
- (案源) 横山江氏老嫗前阴白带直溜，  
后阴红痢频下，亟固脾胃，果  
获奇效 ..... 愿恩
- (案源) 郑惕庵乃室中虚湿阻，腹鸣、足  
肿、便泄极效 ..... 愿恩
- (案源) 张舟嫗血崩旬日，每发于夜，立  
止奇效 ..... 愿恩
- (案源) 金氏女痛块作胀迄今四载  
奇验 ..... 愿恩
- (案缘) 王岐山内人晡后寒热、胸脘  
胀闷治验 ..... 愿恩
- (案缘) 海盐张铁珊室人小产垂危  
救苏治验 ..... 愿恩
- (案缘) 李氏女邪解，咳嗽渐减用清燥  
法治验 ..... 愿恩
- (案缘) 邢氏女咳嗽、喉痒、痰红屡发  
之验 ..... 愿恩
- (案缘) 邵氏女血崩逾月，寒热兼厥、  
脉形虚芤治验 ..... 愿恩
- (案缘) 陆氏女风暑外侵，身热、头痛、  
无汗、欲呕治验 ..... 愿恩
- (案缘) 陆诚斋乃室产后脾虚泄泻足

- 肿治验 ..... 愿愿
- (案缘) 陆氏姬风暑挟湿, 头胀、身热  
治验 ..... 愿愿
- (案缘) 论治许铁舟女喘症常发之验  
(并详明病原) ..... 愿愿
- (案缘) 姚若水室人产后恶露未净误  
补发厥, 恶血停阻, 牙关紧闭,  
几无生理, 得辅正逐瘀法立刻  
救苏之验 ..... 愿愿
- (案远) 文学高仰山乃室素有肝胃气,  
发则呕痛并至, 又兼寒热、头  
疼、咳嗽无痰治验 ..... 愿愿
- (案远) 内人陆氏齿痛异常, 夜间更甚  
治验 ..... 愿缘
- (案远) 万松岩内人骤然头眩眼暗欲  
仆, 上重下轻如在舟车, 呕吐  
酸苦治验 ..... 愿远
- (案远) 何怡堂内人产后半月恶露频  
下、潮热治验 ..... 愿苑
- (案远) 於潜董仲海内人两头角痛甚、  
乳房结硬治验 ..... 愿愿
- (案缘) 文学陈畏甫令爱寒痰凝阻成  
饮治验 ..... 愿愿

- (案 远) 王省斋大令爱经水愆期, 白带  
频下, 调经丸方…………… 愿象
- (案 远) 张氏姬痼疾 腹痛、里急后重、  
高年红积治验…………… 愿圆
- (案 愿) 虞氏女晡后寒热 热轻寒重  
治验…………… 愿猿
- (案 远) 许铁舟女喘症屡发防脱治验 …… 愿猿
- (案 苑) 姚若水室人微冒 咳嗽、咽疼、  
无寒热、忽吐血杯许并紫块  
治验…………… 愿源
- (案 苑) 万梅圃乃室感邪身热内陷 耳  
聋、便泄极效…………… 愿缘
- (案 苑) 杨沛泉乃室素有肝气 左胁块  
攻于右侧 呕吐并至治验…………… 愿苑
- (案 苑) 陈蔚甫令爱腕腹膨胀有声服  
药极验…………… 愿愿
- (案 苑) 甥王宗华内人大小便出时并紧  
不爽治验 (附案)…………… 愿怨
- (案 苑) 王春元内人骨痹 痛极如锥,  
治法奇效奏功…………… 愿员
- (案 苑) 陆琴轩乃室停经小产治验  
(并附膏滋方)…………… 愿圆
- (案 苑) 许铁舟女喘症极险屡发治验 …… 愿猿

- (案 苑) 高朗亭内人经行骤阻 ,小腹  
 肿胀 ,漉出涓滴不爽 ,经阻挟  
 淋 ,乃房劳不节所致极验 ..... 愿源
- (案 苑) 进士杨莘香先生如君吐血屢  
 发治验 ..... 愿缘
- (案 愿) 慈溪文学叶心水乃嫂孀居 ,痹  
 症掣痛治验 (附药酒方)..... 愿远
- (案 愿) 钱氏女咽嗑溃痛 ,微有寒热 ,天  
 癸将行治验 ..... 愿苑
- (案 愿) 张莲卿乃室经行不寐 ,愈后调  
 经种子丸方 (并论奇效)..... 愿愿
- (案 愿) 万芸轩女七岁溺时疼痛 ,漉出  
 如疔治验 ..... 愿园
- (案 愿) 王芝峤兄四妾咳嗽、内热几成  
 虚怯治验 ..... 愿员
- (案 愿) 张氏姬风暑内侵 寒热、头重、  
 无汗、骨节疼治验 ..... 愿员
- (案 愿) 娄芝轩内人两足大指夜睡即  
 麻治验 ..... 愿园
- (案 愿) 予内子陆氏脐上作痛异常 ,牵  
 连左胁治验 ..... 愿核
- (案 愿) 戈心梅乃室常发肝气 ,呕吐发  
 厥治验 ..... 愿核

- (案愿) 王青藜室人天癸愆期,头眩、肠  
红、溲数等治验 ..... 愿源
- [附案]..... 愿源
- (案员) 先大人治马赞育母胸脘满痛高  
凸邪结救生 ..... 愿缘
- (案圆) 又焦氏姬风暑湿食夹杂成痢立  
救奇验 ..... 愿缘
- (案猿) 苏府任太守恭人风火内郁,怔忡、  
眩晕治验 ..... 愿远
- (案源) 金飞乃室素有肝气,兼呕血、  
便血垂危治验(并附丸方论治)..... 愿苑
- (案缘) 薛峰毓室人白带直溜,以致血  
崩无度丸方(残) ..... 愿园
- (案远) 韩晚香侧室病后调理丸方  
(缺)..... 愿园

是目录自一圈至五圈者以别症之轻重危险,与后之各姓名条上圈内注明自一至五者,取与目录相符,更使阅者展卷了然,余本仿此。

竹亭识<sup>①</sup>

① 原书目录及正文病案前均有“○”,今据版式删去。

# 竹亭医案卷之六

三吴竹亭孙亮揆甫著

侄兰生芳田

庆生景刘

男鹤生青山

凤生茂常 同校

竹

亭

医

案

(案员) 陈杏千湿痰中阻误治半载,几成寒热滞下

陈杏千,上洋人,年三十三岁,嘉庆己卯十一月十六诊。

素有湿痰,脾阳不运,肾阴有亏,右脉虚滑,左脉虚弦,非无以也。病起半载,医以滚痰丸、三子养亲汤辈,徒以消痰为法,脾土日亏,病势反增。又有作湿火治,投以苦寒辈清之,致令腹痛不食,泻多白沫,寒热,灯后畏寒。病颇棘手,乃尊甘谷特求治于余。余细绎病情,色脉合参,

证缘误治日久，中焦失运化之职，先以仲景苓桂术甘汤加木香、半夏曲、淡干姜等煎服。

服后，寒热减，腹痛泻积，积下红白，日五六次，口不干，胸中闷，舌白泥，仍宜温舒中宫。十七日复诊方列下：

煨葛根一钱半 桂枝一钱 姜厚朴一钱 茯苓二钱 神曲三钱 炒 半夏曲一钱半 红曲三钱  
甘草八分 木香六分 切片 陈皮八分

加青葱管七寸、生姜皮八分。

服初帖，泻积如前。次帖积止，腹痛未平，舌白减半，胸中渐爽，身热退，尚畏寒。偶食梨一二片，即腹疼且响。

复诊：仍宜轻疏和胃，以冀进食为妥。

用二陈汤加冬术、苡仁、厚朴、木香、淡茱萸、鸡内金等。

加煨姜、砂仁、生谷芽等煎汤代水煎药。

服此，次日早晨大便成堆，并不腹痛，小溲赤少，舌转淡黄，食饮渐增。原方去厚朴、茱萸，加石斛、泽泻、砂仁等，煎服全愈。

（案圆） 吴寿谷高年嗜酒，痰多成膈，粥饮入口即吐

吴寿谷，己卯十二月初二日诊，年七旬又六。

素好饮酒，数十年来受累于火酒也久矣哉。细按脉息，左小右大，脾胃脉来弦滑，中按无力。知其胃土久伤，津液不充，胃中枯槁，以致食入则噎，甚至呕吐稠痰，粥饮入口即吐，涎痰并出。食难用饱，惟日进火炙糕聊以充饥。此反胃噎膈之渐也，盍早图之。议定呕化痰法，急治其标。

旋覆花三钱，生绢包 姜半夏一钱半 老苏梗一钱半 茯苓三钱 广藿梗一钱五分 代赭石三钱，煨 广皮白一钱 沉香五分 开口川椒十粒，焙

上药九味，用长流水两盏煎至一盏，去滓，入梨汁六钱、生姜汁二钱和匀，再煎二三滚服。

服此三帖，始能进粥不呕，痰涎十去其七。自述三日来日进厚粥三餐，每次四盏，一日可进十二盏矣。予嫌其太过，嘱其少进烂饭。据云吃下喉中尚觉阻碍，故不敢进耳。两日来小溲渐有且长，足征中气之渐运，而水道得以下输膀胱也。

复诊：仍用前方，去藿梗、橘白，加党参、扁豆，照前煎法，仍以梨、姜两汁后投煎服，服之如

前安妥。因停药四日,食粥复又呕吐如前。再以前方略为增减,服后呕吐又停。

是证年高脉弱,火酒伤中,致成噎膈。既服药应手,理宜加意调治,俾坤土得令,庶几可图。岂可性急欲速,惜费停药而自误之耶。然余用方之意颇妙,桴鼓相应,录案存之。

（案猿） 徽歙姚树良呕吐奇疾垂危救苏治  
验

徽歙姚树良,年四十岁,庚辰七月十九,呕痛奇疾垂危救苏。

自幼有痛症,以后渐胀、渐痛、渐呕水。一呕水,自觉胸腹爽快,宛然无恙。不时举发,发则胀痛难忍,必得胸中气松,呕水即已,屡屡如斯。至嘉庆十九年则发之甚勤,而痛胀呕水更甚,或味酸、味苦,或色青、色黑、色绿。数十年来不能睡下,惟坐靠而睡。睡则水声漉漉,惟右更甚,左右有块。于六月至今四十余日毫无宁刻,大肉消瘦,肋骨皆见,大腹膨而软。平卧于床,以手拊<sup>①</sup>腹右则水声如鸣。日来胀痛异

① 拊(qián 钳)夹持。

常,内如鸡啄。甚至发厥,冷汗如淋,危在顷刻。自早至晚呕出黄绿水一中钵,约有数余碗之多。上有油面薄衣浮于上,宛似豆腐浆上之衣式,惟色带秽黑耳。以箸挑去浮衣,内俱青黄粘水。右关脉来弦硬,按之不足;左脉弦细,两尺虚小,按之如绵。此属悬饮之症,水走肠胃之外膜原之间,而不在脏腑之内,独成窠囊。如孤军悬处于僻远之地,攻伐之所不能遽及。此由脾土久虚而太阴之阳微弱,不能随气升举消散,故名之曰悬饮。

西党参三钱 焦冬术一钱半 小川连五分 焙  
炙草五分 淡干姜六分 制半夏一钱半 上肉桂三分,去粗皮

加荔枝核一钱,焙脆研细,冲广木香二分,开水磨冲。

服后痛止未呕,自觉神健,便结,溲少。

复诊:前方去半夏、肉桂,加归、芍、茯苓、川椒、元胡索、大南枣(去核内填乌梅肉二分,线扎同煎),服后呕痛如前平。因其安妥,喜啖炖肉,食饮稍增,与亲友叙谈至三鼓而睡。即此观之,其人之不能静养调摄可知矣。且久病在身,去年尚生一子,其好欲又可知矣。再兼厚味不

禁最喜食蟹。诸如此类病深药浅,虽有良方,恐难济事。辰初饮粥一盞半,午前进饭半盞,以糟鱼过口。至午后觉腹中小疼稍胀,渐自痛增。以指探吐,又吐去如前之水小半钵,上有浮衣油面俱与前同。脉仍如前,趺阳脉较前细小,幸无头汗发厥之势。

人参五分,另煎冲 於白术一钱,土炒 茯苓三钱  
炙甘草四分 川连五分,姜汁炒 淡茱萸三分 沉香三分 姜半夏一钱半 干姜六分

加荔枝核一钱半(焙),广木香五分。

照方煎服,呕痛又停,足征药之对症。效如斯速,注案存方以示小子、门人辈,细心参阅,务得其中之肯綮,庶乎可也。今因其不呕不痛又自停药,必待病发求医,病退恣啖原味、纵欲无节,善于多谈,好动恶静。无怪乎徒延岁月,累及终身。何自轻命若是哉,予深惜之。

一切痛症,痛止恣食,痛必再作,慎之!慎之!

(案源) 幕友陆松涛咳逆、呕哕有年,药投罔效治验

幕友陆松涛,年四十二岁。

素体清瘦,作事明爽。于嘉庆十五年得

咳逆呕哕症 ,迄今数年 ,药投罔效。于己卯九月初六日诊 :

细绎病情 ,证属呕哕。夫呕哕者 ,即反胃、噎膈之渐也。病经十载 ,非不终朝医治 ,而治之不得其法 ,病根难除。据述素好饮酒 ,酒后贪饮浓茶 ,继以水果 ,坤土暗耗 ,是知脾胃之受累于酒也久矣哉。吾于此而想其原由 ,吾于此而卜其究竟。或食前贪生冷 ,寒气伤胃 ;或酒后喜浓茶 ,寒气归肾 ;或情不自禁 ,每多内作之荒 ;或力不能支 ,尚行外强之乐。以致坎阳不升 ,离阴不降 ,水火隔而心肾乖 ,君相动而脾胃虚。他如劳神会计 ,心一烦而胸中郁郁发呕。发呕者 ,反胃之征也。设或事不遂意 ,火一升而胃底泛泛欲哕。欲哕者 ,噎膈之兆也。又或食后遇事不快 ,而即呕酸吐食、咳嗽喉痒。种种情事 ,其为坤土之不运也无疑。再请验之于脉 ,两寸细软 ,左关小弦 ,右关虚软乏力 ,两尺虚濡。证脉合参 ,病关脾胃而波及心肝肺肾者有之。治脾胃而兼治他经则可 ,治他经而不保脾胃则不可。《易》曰 :“至哉坤元 ,万物资生。”坤属于土 ,未有土不足而能生长万物者 ,此余之首重在脾胃者近是。先理脾胃 ,再为善后之谋 ,庶几病根可除而诸恙

向安矣。

西洋参二钱,制 白花百合一两五钱 茯神一钱半 麦冬一钱半,去心 云茯苓一钱半 柏子仁三钱 北五味子五分,研

加梨汁六钱、生姜汁一钱。二汁和匀,候前药煎好去滓,投入二汁,再煎一二滚服。

服此三剂,并未呕哕、咳呛喉痒等,颇属合宜。

复诊:即于原方去洋参,加西党参、山药、沉香。仍照法煎好去渣,投姜、梨两汁服之,服后如前安妥。平常大便溏薄,自服予方后大便渐结,精神健旺。

服数剂后复诊:素多劳心会计,预事心烦,即觉胃中郁郁不舒,甚至呕哕、咳呛喉痒等情作矣。自进予方后,渐自平可,脉形两寸细小,关脉虚奕。先调心脾,再为之计。

西党参三钱 丹参三钱 焦冬术一钱半 茯神二钱 远志肉一钱去心 茯苓一钱半 酸枣仁一钱半,炒 干姜七分 益智仁一钱半 橘红五分 炙甘草六分 扁豆三钱,炒

加金华南枣两枚,去核。

服数帖,安妥如前。

复诊(九月二十七日):脉右关渐起,而两寸、尺尚嫌濡软,气血不充而真阳有亏也。宜以调中益气,兼治心肾,庶乎可也。

生黄芪二钱,盐水炒 西党参三钱 山药三钱,炒 焦冬术一钱半 鹿角霜一钱半 白茯苓一钱半 茯神二钱 酸枣仁二钱,炒 炙甘草六分 益智仁一钱半 干姜六分

加梨汁五钱、姜汁一钱,如前法服。

前次方中佐姜、梨二汁兼治呕哕,服后颇安。今之加者,缘喉中似有痰凝不爽之意,舟中又有头眩眼昏之象,各有取意存焉。

服此方后,周身温和,自觉松爽,大便日一次,食饮、睡卧如常,痰凝、头眩竟自平可,仍以前方略为增减。服数十剂而精神日健,遍体温和,食欲渐增,二便调匀。惟偶因事冗心烦或食饮不节,则似有哕呕之势。于是以盐水炒黄芪、党参、於术、芡实、归身、丹参、远志、菖蒲、菟丝、破故纸、五味子等加梨汁五钱、生姜汁一钱五分,仍照前法煎服。服数帖诸恙向安,而呕哕之势顿失矣。据述症经数年,自服予方后并未见呕,诚快事也。

复诊(十月二十六日方):药停两日,便觉脾

阳下溜 此大便之时欲解也。仍宜填离阴以益戊土,壮坎阳以温己土,是为上策。

戊属胃土,以离中之阴火以生之。己属脾土,以坎中之阳火以生之。

炙黄芪二钱 西党参三钱 山药三钱,炒 茯神二钱 益智仁一钱半 鹿角霜一钱半 柏子仁三钱,去油 炙草八分 破故纸一钱半,炒 淡干姜六分,炒 五味子五分,研

加胡桃肉一枚,连鬲板用。

服两帖,大便调匀,连进数帖颇好。再以六君子汤加山药、枣仁等,煎好去渣,投龟、鹿二胶各一钱,煎滚候烱服之。服数剂而收全功。

至十二月初十日再定丸方调理,列下:

木棉仁八两,盐水泡一日,取出候干,再以陈酒煮半日,再蒸再晒,以里外黑如墨者佳 大生地五两,先以水煮半日,后加砂仁一两、陈酒五两同煎半日,取出再蒸晒九次,所用淮山药三两,炒 鹿角霜二两 菟丝子一两半,酒拌蒸 茯神二两 远志肉一两,甘草水浸 酸枣仁一两半,炒 柏子仁一两,去油 山萸肉一两半 建莲肉二两,去心 破故纸一两半,陈酒浸蒸,胡桃肉一两同捣

上为细末,炼白蜜为丸,如小绿豆大,晒令极干。外用西党参三两,焦冬术一两半,茯苓一

两半，炙甘草一两，制半夏一两半，陈皮一两半，俱筛研极细末。

再以干荷叶四两、生姜二两用河水煎滚，洒叠为衣。每服五钱，清晨用莲心七粒、陈皮三分泡汤送丸可也。

**（案缘）** 海盐周玉如由胸前胀闷，渐自歧骨间起一梗如指粗，长约四寸，积岁沉痾迄今三载治验

海盐周玉如，年二十岁。

病起于嘉庆二十一年冬间，楼下潮湿，睡处褥下俱湿。至次年春，移于楼上而卧，近于窗，又为风寒所侵。春间自觉胸前胀闷，已后心窝下，歧骨间（俗名人字骨下）起一梗，如指粗，长约四寸，不动不痛，累月经年。至己卯春，天明胸前作胀，食后胸闷，闷则气紧，必得暖气稍松。夜间侧睡于左则腹中时响，若睡于右则不响。病脉合参，脉象虚细兼滑，痰湿交阻，凝滞腕中，结郁成条，有时微疼，按之如长竿，似属伏梁之征也。症经三载，沉痾积岁，先议调中顺气治其标，再商治本，第匪朝伊夕之功也。

西党参三钱 新会皮一钱半 炙甘草七分

沉香四分 磨冲 枳壳八分 磨冲 乌药五分 磨冲。上三味俱用开水磨冲

上药六味 ,先将前三味以河水一盞二分煎至一半 ,去渣 ,以后三味汁和匀冲服。服之气紧之势渐减 ,其余如前。

复诊：肝脾并调 ,脾胀闷渐松 ,再为善后之谋。

西党参二钱 焦冬术一钱半 干姜七分 炙甘草六分 制首乌三钱 炙鳖甲三钱 ,炙 沉香六分 ,切片 淡茱萸三分 新会皮一钱半 广藿梗一钱半

加代赭石三钱 ,煨红 醋淬三次。

服此 ,天晓胸口作胀十减其六 ,惟食后胸闷气逆 ,呼吸阻碍 ,自觉气紧犹未平也。夜侧睡于左 ,腹之响亦十去六七矣。

复诊：

西党参二钱 焦冬术一钱半 山药三钱 ,炒 茯苓三钱 旋覆花三钱 ,生绢包 代赭石三钱 ,煨 干姜八分 炙草八分 姜半夏一钱半 新会皮一钱半

加沉香汁三分、枳实汁五分 ,二汁俱以开水磨冲。

服后 ,天明作胀已止 ,食后胸闷渐平。夜侧睡于左 ,腹响亦去七八矣。惟腕中素有之一梗如指粗 ,而似伏梁者尚在。

复诊 :案云 胀停闷止 ,脾土渐运。至于日久成条之梗 ,凝滞于胃腕者 ,须当以扶土中而侑以舒运之法 ,庶乎渐安。用香砂六君子汤加苏梗、藿梗、沉香等 ,服如前妥。再以理中汤佐茯苓、香附 (炒) 、广藿梗、盐水炒枳壳、姜汁炒生山楂等 ,河水煎 ,临服冲入沉香汁三分。

服后 ,小溲始赤 ,胃中松爽 ,日间偶有成粒厚痰咳出 ,其胃中结郁成条如指粗之梗 ,亦觉上粗下细之象 ,颇属相宜。进方四五剂 ,仍以原方略为变易 ,又服数帖亦妥。

复诊 :连日因病渐退 ,食饮渐增 ,食后又少有胀闷之象 ,脐左觉响 ,食后似疼非疼。仍宜调脾温中 ,佐以和肝为法。

西党参三钱 焦冬术二钱 淡干姜八分 炒  
炙草六分 淡茺萸三分 黄连一分同炒 枳实炭一钱  
盐水炒陈皮一钱半

上七味河水煎好 ,去渣 ,入阳春砂仁末二分 (中)。

前方进两剂 ,诸证咸安 ,且腕中之梗亦觉其

柔软而不过现矣。

复诊：调脾温中，佐以疏肝养心为妥。

西党参三钱 焦冬术一钱半 干姜七分 沉香五分，切片 丹参三钱 茯神三钱 归身一钱半 白芍二钱，炒 姜半夏一钱半 炙草八分

煎好去渣，临服投生姜汁一钱（冲）。温胃和中却痰，妙在此味佐之。

服后，起更时胃中不觉阻碍，是以气亦不紧、不塞、不响，天明时如前松爽。连服数剂，惟此方尤觉得力。口中有黏泥痰吐出，又有如蟹吐沫之状，此即前之所谓痰湿久阻于脘中，今得温舒而渐出也。

复诊：再以“归芍六君子”加炙黄芪、广藿梗、枳实炭等。煎好去渣，仍投生姜汁一钱半冲。

服四剂，胃中向有梗如指粗而长者，渐自细小而软矣。再以前方略为增减，去姜汁，加生姜三钱，切片捣渣同煎。服二三剂，其脘中之梗竟自消矣。三年之疾，药投四十余剂而收全功。继以膏滋方调理，兼治梦泄，最善。

炙黄芪五两 西党参六两 大熟地八两 山药四两，炒 山萸肉三两 菟丝子三两 白茯苓二

两 陈皮一两半 炙甘草一两半 广木香一两半  
左牡蛎五两 块 砂仁一两半 益智仁二两

上药十三味 ,用常流水如法煎膏 ,先文后武 ,煎至滴水不散 ,收膏时入饴糖四两和匀 ,不可加蜜。每服六钱 ,清晨滚水烱化 ,燉热服之。膏成须退火气三日 ,服之可也。

(案 远) 许关陆肯堂喘咳有年 ,咳痰挟血复发之验

许关陆肯堂 ,年四十九岁 ,嘉庆己卯十月六日诊。

素有喘咳 ,兼好饮酒。于六年前曾呛血挟痰 ,逢节必发 ,或劳心费神亦发。幸食饮未减 ,酒戒有年 ,虽不时举发 ,尚无妨事。今季春适友人传方 ,用连壳鸡蛋四十枚浸尿桶内七日 ,取起再埋地中七日 ,然后煮熟。每早食两枚 ,连服二十日 ,共服鸡蛋四十个 ,从此喘咳不发 ,呛血全无 ,而且步行廿里亦不觉其气喘劳力。今半载未食其蛋 ,日来旧恙复发 ,咳痰挟血。鸡蛋将浸 ,特延诊治。脉象虚细小数 ,两尺濡奕。肺金虚而肾水不充 ,相火升而气逆呛血。幸胃脉尚平 ,犹可图维。先治其标 ,俾喘定血止 ,再为扶

本。若徒以浸蛋之法，而无调补之功，恐非探本穷源之治。

参三七五分 滚水磨冲 百合四钱 款冬花三钱  
紫菀一钱半 叭哒杏三钱 去皮尖 茯苓二钱 侧柏  
叶三钱 炙 炙草八分 黑苏子一钱半 炒 人中白  
八分 漂淡

加老枇杷叶四钱 拭去毛 蜜炙。

（案苑）孙天池乃郎两腿足肿、面浮、腹膨  
治验

孙天池子，十八岁，己卯年十二月朔日  
诊。

由两腿足肿至膝，右膝觉疼，继又面浮，波及大腹，按之膨急。右关虚弦，左关弦急，木乘土位。病起两月，防转中满。

西党参一钱半 焦冬术一钱半 茯苓三钱 陈  
皮一钱半 枳实炭八分 大麦芽三钱 炒 山查炭  
三钱 炒 木瓜一钱半

加荷叶一小个 托底煎药。

服四剂，面浮足肿俱减其半。

复诊：原方去枳实，加厚朴、木香等。再四帖而痊可。

(案愿) 山西武良佐脉象沉紧,畏寒、舌白、胸闷作痛、得食即呕吐极重治验,论治颇的,细阅便悉

山西武良佐,嘉庆己卯年正月廿五诊。

六脉沉紧,遍体不疏,舌苔白泥如粉。胸前闭闷,食入气逆呕吐,腕中时痛。小溲色赤如血,大便半月未解。年近三旬,病经月余,夜间畏寒尤甚。比症得之冬间伏寒,西人纵啖湿面,致令中宫气阻、食滞、痰凝,有表面两感之候,岂可渺视之乎。于是以秦艽、桂枝、制半夏、瓜蒌仁、柴胡、枳壳、白蔻仁、甘草、赤苓、猪苓、生姜皮等煎服。服后次日午前稍松,夜间依然如昨。

复诊:即于前方去半夏、瓜蒌仁,加厚朴、干姜,以生姜、大枣同煎服之。嘱其夜间临卧,再将复渣煎服。服后至夜半,周身有汗,即觉胸闷稍平,遍体疼缓,畏寒亦止。次日早晨,解黑结粪四五枚,小溲色淡,舌苔白泥渐转淡黄,稍能进粥。邪食未尽,究宜小心调治。

复诊:伏寒虽解,余滞未楚。是以胸腕尚闷,背俞觉紧而腹时痛也。

瓜蒌实五钱 陈酒同炒 枳实一钱 薤白三钱  
青皮一钱 制香附三钱 制半夏一钱半 莱菔子三

钱 炒 甘草六分 新会皮一钱 黑山栀一钱半  
加生姜三片。

服此，午后便觉胸前闷减，且知胸前一团结滞渐下。至酉正，大便甚爽，成条而下。顷之知饥，食粥三盏。至天明又觉饥甚，饮粥始安，小溲尚浑浊。再以二陈汤加苡仁、木香、通草、砂仁壳、鸡内金等煎服，又解结粪一次。次日再剂，仍如前解。是证日久，表里两伤，大便廿余日未解，今于邪退后逐日解下结粪，不伤正气，诚良法也。

（案 怨） 山西门人曹生乃尊伯侯兄脚气屢发，两足肿，寸步难行，腕腹攻痛，遍体不舒，极重治验

山西介休门人曹生乃尊伯侯翁。

素有脚气，侨寓江南，更多卑湿，身长体伟。西人好面，湿痰常有。于嘉庆己卯七月下旬，脚气病发，由暑湿夹食，阻滞中宫，上下不疏，以致两足肿胀，寸步难行，腕腹攻痛，头胀，舌苔糙泥，遍体痠疼，欲呕不饥，不嗜饮，小溲少，脉息细小。治宜清暑、却湿、和中。

香薷一钱半 蔓荆子一钱半 制半夏一钱半

秦艽二钱 神曲三钱,炒 广藿香一钱半 山查炭  
三钱 猪苓二钱 木瓜一钱半 广木香一钱,切 川  
木通一钱 青皮一钱

加青葱两枝。

服前方两帖,诸恙咸平,可以下楼行动矣,两腿足之肿胀亦消矣。再以和胃、祛湿、调中而康。

(案 57) 黄安舒时行感冒,头胀、耳聋、咽  
嗑不爽治验

黄安舒,道光壬辰六月十二。

时行感冒,风火上攻,头胀,耳聋且鸣,病起九日,大便七八日未解。舌胎泥黄,咽嗑不爽,脉象浮缓小数,是非轻候,法宜清解。

荆芥穗一钱半 薄荷一钱半 连翘一钱半 元  
参三钱 细生地三钱 桔梗八分 麻仁三钱 甘草  
六分 牛蒡子三钱,炒研

加元明粉一钱半冲。

服一剂,大便一次,耳聋、喉干俱减三之一。

复诊:即于原方去生地、麻仁,加柴胡、贝母、鲜荷叶等。服之病减其半,惟舌苔仍泥白,中心淡黄,牙关紧不能张大,喉中粘痰未净。仍

宜清降兼舒。

元参三钱 桔梗一钱 薄荷一钱半 甘草六分  
连翘一钱半 荆芥一钱半 僵蚕一钱半 川芎八分  
龙胆草一钱 酒炒 牛蒡子三钱 炒研 鲜荷叶三钱

服此两帖，喉塞痰黏、耳聋耳鸣诸恙俱平矣。

(案 录) 治湖州周维丰两足腿内侧痒极难忍，抓之滋水淋漓，病经七载，遍治罔效，得余方制焙研细搽擦，不数日而收全功，称为仙丹，快矣！快矣！

湖州周维丰，年二十七岁，道光癸巳诊。

由右足大小腿内侧漫肿，痒极难忍，抓之出水淋漓。脾湿下注，波及于左。《易》曰：“震为足”，足属东方木也。证名湿毒浸淫，从右移左，攸关肝脾。病经七载，遍治罔效。法宜扶土祛湿，用生冬术、苡仁、黄柏、当归、木通、甘草、茯苓、防己、苍耳子、牛膝等煎服。

服五六剂后，不过如斯。间数日，于仲冬望日再以外药擦之。方列下：

芦荟一两，烘脆 川椒末三钱，焙 甘草末一钱  
三味各研极细，和匀。用猪胆汁调和如糊，

以白棉布蘸药擦之。如湿而痒者，即以布蘸干药擦之亦可。分早晚擦之，不数日而痒极难忍之势顿止，且湿水全无，结盖而落。七年之疾得此一擦而愈，竟称仙丹妙矣！妙矣！

（案 圆）山西赵士英湿鼓将成，肢腿阴囊俱肿硬治验

山西赵士英。

西人好啖面食，南方地土卑湿，脾土不运，水湿浸淫，肢体漫肿，渐自腿足，阴囊及茎俱肿。脉息沉细软小，湿鼓将成，便溏腹胀，脾肾攸关。

朝用生黄芪皮、茯苓皮、五加皮、大腹皮、陈皮、草薏仁、木香、干姜、苡仁、桂枝梢等，加姜、枣煎，早服。

晚进金匱肾气丸三钱，开水临卧送下。

服之，据述夜间腹中温暖适意，四肢两腿肿硬渐自宽粟，按之成凹之象，减去大半，惟阴囊肿而疼，小溲少而赤，大便溏减。

复诊：再以理中汤加苡仁、茯苓皮、车前子、猪苓、木香、莱菔子等十味煎服。临卧仍用金匱肾气丸如前服。服两帖，如前安妥。

复诊：又以理中汤加淡茱萸、川楝子、大茴

香、车前子、小青皮等九味，午前煎服。临卧仍用金匱肾气丸如前服。进三剂，阴囊肿疼俱退三之二，且两腿按之不凹随手而起矣，小溲亦渐增矣。再三剂，肢腿虚肿全退，阴囊肿疼亦俱平矣。

**（案 袁）** 山东陶君怀贪凉饮酒，夜半腹痛、呕吐治验

山东陶君怀，道光癸巳七月十一诊。

据述病情：因昨游虎阜贪凉饮酒，回寓至半夜腹痛甚剧，呕之不暢，吐之不爽。天明叩门延治，证脉合参，暑湿挟食，此属霍乱，治当温舒。方用厚朴、半夏、藿香、青皮、枳壳、查肉、麦芽、滑石、赤苓、木香、豆蔻、陈皮等十二味煎服。未服前先进左金丸六分、生姜两片，泡汤送。服之，吐泻、腹痛俱稍减。

次日复诊附方：

姜厚朴一钱 川郁金五分，磨汁冲 沉香汁三分，磨汁冲 赤苓三钱 姜半夏一钱半 广木香四分，切片 白蔻仁五分，研 陈皮一钱半 猪苓一钱半 枳壳一钱半 山查炭三钱 麦芽三钱，炒

上药十二味煎服，未服前仍先用左金丸七

分如昨法服。服后胸脘气闷顿松，其吐泻、腹痛亦大减可，再剂而瘳矣。

(案 源) 王梧轩湿阻胃不和，舌白、不饥治验

镇江王梧轩，年四十五，癸巳七月望前。

由湿阻中宫，胃土不和，心似荡，不知饥。舌苔白腻，脉息濡软。当理阳明为最。

白蔻仁七分 研 薏苡仁五钱 炒 赤苓二钱  
陈皮一钱半 川石斛四钱 广藿梗一钱半 半夏曲  
一钱半 谷芽四钱 鸡内金二钱 炙

加砂仁末三分，冲。

煎好去渣，服三帖心荡不觉，渐知饥，食渐增。

复诊：仍于前方略为加减，再三剂而全瘳矣。

(案 缘) 嘉兴汪啸竹梦泄、腰疼、晡热、溲赤治验 (并丸方)

嘉兴汪啸竹，字锡蕃，年五十二，癸巳七月二十一日诊。

案 肝主疏泄，肾主闭藏。梦泄无时，兼多

腰疼 晡热 溲赤。固属肝肾之有亏，亦关心荣之不足。脉形虚濡小数，良有以也。

制首乌三钱 女贞子三钱 麦冬一钱，去心  
茯苓一钱半 青蒿子一钱半 地骨皮二钱 杜仲三钱 炒 石斛三钱 半夏曲一钱

加生姜三分、南枣一枚。

上药煎服两剂 晡热渐减。

复诊，方附后并案：

晡热渐退，舌苔尚泥。上则耳鸣，下则精滑，脉息濡数。相火升而水不能济，当于心肾求之，所谓心象垂滴，肾象拱鞠，而再得黄婆为之媒合，安靖上下，庶几坎离交济矣。于斯论治，可与谈医。

大生地四钱 丹皮一钱半 炒 地骨皮二钱  
元参三钱 鲜莲肉五钱 赤小豆三钱，即赤豆 杜  
芡实四钱 不炒 泽泻一钱半 左牡蛎七钱 煨块

加大南枣两枚，去核。

服三剂 晡热十退其八矣，白浊亦渐缓矣。

复诊：仍用前方增减。

大生地四钱 丹皮一钱半 地骨皮二钱 元  
参二钱 元武板三钱 炙 女贞子三钱 茯苓一钱半  
陈皮八分 杜仲三钱 炒

加鲜莲肉五钱。

服两帖，晡热退清，精神渐健，食饮日增，惟白浊窍端未能净尽。此肾阴不足，酒后花前相火易动，固宜调摄，亦须自己留神。

复诊：再以熟地、山药、建莲、芡实、金樱子、女贞子、左牡蛎、泽泻、车前子等，加猪脊髓两条去外硬皮同煎。服后颇合，再继以丸方调理而收全功。方案列下：

右脉虚软，左部濡下，自是肺肾两亏之征欤。盖肾主水，肺主气，气上腾便是水，水下润无非气。一气贯注，百脉流通，得其意者于此中消息之。

西党参六两、新会皮一两二钱，量用河水煎膏代蜜为丸。

大熟地四两，切片炒 元武板三两，炙 山药二两，炒 丹皮一两半，炒 菟丝子一两半，蒸 云茯苓一两 芡实二两 砂仁一两 炙甘草一两 线鱼鳔一两半，用黄柏末同炒成珠 龙骨一两半，煨 五味子一两半，同核研磨

上药十二味磨细筛匀，用前党参膏代蜜为丸如桐子大。每服五钱，清晨淡盐汤送下。

〔案 苑〕 海盐周北园风寒湿痹 ,周身疼痛  
治验

海盐周北园 ,癸巳仲秋三月诊。

风寒湿三气合而为痹 ,四肢两腿、肩背皆牵引板滞 ,动辄疼痛 ,头重转侧筋强。舌苔泥白如粉 ,脉象细爽 ,左弦紧。亟以祛风逐湿、散寒温中之法 ,冀其渐松为妥。

羌活一钱半 独活一钱半 桂枝梢一钱半 厚朴一钱半 稽豆皮二钱 ,酒炒 秦艽二钱 制香附二钱 木瓜一钱 ,乳香同炒 嫩桑枝一两 ,切

煎好去渣 ,服三剂后诸恙咸减大半 ,舌苔泥白转为淡黄。惟左膝眼动则疼 ,夕肿朝退 ,非生疮可比。

复诊 :再以白蔻仁、桂枝梢、防风、羌活、片姜黄、秦艽、五加皮、黄松节、苡仁、怀牛膝 ,加姜、枣煎。服三剂诸恙悉退 ,且手足皆可举动 ,惟膝眼动辄尚疼。

复诊 :仍以原方去豆蔻、桂枝、防风、姜黄四味 ,加制香附、当归、苏木节、木瓜等煎服。外用冲和膏以葱汁调敷膝眼 ,用绢裹扎。进方三帖 ,前病霍然矣。

(案 苑) 安兆昱病后复感垂危救生治验  
安兆昱,壬辰五月二十六诊。

大病之后复感温邪,迄今一候,得大汗而解。尚口渴喜饮,昏语如前,往外奔走,舌绛痰多,似清非清。证脉合参,痰火留恋,又值复感,虚实相兼,难以稳许。即用川黄连、羚羊角、天竹黄、半夏曲、陈皮、赤苓、胆星、甘草、黑山栀等。煎服后,次日依然如前,大便一次,先结后溏,脱势之象。叩门乞方,不得已拟助正生津以应之。

西党参四钱 茯神三钱 大麦冬一钱半,去心  
枣仁一钱半,炒 五味子三分,研

上五味煎服,少顷神识渐清,乱语渐止,且能进粥,再剂而全瘳矣。

(案 苑) 山西范永顺痛症屡发无定,痛剧难忍治验(两案并论)

山西范永顺,年四十七岁,道光甲午正月望日延诊。

痛症有年,屡发无时。今感寒气阻,湿食相凝,以致呕痰畏冷、胸脘痛剧难忍。病经四日,医以疏气活血之法不应,因延余诊。脉息浮小,

用苏梗、蔓荆子、草薳、木香、神曲、麦芽、香附、莱菔子、陈皮、生姜等。服之，呕吐即已，而胸脘仍痛，不饥。

复诊：用厚朴、桂枝、干姜、枳壳、查肉、木香、大腹皮、麦芽、陈皮、莱菔子、谷芽、鸡内金等服之，痛势大减，渐可进食，畏冷亦减。

复诊：再以二陈汤加苏梗、藿梗、木香、查肉、谷芽、槟榔、砂仁壳等。煎服后诸恙咸平，腑气亦通而全愈。

至二月下旬，脘腹痛发，不呕，而痛势异常，坐立不安，当用二陈汤加厚朴、白蔻仁、查肉、麦芽、木香、枳壳、沉香、生姜等，服之痛减三之二。次日，前方去蔻仁，加淡茱萸，两剂而痊。

**（案 员）** 吴姓伤寒垂危救生治验，并详论起病缘由

吴姓，三十五岁，甲午正月廿七日，伤寒垂危救生治验。

其人手工为业，家贫母老，少妻幼子。伤寒垂危，医药罔效。其母往向日相帮之王氏主人处，哭告独子垂危之苦，主人因许伊请封，并嘱人代往余处告诊求救。予往视之，细绎病情，于

去冬严寒衣薄深感寒邪 ,更兼新正其母往向日之主人家恭喜贺节 ,不无有年糕、粉团携归 ,其子任意纵啖 ,又食荤腥湿面 ,以致胸脘闭闷 ,逐动伏寒 ,甚至畏寒身热 ,狂言奔走 ,继又默默不语 ,尿出无知。病势日增 ,又为误投寒凉 ,神昏呓语 ,人事不知。诊其脉浮小 ,况滑。食毫不进 ,汤水与之少饮。奄奄一息 ,难以图救。惟二目尚灵活有神 ,口鼻热气直冲却非喘也。其母哀哭泪下 ,叩首乞方。不得已索思良久 ,其人冬寒内伏 ,又加过啖黏糕肉食阻塞中宫。始也畏寒身热 ,继又食化为痰 ,久之寒化为热 ,痰火内蕴 ,致令神昏谵语而不知人。病经两候之久 ,缘荐人之诚心代请 ,伊母之叩首乞方 ,不得不竭力图之。

方用生地、黄连、川郁金、制半夏、陈皮、山查、麦芽、莱菔子、瓜蒌实、沉香、石菖蒲等。服后神识稍清 ,渐可言语 ,并可伸舌 ,舌中心淡黄 ,干糙无津 ,小溲少 ,大便不通 ,转失气时下 ,是邪陷心包 ,宿食化痰而黏着于肠胃 ,颇为棘手。议退热祛痰 ,兼通腑气 ,以冀转机。

小川连六分 水炒 淡黄芩一钱半 炒 陈胆星  
八分 枳壳一钱半 天竹黄一钱 黑山栀一钱半

瓜蒌全四钱 查肉四钱 炒 橘红一钱 薤白四钱  
茯神三钱

加生姜两片、红枣三枚。

服之，身热、畏寒俱退其半，余如前。

复诊：

小生地五钱 丹皮一钱半 炒 瓜蒌仁四钱  
黄芩一钱半 炒 麦冬一钱半 茯神三钱 大麻仁四  
钱 枳壳一钱半 沉香三分 切片 橘红一钱 制半  
夏一钱半 山梔一钱半

上药十二味，河水三盏煎去一半，去渣，投入元明粉一钱五分。服后，大便溏粪如胶如漆，黏泥不堪，病势如昨。

复诊 邪闭心包络，神识昏昧，似清非清，呓语绵绵，舌泥干糙无津，喜饮兼咳。服前方，顷之解溏泥粪，如胶如漆者甚伙，撮拳手痉。脉右软小，左弦大。正虚邪恋，棘手极矣，拟辅正祛邪法。

西洋参一钱半 淡黄芩一钱半 炒 麦冬一钱半 去心 陈胆星八分 制半夏一钱半 黑山梔一钱半 花粉一钱半 苏子一钱半 炒 川石斛三钱 生甘草五分 沉香四分 切片 橘红一钱

河水两盏煎至一盏服。

先将万氏牛黄丸一丸用灯心泡汤化服，服后即有欲睡之象。顷之将前煎药与服，服后渐渐睡着。少顷醒后，少有吟咏之声。已后神识稍清，应答稍明，稍可进粥二三口，咳嗽渐减。

次日午后复诊，观其问答稍有明白，能识伊母，且能叫余。顷之又有欲睡之象，是倦怠而非脱势可较。按其头臂，热已退其大半。脉右如昨，左之弦大已减。再以昨方去黄芩、胆星、沉香三味，如前煎服。其万氏牛黄丸仍照昨法先服，服后日渐平妥。若非对证之药，万难一救。余怜其极贫，两日不受请封，肩舆往诊，自此两剂而愈。快矣！快矣！

(案 圃) 金士元胎疟初发，寒甚于热，治验金士元，年十九岁，嘉庆己卯七月二十四日诊。

风暑相搏，胎疟初发，寒短热长，似属热甚于寒，而寒时戛齿鼓颌，战栗恶寒，合之色脉则又寒甚于热矣。治法当先和荣卫，俾寒减热缓，再为之计。

桂枝一钱 柴胡一钱 黄芩一钱半 瓜蒌仁三钱  
干姜六分 甘草五分 草果八分 煨 小青皮

一钱 滑石三钱

加生姜两片、黑大枣一枚，去核。

煎好去渣，约症未至前两个时辰温服可也。经云：“工不能治其已然，为其气逆也，”正此谓耳。

复诊 进昨方，寒时战栗、鼓颌之势已缓，热来口干渴饮之象亦减，惟热时仍兼头胀不清耳。仍于前方去瓜蒌、滑石，加芍、归、花粉三味。再剂，寒热俱减其半。据述三鼓进药，少顷症至，天晓邪提阳分，不日可停矣。（二十五日方）

复诊（七月二十六日方）：

桂枝一钱 柴胡一钱 黄芩一钱半 甘草五分  
草果八分 煨 知母一钱 陈酒拌炒 常山八分 陈酒拌炒  
青皮一钱 槟榔一钱

加姜、枣煎，如前法服。

服后寒热甚轻，未一刻而退清，继以和胃生津而痊。

（案 圆） 文学汪书蕉二兄气逆痰多，丸方调理

文学汪书蕉二兄丸方，癸巳岁正月十九日案。

脾肺久虚 ,土不生金 ,而木寡于畏 ,不惟伤土而且犯肺。肺虚则表不固而感冒易 ,脾虚则痰渐升而咳嗽频。痰壅气逆 ,宜乎口多涎沫 ,而动辄多汗也。脉象虚滑 ,左弦尺濡 ,显有明征。法宜补土以生金 ,因脾为肺母也 ;滋水以养木 ,因肝为肾子也。从此水土合德 ,金木相安 ,又何虑夫咳嗽痰升而致多汗也。

生黄芪二两 防风一两同焙 淮山药三两 炒 西党参三两 大熟地六两 玄武板五两 炙 建莲肉四两 去心 山萸肉二两 云茯苓一两半 木茯神二两 柏子仁三两 去油 款冬花三两 巴旦杏四两 ,去皮尖 左牡蛎五两 煨 炙甘草一两五钱 新会皮一两半

上为细末 ,炼白蜜为丸 ,如梧桐子大。每服五钱 ,清晨滚水送下。

(案 圆) 山西范永顺痛病复发 ,呕吐、寒热治验

山西范永顺 ,痛症复发 ,正月初三告诊。

昨于午后 ,陡然寒热 ,背疼胸闷 ,呕吐不畅 ,脘腹痛甚有汗。脉形浮弦 ,当用疏解法。服后 ,背疼止 ,呕平。

复诊：脘腹痛发，痛剧甚至叫呼不已，手指厥冷，有汗。稍可进粥半瓯，大便欲解不解，口不喜饮。脉息浮滑，左弦细，舌苔糙刺、泥黄。证岂轻候，亟宜舒运、安蛔止痛，兼之润燥通幽，取通则不痛，以冀转机。

生香附三钱 当归二钱 沉香七分 陈皮一钱半  
淡茺萸四分 小茴香一钱半 槟榔一钱半 青皮一钱  
川花椒六分，炒开口 赤茯苓三钱 大麻仁四钱 郁李仁三钱，研

煎好去渣，入元明粉一钱五分，冲。

服后痛势渐缓，小便赤，大便欲解未解。

复诊：仍以舒通法。

瓜蒌全五钱 沉香六分 薤白三钱 陈皮一钱半  
大腹绒一钱半 木香六分 淡茺萸四分 赤苓三钱  
车前子一钱半，炒

煎好去渣，倒碗内，投生大黄二钱泡碗内，盖须叟服。当服一帖未大便。次日再帖，少顷始解不结不溏之粪甚多，腹中松爽，痛平，知饥进粥，舌苔渐化。再以调中养胃之剂而全愈。

凡痛症将止，食饮宜节，恣食略过，痛必再作，不可不知。丙申夏竹亭识

(案 圓) 刘姓右齿疼痛无宁治验

刘姓,慈溪人,壬辰岁仲春。

右齿疼痛无宁,脉象浮弦。风火上攻,引动相火,治在轻清。

独活一钱半 防风一钱半 稽豆皮一钱半 甘草五分 元参二钱 薄荷头一钱 中生地四钱 白芷五分

煎好去渣,入人中白四分,研冲。

灯前进药,少顷痛止,捷于桴鼓,快哉!

(案 圓) 倪愚溪湿痰、中虚便溏有年,近感客邪治验(两案并注)

永义堂董事倪愚溪,年六十六,壬辰岁十二月十一延诊。

素体虚肥,色带痿黄,又多湿痰,向来大便溏薄。日来感冒客邪,灯后寒至凜凜,微热不解,无汗,不饥,舌苔糙泥,迄今六日。进他医清解法,精神日疲,尿便不由自主。脉息右弱,左弦细。高年人恐难胜任,亟宜却寒和中。方用苏叶、防风、桂枝、陈皮、豆豉、枳壳、麦芽、秦艽、查肉、半夏曲,加姜、葱同煎服。进一剂,病若失矣。已后至来年癸巳五月十六日,因湿阻中宫,

致伤坤土，食入脘中不爽，大便溏泄则腹中舒畅，便或结秘则脘腹滞塞不松。数余年来，便溏日三四次或六七次无定规。脉象右细突，左小弦，此由脾及肾。素嗜浓茶，以故湿阻不化，似觉便溏则爽，便结反闷也。然究其源，实关脾阳之不运耳，如果坤土健运，何至便溏则爽，结则反闷耶，亟亟培养中宫为第一着。

茅山术一钱 炒 薏苡仁五钱 炒 熟附子七分  
炮姜六分 益智仁一钱 炙甘草五分 云茯苓一钱  
半 陈皮一钱

加生姜两片。

服后，脘中松爽，便溏仍六七次。

复诊（五月二十日）：

西党参三钱 焦冬术一钱半 煨肉果八分  
炙草六分 淡干姜七分 煨木香七分 益智仁一钱  
半

加大南枣三枚，去核。

上药八味，河水两钟煎至一钟，去渣服。

服两帖，次日大便不溏，只得一次，据云数年以来从未如斯，诚妙方也。

复诊：用异功散加苡仁、益智仁、补骨脂、砂仁壳、广木香等服之，大便如前一次，食饮稍增，

腹中宽松 精神亦健。已后调理仍不出前后两方出入 ,或理中汤合“五味异功” ,加菟丝子、补骨脂等服之。大便或二三次 ,却非向日之溏粪可比。设少饮茶汤 ,则大便仍一次者居多。数年便泄 ,得余煎剂两帖而顿止 ,继以调理未一月而收全功 ,药到病除 ,理明法备 ,此其所以效如桴鼓之捷也欤。

**(案 圆象)** 王英堂甥 风暑挟湿 ,忽寒忽热 ,从重转轻治验

王英堂甥 ,癸巳六月。

风暑挟湿 ,忽然手足逆冷 ,皮寒毛耸 ,顷之渐热 ,热至潮润有汗则身中渐爽。早晨热微神安 ,午后渐热则心烦多语 ,少顷又有忽寒忽热之势 ,未病前一日走泄夺精。病由是月初八冒暑奔走 ,多啖西瓜 ,晚归自述腰疼足软 ,当夜始发寒热。初九延余次子茂常往诊 ,进疏解法腰痛即平 ,寒热未减。初十日特告治于余 ,细绎病情 ,知其先伤于暑 ,暑必挟湿 ,又为风搏。是以先凜凜而后热 ,热至有汗而渐爽 ,顷之又复寒热无定。此暑为风搏 ,湿郁于中 ,三气交阻而未能疏泄也。至于病前夺精 ,不过阴气亏而寒热觉

重耳,第不可作夹阴论治而节外生枝也,况于盛夏乎。因以生地、丹皮、地骨皮、黄芩、通草、黑山栀、葛根、葱汁炒防风等,加川郁金汁五分冲服,服后夜间烦躁,欲寐即梦,胸中气闷,恶心,口干喜饮。至二更时,大便结粪一次甚畅。饮粥后渐睡至天明,热渐缓,醒后气闷已平,仍有恶心之势,余俱如前。舌苔糙泥淡黄,小溲少,色赤,脉形浮软,尺濡。复诊仍于前方加减服之。

复诊:服后仍然一夜烦躁不宁,胸脘闷热,口干喜饮,喉中粘痰不爽,时欲恶心。暑湿内蕴,皮肤隐隐,防发斑疹,况阴虚之体,更虑陷阴之变。

瓜蒌皮三钱 丹皮一钱半 炒 青蒿子一钱半  
知母一钱半 地骨皮二钱 生鳖甲四钱 制半夏一钱半  
杏仁三钱 薄荷叶一钱 升麻五分 连翘壳一钱半 牛蒡子三钱 炒

加益元散三钱,生绢包扎同煎。此散即六一散加朱砂也。

自服此方后,热缓斑见,夜能睡,不烦躁,斑色红,大如芝麻,稀疏无多。此邪郁阳明,由里达表,故身热顿缓而能寐也,是好消息。

凡时热症，胸前气闷有窒塞不爽之势，兼之恶心，而身热不解者，乃邪热内郁，最防发斑疹，或鼻衄、齿血等情，此皆邪郁阳明经来也，不可不详细辨之。岁在道光丙申四月二十日七二老人竹亭识

复诊 进昨药，热缓斑见，大便一次，漉中夹结。舌苔泥滞糙黄今顿转淡薄苔，且舌尖渐转红色，邪渐退也。连日恶心未平，自服昨方始止。今仍以清解化斑，以冀热退。方用生地、丹皮、地骨皮、牛蒡子、青蒿子、生鳖甲、花粉、羚羊角、黑山栀，加藕一两五钱同煎。服后安妥如昨，惟热退其半，渐知饥进粥，斑渐消矣。

复诊：

鲜生地八钱 丹皮一钱半 淡豆豉三钱 麦冬一钱半 羚羊角一钱半 知母一钱半 甘草五分 黄芩一钱半 元参二钱 薄荷一钱 连翘一钱半 绿豆皮二钱

上药十二味，河水煎服。服后身热十退七八，大便又解结粪甚畅，知饥纳粥。舌色淡红，苔退有津，斑已退清。

复诊：再以西洋参、鲜石斛、谷芽、麦冬、茯神、枣仁、远志、元参、地骨皮、鳖甲等煎服之，热

始退清，诸证咸安矣。再以和胃生津之剂，而收全功。

**(案 圆)** 周北园长夏湿阻，手臂肩项动辄牵疼治验

周北园，癸巳六月初七。

手臂肩项动辄牵疼，舌苔泥白中黄，脉右大于左。长夏湿升，胃土不和，脉络不利，口黏、溲赤皆有之也，治宜和胃却湿。

广藿梗一钱半 薄荷梗八分 嫩桑枝五钱，乳香三分，炒 羌活一钱 归身一钱半 秦艽一钱半 片姜黄八分 苡仁五钱，炒 半夏曲一钱 车前子一钱半，炒 白通草八分

服一剂，牵疼之势顿减。再二剂，而痛豁然矣。

**(案 圆)** 任富泰湿阻气郁，手足掣痛，屈伸不便治验

山西任富泰，癸巳五月下浣。

湿阻气郁，热体冒风，手足四末牵掣作疼，屈伸不便，两关弦急。脾主四肢，此脾湿而兼外风搏之也。治以祛湿除风，佐以舒肝为最。用

秦艽、防风、当归、香附、赤苓、木通、续断、木瓜、杜仲、独活、莱菔子等。煎服一帖，诸恙成安，惟腰痛无宁。肝肾攸关，法从温舒。

鲁豆皮一钱半 制香附三钱 肉桂五分，去粗皮  
杜仲三钱 盐水炒 广木香六分 独活一钱半 陈皮  
一钱 当归一钱半

加葱须一钱。

煎服一剂，腰痛顿减六七，再两剂而霍然矣。

(案 圆) 山西张兆文辜丸肿痛偏左，证名偏坠治验

山西张兆文，仲夏中浣。

辜丸肿痛偏左，证名偏坠。脉象沉弦，受寒所致，温舒下焦为妥。

川楝核三钱 研 小茴香一钱半 枳壳一钱半  
甘草四分 山查核三钱 淡茺萸三分 柴胡三分  
青皮一钱 广木香六分 赤茯苓二钱

加荔枝核三钱 研 炒黄。

煎服一剂，坠痛大减，即坐立步行亦大缓矣，再剂全愈。

(案 圆) 乍浦沈三可五兄丸方 ,详论六载头风治验

乍浦沈三可五兄丸方 ,年四十五岁 ,甲午九月二十五日。诊案列下 :

六载头风 ,百治罔效。想亦虚实未辨 ,缪执成方耳。细绎病情 ,合参证脉 :体伟脉软 ,两关弦细 ,左尺濡小 ,素好饮酒 ,其为中虚挟湿之躯也。头风之因 ,由鼻洪过伙 ,骤然如涌 ,治之不应 ,后有以寒凉并进者渐自停止 ,然虽止矣亦未尽善矣 ,以故转成头风一症。头脑畏风 ,须重绵固护始能稍安 ,然必得汗方平 ,是以逢夏则安 ,遇冬则发也。病情如斯 ,实有至理存焉 ,请论之。夫头为诸阳之首 ,鼻气通于天。天者 ,头也 ,肺也。肺主一身之气 ,统诸经络血脉 ,上下贯串 ,莫不本之于气。今血去过多 ,气不能统而阳络大伤。阳络者 ,胃络也 ,是以血从上溢也。何以独见于鼻右 ,右属西方兑金 ,与阳明艮土为子、母。且阳明胃脉环鼻 ,鼻通于脑。脑为元神之府 ,上有九宫 ,同气相应也。外邪固不可侵 ,内风亦不宜生也。头风之发 ,每于春夏得温热之气易于汗出 ,而即不觉其胀也 ,遇秋冬凉寒之气腠理渐闭 ,而即知其畏风且胀也。其所以然

者，血去多而肺金之气弗克上充于脑。金土虚而肝木乘之，内风易生。气虚表不固而外风易入，与内风相煽，头胀随之。然风必兼火，火必挟痰，更兼素有之湿合而为一，日积月累，无怪乎病魔久矣。每多忘事，或二目作疼、内眦发红、多泪，或小溲溷浊不清，则胸中不舒，种种见证，上则内风生而痰火凝，中则湿气阻而升降不灵也。病从肺胃，而波及于心、脾、肝、肾者有之。治当益气护表，侑以引经之法，俾气升火降，中宫健运。六载沉痾或可从斯而平矣，无再赘矣。

**大猪脑两具**去净油垢，不落水。入后末药五味同拌同蒸，所用。用辛夷末一两、苍耳子末一两、羚羊角末五钱、血余末五钱、蔓荆子末五钱，五末和匀掺于猪脑内。用新荷叶一个置大磁盆内，将拌好猪脑子放荷叶盆内，于饭锅上蒸晒三日，捣和后药。**青羊眼**三对计六只，不落水，入后末药三味同拌同蒸晒用。用密蒙花末一两、白池菊末五钱、黑山栀末五钱，三味和匀拌于羊眼睛内，用新荷叶一个置磁盆内，将拌药羊睛放盆内，于饭锅三蒸三晒用。**西党参**四两 **绵黄芪**三两 **焦冬术**二两 **防风**二两 **白芍药**二两，炒 **川芎**一两半 **枳椇子**三两 **归头**二两 **大熟地**四两 **元武板**四两，灸 **车前子**一两半，炒 **陈皮**二两 **泽泻**一

两半

上药十三味为细末 ,同前制猪脑、羊睛一齐捣和极匀 ,加炼白蜜为丸 ,如梧桐子大。每服五钱 ,侵晨食后滚水送下 ,或茶清送亦可。

(案猿) 胡启坤淋症 ,搜出茎中疼痛 ,败精留阻治验

胡启坤。

搜出茎中疼痛 ,败精留阻 ,频出无时 ,左脉弦数。此淋症也 ,妄作白浊治故无功。宜以舒通 ,通则不痛。

小生地四钱 扁蓄一钱半 地肤子一钱半 木通一钱半 瞿麦二钱 川黄柏一钱 盐水炒 甘草梢七分 石韦一钱半 泽泻一钱半

服三剂 ,搜出溺痛大减 ,败精出而溺端无阻碍 ,再两剂而全愈。

(案猿) 杭州陈北海病后脘闷食减、肠燥便秘治验

杭州陈北海 ,甲午九月廿四。

病后失调 ,食饮不节 ,恣啖厚味 ,徒伤坤土 ,口干津少 ,以致食减脘闷 ,肠燥便秘。妄投

攻伐 ,脾胃更伤 ,防其胀满 ,速宜调中运食 ,庶乎渐安。于是用焦冬术、苡仁、陈皮、麦芽、归身、柏子仁、山查肉、瓜蒌仁、砂仁壳、赤苓等十味。煎服两帖 ,次日解结粪甚多 ,胸脘顿爽 ,知饥贪食。两日后又解结粪更畅 ,再以养胃调中而遂愈。

(案 獾) 孝廉叶卓卿乃祖梅坡翁病后调理膏滋方

孝廉叶卓卿乃祖梅坡翁 ,八十岁 ,甲午孟秋 ,大病之后调理 ,膏方附下并案。

大病将痊 ,脾阳未复 ,运化机迟 ,荣阴不滋 ,肠燥便闭 ,脉形虚软。补其中 ,调其荣 ,而气既充满 ,血亦流行 ,阴阳和而英华发 ,高年恙后 ,颇合时宜。

西党参三两 生黄芪一两半 ,盐水炒 焦冬术二两 茯苓一两半 制首乌三两 柏子仁二两 女贞子二两 茯神一两半 当归身一两半 酸枣仁一两半 ,炒 怀牛膝一两 ,蒸 杜仲一两半 ,炒 益智仁一两半 新会皮一两半 砂仁一两 炙草一两

上药十六味 ,如常法煎膏 ,候膏成 ,量加炼白蜜和匀 ,用磁器收贮 ,置井水盆内退火气一

宿。每晨空心服五六钱，隔汤炖服，如膏厚稍和滚水冲服。

(案猿) 塘口吴安吉腕痛八载奇效并附丸方

塘口吴安吉，年五十四岁，甲午八月初五诊。

腕中作痛，在于歧骨间（俗名人字骨下）迄今八载。迩来日渐作楚，食入不爽，有似于胀。每痛发于午后，早上犹可。病关足阳明胃，波及太阴，湿土气阻不舒，中州失运化之职，未免生湿成痰者有之，此痛之所由来也。还恐坤土弱而震木乘之，致令呕吐，酸黄苦水直涌而出也，预防云乎哉，况脉息奕小，左弦细，尤显有明征耶。

制香附三钱 研 良姜一钱 归身一钱 甘草四分 广木香七分 元胡索一钱半 醋炙 淡茺萸三分 山梔一钱 生

加阳春砂仁七分同煎。

服后未几，即觉腕中痛轻。次日再剂，痛有不觉之象。数年之疾，两剂渐平，病者钦服。

初七复诊：原方去归身、木香、元胡索三味，

加藿梗、乌药、蔻仁等。再进四剂，痛若失矣。继以调理丸方收功，方用“香砂六君子”加香附、良姜、建莲、归、芍、菟丝子等。共药十四味，筛磨极细，量用蒸饼打糊为丸。每服五钱，清晨滚水送下，或炒米汤送尤妙。

（案獠）南浔李心葵素善饮，夜间手足发热治验

南浔李心葵，年逾三旬，甲午季秋二日诊。

素好饮酒，阴亏体质。夜间手足发热，业已久矣，脉来虚濡乏力。防潮热骨蒸之变，亟宜退热为最。

大生地三钱 丹皮一钱半 炒 地骨皮一钱半  
归身一钱半 女贞子三钱 山药三钱 炒 炙甘草  
六分 茯苓一钱半 泽泻一钱半

加南枣两枚，去核。

服五剂，夜间发热减半。

复诊：原方去归身、炙草二味，加龟板、山萸肉等，服五六剂而全瘳。

（案獠）阮万资肺卫表疏，易于冒风治验  
阮万资，年近五旬。

脾土不舒 ,肺卫表疏 ,易于冒风。头额有时热而有时疼 ,鼻流清涕 ,胸脘易闷 ,食无味 ,口不干 ,脉右细奕。虽额热、头疼时有时无 ,合之脉象却无风寒食阻 ,究属内因 ,攸关脾土、肺卫 ,当护表和中之计。

生黄芪一钱半 防风一钱半 蔓荆子一钱半  
香附一钱半 半夏曲一钱半 藿梗一钱半 生姜渣五分  
甘草五分 砂仁七分 橘红一钱

服前方两帖 ,头额疼热俱平 ,人亦渐健 ,知饥尚不贪食。原方去蔓荆子、藿梗、橘红三味 ,加茯苓、生谷芽等 ,入萆澄茄三分同煎 ,服后食贪、神健而康。

(案猿) 葑门姚惠时脘痛经月 ,痛剧几危 救生治验

葑门姚惠时 ,年逾三旬 ,道光十四年季冬二十日诊。

脘痛经月 ,胃络大伤 ,还防血溢。舌苔中央淡黄泥浊边绛 ,痛剧伛偻难忍 ,朝轻夕重。药饵乱投 ,苦寒攻伐更非所宜。脉息沉细难寻 ,权拟温舒法 ,以冀转机。

制香附三钱 元胡索一钱半 ,盐水炒 荔枝核

四钱 炒研 良姜八分 九香虫一钱半 炙 制半夏一钱半 生山栀一钱 甘草四分 上肉桂四分 去粗皮 当归全一钱

上药十味用长流水煎服，据述灯前服药痛甚，至二更后渐减而能少睡，较之前日减可。

次日因溲便不利，原方去九香虫、半夏，加白芍、枳实二味同煎。再进一剂，据述灯后之痛大缓，较之两日前痛减半矣。舌苔中央泥浊呆白，宛如煮熟蛋白之色。此阳明胃土不醒，故食后腕中必闭闷作疼者为此。服后大便未畅，小溲渐长，舌苔之呆白转为黄色。知其胃土渐有醒豁之机，即于昨方中减白芍、枳实两味，加制首乌。服后稍疼可耐，至二鼓时亦不过如是，渐自睡着颇安，此时惟两胁稍有疼刺不爽之势。右腕之块日前大如鸡卵，两日间化小如桂圆核大矣，足征胃中之积滞缘痛减而自消矣。

复诊（十二月廿三日方）：

制首乌三钱 女贞子三钱 制香附三钱 炙 草五分 归身一钱半 薏苡仁五钱 炒 广木香六分 良姜一钱 上肉桂四分 去粗皮 生山栀一钱半

上药十味，用河水两盏煎至一盏服。服两剂而痛全止。再以益气和荣之剂，康复如常。

(案 獾) 镇江刘馨堂痧后余邪未楚几成  
痧劳奇验

镇江刘馨堂 ,年逾二旬 ,甲午十二月二十六  
日。

痧后二旬 ,余邪未楚 ,药饵乱投。咳嗽痰  
厚 ,咽嗌色红 ,上腭红点满布 ,声哑音低 ,咽唾觉  
痛 ,食减饮粥 ,脉右弦数。深虑痧劳之险 ,断断  
不可忽视。

蛤粉炒阿胶四钱 白花百合一两二钱 薏苡  
仁五钱 炒 叭哒杏仁三钱 去皮尖 经霜桑叶一钱半  
云茯苓一钱半 真款冬花三钱 蜜炙甘草五分

上药八味 ,煎好去渣 ,入白蜜三钱冲服。

服前方一剂 ,咳嗽顿缓 ,且廿余日未能进  
饭。服药后 ,午前即可进饭 ,夜仍进粥 极妥。

次日复诊 :原方去茯苓、桑叶 ,加元参、苏  
子、北沙参等 ,煎服三剂全愈。

(案 獾) 石门沈姓冒风寒热误作伏邪治  
之增重治验

石门沈姓 ,年未冠 ,甲午八月初旬。

似寒似热 ,医作伏邪治 ,一派寒凉之剂屡进  
无功 ,热终不解而仍兼寒凜之势 ,食减神倦 ,求

治于余。审证切脉，冲龄质弱，脉象浮软，似寒似热。外为风搏，内为热阻，防甚转疟，拟轻舒法。

老苏梗一钱半 防风皮一钱半 广藿梗一钱半  
猪苓一钱半 半夏曲一钱半 焦谷芽三钱 川木通  
一钱 陈皮一钱半 块滑石三钱

加生姜皮五分 藕一两。

服此一帖，午后未热，神气渐爽，足征非伏热也。再以二陈汤加苏梗、苡仁、砂仁、木通、生谷芽等九味煎服，两剂而瘳。

(案獯) 绍兴陆芦汀病后湿蕴坤土发为黄疸治验

绍兴陆芦汀，年十九岁，七月廿一诊。

病后中虚，湿蕴坤土，发为黄疸。身目俱黄，指甲亦然，色滞而晦，脉息软大、左弦，先从温中却湿治。

茅山术一钱炒 制厚朴一钱 秦艽二钱 猪  
苓一钱半 赤茯苓三钱 车前子一钱半炒 滑石三  
钱 甘草五分 陈皮一钱半 薏苡仁五钱

服三帖，口干稍喜饮，大小便不利，余如前。  
复诊：原方去滑石、甘草、陈皮三味，加茵

陈、干姜、木香等。服两帖，身目黄色俱稍减，小溲色黄退其半矣，胸腕亦渐松，大便仍秘。

复诊：

生冬术二钱 淡干姜八分 炒半夏曲一钱半  
葛根一钱半 秦艽二钱 当归一钱半 生姜皮七分  
滑石三钱 黑梔皮一钱半 车前子一钱半 炒生  
苡仁五钱

煎服四剂，面目、遍身及指甲之黄俱已退其半，溲出亦淡，夜食稍多则腹中不爽，足征脾土之不运耳。再以理中汤合四苓散，加半夏、查肉、砂仁壳、木香等，进四五剂而愈。

**（案源）** 陆碧恂虚鼓危症奇效，病者自误不终其用

陆碧恂，年四十七岁，甲午七月七日延诊。

虚鼓危症，由病后屡复，食饮不节，早啖荤味。脾土不运，更兼阳弱阴亏之躯。病后两月，于前月自足跗渐浮，而致腿足皆肿，按之成凹。日来大腹亦肿，拊之如鼓。小溲甚少，大便频解溏薄，日数次，每解腹中必痛，脾不运而成积滞。脉左虚弦，右软滑无力。鼓胀已成，荤腥不禁，最难调治。

方用厚朴、苡仁、木香、大腹皮、五谷虫、赤苓、车前子、滑石、查炭、陈皮、木通等十一味。煎服两帖，便泄稍减，解时腹痛大减，小溲渐有，两足小腿之浮肿亦缓，惟大腹之膨急、脐凸俱未减，如前。

复诊：

焦冬术二钱 薏苡仁五钱 木香一钱 茯苓三钱 大腹皮一钱半 五谷虫一钱半 广陈皮一钱半 木通一钱 块滑石三钱 山查肉三钱，炒 车前子二钱，炒

上药十一味，服如前妥。

复诊（七月初十方）：

焦冬术二钱 苡仁五钱 山查炭三钱 陈皮一钱半 半夏曲一钱半 木香一钱 赤茯苓三钱 乌药一钱半

上药八味，用河水一盞半煎至一半，去渣，送金匱肾气丸三钱。自服此方，觉便泄日松，粪多水少，周体活动温和，惟大腹之膨急、脐凸仍然。次日复诊用五皮饮加冬术、草薶、木香、益智仁等。以河水两盞煎至一半，去渣。仍用蜜丸金匱肾气丸三钱，药汤送。服后遍身适意，食饮稍增，两颧虚浮之势渐退，小腿虚肿拊之成凹

者按之亦渐起矣。更妙者,今日小溲可以先解,而不与大便齐至,足征清浊可以两途而行矣,据述自便泄后今始分利。

复诊(七月十二日方):

穹窿术一钱半 炒 薏苡仁五钱 炒 木香六分  
泽泻一钱半 生姜皮一钱 五加皮二钱 茯苓皮四  
钱 通草八分 鸡内金二钱 炙

上药九味煎好去渣,仍以金匱肾气丸三钱,药汤送下。服之是夜大便未解,至次日始解一次,非前之日解数次泥滞、腹疼可较,两足及大腹皮急俱松。原方再剂,甚妥。病者因其效速,胃口渐旺,日思可口之肴,多进食饮。余深嘱禁之、戒之,倘再复之,万无救焉。于是用附子理中汤加补骨脂、木香、陈皮、麦芽、石斛等,两剂诸恙如前安妥。惟大腹又有彭急不松之象,究关贪食之故耳,何不自量耶。

膨脝 腹胀也,古借用彭。注《正字通》。

十五日复诊:仍用昨方,略为加减以应之。病者尚思炖鸭及南腿,并云喜啖冬菜炒豆板等可否?余回其万不可食!伊人有含怒之意,诚所谓忠言逆耳也。次日仍求诊视,予直辞之,附案于下:

是鼓也，缘伤寒后不禁油腻、荤腥等物，致令病后屡复，甚至腿足皆肿，面目俱浮，大腹胀脐凸。渐自便泄日数行，而小溲全无，皆从大便中出，清浊同行。何至若斯，亦为任意恣食，纵啖无忌，而变症蜂起矣。鼓势已成，药投罔效，特求治于余。余细绎病情，合参证脉，知其脾土日惫，积滞丛生，湿气内蕴，水凌土位而肿满随之，此虚实相兼之鼓也。治当先以扶土却湿运滞，俾湿滞渐松，随证脉而消息之。不四五剂果然二便分利，肿势渐减，食饮渐增，皆得力于汤丸并进之功也。病者因其效速，渐自贪食，纵啖之故态依然。是日予至诊视，自云昨进腌蹄荤味，觉腹中稍不爽。今食豆板炒冬菜，素味甚美，竟啖其一小盏矣，予深恨之。次日告诊，据述昨夜腹中一夜不爽，且增膨急，足跗小腿益加坚硬，脉形弦急。予曰：“皆自取之也。”其人即于枕旁取出火炙糕与余云：“自后不拘食何物必须先请教，今就此糕到底吃得吃不得么！”观其色面红动怒，再与之言必反受其辱矣。录此以为纵啖自误者戒。

自此之后，十七日伊亲荐医，以针刺腿、腹出水，内进渗湿之剂，至十日而逝。此自作之

孽,无足深惜矣。

(案源) 孝廉华卓卿乃祖梅坡翁湿温挟利危症治验

孝廉华卓卿乃祖梅坡翁,甲午六月十八日延诊。

湿温挟利,身微热,舌泥苔白,表里俱病,业已数日。年届八旬,气荣两亏,深恐汗多涸津,拟和中退热为妥。

煨葛根一钱半 淡黄芩一钱半,炒 制半夏一钱半 赤苓三钱 白蔻仁六分 广藿梗一钱半 煨木香八分 甘草五分 山查肉三钱,炒 生谷芽四钱

加鲜荷叶一小个,托底煎药。

服前方,热势渐缓,午后稍增,夜安寐。利由泄泻而起,日夜数次。便时一响而溜出,色黄,并不腹痛。此湿阻也,以故小便短少,口不喜饮,舌中心淡黄边白也。自进昨方,夜间未解,次早解一次,少顷又解一次。服药颇属应手,惟高年脉来濡奕,究防变幻。

复诊(十九日)服后方一帖痢止,惟微热如昨,小溲渐长,大有转机也。

青蒿子一钱半 鲜藿香二钱 苡仁五钱 炒  
 赤苓三钱 猪苓一钱半 淡黄芩一钱半 炒 滑石三  
 钱 大麦仁三钱 炒 山查炭三钱 制半夏一钱半  
 川芎一钱 生姜渣一钱

加鲜荷叶一小个托底煎药。

药服颇宜，可再服两剂。于前方内去猪苓、  
 黄芩、川芎、姜渣四味，以荷梗易荷叶，加扁豆、  
 生谷芽等。服后早上头额并不觉热，至酉正微  
 热似烦，顷之肌肤潮润而身爽矣。

复诊（六月二十二日）利后虚热将停，惟舌  
 苔尚白泥，口不嗜饮，小溲少而赤，脘腹不舒。  
 素好浓茶，湿蕴不化所致也。亟宜祛湿和中，冀  
 其胀除溲利，舌苔之白泥渐化，自尔通泰矣。

穹窿术一钱 麻油拌炒 薏苡仁五钱 炒 白蔻  
 仁八分 研 赤苓三钱 大腹绒一钱半 炒查肉三钱  
 车前子一钱半 炒研 通草八分 砂仁壳一钱 半  
 夏曲一钱半

加藕一两同煎。

服此脘腹渐舒，小便赤减。最妙者，舌之白  
 泥苔顿觉化松。再剂，可吃饭盏许，午后仍饮  
 粥，大小便利。再以“六君子”加查炭、麦芽等调  
 中运食，又用养荣润燥之法佐之，缘素有肠燥脾

约故耳。

(案源) 曹士英冬感风寒,身热、舌白、骨疼、昏语治验

句容曹士英,十九岁,于十一月十一。

身热胸闷,舌苔腻白如粉,骨节疼痛,不饥不渴,体倦昏语,脉象细小。风寒内闭,食阻中焦。治宜温舒,得汗为妥。方用厚朴、豆豉、苏叶、桂枝、半夏曲、谷芽、查肉、赤苓、陈皮、生姜等,十味河水煎。服一剂,顷之觉烦,烦后汗出遍身,从此热退胸宽,继以和胃运食而安。

(案源) 李芳园淋症,溺疼、茎中作痒治验

李芳园,甲午七月。

患淋症廿余日,溲出兼疼,茎中带痒,大便秘结。旧有痔疾、脱肛。脉形弦数,按之不足。阴亏挟湿火,灯后浊甚,静则少,动则多,色带淡黄。拟益阴降火,佐升清降浊法。

大生地五钱 元武板五钱,炙 炙鳖甲三钱  
知母一钱半,秋石化水炒 川黄柏一钱半,盐水炒 川  
木通一钱 薏苡仁五钱,炒

上药七味，河水煎好去渣，送补中益气丸三钱。服两帖，浊少、溲出，茎中痛痒大减。照方再三剂，诸恙俱平，惟浊未净尽。用六味地黄汤去萸肉，加车前子、黄柏、线鱼鳔（以牡蛎粉同炒成珠）煎服遂愈。

（案源） 山东陶君怀求定丸方专解鸦片烟奇效

山东陶君怀。

于甲午四月下浣，特求定丸方专解鸦片烟饮。余于宋氏方中去半夏、红糖两味，加槟榔、白芫夷、乌梅肉等，并增减分量之多寡、甘草之制法，而又以百部膏之代蜜为丸。种种巧思，非精于医理者不能道只字。俱开列于下，诚积善之良方也，幸毋忽视。

人参三钱，如无，以高丽参一两代之，否则以西党参三两代之。使君子肉四两，切片烘脆研。鹤虱二两焙研。槟榔一两半，焙研。韭菜子二两，焙研。川贝母一两半，去心焙。大烟灰八钱，研细。生甘草五钱，猪胆汁须浸透，晒干。苏合香丸四丸，去外蜡壳。白芫夷一两，干面同炒黄。乌梅肉一两，焙。

上药十一味，各研极细筛和。用百部六两

煎浓膏代蜜为丸，如绿豆大。每次服一钱五分，或加至二钱。早晚二次，滚水送下。

再，每月初四日夜半，约在寅时初刻，用滚水送下二钱。服后如小腹微疼，不可即食糕点、米粥等物，必待其大便后看其桶内，果有虫物下，然后进食可也。照方修合，服后果然神奇，真是金针暗度之法欤——丙申五月竹亭老人再笔。

（案 源）乍浦沈云峤时气嗑痛误治，喉腐危症奇验

乍浦沈云峤六兄，甲午五月初十诊。

时气喉肿，身热两日。前延疡科治，溃脓后痛缓热平。今忽复热，喉腐未痊，由右移左。相火升而风痰上扰，舌苔泥白，中心淡黄，夜寐呓语，脉息濡小。法宜清舒退热，深恐变幻。

二原地四钱 元参三钱 僵蚕三钱 炙 贝母一钱半 去心 人中黄八分 薄荷六分 牛蒡子二钱，炒

煎好去渣，入白萝卜汁半酒杯，冲服。

外用家制红炉雪吹喉，颇妙。

进前方一剂，喉中之风痰顿平，疼痛立止，饮食下咽一无阻碍，快矣！快矣！

邻按：此方之妙，妙在僵蚕之治风化痰、散结行经之功。王贶云：“凡咽喉肿痛及喉痹，用僵蚕下咽立愈，无不效也，大能救人。”——《纲目》注

〔案源〕 上舍戴琴溪时邪内伏，身热、便溏几误治验

上舍戴琴溪，甲午四月二十六。

午后忽然身中先凛凛而后热，胸前气闷不爽，舌苔白泥，便溏，病得于夺精之后，自觉烦躁，脉息浮小，左手弦细，时邪内伏，阴亏之体最宜小心，俾邪由内达外，免其变幻。

制厚朴一钱 川郁金五分 磨冲 白蔻仁六分  
赤苓二钱 广藿梗一钱半 半夏曲一钱半 淡豆豉  
三钱 橘红一钱 山查炭三钱

服此，胸中气闷减半，身热未解。

复诊（二十七日方）：

姜厚朴一钱 川郁金五分 磨冲 白蔻仁六分  
薄荷六分 半夏曲一钱 牛蒡子二钱 炒 广藿梗  
一钱半 通草七分

加白萝卜汁半酒杯，冲。

服后，身有小汗，舌苔渐薄，便溏溲少，喉中

痰減。

復診(二十八日方):身熱未罷,仍宜舒表和里。

瓜蒌皮二錢 地骨皮一錢半 白薏仁六分  
橘紅一錢 廣藿梗一錢半 山查肉三錢 檳榔一錢  
甘草五分 半夏曲一錢

加郁金汁三分,沖,生姜汁一小匙,沖。

服此身熱減半,漸有轉機之兆也。

復診(二十九日方):時熱漸緩,喉痰漸少,咳減,夜少寐,不飢不納,亦不嗜飲,便仍溏,究宜退熱為最。方用生地、連翹、藿梗、薄荷梗、青蒿梗、蘇子、橘皮、桑葉、牛蒡子、沉香汁,磨沖。

服後,身熱減其大半,便溏已平。

復診(五月初一方):

小生地四錢 丹皮一錢半 炒地骨皮一錢半  
枳殼一錢半 瓜蒌仁三錢 元參三錢 藿梗一錢半  
甘草□□<sup>①</sup> 薄荷頭八分

加白萝卜汁半酒杯,沖。

服此,身熱退清,惟額熱未淨,再以西洋參、元參、瓜蒌仁、蘇子、甘草、萊菔子、生谷芽、桔梗

① 五分,原缺漏。

等。煎服后，知饥纳谷，诸恙向安，继以养胃和中而全愈。

(案 源) 山西荣成森脘腹胀异常治验  
山西荣成森，年四十八岁。

西人素好湿面，脘腹胀难忍，脉形沉细。寒与湿食交阻，时值八月廿有八日，更余延诊。当用香附、草蔻、半夏、莱菔、木香、枳壳、薤白、陈皮等，服后痛胀更剧。

复诊：脐腹上下痛胀甚剧，舌苔中心淡黄，小溲赤，大便三日未解，脉仍沉细。未便遽投攻伐，宜以温舒，以冀痛缓胀平为善。

姜厚朴一钱 淡干姜六分 淡茺萸四分 陈皮一钱半 乌药一钱半 枳壳一钱半 麦芽四钱 甘草五分 黑山栀一钱半 建神曲三钱

服此一帖，痛胀俱减其半，次日再剂更妥。九月初二日原方去厚朴、干姜、建曲，加广木香、赤苓，两剂而愈。

(案 源) 山西张日源脐腹作楚、腰痛、畏寒急症治验

山西张日源，壬辰九月初四。

脐腹作楚 ,腰疼畏寒 ,舌苔糙黄 ,业已五六日 ,亟宜散寒止痛。

藿豆皮二钱 独活二钱 老苏梗一钱半 砂仁一钱 半夏曲一钱半 白蔻仁一钱 淡茺萸四分 木香六分 大麦仁三钱 炒 枳壳一钱半

加青葱一大枝。

服此 ,腹痛、腰疼俱减其半 ,惟遍体痠软 ,舌苔糙黄。湿浊未净 ,温舒为宜。

初五日附方于下 :

独活一钱半 秦艽二钱 木香六分 陈皮一钱半 半夏曲一钱半 淡茺萸三分 杜仲三钱 炒 谷芽三钱 炒 草蔻仁一钱半 炒 莱菔子三钱 炒

加生姜两片。

服前方一剂 ,诸证全愈。药之效灵 ,快如桴鼓之应 ,妙矣 ! 妙矣 !

(案 瀾) 周北园风寒夹食 ,欲成滞下急症 奇验

周北园 ,海盐人 ,壬辰八月廿八诊。

风寒外束 ,食饮中停 ,兼挟湿阻。腹痛欲解不能 ,肛门紧逼有滞下之势。宜先舒表和里 ,方用苏、防、橘、半、查、苓、姜、葱、神曲、蔓荆、木

香、大腹皮等煎服，服后寒热渐退。

复诊：进昨方寒热退，舌苔泥，大便解之不爽，小溲亦然，皆积滞湿阻所致。当温理中焦，庶几积滞湿利，从重转轻为妥。

姜厚朴一钱 瓜蒌实三钱 薤白三钱 五谷虫一钱 炙 大腹皮一钱半 山查肉三钱 炒 桔梗一钱 生甘草五分 块滑石三钱 陈皮一钱半

服两帖，解出白冻成块且韧极，另有红积成堆。始觉渐松，自约十减六七。尚嫌里急后重，小腹稍疼。

复诊：原方去瓜蒌、大腹皮、滑石、甘草、陈皮等五味，加槟榔、枳实、当归、红曲、广木香等煎服。据述服一帖如前，次日再剂腹中大响，顷之泻出稀粪甚多，后出黄粪而止，始觉脘腹爽快，贪食、后重之势全止矣。

九月初四：用二陈汤加苡仁、扁豆、木香、砂仁、山查肉、鸡内金等调和脾胃，从此全愈。

(案缘) 乍浦沈星五风寒束肺，客途暴病治验

乍浦沈星五，年四十三，壬辰十二月初一。客途暴疾，风寒束肺，气逆畏冷，咳嗽痰稠，

舌苔白泥如粉，脉象浮紧。素有吐血症，内虚之躯不可藐视。

苏叶一钱半 防风一钱半 桂枝一钱 杏仁三钱 橘红一钱 赤苓三钱 甘草六分 查肉三钱 炒前胡一钱半

加生姜一片、葱一小枝。

服后，咳嗽、畏寒俱减，舌苔渐退，稍可进粥。次日原方去苏叶、桂枝，加制半夏、莱菔子等。再剂，邪退咳平而痊。

(案 纒) 山西李正居淋症，溲出尿管如针刺治验

山西平遥李正居，癸巳三月初三诊。

溲出痛如针刺，淋症初起，脉息弦数。败精留阻，舒通为最。

川萆薢三钱 山萸核一钱半 木通一钱半 猪苓一钱半 赤茯苓三钱 瞿麦一钱半 泽泻一钱半 菖蒲六分 甘草梢八分

加藕一两半。

服后，溲出痛刺大减，败精较前更多。是方之用山萸核佐之者，非无意也。次日原方去山萸核、菖蒲二味，加细生地、小青皮等，两帖而

痊安。

(案纒) 王省斋翁次郎雅堂时邪转为胎疔奇效并论 (附竹亭自制松胡白蜜煎)

王省斋翁四令郎雅堂,甲午五月十八日诊。时邪六日,身热忽辍忽作,却非壮热。胸脘稍闷,微咳,纳粥,舌苔中心淡黄。年将冠,主家有夹阴之疑,医者有湿温阴虚之虑。四肢清凉,而以四逆散加葛根、芩、连、栀、豉、茅根等,服之不应。又云阴虚之体,防邪热内陷等语。总之,不识病情,妄闻主家之言而附和之,殊属可笑。又投以清凉退热之剂,仍然寒凛而后热。又云肤中隐隐红点,犹恐邪陷。主家仓皇,特延余诊。细绎病象,证于是月十三日夜在堂饮酒啖荤而归,当晚觉身中凛凛而后热,热亦不盛,脉形弦细小数。感冒时疫所致,非湿温症也。经曰暑湿相搏,名曰湿温,是谓贼邪。至于脉象,必“阳濡而弱,阴小而急”,方是暑气蒸湿也。就色脉详谛,宜舒表和里转疔为妥,不可概以湿温论。况小暑未至,何来湿温。业医者,不宗《内经》、《伤寒》,开口便错,误人匪浅。方用厚朴、豆豉、杏仁、桔梗、牛蒡、赤苓、查肉、橘红等。未

服之前,先凜凜而寒,四肢厥逆,后复热得汗渐松,方服前药,夜间安逸。次日延诊,热缓,诸恙减可,仍宜表里并调,前方损益之,服之颇安。

复诊(五月二十日胎疟间发初次):申初先凜凜而后热,未几汗出热退如平人。即此观之,脉象弦细。时疫之邪,本伏膜原半表半里之间,今渐转为时疟,益信予之前言不爽也。

广藿梗一钱半 制半夏一钱半 青蒿子一钱半  
赤苓三钱 淡黄芩一钱半 生甘草五分 陈皮□□  
枳壳一钱半 山楂肉三钱 炒 大麦仁三钱 炒

加姜皮五分、松萝茶二分。

服后安妥如前,次日原方略为增减。

复诊(二十二日临期二次):申前先寒后热,申后诊视热尚未退。时疟发于间日,寒热俱轻,人亦清爽。第系胎疟初发,厚味、湿面宜忌,不可忽视。方用二陈汤加川石斛、藿梗、查炭、通草、黑山栀等,加姜、枣同煎服。

二十三日,照方再帖。

复诊(二十四日临期三次)胎疟间发,今日临期于巳时,寒约半香之久,渐热至申时稍缓,灯前退清。是日汗出过多,身背细点隐隐。主家因昨兼咳嗽,疑为痧疹。灯后予至,细审非

是。因天气过热，此热也，凉风一至即退，无足虑。如此类者，医人不识，轻信旁言，竟作疹治，谁之咎欤。仍宜和解，以冀疟邪渐退耳。

鳖血炒柴胡一钱 制半夏一钱半 黄芩一钱半 炒 滑石三钱 地骨皮一钱半 山查肉三钱 炒 青皮一钱 苏子一钱半 炒 白杏仁三钱整

加生姜皮五分、藕一两半。

服后一夜安妥，惟兼咳呛，便溏，不戒荤味故耳。

复诊：前方略为加减，再剂服之甚妙。二十五日

复诊（二十六日临期四次）：间疟临期，已初寒，不一刻即热，至未末热渐衰。今日寒热俱轻，惟干咳无痰，兼治之。

青蒿子一钱半 生鳖甲三钱 黄芩一钱半 炒 苏子一钱半 炒勿研 瓜蒌仁三钱 小青皮一钱 甘草四分 杏仁二钱整 赤茯苓三钱

加老枇杷叶三钱，拭去毛，蜜水炙。

复诊（二十八日临期五次）：胎疟日渐转轻，发于巳初二刻，未几即热，至未初渐衰。舌苔渐退，胃土渐和，食饮喜进。所嫌者，干咳无痰，夜甚于昼。今日疟发临期，肺气逆而清肃之令不

降,兼而治之。方用桑叶、款冬、茯苓、苏子、川贝、瓜蒌仁、莱菔子、甘草、蛤壳等。服之症止、咳缓。停药数日,自觉心惕、头眩、夜寐不宁、咳呛无痰。总缘症后食无节制,水果不禁,所以干咳无痰而缠绵不已也。议养阴润燥法,以生地、沙参、石斛、归身、女贞、苡仁、茯神、茯苓、甘草等煎服。外用竹亭自制松胡白蜜煎。每晨、午后或晚间临卧前,各用二三钱,以滚水半盏化服。此止嗽、润燥、生津、化痰之妙方也。余素喜吃水烟,致成咳嗽痰多,服之神妙,为此已戒烟久矣。

松子肉四两,去衣 胡桃肉四两,不去皮,须用紫者尤妙

两味同捣极烂如粉,用白蜜二两放铜勺内煎二三沸,即和匀前膏内。每服二三钱,食后滚水点服。予即以此方与雅堂世兄服之,未几咳嗽顿减,痰亦易出,不日而收全功矣。书云:古人制一方而可活千万人之病,余于是方亦然。

(案缘) 平湖进士杨莘香先生冒风挟湿夹食治验

平湖进士杨莘香先生,甲午五月二十五日。

身微热,舌苔白,脉象浮濡细小。外为风邪所搏,内为湿食交阻,此腹痛水泻之所由来耶。

姜厚朴一钱 制半夏一钱半 藿梗一钱半 陈皮一钱半 白蔻仁七分 山楂肉三钱 木香七分 甘草五分 薏苡仁五钱,炒

加生姜一钱,拍碎同煎。

服后,热退泻止。数日后因便溏腹疼兼咳延诊,用沙参、冬、术、扁豆、煨木香、益智仁、巴旦杏、炙草、茯苓等,服四剂而痊。

六月初十复延诊治:便溏将平,食入不运。年近古稀,坤土弱而坎阳不足以生之。脉息虚奕,咳呛痰少。先理脾肺,再为善后之谋。

西党参三钱 山药三钱,炒 白扁豆三钱,炒 百合三钱 款冬花二钱 茯苓一钱半 巴旦杏三钱,去皮尖 炙草六分 益智仁一钱半

加老枇杷叶三大片,去毛炙。

进方五六剂,便秘,咳渐平。复诊原方加减,调理全愈。

月余后,因不饥纳少,脉右软尺弱。议火土并治法,服后方数帖,始平复如常矣。

西党参三钱 补骨脂一钱半,炒 煨肉果八分 玉竹四钱 大熟地五钱,砂仁五分同捣 益智仁一钱,

研 五味子四分,研 陈皮一钱 炙甘草五分 云  
茯苓一钱半

上药十味,河水两盏煎至一盏服。

(案缘) 方执衡由水泻而转红白利危症  
奇验

方执衡,歙县,甲申七月十二诊。

水泻四五日,昨转红白痢,日夜数十次。暑  
湿下注,由泄泻而转痢,脾传肾,此贼也。舌苔  
腻滞淡白,知饥能纳。治宜舒通,通则不痛也。

香薷一钱 苡仁四钱,炒 神曲三钱,炒 薤白  
三钱 木香八分 桔梗一钱 枳壳一钱半 滑石三  
钱 赤苓三钱 甘草六分

加红曲三钱。

复诊:服昨方,仍然腹痛即痢如前,色兼红  
白。十三日方:

淡豆豉三钱 草薹仁一钱半,炒 木香一钱  
桔梗一钱 制大黄一钱半 山楂肉三钱,炒 神曲  
三钱,炒 藿香一钱半 五谷虫二钱,炙 六一散三钱  
加红、白扁豆花各十朵。

进此方,腹痛减,坠在肛门,里急后重,日夜  
六十余次,红白相兼,小溲赤,能纳粥,身不热,

舌苔泥厚，胸脘闷，仍宜舒通。

十四日：用豆豉、槟榔、红曲、桔梗、厚朴、查炭、生大黄一钱，五谷虫二钱，木香一钱，神曲、甘草、芍药等十二味，加红、白扁豆花各十二朵同煎。服之痢减其半，自辰至午未利，而舌苔之浊泥、厚垢仍未一减，究属险候。

复诊（十五日方）：

姜厚朴一钱半 条芩一钱半 炒 制半夏一钱半  
木香一钱 薤白三钱 红曲三钱 山查肉三钱 炒  
神曲三钱 炒 枳壳一钱半 桔梗一钱半 赤芍药一钱半 炒  
陈皮一钱半 五谷虫二钱 炙 煨葛根一钱半

加红、白扁豆花如前。

上药用河水四饭碗煎至两碗，去渣，分两次服。服后里急后重之势顿止，积减其半，神疲稍健，惟舌苔厚浊未化，食亦未贪。次日原方再剂，积又减。

十七日：用藿香、半夏、石斛、查炭、槟榔、桔梗、赤苓、条芩、大腹皮、苡仁、木香、五谷虫等十二味。煎服后，积止痛平，舌苔渐化，从此知饥进食，再以养胃调脾之剂而痊可。

(案缘) 王殿占暑湿夹食成症泄泻治验  
王殿占,壬辰七月十八。

暑湿夹食成症,寒热俱长,间日一发,舌苔白泥,得食即呕,胸闷且热,兼之泄泻,脉形弦细,耐性调治。

香薷一钱半 前胡一钱半 姜半夏一钱半 陈皮一钱半 白蔻仁五分 藿香一钱半 赤茯苓三钱 麦芽三钱,炒 六神曲三钱,炒 枳壳一钱半

加鲜荷叶三钱。

是日临期,寒热稍缓,其余如前。

复诊:

淡豆豉三钱 土藿香二钱 半夏曲一钱 陈皮一钱半 枳壳一钱半 泽泻一钱半 瓜蒌皮二钱 滑石三钱 黄芩一钱半,炒 赤苓三钱 山楂肉三钱,炒

服两帖,症止泻停,再以和胃调中而痊。

(案缘) 胡步佳身热、耳聋、胸闷、泄泻治验

徽歙胡步佳,年二十五岁,道光癸未六月廿一诊。

身热头疼,耳聋,舌苔糙泥,胸闷溲赤,乃暑

热内蕴，泄泻日数次。病起一候，速宜退热，不可忽视。用鲜荷叶、香菇、防风、薄荷、葛根、泽泻、赤苓、猪苓、滑石、楂肉、藿香等十一味煎服，热势稍缓，泄泻渐减，小溲渐多，耳聋亦减。

复诊：

葛根二钱 鲜藿香二钱 黄芩一钱半，炒 赤苓三钱 煨木香六分 猪苓一钱半 泽泻一钱半 陈皮一钱半

加荷叶一小个，托底煎。

服此，身热退其大半，泄泻渐止，其余渐平，再以石斛、藿香、砂仁、通草、苡仁、扁豆、瓜蒌皮等七味，合二陈汤煎服，诸恙向安矣。

（案缘）山西陈良甫身热、胸闷、腹痛、呕吐蛔虫治验

山西介休陈良甫，癸未五月下浣。

身热，胸闷，腹痛，呕吐蛔虫。舌苔白泥，脉息沉紧。气闭受寒，温舒为宜，以苏梗、厚朴、防风、姜半夏、橘皮、白蔻仁、赤苓、枳壳、莱菔子、开口川椒、木香等十一味。煎服后，身热渐退，呕平痛缓，胸闷顿松，舌之泥白渐转淡黄薄苔。

次日：原方去苏、防、朴、椒四味，加谷芽、滑石、甘草等，再剂而愈。

（案缘）山西党达顺胸脘得食即胀且疼等症奇效

山西党达顺，年五十八岁，甲申十月初八诊。

胸脘气闷，得食即胀，悠悠而疼，波及左胁腰腿，兼之块攻，舌苔白泥，口不喜饮，小溲色赤，脉象沉迟，两尺浮奕。病经廿余日，医以旋覆花汤加新绛葱管，不应，又以温中、通气、消食等药数帖，亦不应，因求治于余。余细绎病情，脾土不运，肝肾有亏，先以扶脾温中，再为之计。于是以温中却湿等药治之，罔效。后用香砂六君法，午前服之，临卧前再以桂附八味丸二钱，滚水送。自进此丸之后，当夜腹中稍松，并不胀闷。西人性好啖面食，因其胀宽而多进之，腹中又有反复不舒之象。仍以“香砂六君”，加熟地、归、芍等养阴。服之非但胀平，且痛与块皆从斯而散矣。

（案缘）门人曹晓峰乃尊伯侯兄痛痹复

## 发治验

门人山西介休曹晓峰乃尊伯侯翁，甲申仲冬下浣。

痛痹复发，自不节食所致。上部肩背手臂俱已不痛，惟右腿膝壅滞不能下行，脉来细奕小滑。湿痰阻络，温舒为宜。

制香附三钱 川附子八分 淡 半夏曲一钱半  
木瓜一钱半 丝瓜络三钱 酒炒 怀牛膝一钱半 薏  
苡仁五钱 炒 防己一钱半 炙甘草八分 当归二钱  
松树节三钱 陈皮一钱半

加黄松节，即茯神心木三钱、杉木节三钱。

服后气顿下行，诸恙若失，竟可步行，快矣！快矣！

(案 迺) 王省斋翁歧骨间痛复发危症治验两案并论

山阴王省斋翁，年七十一岁，乙未二月十五日诊。

住居三吴，自浙回苏，河中舟底漏水甚急，惊吓异常，引动旧恙痛症。归家未几，朝轻夕重，宛如刀刺，在于人字骨下，即歧骨间也。太阴、少阴所居之地，久痛非宜，还恐见血。脉息

沉迟,不可忽视。先以调气和荣,佐以温舒为稳。

川郁金五分,冲滚水磨 紫沉香七分,切片 上肉桂六分,去粗皮 良姜七分 九香虫一钱半,炒 炙甘草五分 黑山栀一钱五分

上方灯后煎服,少顷痛顿减半,再剂痛止。

又二月十八日痛症有年,惟今发之最剧,连日心嘈易饥,得食渐平。年高脉弱,中气久虚,当益气和中,肺胃并治,兼养心荣为最耳。

人参五分,冲,另煎 肉桂六分,去粗皮 茯神三钱 沉香三分,磨冲 金石斛五钱 炙草五分 黑山栀一钱 南枣三钱,去核

自服参剂八帖,气短心嘈渐平,食饮渐贪,精神稍健。停药数日,兼之劳心,于三月初八日歧骨间痛又复发,夜甚于昼。气荣交阻,脉象沉滞,权拟温舒,再为之计。

上肉桂六分,去粗皮 制香附二钱 良姜一钱 炙甘草五分 元胡索一钱半 醋炙 黑山栀一钱五分 加荔枝核四钱,打碎炒。

服前方一帖,少顷痛势立缓,一夜安逸。次日原方再剂,安妥如前。

十一日诊:仍以前方略为增减,再二剂。连

日痛固未发 ,而精神食饮亦觉渐健。是痛得肉桂而止者居多 ,前方可鉴。痛停之后 ,偶啖酸咸之味舌心染黑 ,而反疑肉桂之热。或口唇起一二小点如芥子大者 ,亦云肉桂之过。再或阴头潮湿 ,夜半多梦 ,又疑为肉桂之助火 ,而防有泄精之虞。如斯妙方 ,伸手<sup>①</sup>活人 ,而反招浮议 ,同道中伤 ,致令病家狐疑。然而返之吾心 ,固无愧也。倘畏避嫌疑 ,而以此等痛症再付诸庸劣之手 ,则必无生理矣 ,岂不悲哉。

按 :先哲云 ,以温补而治痛者 ,古人非不多也 ,惟近代薛立斋、汪石山辈尤得之。又云明似丹溪而亦曰诸痛不可补气 ,局人意见岂良法哉。

痛症之不可补气者亦有之 ,必谓诸痛不可补气未免过执矣。

余案中所论痛症治验甚伙 ,亦非概以温补为法也。医贵灵机活变 ,切脉审证无拘拘于板法 ,庶几尽之矣。细阅便悉 ,兹不再赘。丙申六月二十三日竹亭老人再笔于遗安堂之有竹居。

### 〔附案〕

王省斋翁 ,五月初九日诊。

① 伸手 :形容快捷容易。

痛症未发，体倦乏力。气荣并调，则精神健而步履轻强。

潞党参三钱 大熟地五钱 山药三钱，炒 陈皮一钱半 归身一钱半 川续断一钱半 杜仲三钱，炒 茯神三钱

加阳春砂仁三分，研细冲。

服十帖颇安。

又，自服前方之后，惟祈仙方以应之，兼多烦劳操心，饥饱失时，忽于乙未十一月二十三日旧恙痛症复发，仍起于歧骨间，昼轻夜重，痛剧则呕吐酸黄水，甚至臭汁黑水，皆从胃底泛来，致令气逆呃忒而无已也。脉息沉滞，左弦乏力。病关心荣肺胃，而兼肝胃者有之，议仲景和法治之。

姜半夏一钱半 淡茱萸三分 川黄连四分，姜汁炒 沉香四分 上肉桂心四分 制香附二钱 化橘红八分

加母丁香五只、柿蒂四只。

服此，痛缓呃减，至天晓大减，呃止，呕吐亦停。举家感激，颇为合宜。

二十四日：仍于昨方中加夜交藤、茯神等同煎。

又,十一月二十五日:天明,呃逆一二声即止,心窝疼缓,自觉腕中郁郁不爽,大便秘结,胃口不开,舌苔泥白糙刺。用二陈汤合“左金”法,加沉香、丁香、柿蒂等煎服。至夜半痛又至,复呕酸黑水一大盏,幸未呃逆。色脉合参,再痛防其厥脱,议代赭旋覆汤法,以冀转机。二十六日方附下:

人参须一钱,另煎冲 旋覆花三钱,绢包扎 制  
半夏一钱半 姜渣一钱 代赭石三钱,煅,醋淬 九  
香虫一钱半,炒 橘皮一钱

加香谷芽四钱、大南枣两枚,去核。

服后,夜间痛缓可耐,呕酸渐止,进粥三次。

又,十一月二十七日夜诊:即前方去谷芽、南枣两味,加醋炙元胡索、荔枝核等煎服。痛减,因进烂饭有时小疼,胃口稍健,神识渐清。第易于动怒劳神,高年脉弱,左弦急,与呕痛、呃逆等症最不相宜。岂可因小愈即下楼管理家务,与亲友操心代劳。不思谋虑决断、曲运神机、多言事冗,皆伤心、脾、肝、肾,而一身之气总统乎肺也。以故发则痛呕并至,岂非心与脾也;味酸色黑,岂非肝与肾也;剧则气逆且呃,岂非肺气之虚也。理宜竭力图维,犹嫌鞭长莫及,岂

可藐视之乎。

又,十二月初一日:前进代赭旋覆汤出入,心窝痛又平,大小便通利,夜寐不适。宜养心荣,佐以舒中为稳。

人参须一钱,另煎,冲 归身一钱半 柏子仁三钱 陈皮一钱 九香虫一钱半,炒 茯神三钱 炒枣仁二钱 运志一钱,炒 车前子一钱半,炒

是方尚未煎好,忽又痛发,甚至呕吐酸水难以进药,俟至初二日天晓服药。服后渐自痛缓,神疲怕烦,是晚戌初延诊。

人参六分,另煎,冲 炒枯冬术一钱 湖莲肉三钱,去心 沉香三分 上肉桂六分,去粗皮 淡茺萸三分 旋覆花二钱,生绢包扎 茯苓一钱半 代赭石三钱,煅红醋淬

加荔枝核三钱(打碎炒),九香虫一钱半(炒)。服此渐自平和,痛止呕平,食饮稍增,睡卧渐安,自有向安之机也。

痛疾有年,屡止屡发,前论颇明,无再赘矣。要之静养调摄,无烦劳,戒多语,俾食饮贪,精神健,即可冀其痛疾之常平,况平素脉带阴象,岂非永年之基也,勿自误之。

## (案选) 溧阳医者吴春田颧疽治案并论

溧阳医者吴春田,年五十六岁,道光元年辛巳十一月初二。病原附后:

先生溧阳名医也,远近慕之,乡宦有疾问治于先生者居多。忽于左颧生一小颗,不疼不痒,无足介意,由渐而大。始也自医,继也告诊于疡科。外敷、内服毫无一效,而反坚硬不移。千方百计,越治越大,大如鸡卵。斯时有外县请诊于先生者,概弗克往,朝夕踌躇。适遇伊同乡金子竹溪兄,特荐治于余。予证脉合参,知其用心过度,更兼色欲无禁,好啖厚味,此脉之所以软弱细小,尺按之如绵也,此就脉而言之也。再视其外形,坚如铁石,推之不移。知其厚味之毒乘虚而盘踞于颧骨之间,更兼舟车,更深夜半,不辞劳苦,寒气又乘虚而侵其骨,以故根深外坚而成骨疽之名。延绵十月之久,最不易治,况年逾半百,若斯伤精耗气之躯,尤难之难矣。盖早为之尚有法焉,迟矣!迟矣!方案列下以俟自裁。

脉右虚奕,左脉细小,尺按之如绵。左颧漫肿,坚如铁石。病经十月,牙关难开。攸关心脾,波及肝肾,精血久亏,寒侵于骨,骨疽之征也。病由内生,所谓“有诸内而形诸外也”。不

此之求，而妄作外症治，恐溃后难以痊可，必得调其荣卫而侑以外灸之法，正合外内之道也。

此等大症最宜内托外灸，早见早灸，百无一失。予医案中所注治验非一，细阅便悉。

《内经》所谓“荣卫不和，乃生痈肿”，“膏粱之变，足生大疔”，其斯之谓欤。加意图维，犹嫌鞭长莫及。

足生大疔。足，能也。疔，疽也。

西党参五钱 大有芪三钱 制首乌五钱 当归一钱半 鹿角霜一钱半 元武板三钱，炙 甘草人中黄一钱 赤芍一钱半 小青皮一钱

加猪颧骨引经妙法三两，炙热，用乳香一钱半以蜜水调匀涂上，炙至骨黄脆为率，打碎用。河水三盏煎至两盏，再入药同煎至一盏服。

春兄见余所定方案，深为钦服。备药数剂，舟中制服。回里特取盘费，来苏借寓医治。及回乡，延诊者甚伙，自己愈加郁怒劳神，神思恍惚，食减心烦，牙关愈紧，食物更觉不爽。因自叹其不能来苏之苦，并与竹溪云：“予自行道以来，江浙两省遇有道者曾经多人，第未见才学有如是者，医之良者也，可谓江浙中之有名人也。惜乎予病深沉，知遇之迟莫非数也。”来春竹溪

兄至舍而述之，余再笔而识之。

(案 通) 徽歙汪信安脐腹绞痛危症立救奇验

徽歙汪信安，年四十七岁。

素体肥胖多痰，于乙未八月二十八日痛症复发，脐腹绞痛，叫呼难忍，迄今三四日。据述服桂附八味丸及脾约丸俱不应，痛如故，危急极矣，特求治于余。予细绎病情，合参色脉，舌苔泥白如粉，脉象沉紧，痛无宁刻。此寒与气食交凝，大便闭塞，痛剧防厥，未可藐视。拟温舒法，用香附、干姜、淡附子、木香、沉香、乌药、淡茺萸、元胡索、荔枝核等九味，河水煎。服后少顷，腹中上下奔走，至胃底而复上。自觉肛门塞紧，便秘不能解。是以下部不通，而脐腹之痛不止也。

又，八月二十九日：仿叔微温下法而变易之，所谓活法在人，无拘拘于成方也。

制香附三钱 淡附子一钱 淡干姜七分 大黄一钱 广陈皮一钱半 炙甘草六分 元明粉一钱半，研冲

上药六味，用河水一盞半煎至一半，去渣入

元明粉冲服。

服后未几，即大便一次，先结后微溏，顷之痛减七八，即可进粥，据述两次，饮其四盏，予嫌其太多。

又，申刻诊：痛已大减，较之辰时初诊伛偻剧痛之势大相远矣。第脉形尚滞，舌白如前，大便通而余滞未尽。此际宜和其中，佐以舒涤肠滞为最。且食宜少进，庶无变幻之虞矣。于是以生谷芽、苡仁、木香、砂仁壳、大腹绒、薤白、鸡内金等七味煎服。服后妥甚，又解粘腻粪两次，贪食，但舌白泥未转，胃土之津未复，食饮究宜节制。

又，八月三十诊：痛势已停，脾土尚壅，胃气未和，舌苔仍白，惟养胃、醒脾、舒中与病不悖。自来痛症最怕食复、劳复，世所共闻，非臆说也。

建莲肉五钱，去心 杜芡实四钱 南枣五钱，去核  
金石斛四钱 沉香三分 滚水磨冲 陈粳米五钱，生绢袋扎，煎好米倒河内

上药六味，河水两盏煎至一盏，去渣，入桂花露一两，再一滚服。服后解大便一次，甚畅。进锅焦心粥，颇为适意，舌之色白渐转淡红。

又进前方颇宜，仍于前方加减，调和坤土。

四五日来 ,精神渐健 ,有时腹中稍有疼刺 ,得食即安。舌苔已退 ,脉象虚奕无力。议用异功散加玉竹、归身、枣仁、南枣等以调心脾 ,则坤土和而夜寐安。

又 ,丸方 :因于九月望前回里 ,特制丸剂调理。

西党参六两 生黄芪三两 防风二两 归身二两 於白术二两 ,土炒 云茯苓二两 陈皮二两 木瓜二两 炙甘草一两半 草薹仁二两 ,炒 续断二两 ,炒 木香一两半 杜仲三两 ,炒 山查肉四两 ,炒 麦芽三两 ,炒

上为细末 ,用蒸饼打糊为丸 ,如桐子大。每服五钱 ,清晨滚水送 ,或陈皮泡汤送亦可。

又 ,平常所食蒸糕方后药计五十一两 ,再加炒糯米粉五十两 :

建莲肉八两 ,炒 杜芡实八两 ,炒 白扁豆八两 ,炒 胡桃肉八两 捣 黑芝麻五两 ,炒 山查肉四两 ,炒 六神曲五两 ,炒 阳春砂仁三两 ,不经火 新会皮二两

上药共九味 ,内除桃肉、砂仁二味勿经火 ,其余七味皆照方焙黄 ,研细筛粉 ,再加炒黄糯米粉五十两和匀前九味内 ,量加洁白糖搜和粉内 ,

不可过甜。蒸糕切片烘脆,如茶食店中之火炙糕是也,嘱伊行之为妥。

(案 选) 戈心梅肠红屡发治验

戈心梅,年五十九岁,道光乙未八月廿七日诊。

素有肠红,操劳多步,或贪凉饮冷,则便血频下,色带鲜红,幸饮食睡卧如常。脉象虚奕,左关弦细。此脾阳不运,肝阴有亏。先理坤元,再为之计。

生黄芪三钱 焦冬术一钱半 丹参三钱 防风一钱半 陈棕灰一钱半 淡茺萸四分 炒黑归身一钱 干姜七分 炒 炒黑荷叶一钱半

河水煎好去渣,入砂仁末三分,冲。

服三剂,肠红已止,昨步行劳力亦无血下。

复诊:前方减姜、萸、棕、荷四味,加党参、苡仁、白芍、炙草等,加蜜炙升麻三分,煎服四五剂而康。

(案 选) 汀州傅上镛吐血论治奇验并收功丸方

汀州傅上镛,年二十三岁,乙未闰六月廿八

日延诊。

病原：吐血起自去秋八月初旬，忽吐血几口，当即停止。直至今夏前六月下浣，忽又吐血，连吐旬日，每约吐五六口，一日共约杯许。延钟先生治，以凉血清火法，服之不应。更方三次，尤觉血增，胸中不爽，呛咳口甜，因问治于余。

案云：血吐数日，两关弦数，肝火冲胃。经云：“阳络伤则血上溢。”病关肝胃，再吐非宜，亟于静养调治，免其再吐。况值盛夏，溽暑方殷，引动相火，尤非所宜，拟引血归经法。

参三七一钱 藕汁磨冲 丹参四钱 丹皮一钱半，  
炒 贝母二钱，去心 旱莲草三钱 藕节七枚 生  
蛤壳六钱 陈棕三钱，炒黑存性 怀牛膝一钱半 血  
余六分 冲

加元武板一两，炙，河水三盏先煎，煎至两盏，入后药再煎至一盏服。

服一剂，咳血、气逆俱稍减。原方再剂，血未吐，咳呛亦缓。

又咳血虽止，脉仍弦数，究宜静养为最。

北沙参四钱 元参三钱 参三七五分 如前磨冲  
紫菀三钱 川石斛五钱 麦冬一钱半，去心 巴旦

杏三钱,去皮尖 苏子一钱半,炒 水炙草五分 侧柏叶四钱,炙

加元武板一两,炙,如前法煎。

又,昨日痰中咳血一点,如瓜子大,幸食饮渐贫。

制西洋参一钱半 山药三钱,炒 建莲肉五钱,去心 茜草一钱 女贞子四钱 侧柏叶四钱,炙 人中白八分 陈皮一钱 炙甘草五分 云茯苓一钱半

加参三七五分,藕汁磨冲。

服后血平。

又,闰六月十四日立秋诊:

右脉软,左寸虚、关弦、尺浮小数。肺胃虚而肾水不足,相火易升,此吐血之所由来耶。

北沙参三钱 中生地四钱 百合四钱 元参三钱 桑白皮一钱半 炙鳖甲三钱 蛤壳八钱 山药三钱,炒 人中白八分 炙甘草五分

加血余灰六分,冲。

又,连进益阴法,血停有日,左关弦硬渐平。中宫坤土未健,油泥大荤究不宜进。宜以调中养胃之剂,俾坤土得令,再为善后之谋。

玉竹四钱 扁豆四钱,炒 川石斛四钱 茯苓

一钱半 木香四分 建莲四钱,去心 炙甘草五分  
砂仁壳八分

加鸡内金一钱五分,炙脆。

服五帖,神健食贪。原方去鸡内金,加白花百合二两,用河水三盏煎至两盏,去百合,煎药一盏服。再五帖,更妥。

又,仍拟脾肺并治,再调肝肾之阴,是为上策。

潞党参二钱 薏苡仁五钱,炒 山药三钱,炒  
芡实三钱 天门冬一钱半,去心 酸枣仁一钱半,炒  
茯苓一钱半 陈皮一钱,炒 当归身一钱,炒

用白花百合二两,如前法。

又,前方进五剂,甚妥。惟大便忽结忽溏,为不能戒油泥大荤耳。每每病将小愈,口味不节而致病复者,皆自误之也。方用五味异功散加首乌、女贞、归身、芡实、枣仁、柏子仁霜、大南枣一枚,去核,内填益智仁末二分,线扎同煎。

又,进前方,便溏日减,昨只一次,仍用五味异功散加扁豆、苡仁、山药、女贞、枸杞、广木香等十一味,仍以大南枣一枚照前同煎,服之大便渐结。

又,益气以保肺胃,调荣以养心脾,俾氤氲

之气得以融和 ,再为良图。

绵黄芪一钱 ,盐水炒 西党参三钱 建莲肉四钱 茯神三钱 益智仁一钱 柏子仁一钱半 ,去油 煨木香七分 归身八分 ,炒 炙甘草七分 淮山药三钱 ,炒 大南枣两枚 ,去核

是方服四五剂 ,饮食渐自复原 ,睡卧亦安。惟易怒心嘈 ,偶有呛咳不宁 ,而稍知其口干舌燥也。即此观之 ,虽非紧要 ,而究其源 ,实亦五藏之不足耳。静养调摄 ,食饮节制 ,毋贪厚味 ,庶乎渐安。

又 ,昨辰诊脉左关弦硬 ,相火上炎 ,防吐血复发。至夜果然胸膈热闷、喉痒 ,忽吐血一口 ,随又痰中带一二口。今日肝脉反不过弦 ,而按之不静 ,犹恐再吐。自前吐血迄今 ,约有二十四五日未吐。已后咳呛、便溏 ,脾肺并治 ,食增泻平 ,皆得于用药之权衡也。细审之 ,其中有不相宜处在于日贪肥甘厚味 ,朝夕必啖肉食 ,未免生湿成痰 ,而脾胃弗克健旺者有之。古人云 :“宁食淡茹蔬 ,莫贪肥与甘。”旨哉斯言 !予深嘱之 ,料知命者依法调治 ,庶可无妨。七月初七日方 :

西党参三钱 生黄芪一钱 ,盐水炒 参三七五分 ,开水磨冲 降香一钱 旱莲草一钱半 人中白七

分 白花百合一两 苏子一钱半 炒 生蛤壳五钱  
加藕汁一小杯 冲。

又,自前月初七日方服后,痰血即止。停药匝月,于八月初六忽又痰中带血,虽不多,而右寸、关软小乏力,左寸细小,关弦硬,尺濡。合而参之,是脾肺虚而肝肾之阴不足,相火易动,此痰血之所由来也。正值秋分之后,加意图之,以杜再吐。

制首乌四钱 炙鳖甲四钱 潞党参三钱 丹  
参三钱 黑苏子一钱半 炒 怀牛膝一钱半 炒 巴  
旦杏三钱 去皮尖 茜草一钱半  
加鲜藕节七枚。

又,进前方痰红即止,再二剂如前安妥。惟耳鸣,睡醒喉中似干,日间并不喜饮,食贪睡安,所嫌脉未平静耳。用沙参、首乌、元参、龟腹心、巴旦杏、山药、苡仁、芡实、炙甘草、白花百合等十味。煎服五六帖,诸恙向安。煎帖屡效,继以丸剂调补,列下。

丸方,八月二十一日诊:

左关虚弦、尺濡,右脉虚软无力,自是肺、脾、肝、肾皆虚。肺何以虚,土不生金也。肝何以虚,水不养木也,木无水养,而相火易升。肾

何以虚，金不生水也，水无金生，而肾精易竭。且子虚者，必求救于母，肺求脾，肝求肾，而肾复求肺，肺金之虚愈加亏缺。夏间之吐红未必不由于此也。调治虽痊，脾肺久虚，第知补肝肾之阴，而不思调脾固肺，究非挈领提纲之治。

木棉仁四两，白仁，拣去黄而走油者。用女贞子三两煎浓汤浸透，蒸晒九次，余汁同捣拌和药内。大生地六两，用福珍酒煮透半日，以砂仁研末五钱同拌，蒸晒九次，入后药同捣，务要和匀。潼蒺藜三两，陈酒拌蒸，晒干焙研。真黄精二两，用益智仁一两陈酒浸透，用磁盆荷叶托底，将浸透黄精置饭锅上，九蒸九晒，入后药捣匀。元武板五两，蜜水炙脆勿焦。山萸肉二两，百合二两，杜苡实三两，焙黄勿焦。建莲肉三两，连心炒。牡蛎三两，煨粉。淮山药三两，炒。叭哒杏二两，去皮尖。

另用西党参五两、生黄芪三两，两味煎膏代蜜为丸。

上药十二味照方制焙，和研细粉，用前参芪膏代蜜为丸，如桐子大。每服五钱，清晨滚水送，或莲心汤送亦可。

（案缘）山西许庆亭淋症败精留阻作疼治验

山西大同许庆亭 ,年逾二旬 ,乙未秋八月。

淋症初起 ,败精留阻 ,溺时疼刺难忍 ,完后亦然。医以利湿清火 ,佐大黄以泻之 ,不应 ,反增痛痒于二阴之间 ,特求治于余 ,当用苡仁、瞿麦、草梢、青皮、黄柏、栀子、木通、泽泻、地肤子等。服之 ,至更余小溲出时 ,痛始缓二三 ,口干喜饮、溲赤、淋浊之多比前已减半矣。

又 ,溲出茎中疼痛 ,完后稍缓 ,脉息弦细小数。议益阴降火 ,佐以祛淋 ,免其淹缠。

龟腹板三钱 炙 小生地四钱 瞿麦二钱 赤苓三钱 海金沙一钱半 黑山栀一钱半 草梢八分 木通 一钱半 车前子一钱半 炒研

加鲜荷梗三寸。

服之 ,溲出疼痛大减 ,完后亦然 ,淋浊减可。

又 ,服前方溺时痛缓 ,照昨方去海金沙 ,加薏苡仁。两剂痛止 ,即溺完后亦不痛矣。惟茎举底面之筋痛痒交加 ,夜半更甚 ,兼之白浊溲赤未平。

复诊 :用知柏地黄汤加车前子等共九味 ,河水两盏煎至一盏 ,去渣 ,午前服。晚间临卧前用知柏地黄丸五钱 ,淡盐汤送。如法服之 ,茎未举、未痛而痊可。

〔案远〕汪书蕉二兄时邪内伏身热胸闷  
治验

文学汪书蕉二兄，年逾六旬，甲午五月五日。

感冒时邪，先凛凛而后热，忽止忽作，邪伏膜原，胸闷，舌苔泥白，大便秘，欲解未解，口苦不喜饮。宜以温舒，以退寒热。方用厚朴、草蔻、半夏、黄芩、槟榔、查肉、大腹绒、藿梗、赤苓、甘草、佩兰叶等。煎服一剂，晡后热退，大便未解，舌苔渐化，小便仍少。

又晨诊方身热稍缓，又增头胀、胸脘闭闷。中州湿阻未清，究宜祛湿退热，至于便秘且缓治。观其口不欲饮、舌苔白泥、小便短赤，其为湿阻也无疑。服后方一帖，胸闷、头胀顿平，大便渐通。

姜厚朴一钱 制半夏一钱半 瓜蒌仁三钱  
橘白一钱 草蔻仁六分，炒 赤茯苓三钱 青蒿子  
一钱半 黄芩一钱，炒 块滑石三钱

加生姜八分、松萝茶三分。

又，便结，解之未畅，知饥纳少。坤土未和，以二陈汤加石斛、苡仁、麻仁、柏子仁、枳壳、砂仁壳等十味煎服。服后大便即通且畅，而诸恙

向安矣。

(案述) 广东卢贤杰白浊未止,大便秘结异常治验(并附戒鸦片烟瘾药酒方奇验)

广东卢贤杰,年四十三岁,乙未九月九日诊。

白浊两月未止,六七日来大便秘结,每日欲解不能,夜半登圜二三十次解出些少,少腹两边胀疼不已。精伤血燥,致令大便结而少腹疼也。宜于润燥通幽,兼治白浊,庶几两擅其长矣。

生首乌六钱 制首乌三钱 柏子仁三钱,研  
当归二钱 大麻仁三钱,研 郁李仁三钱,研 车前子一钱半,炒研 赤苓三钱 皂角子一钱,炒研存性

煎好去渣服。先用更衣丸二钱,用陈酒炖温送。用更衣丸大率以钱许为则,或一钱五分,多至二钱,不可再增。此用二钱者,缘其体健,便结胀痛而致六七日之久者故也。最后以润燥通幽之煎剂服之,其功更捷矣。

午后先进更衣丸,少顷即服煎剂,至点灯时解结粪成堆,腹中即然爽快,少腹两旁胀痛顿失,小溲亦长,病者甚快。后以六味地黄汤加固

涩之剂兼治白浊，而收全功矣。

是人素吸鸦片烟，年久成癮，据述屡服丸药欲戒不能。今浊症将愈，自身体虚已极不敢再吸，乃乞治于予。即将昔年周姓原方内，斟酌分量之多寡并用灰之数、饮酒之法，颇费思索。据述照法饮之，从此而戒。当烟癮发时，并无苦楚，堪称神妙。是法可与上年山东陶姓之方相辅而行，因附识于此：

大熟地一两 淮山药、白术各五钱 鹤虱、旋覆花，  
绢包各四钱 云苓、杜仲、川牛膝各六钱 陈皮、金银花、  
贯众、川贝各三钱 炙甘草二钱

上药共计六两重，另用鸦片烟灰，照每日吸食若干加一倍。以稀纱袋独贮烟灰，线缝其口，用原福珍酒六斤同前药放瓦罐内浸一周时，隔水缓火慢煮，候药味出，将酒另贮磁瓶内，去净药渣，惟烟灰袋仍浸酒内。再用人参五钱煎浓膏化入，封口勿令泄气。照常日吸烟时取饮一酒杯，饮毕随加福珍酒一杯于药瓶内。假如每日吸烟两次，饮药亦两次，加酒亦两次是也。

### （案 选） 蒋子香贫儒病鼓危症奇验

蒋子香，十七岁，乙未四月。

藜藿之体，质弱劳苦，去冬受寒，今春头面渐自浮肿，而致大腹虚膨，阴囊胀大，甚至阴茎

渐粗，阴头绞转朝上，小溲少，脉息虚软迟小。此水肿症，由脾阳之不运所致，拟温中法。

生冬术一钱半 淡干姜八分 熟附子八分  
炙草五分 小茴香一钱半 薏苡仁五钱，炒 车前子一钱半，炒研 茯苓一钱半 泽泻一钱半

加生姜皮八分同煎。

服五帖，食饮能运，大腹温暖，膨胀渐除，面浮已退，阴囊渐爽，小便渐多且长。前方再进五剂，诸恙咸安矣。

（案 逸）山西张惟一淋症溺时疼痛治验  
山西张惟一，年二十七，乙未六月初十诊。

淋浊症，溲时尿管疼痛，完后亦然，兼有败精频出，口干喜饮。相火未清，脉形细数，宜益阴降火法。

小生地五钱 丹皮一钱半，炒 海金沙一钱半  
青皮一钱半 甘草梢八分 苡仁五钱 人中白一钱  
泽泻一钱半 黑山栀一钱半

加鲜荷叶一小个托底煎药。

服前方两帖，溲出刺痛十去七八。

又，复诊（十二日）：前方去青皮、人中白，加白通草、滑石等，余如前。再进两剂，淋浊

俱安。

(案苑) 许玉田间日疟治验

许玉田,年逾四旬。

疟发间日,寒甚于热,迄今三发,每发于午正,脉来细弦。温舒和解是其治法。

草薳仁一钱半 炒 制半夏一钱半 青皮一钱  
赤苓三钱 淡干姜八分 淡黄芩一钱半 柴胡一钱  
山查三钱 炒 生甘草五分 广藿香一钱半  
加生姜渣二钱。

服上方一剂,疟止。

(案苑) 周二如腰胁作疼治验

周二如兄,予长子于九之妻弟,于道光乙未六月三十日。

两胁作疼,波及于腰,少有干呛,脉左濡小。肝肾攸关,法宜舒络,侑以却湿为妥。

制香附二钱 元胡索一钱半 炒 小青皮一钱  
枳壳一钱半 广藿梗一钱半 薏苡仁四钱 山查肉  
三钱 炒 沉香三分 当归身一钱半 稽豆皮二钱 盐  
水炒

服此一帖,胁疼即缓。再帖痛止,而腰疼亦

大减矣。

又,闰六月初二复诊:昨夜梦泄,腹中稍有不适。照前方去元胡索、沉香、枳壳、稽豆皮四味,加杜仲、芡实、陈皮、木香等,两剂而痊。

(案苑) 乍浦朱梅坞阴虚呛血治验

乍浦朱梅坞,岁乙未七月初九诊。

年近四旬,素多操劳,阴虚之体,忽而呛血杯许,色带紫红,有时成蔑<sup>①</sup>,脉息弦数。血犹未尽,拟去瘀生新法。

参三七六分,开水磨冲 丹参三钱 旱莲草二钱  
茜草一钱半 黑苏子一钱半,炒 藕节七个,拍碎 人中白八分

引:白茅根五钱,去心同煎。

又,十一日复诊,进前方两剂,胸腕不闷,呛血亦无,惟痰中稍见粉红,有时喉痒即呛,舌中心泥浊,胃土未清也。照初九方去茜草、茅根,加叭啞杏、款冬花等,三四剂而平矣。

(案苑) 高朗亭乃郎癲症治法,并辨明与

① 蔑(miè) 污血。

## 愣症各别

高朗亭长子 ,年二十 ,未婚 ,道光乙未延治癩症。

据述病由长夏冒暑身热而起 ,愈后未几 ,复又寒热。调治将痊 ,忽于七月十四发愣症。乃尊云 :“体质素薄 ,未发前两日友人适谈及鬼怪事 ,当闻之自觉其惊 ,次日即自言自语 ,东步西走 ,默语声低 ,食饮不减 ,夜不成寐。”医作虚愣治 ,用参、术、菟丝、肉桂等温补不应 ,又有用滋阴安神等法亦不应。皆以为愣症论无功 ,因于二十五日始求治于余。余细绎病象 ,癩也 ,非愣。盖愣病发则陡然跌仆 ,口作六畜声 ,痰涎随出 ,或手足牵引。少顷病退则宛如平人 ,问答无差 ,惟觉软倦 ,精神不足 ,或十日、半月一发是也。如此癩症 ,岂可妄认为愣耳。癩之发也 ,终日坐立无定 ,口内默语不知 ,文而不武 ,或笑或悲 ,食饮多进少进亦无饥饱 ,朝暮皆同 ,非愣症之陡然发 ,少顷退如平人可较也。迩来时医以癩作愣 ,案中称虚愣者是也。以故病家亦以为愣症 ,而竟不知其为癩也。医人尚不明 ,况病家乎。脉息细滑 ,左弦小数。虚痰挟火 ,凝滞包络 ,阴亏体质 ,亟以祛痰降火之剂。进四五帖

后 朝进归脾丸五钱 ,麦冬泡汤送。晚间临卧前  
再以白金丸二钱 ,橘皮泡汤送。急则治标 ,缓则  
治本 ,汤也而继之以丸 职是故耳。

卷六全

# 竹亭医案女科卷一

吴门竹亭孙采邻亮揆甫著

中医古籍珍稀抄本精选（九）

首尾二页破烂 ,只好缀数言于眉间 ,勿责乃荷。

□① 人漫涂于定慧寺② 之东斋。

女科名医医案记载甚少 ,余搜罗数更寒暑未曾一睹。此三卷治验 ,洵可观也。其症候虽轻重不等而大小靡遗 ,医家可奉为圭臬矣。卓翁乃表兄曹智老入室弟子 ,好学不倦 ,余所钦佩。即表兄亦尝谈及 ,为门弟子中不可多得之人才荷。蒙假阅一过 ,特志数语为酬 ,勿嫌涂鸦有污好书为幸。

光绪丁未夏济臣金扬采涂。

---

① □此字模糊不清。

② 定慧寺 ,在苏州东南隅的寺院。寺 ,僧众供佛和聚居、修行的场所。

## 妇女经产杂症

(案员) 朱南山内人行经饮冷,小腹刺痛  
治验

朱南山妻,年近三旬。

少腹刺痛,得之行经时饮冷茶而起。连痛五六日,饮热酒则痛愈甚,饮热茶则痛稍缓。知其寒郁血分,两尺沉迟,下部寒郁更无疑矣。然既是寒,何以饮热酒而痛愈甚,饮热茶而反稍缓也。为酒性热而寒邪格拒,故相激而痛更甚,茶气虽热而性则寒,以寒为引用,得热茶之气而痛稍缓矣。予于此而得热因寒用之法,以从治<sup>①</sup>之。

独活一钱五分 盐水炒 小茴香一钱五分 元胡  
索一钱五分 醋炒 肉桂一钱二分,去粗皮 生甘草五分  
制香附二钱 通草八分

加葱须一钱五分。

煎好凉服。

① 从治 亦称反治。

初剂痛减大半,再剂全愈。

(案圆) 胡耀文乃室咳嗽过甚,鼻衄不止  
治验

胡耀文妻,年五十九岁。

鼻衄六日,每日约五六次,每出约杯许,色紫血瘀,右寸关虚数。肺胃血热上溢,衄之不止,法宜清降。

元参三钱 小生地三钱 丹皮一钱五分,炒  
茜草一钱五分 甘草八分 人中白一钱 漂淡 通草  
八分 血余一钱,冲  
加藕汁半酒杯,冲。

服后,至次日午后鼻衄一次,虽仍带瘀血,较前甚少。

又细审病情,惟咳嗽过甚鼻衄即出,甚至口内俱有。今拟清肺降火以止咳,少佐去瘀之法,衄自平矣。

白花百合一两,洗 款冬花三钱 小生地三钱  
丹皮一钱五分 元武板四钱,炙 人中白八分,漂  
怀牛膝一钱五分 甘草八分 炒黑蒲黄一钱五分  
血余一钱,冲

加藕汁半茶杯,冲。

据述午后鼻衄一次，顷之又衄两次。服此之后，衄血顿止，咳亦大减。

又衄停咳减，心中似痛非痛，难以名状，左寸虚浮，右寸关虚数。此血去过多，虚火上升之征也。议养心营，兼清肺胃，自尔痊可。

丹参三钱 归身一钱五分 元参三钱 白花百合一两 海蛤粉三钱 煨 冬桑叶一钱半 柏子仁三钱 研 酸枣仁二钱 炒 麦门冬一钱半 加建莲肉三钱 炒 降香末一分 冲。

**(案猿)** 葛明扬乃室新产之后感冒发热治验

葛明扬妻，年三十岁。

新产之后，感冒风邪，脉带浮缓，身热欲呕，少腹疼痛，恶露未消，兼之咳嗽。治宜轻疏，俾以散瘀。

荆芥穗一钱五分 防风一钱五分 前胡一钱五分 苏子一钱五分 广藿梗一钱五分 归尾二钱 元胡索一钱半 甘草八分 益母草二钱

加青葱一枝。

服后热停呕平，痛减七八。复以调理肝脾药，两剂而安。

(案源) 蒋奎光弟媳怀胎五月兼染疮毒  
(附洗浴方)

蒋奎光襟兄三弟媳。

其夫素有毒疮,传染于内。据述下体一疮,滋水常有,尚未完口,迩来手臂及腿足点粒渐增且痒。两日间喉痛,悬壅垂下、右畔颈项亦痛。病情病状,染毒无疑。第怀孕五月,治毒而不保胎,究非上策;保胎而不治毒,又非善治毒者。为此时计,先治喉痛,兼用洗浴法解散肤膜之毒,正所谓治毒而又不碍乎胎也,最善。

喉痛煎服方:

元参三钱 麦冬一钱半,去心 桔梗八分 马勃五分 押煎 川贝一钱半,去心 薄荷七分 人中黄五分

河水煎服。

洗浴方:

苍耳子一两 蛇床子一两 白芷五钱 青葱二两 川花椒三钱 生甘草五钱 羌活五钱

用长流水煎滚,稍缓先熏后洗,洗后避风,兼忌鸡、虾、海鲜等物。

(案缘) 文连万内人两目胀痛羞明治验

文连万妻 ,年逾四旬。

两目胀痛羞明 ,午后更甚。上部觉热 ,下部足冷。病经二旬 ,脉象浮数。风火内郁 ,治宜清散 ,俾邪外达 ,则胀痛羞明自己也。

荆芥穗一钱半 防风一钱半 夏枯草一钱半  
甘菊一钱半 薄荷头七分 桔梗八分 淡黄芩一钱 ,酒炒

加葱白二枚。

服一剂 ,胀痛减半。再剂 ,减去七八 ,且不羞明 ,白珠微有红意。即前方去荆、防、桔梗、葱白 ,加蔓荆子、石决明、麦冬、赤茯苓 ,两帖全瘳。

(案 远) 高茂千女肝脾两亏 ,经停半载治  
验

高茂千女 ,年十七岁。

肝阴素弱 ,脾阳久虚。脾何以久虚 ,火不温也 ,肝何以素弱 ,水不养也。经停半载 ,气血两亏 ,脉之左关、尺虚弦 ,右寸、关虚弱 ,显有明征 ,盍早图之。

西党参三钱 淮山药三钱 ,炒 茯苓一钱半  
白芍一钱半 ,炒 制首乌三钱 炙鳖甲三钱 当归  
一钱半 蕲艾二钱 制香附三钱 炮姜一钱 炙草

八分

加桂圆肉七枚。

服三剂 ,经水已行 ,药用对症 ,效若桴鼓。

(案苑) 予老母头面浮肿 ,痛痒无定治验  
予老母 ,岁在甲子 ,年正古稀。

时值仲冬 ,忽然头面浮肿 ,痛痒无定 ,不时  
火升 ,肌肉如针刺 ,发根有疙瘩 ,搔之即滋水淋  
漓。服后方三剂 ,浮肿痛痒减其五六 ,再二剂而  
平。

苍耳子一钱五分 白芷一钱 小生地三钱 丹  
皮一钱五分 炒 元参三钱 甘草八分

河水煎服。

头面不时觉痒 ,外用元明粉化水搽之。取  
其咸能软坚、消痒定痒 ,而又不过于咸寒 ,诚良  
法也。搽之果然应手而愈 ,快极 !

(案愿) 崔诚一幼女外感身热误作痘治变  
症治验

崔诚一女 ,七岁。

身热八九日 ,医妄作痘治 ,用羚羊角、连翘、  
赤芍、青皮、蝉衣、芦根、牛蒡子等。服后反增头

痛、乱语、身热不退，因邀余治。予点灯细照，头面、胸背、手足并无点粒；且身热八九日来，并未见喷嚏一二，两颧花纹不见。擅投寒凉，妄作痘治，儿命遭枉，良堪痛也。予知其风邪外束，食饮中停，理当疏解。缘庸工误进寒凉，以故反增头痛乱语。予于疏解药中，重加厚朴以温中。温中者，温散中宫寒凉之气也。服后方两剂，热退身凉，霍然而痊，何快如之。

羌活一钱五分 防风一钱半 荆芥一钱半 枳壳一钱 炒 厚朴一钱半 姜汁制 谷芽三钱 炒 橘白一钱 甘草三分

加葱白两枚。

河水二钟煎至一钟服。

以药治药，正所以治病也。

（案 怨）予胞妹牙痛无时，午后尤甚，治验予胞妹。

上齿时痛，数日来痛无宁刻，至午后尤甚。上齿虽足阳明所属，而齿乃骨之余，亦未尝不关乎肾，况尺脉虚数，非无以也。

大生地四钱 当归头七分 元参二钱 甘草五分 香白芷五分 独活六分

加薄荷头三分 临服放碗内泡。  
一剂痛减半 再剂全瘳。

(案 圆) 许元明内人时热误治 结胸危候  
治验

许元明妻 年三旬。

得时热证 延余诊两次 即更医。医以犀角、大黄、茅根、芦根、芩、芍、夏、陈、枳壳、麦芽、佐荆、防等。服后泻溏粪二次 而身热胸闷如前。医至两候 病势沉重 复求治于余。身热未解 舌边白中黄 口渴喜饮 胸闷按之痛。时邪为寒凉所遏 脉象浮数 症兼结胸。拟小陷胸加味 以冀转机。

小川连六分 制半夏一钱半 瓜蒌全三钱  
青蒿一钱半 淡豆豉三钱 肥知母一钱半 鲜竹茹  
一钱 甘草七分

加生姜五分。

进药后 大便结粪一次且多 胸脘闷痛俱停 身热退 舌中黄苔亦减其大半。

又 进前药便解身凉 脉象小数。是以汗多口渴 舌色淡红 稍兼恶心。固余火之未清 亦胃土之未和也。

小川连五分 鲜石斛四钱 淡竹叶一钱半  
 麦冬一钱半 制半夏一钱 赤茯苓一钱半 黑山栀  
 一钱半

服后汗少、渴减，渐能进粥。次日去川连、  
 半夏，加广藿梗、陈皮白，引鲜荷梗四寸。

(案 录) 陆佩佐内人病后复感，腹痛块  
 攻，药熨治验 (附熨)

陆佩佐妻，年三旬。

病后体虚，又冒风邪，微热，舌白，食凝气  
 滞，少腹痛甚。块偏脐右，按之愈痛，痛剧块攻，  
 约长五寸，阔有四寸。右寸浮小，关脉沉滑。此  
 冒风而兼气食交阻，非温疏难以去疾。

荆芥穗一钱半 防风一钱半 姜制厚朴一钱半  
 乌药一钱半 元胡索一钱半 神曲三钱，炒 大腹  
 绒一钱半 麦芽三钱，炒

加煨生姜一钱五分。

服此并熨，热退痛减。

又熨药方：

陈香椽一两五钱 大皂角三挺，打碎 葱一两半，  
 切 姜一两，切

上药四味煎汤熨痛处。其法：用棉布四折

浸药汤内，略绞干，乘热放痛块上。初次不觉，据云再次稍觉，三次则腹中之块觉暖。两布更换至四次，腹中觉响，痛亦稍缓。晚间再熨，块小痛减。次日块、痛俱十去七八，主家称为仙丹，余亦甚快。

邻按：痛极难忍，手不能按之时，若以热布挪腹，恐病者痛愈难忍，故将手巾棉布四折，浸透，略绞，置痛处，两布更换。待药性乘热入腹，俾气食得暖而自消散。再加疏通消食之剂服之，其有不效者乎。

又，块痛仅存二三，便结溲短。宜以醒胃运食、疏气通泄为法。

广藿梗一钱半 制香附二钱 焦谷芽三钱  
甘草六分 六神曲三钱炒 江枳壳一钱炒 新会  
皮一钱半 通草八分 赤茯苓二钱

加煨姜五分。

外仍照前熨之。

次日复诊：痛止块消，大便已通，小溲渐长，后以参苓白术散出入收功。

(案 圆) 程小山室人四肢浮肿、骨节疼痛  
治验

程小山妻 ,年四十六岁 ,七月初九日诊。

四肢浮肿 ,骨节疼痛 ,病起旬日。风湿走注 ,速宜疏散 ,久恐成痹。

防风二钱 茅山术一钱半 ,炒 秦艽二钱 川桂枝一钱五分 桑枝三钱 鲜浮萍四钱 蚕沙三钱 炙甘草八分

加杉木梢二钱、青葱一枝。

服一剂 ,转觉痛热 ,四肢更肿 ,似乎桂枝之过 ,而实则此药之外散也。

初十日复诊案立后。

又 案云 :风湿外散 ,理脾疏肝 ,自尔痊可。

香薷一钱半 广藿香一钱半 木瓜二钱 当归全一钱半 秦艽二钱 丝瓜络一钱半 ,酒焙 滑石三钱 杉木梢四钱 ,用节 甘草八分

加葱一大枝。

服两剂 ,肿痛俱减八九 ,且能步行就诊 ,食饮亦贪。设疑初剂不合 ,即便更医乱投 ,岂不有误。

十二日 :原方去香薷、藿香、丝瓜络 ,加白扁豆、苡仁、新会皮 ,服三剂全愈。

(案员) 吴圣扬乃室腰疽 ,疮顶不起 ,振

## 盘散大

吴圣扬妻。

腰疽延诊 ,据述起于闰六月二十五日 ,如黍米大。初亦不以为意 ,渐觉肿痛。至七月初八日 ,自己将头挑破 ,后即肿大如盆。延疡科调治 ,不知外治所用何药。阅煎方一派寒凉 ,甚至犀、连、丹、苓、芩、翘、鲜生地辈 ,不可胜计。服此等五剂 ,内则躁热难忍 ,而外反不见大热 ,邀余诊治。其人年近五旬 ,疮顶不起 ,四围散漫 ,知其为寒凉遏抑。

案云 :营气不从 ,逆于肉理 ,乃生痈肿 ,此外症之大概。今则脉数见于沉分 ,右关尤甚 ,知其暑湿郁于土中 ,发之不透 ,根盘散漫 ,脓未成而孔多 ,自非轻候。幸按之尚热 ,但不可早投寒凉 ,以致遏抑。治宜托之、散之、清之、和之 ,随症脉而变通之 ,合外内之道也。

生黄芪三钱 ,防风一钱煎汤拌透 ,焙干 全当归二钱 川山甲一钱半 炙 角刺一钱 独活一钱半 广藿香一钱半 制香附一钱半 连翘一钱半 薄荷五分 甘草节六分

煎好 ,投金银花露半杯 ,温送。

(案原) 胡氏妇下焦感寒,停经腹痛,瘀血内蓄治验

胡氏妇。

下焦感寒停经,腹痛不止,血块时下。年近二旬,病起四日。脉左牢大,瘀血内蓄。细审之,痛因行经房劳而起。脉症相符,治在温疏。(八月十二日)

元胡索一钱半 归尾一钱半 白芍一钱半 炒  
炮姜一钱 制香附二钱 乌药一钱半 红曲二钱  
甘草六分

加葱须一钱五分,血余四分,冲服。

服后半夜痛平,即能饮粥两碗,且能睡。至天明复痛,痛甚血下,色紫,形如西瓜子,发时腹中块攻如鸡子大。

又经行房劳,下焦受寒,血紫块攻,痛剧防厥,脉左牢大。前剂小效,药力尚轻。再以温经散瘀,佐以疏通。通则不痛,而瘀块自消矣。

制香附三钱 熟附子一钱半 炮姜一钱半 怀  
牛膝二钱 五灵脂八分 生蒲黄一钱 乌药一钱半  
炙甘草八分

加血余五分,冲。

服一剂,痛平血止,并脐腹下之硬块全无,

诚良方也。然必须按脉审症，的信经水为下焦寒郁成瘀，方敢重用温通散瘀之法。不然，仲秋时附子、炮姜各用一钱五分，如此重投，岂不有误。即是深冬，经非寒郁，不过气滞血凝作痛，惟有疏气和血而已，亦不敢用此重剂。如前初用元胡、归尾之方，原是轻剂。后方之用，因有血块攻痛形迹，合脉左牢大而用之也。阅斯者，宜细心体会而详辨之。竹亭自识

（案 录）李玉山内人寒热咳嗽半载，几成虚怯治验

李玉山妻，季冬九月，年二十三岁。

经水过期，乍寒乍热，头疼咳嗽，气逆食减，病经半载，右寸浮小，左关带弦。风邪内闭，速宜疏解。若得邪退咳平，庶免虚损之门。

秦艽二钱 防风一钱半 桂枝一钱 杏仁三钱 研 苏子三钱 研 甘草六分 桑叶一钱半 橘红一钱 谷芽三钱 炒

加生姜二片，黑大枣两枚，去核。

又进前方三剂，寒热俱减，食饮渐贪，惟咳嗽气逆未大减耳。（十二日换方）

秦艽二钱 防风一钱半 桂枝一钱 制半夏一

钱五分 草果七分 煨 青皮一钱 黄芩一钱半 炒  
焦谷芽四钱 甘草五分 炙

加生姜两片 黑大枣两枚 去核。

服此一剂 寒热即止。再两剂 咳嗽停 食  
饮如常。

十五日买舟复诊 病已痊可 欲再调理三五  
剂。当以二陈汤加苡仁、谷芽、广木香、鸡内金  
等和胃运食。不用补剂者 因乡居僻地 不避风  
寒 藜藿之妇体气强健 补反无益。所以病起半  
载 得余疏表之药六剂奏绩。虚乎 实乎 可以  
想其情矣。

究竟因脉症之不虚而不用补剂 非论乡僻  
藜藿之人而概不用补剂者言也。竹亭自识

(案 员) 予老母下牙龈肿痛畏寒治验  
予老母 乙丑仲冬下旬。

右边下牙龈肿痛两日 身中畏寒 咳嗽痰  
稠。于肿处刺血 随用金钥匙药掺上 自觉凉  
快。当服煎方：

秦艽二钱 蔓荆子一钱半 白芷八分 荆芥  
穗一钱五分 杏仁三钱 广橘红一钱 薄荷八分  
加白萝卜汁半酒杯 冲。

服后 ,明晨牙痛、畏寒等俱止矣。

用秦艽者 ,固取其辛散风邪 ,亦取其止牙痛。齿下龈属手阳明大肠经 ,张洁古云 :“秦艽能去下牙痛” ,正谓此也。佐以群药 ,无非取其散寒退肿、止嗽消痰之功也 ,故一剂而诸恙平矣。

(案 录) 木川陆献村乃室呕吐半载危症治验 (附丸方 ,丸方内用金华香附丸专治调经 ,用椿皮丸以治带下 ,甚妙 !)

陆献村乃室 ,己丑正月二十一日 ,木渎镇。

年逾二旬 ,经水过期 ,两关虚弦 ,呕吐半载 ,其味带酸 ,食入即吐 ,或少缓即吐 ,食甜物亦吐 ,正呕家不喜甘也。夜来身热口干 ,所吐之痰沫俱带冷气。此肝经抑郁不疏 ,正当春令 ,木邪侮土。扶脾养肝 ,佐以止呕为法。缓缓调治 ,匪朝伊夕也。

建莲肉四钱 ,去心 ,炒 大南枣四枚 ,去核 制首乌三钱 炙鳖甲三钱 制半夏一钱五分 广藿香一钱五分 小青皮一钱二分 白蔻仁五分 ,研冲

加左金丸六分 ,药汤送下。

据述每日约呕吐三四次。早饮粥两碗 ,少

缓即呕吐。中午食饭 ,夜来进粥 ,亦必呕吐。迄今半载 ,土医调治 ,竟无一日之未吐未呕也。

服予前方三剂 ,据述服初剂只呕吐一次 ,进二剂竟未呕吐 ,至三剂呕吐一次。

又 ,正月二十四日复诊 ,议养胃和肝法 :

建莲肉四钱 ,去心 ,炒 制半夏一钱五分 云茯苓一钱五分 新会皮一钱五分 广藿香一钱五分 川黄连五分 淡茺萸二分 ,泡三次 旋覆花一钱五分 ,绢包

加鸡内金八分 ,炒黄。

服三剂 ,进食良久惟呕吐清水一次 ,味仍带酸 ,口觉干燥。此胃土久虚 ,津液未复 ,不足虑。仍宜肝胃并治 ,俾其呕止 ,再商探本穷源之法。

又 ,正月二十七日方 :

薏苡仁五钱 ,炒 旋覆花一钱五分 ,绢包 制半夏一钱五分 广藿梗一钱五分 小川连五分 ,生姜汁拌炒 吴茺萸一分 ,滚水泡三次 云茯苓一钱五分 焦谷芽三钱 新会皮一钱五分

加醋煨代赭石末一钱 ,冲。

服三剂 ,呕吐止。

又 ,正月三十日方 :即前方去藿梗、谷芽 ,加山药、川石斛 ,服三剂亦未呕吐。

又二月初三日方：呕吐将停，脾胃久虚，扶脾养胃，加以疏运，正合斯时之治。

焦冬术二钱 白扁豆三钱，炒 云茯苓一钱五分  
新会皮一钱五分 旋覆花一钱五分，生绢包 焦谷芽三钱 川石斛四钱 煨木香六分

加代赭石五分，醋煨，研末冲。

又二月初六日方：呕吐停已数日，正值经行，腹痛泄泻，兼之腰疼。法宜扶脾调经，俛以温疏，则泄泻、腰疼自已也。

淮山药三钱，炒 苡仁米五钱，炒 制香附三钱，研 全当归一钱五分 川芎一钱 白芍药一钱五分，炒 煨木香一钱 杜仲三钱，炒 炮姜七分

服前方三剂，腹痛泄泻渐止。再二剂，经水亦停矣。

又，呕吐已停月余，偶尔动怒稍有啾意，或吐酸水一二口而止。每逢经期前，觉内热、骨节疼痛。此属脾胃虚而肝阴不足，再议六君子汤去甘草，四物汤中减川芎加制首乌、炙鳖甲，煎服十剂，再酌。

又，半载呕吐，病已痊可，继以丸剂，以善其后。案云：经行迟速无期，或二旬或四旬一至。午后发热，经行之前则尤甚。骨节痠疼，带下绵

绵不已。细按脉象，右寸关虚软无力，左关尺虚弦小数。自是肝肾之阴弱，脾肺之阳亏。又恐补脾不利于肝肾，滋肾不利于脾胃，以脾恶湿而肾恶燥也。今处两方，分早、午服之，不无小补。第仍宜节食戒怒，庶乎尽善。

生香附八两，分四处四制：一用米泔水浸两日，捣碎焙干。一用陈酒浸两日，捣碎焙干。一用米醋浸两日，捣碎焙干。一用黑山栀二两煎浓汁去渣，入香附浸两日，捣碎焙干。

大熟地四两 制首乌三两 炙鳖甲三两 归身二两 酒洗 白芍药二两半 炒 牡丹皮二两 酒炒 泽兰叶三两 酒洗 良姜三钱 炒成灰，存性 海螵蛸三两 焙 川黄柏二钱 炒黑 川芎一两二钱 椿根白皮一两五钱 去外粗皮

上为细末，炼白蜜和丸，如桐子大。每服五钱，清晨淡盐汤送下。

此方系四物汤加香附、泽兰、海螵蛸，名金华香附丸，专治调经。合椿白皮、白芍、良姜、黄柏四味，名椿皮丸，以治带下。予于此二方中加首乌、鳖甲、丹皮，兼治阴虚内热。一举三善，神明变化又何必拘泥于古方也。

午后丸方，用六君子加香、砂、木瓜，调和脾胃，少佐土中疏木之法。水泛为丸，每服三钱。

食后逾时，炒黄米汤送下。

（案 58）王应奎乃室怀胎五月，鼻衄如涌  
治验

王应奎姻翁乃室。

胎怀五月，咳嗽二旬。昨因咳呛喉痒，稍见鼻血。今日侵晨，鼻衄不止。血至午后，瘀血成条，偏于鼻左，茅花塞之，血从口出。适延予诊视，四郎出痧，因血过多，主家仓皇，随告救治。余见其衄血太涌，兼有血条。外用大蒜瓢捣烂涂左足心，血止即去之。内用藕汁一茶杯，稍温，入漂淡人中白，研粉，冲服一钱五分。服后未一刻，鼻衄立止，再投煎服方。

案云：右寸小数，左关弦大。鼻衄偏左，瘀血成条，相火上逆。第怀胎五月，未便遽投寒凉，急宜养阴降火，俾血下达，以免虚晕之虞。

大生地四钱 丹皮一钱半 炒 血余四分 冲  
炙甘草六分 黑山栀一钱半 炮姜三分 陈皮一钱 炒 炒黑蒲黄一钱

加漂淡人中白五分，冲。

服后，衄血仍无。

又，衄血昨已停止，今晨因咳呛而气逆，左

鼻稍有一滴，脉之弦数已缓，无足虑也。

大生地四钱 丹皮一钱五分 炒 白芍一钱半 炒  
 桔黄芩一钱五分 炒 黑芝麻三钱 炒 桑叶一钱五分  
 川贝一钱半 去心 海浮石三钱

加入中白五分，冲。

服后，咳呛全愈。

(案 员) 张宏川女喘咳屡发治验

张宏川女，年十九岁。

喘咳时发，痰食相凝，治宜疏肺，佐以豁痰消食。

前胡一钱五分 苏子二钱 炒 杏仁三钱 橘  
 红一钱 麦芽三钱 炒 海浮石三钱 查肉三钱 炒  
 桔梗六分

加青葱一大枝。

进两剂，喘咳十去五六，前方去前胡、杏仁，加旋覆花，再两剂全瘳。正值农忙，勿贪凉饮冷，以免经行腹痛，旧疾复发为最耳。

(案 圆) 予先慈牙龈上下肿痛治验

予老母。

牙龈上下肿痛，无论汤水热冷，入口俱痛，

如此四五日。时值九月初旬 ,用后方一帖 ,肿痛减半。次日原方去当归 ,加熟石膏三钱 ,再帖全愈。

细生地四钱 元参二钱 薄荷一钱 当归八分  
香白芷三分 独活八分 桔梗八分

此症与前仲冬下牙龈肿痛似乎相同 ,而方则大不同矣。非方之不同也 ,实症之各别耳 ,当与前案同玩便悉。

(案 圆) 沈廷柱内人暑湿痢里急后重治  
验

沈廷柱妻。

丙寅仲秋患痢 ,年逾四旬 ,头痛畏寒 ,身不热 ,胸闷舌腻 ,腹痛不饥 ,里急后重。暑湿内蕴 ,痢症初起 ,速宜疏解 ,来势匪轻。

蔓荆子一钱五分 香薷一钱五分 豆豉三钱  
薤白三钱 大腹绒一钱五分 神曲三钱 炒 桔梗八分  
山查三钱 炒 煨木香一钱

加生姜八分。

服一帖 ,痛减七八 ,里急后重亦减其半。据云服药后腹中时有响声 ,并未大便 ,至夜间方解两次 ,亦非前之痛坠难忍可比。

又痢减痛缓,余垢未清。前方去蔓荆子、香薷、山查,加广藿香、新会皮,服两剂全愈。

(案 圆) 谈禹范乃堂血崩危症立救奇验

谈禹范襟兄乃堂血崩治验。家居木川,年逾四旬,嘉庆丙寅岁。

时值仲夏下浣,血崩不止,病急延诊,方案列下:

经水淋漓,月余未止。头汗如雨,剂颈而还。胸中嘈杂,举动则头晕眼花,不能安卧。六脉虚小乏力,关脉见芤。去血过多,阴固亏也,阳愈弱矣,亟宜益气扶阳。盖有形之血不能速生,无形之气在所急固。若不此之求,而概以纯阴之品,究非所宜。速用固气以统之,犹恐鞭长莫及,慎之!慎之!

西党参五钱 炙黄芪三钱 淮山药三钱,炒  
茯神一钱半 炙甘草八分 旱莲草一钱五分 炒黑  
当归五分 陈皮一钱半 炒黑荷叶一钱半 炒黑蒲  
黄一钱

加真降香二分,研细,冲。

服一剂,经血立止,头汗亦少,夜能卧,食渐贪,胸中之嘈杂大缓,动辄之头晕眼花亦从斯而

平矣。

有一症即有一方，有一药即有一理，方中用异攻散，以山药、茯神易苓、术。合之黄芪固气养神，树帜中州以助脾胃之生气。佐以当归炒黑，引入心、脾、肝而导血归经也，仅用五分者，因其头汗如淋，虽有参芪，究嫌辛散，故宜轻用。他如旱莲草之甘咸汁黑，得蒲黄、荷叶之炒黑者，一取性涩，一取升清，最后加降香之温和，皆有治崩止血之功能也。合而成方，法备理明，故一剂而血崩顿平矣，快哉！竹亭自识

又，五月二十二日方：

炙黄芪三钱 西党参五钱 焦冬术二钱 茯  
苓一钱五分 丹参四钱 大麦冬一钱五分，去心 五  
味子八分，研 甘草八分，炙 旱莲草一钱半 炒黑  
荷叶一钱

加真降香二分，研细，冲。

服两剂，崩血仍无，头汗、眩晕、嘈杂等俱全愈。

又，五月二十四日方：用归脾汤加建莲肉四钱，服三剂安妥如前。进粥两碗又半，日进三四次。

又，五月二十七日方：

前因崩血月余 ,头汗剂颈 ,几乎欲脱 ,不得不急固气以统之。今血停七日 ,日进粥数碗 ,脉象虚小。犹当调和脾胃为最 ,俾饮食得运 ,气血渐充。此际不宜过补 ,过补妨食 ,恐反难以运化也。遂以五味异功散加广藿梗、煨木香、生谷芽 ,服七八剂 ,食饮倍增 ,安卧如常。至六月初五日延诊 ,用八珍汤加制香附调理收功。

(案 圆) 黄万程媳小溲涓滴 ,溺痛、手背漫肿奇验 (附淋方)

黄万程媳 ,丙寅四月初六日。

新嫁月余 ,小溲涓滴 ,溺时甚痛 ,又兼尿血 ,经水迟速无定。医用龙胆泻肝汤 ,尿血虽止 ,而小便之难、溺时之痛则更甚于前。忽又于六日前 ,夜间手腕郁筋 ,痠痛难忍 ,仍邀前医。伊以为手发背 ,内服煎方如前出入 ,外用敷药 ,肿势更增 ,尤加痠痛。程梅溪翁荐治于余 ,余细阅外象 ,漫肿无头 ,自手背至腕后俱热。即用白棉料纸一小方 ,以水浸湿贴于手背上 ,亦不见有即干之象。如其是疮 ,漫肿无头 ,一时难辨 ,即以湿绵纸敷上 ,先干者即是疮头。此则非是 ,实缘郁筋而起 ,他医误指“手发” ,再治之 ,弄假成真。

予按脉象 ,左关尺弦细小数 ,下焦湿热为患。小  
溲涓滴 ,溺时痛甚 ,此淋症也。服以分清却湿之  
剂 ,敷以活血疏筋之法 ,则外之疼痛 ,内之淋痛 ,  
皆可从斯而缓矣。何必节外生枝 ,草菅人命耶。

煎服方 :

生苡仁八钱 二原地三钱 木通八分 甘草  
梢五分 元胡索一钱五分 ,盐水炒 海金沙一钱 乌  
药一钱半 ,盐水炒

加葱须一钱五分。

敷药方 :

用冲和仙膏 ,加葱白头数枚 ,拍碎炒热同捣  
和匀 ,敷手背腕处 ,自然肿消疼止。

据述服此并敷 ,手背之肿渐消 ,热势及手腕  
骹之痠疼俱大减 ,此敷药之功也。至小便之涓  
滴、溺时之热痛亦十去其三 ,此又服药之建绩  
也。

又 细生地五钱 川萆薢三钱 川黄柏八分 ,  
盐水炒 甘草梢五分 元胡索一钱半 ,盐水炒 块滑  
石三钱 川木通八分 石韦一钱

加入中白三分 ,冲。

服后 ,溺时痛去七八。

淋洗手腕方 :

用红花五钱 桑枝一两 葱二两 香附三钱  
四味用水四碗 ,入滴醋一茶杯同煎浓 ,候稍  
温淋洗 ,洗后避风。

据云淋洗三次 ,手腕骱之痠疼十减六七。

又 经行趱前亦阴虚而相火旺也 ,幸洩出疼痛之势大缓 ,不致从中阻碍。议以和肝养胃 ,兼之清泄下焦之余波 ,亦一举而两得之矣。

大生地三钱 赤芍药一钱五分 ,炒 白扁豆三钱 炒 麦冬一钱半 赤茯苓一钱半 元胡索一钱五分 炒 川萆薢一钱半 滑石三钱 白通草八分  
加入中白三分 ,冲。

外用淋洗手腕方 (照前法)。

服此并淋洗后 ,内之淋症除 ,外之腕痛止。  
竟称仙丹 ,予何愧哉。

(案 圆) 予内人怀胎足月正产 ,腹痛瘀血  
停留治验

予内人 ,年二十七岁 嘉庆乙丑五月。

怀胎足月 ,廿一、二日腰疼下坠 ,似欲即产 ,而脐腹尚未一痛 ,知其非正产之候 ,乃气虚下陷耳。至二十三日辰刻方才腹痛 ,而腰疼下坠更甚。

先大人用人参五分 当归二钱 川芎一钱

服此 ,痛阵连至 ,约半时即见血碗许 ,又半时随下水浆 ,至午初生女 ,顺极。产后严露更多 ,点灯时腹痛难忍 ,痛后血块方下。每痛脐下必起硬块 ,亦有痛而无血者。审得痛时拒按 ,必其瘀血停留。

问 :按生产常规 ,起自脐腹痛甚 ,必至腰重痛极 ,眼中如火 ,谷道挺并 ,浆出血下 ,方是正产之候。则腰痛是必产确据也。然腰虽痛而腹未痛 ,于正产之候尚欠一层 ,故以气虚下陷断之 ,而于芎、归外加补气药。嘉庆十年五月二十三日 七十九岁老人雨香问识。

晚间又用生姜汁炒松大生地三钱 ,当归二钱 ,川芎七分 ,元胡索二钱 ,炮姜五分服之。至五更时痛减五六 ,块亦活动而小。惟觉两腿痠冷 ,脐腹小痛却可忍 ,非昨晚十分难忍之痛可比。

又 ,五月二十四日方 :用西党参、芎、归、熟地、元胡索、红曲、破故纸、炙甘草、制香附等服之。小块自脐移至少腹 ,痛时则见 ,不痛亦不见也 ,惟两腿仍觉痠冷。

又 ,二十五日方 (此方尤甚于二十四日之方也) :

西党参三钱 当归二钱 川芎八分 元胡索

二钱 丹参三钱 白芍一钱,炒 炮姜六分 熟附子六分

加血余一钱,冲。

服之,少腹痛时块又小,两腿痠冷减半。再剂痛块全无,两腿亦不痠冷矣。

先大人曰:产后恶露平矣,当以归脾汤合八珍汤出入,间佐丹参、杜仲辈,调理而痊。孙竹亭识

(案 圆) 木川阴佩南内人怀胎七月食入即吐治验

阴佩南妻。

胎怀七月,食入即吐,兼呕酸水,两关双弦。肝胃不和,胎气为患,宜安胎中少佐和胃疏肝。

焦冬术二钱 淡黄芩一钱,炒 制半夏一钱半 茯苓一钱半 川黄连五分 淡茺萸一分 广橘皮一钱半

服前方一剂,食入未吐,并无酸水而痊可。

(案 圆) 顾承天内人素多劳役,胀痛、停经半载治验

顾承天妻,年三十二岁。

素多劳碌 ,饮食不节 ,经水过期 ,或四五十日 ,或两月一至。今于四月二十八日经行 ,至五月间忽喜食茶叶 ,每日约食泡熟茶叶二三碗。如此月余 ,随发疟疾即不喜茶叶。已后疟渐愈 ,心中如懊悒之状 ,食饮似贪非贪 ,时欲恶心 ,口干 ,腹胀而时痛。家居黄埭 ,于嘉庆丙寅十一月十三日买舟就治。

懊悒 ,《素问》：“瞢闷懊悒。”又痛悔也 ,实郁闷不疏之谓。

经停半载有余 ,切脉审证并非胎象。始因食茶而起 ,不无虫积。继而停经腹胀 ,时痛欲呕 ,病属肝脾。夫肝藏血 ,脾统血。今火郁于肝 ,湿郁于脾 ,无怪乎两关沉细 ,而经水不行也。因经而致病者 ,究宜调经解郁为主 ,俾经血通而诸恙可平 ,不然恐有虫、血二蛊之虞。

制香附三钱 茅山术一钱半 ,炒 白芍药一钱半 ,炒 枳壳一钱半 ,炒 元胡索一钱半 制半夏一钱半 淡干姜八分 ,炒 青皮一钱 吴茱萸一分 ,泡淡生山栀八分

服前方三剂 ,经水即行 ,诸恙悉除。

(案 圆) 予妹新产头痛难忍治验

予妹。

于丙寅十一月十六日新产 ,次日清晨觉头左、右、中间俱痛。静则稍安 ,动则痛甚。恶露虽有 ,却不腹痛 ,惟头痛难忍 ,于十八日邀余诊治。余细审病情 ,知其静则安动则痛 ,得食减 ,而闭目默然少缓。此乃产后大血去多 ,值仲冬严寒 ,微风乘虚上侵而致头痛也。如果外感头痛 ,痛无停止 ,又何能静则安 ,而得食即缓也。方案列下 :

头痛虽分九宫 ,而新产之后气血两亏又当别论。右脉虚大无力 ,左脉浮小而芤 ,于气血并补中少佐一二轻疏最稳。

九宫 :双丹宫、明堂宫、泥丸宫、流珠宫、大帝宫、天庭宫、极真宫、玄丹宫、太皇宫 ,各有神以主之 ,谓之元首 ,九宫真人也。

西党参三钱 炙黄芪三钱 大熟地三钱 当归一钱 川芎一钱 蔓荆子一钱 白池菊一钱

煎好去渣 ,投薄荷三分于药碗内泡 ,盖须臾服。服后 ,头痛据云减三分。

十九日复诊 :因产前咳嗽未痊 ,今每咳则头愈痛 ,其咳又因喉痒而咳。即于方内去池菊 ,加元参二钱、人中白七分 ,漂淡 ,新会皮八分。

服后 ,头痛又减。

又 ,十一月二十一日方 :

西党参三钱 大熟地三钱 归头一钱 川芎  
八分 白芍药一钱半 炒 蔓荆子一钱 薄荷七分  
川贝母一钱半 去心

加桂圆肉九枚。

服三剂 ,据述头痛已愈九分 ,尚有一分未除。又用八珍汤加炙黄芪二钱 ,白甘菊花一钱五分。得此一帖 ,头痛始称十分全愈矣 ,呵呵。

(案 圆) 木川郭渭南内人经水淋漓不止  
治验 (附丸方)

郭渭南妻 ,年二十一岁 ,丁卯正月十六日。

据述向已小产四胎 ,每产俱三个月。素体瘦弱 ,天癸初来即痛甚而至。已后每逢经至必大痛 ,即未至之前二三日亦痛 ,每痛俱在脐下。今停经七十日 ,于正月初五月经水方至 ,痛之不止 ,淋漓数余日尚未停止。家居木川 ,买舟求治于予。方案立后 :

素属气血两亏 ,经行腹痛气虚血少可知。今停经两月余 ,忽尔经行 ,腹痛腰疼 ,数日来犹未停止。虽因虚而不能固 ,亦关滞而不能舒 ,此所

以痛而兼淋漓也。脉左虚涩 ,右则细弱 ,痛在脐下 ,冲脉为病。先治其标 ,俾经止之后再为治本。

惟其气虚 ,所以气滞 ,故作痛、淋漓而不爽也。

制香附三钱 元胡索二钱 ,醋炒 炒黑蒲黄一钱半 炮姜八分 白芍药一钱半 炒 川续断二钱 炒 炒黑荷叶二钱 杜仲三钱 ,炒 炒黑当归一钱五分 ,存性 乌药一钱五分

加伏龙肝三钱 ,用西党参五钱煎汤代水煎药。

《难绳》云：“伏龙肝为止血之圣药”取其燥可去湿也。予先大人曰：“血崩方中或去湿热，或去寒湿，随证配药皆可用之。”

据述服一剂，经止痛缓。再二剂俱未见血，痛减七八，食饮亦贪，惟白带未已耳。

是方也，妙在开首一舒气，最后一固气，中间温之、和之、止之、敛之而加以导引之法，无非为血之不能归经而用之者也。服后果然血停痛平，效如影响，妙乎不妙。竹亭（邻）识

又，西党参三钱 焦冬术二钱 制香附三钱 当归二钱 丹参三钱 鹿角霜一钱半 白芍药一钱半 炒 川芎一钱 蕲艾一钱半 制 乌药一钱半 盐水炒

加黑大枣三枚,去核,煨生姜一钱。

服五剂,脐下之微疼不觉矣,白带亦止。随用归脾汤去远志,加丹参、白芍。服十剂安妥如前,继以八珍汤加四制香附、广木香、乌鲂骨以作丸,调理而愈。

**(案 圆)** 予先慈素有咳嗽,寒痰闭肺,丸剂调理治验

予先慈,年七十三岁,嘉庆丁卯五月初六日。

素有咳嗽,交冬频发,甚则咳喘交加,三椎觉冷,寒痰闭肺,肺穴攸关,春夏缓而秋冬甚。病关脾肺,盖土虚不能生金而肺弱,肺弱卫疏,易于冒风。是以秋令交而咳嗽易发,发则稠痰盈盂,似有畏寒之象。故每发用轻疏一二剂而缓,随以玉屏风散加味而表气即固,喘咳亦从斯而减。秋来又定调理丸剂,服后颇合。今交夏令,将前方稍为损益,预为秋冬之计。俾土旺金生水自足,藉肺金清肃之令下行,则肾气自不上逆,母可隐于子胎而喘咳可平矣。

生黄芪三两,用防风一两五钱煎汤去渣,拌黄芪,置饭上蒸晒五次,焙用 建莲肉四两,同芡实四两和匀,用生姜

汁三两浸透，饭锅上蒸晒五次，焙用。西党参五两，淮山药三两，炒，百合四两，茯苓一两五钱，款冬花三两，柏子仁三两，干姜一两，炒，陈皮一两五钱，黑芝麻四两，焙，叭哒杏三两，去皮尖，炒，甘草一两五钱。

上为细末，炼白蜜为丸，如梧桐子大。每服五钱，清晨滚水送下。

此丸服后，秋冬咳嗽、气喘大减，食饮如常，颇属合宜。于十三年戊辰秋九月朔日，原方加百部二两煎膏加炼白蜜和丸，如前服。

**(案猿)** 朱景如内人痰厥脑痛丧明、咳嗽延绵奇验

朱景如妻，年四十五岁。

自去年四月间忽尔发厥，痰迷不知人，口歪牙紧。渐渐苏醒之后，觉头脑及两太阳痛甚，每痛即觉内热口干。遍治罔效，以致右目丧明，而头痛至今未愈。昨又发厥啮唇，朝轻暮重，于六月十五日延余诊治，方案列下：

肝肾阴亏，内挟痰火而上升巅顶，以致脑痛丧明。昨又发厥啮唇，朝轻暮重，脉象弦滑，两尺虚数，惟左尤甚。病经年余，虚痰挟火，匪朝伊夕。法宜壮水滋肝，佐以降火豁痰，冀其厥止

再酌。

《灵枢·颠狂篇》：“厥逆为病也，足暴清。”注：指尖冷谓之清。

元武板一两 炙 炙鳖甲八钱 制首乌八钱  
半夏二钱 制 代赭石三钱 煨 生明矾五分 烱化  
松萝茶三分

加西瓜子二两 煎汤代水。

稍冷服，因内有明矾，矾得热则行速，冷则行迟而能助药力也。此言药宜冷服，非指药中俱用冷药也，细阅中风门侯氏黑散之用法便悉。

明矾得松萝茶，亦取其行之迟而不速也。凡煎剂中用明矾，宜药煎好去渣，投入烱化服之。

《纲目》云：“风痰憊病——化痰丸：生白矾一两，细茶五钱，为末，炼白蜜为丸如桐子大。一岁一丸，茶汤下，大人五十丸。久服，痰自大便出，断病根。

服前方一剂厥止，一夜安静，小便亦不频数。惟头脑仍痛，痛即内热口干如前。

又厥虽止而痰火未靖，仍宜昨方出入，兼治头痛。

大生地四钱 制首乌五钱 炙鳖甲五钱 归头一钱半 白芍药二钱 炒 蔓荆子一钱半 白甘菊二钱 川芎一钱 钓藤钩四钱 后入 大麦冬一钱半 去心

加明矾三分、松萝茶六分。

此方即古方，名加味四物汤。予于方中又加首乌、鳖甲、钩藤、麦冬治之，神明变化存乎人耳。

服两剂，据云头痛全愈。

又，六月十八日进前方，头痛即除，兼有咳嗽未已，仍求速愈。追问病情，答曰：“因头痛年余，痛苦异常，求其一效而不可得，虽兼咳嗽无暇问及，今得遇良方一剂而痰厥顿止，再二剂而头痛又痊，仍存咳嗽一症，干咳无痰，朝轻夕重。倘能一身沉痾尽彻，感戴深恩岂内子一人已也，小子幼女不至啼饥，此身不至只影，皆藉厚德成全，铭感肺腑。”予应之曰：“医乃仁术，性命寄于指下，立起沉痾乃分内事也，何足感之。第此咳嗽，非如翁言头痛之外另有咳嗽一症也。自予观之，今之咳嗽亦缘前之相火挟痰，引动内风上升，过肺乘金而来也。即此知头痛而致咳嗽者有之，非咳嗽而致头痛也明矣。分之似二，合之则一。”或曰：“既如是云，何头痛痊而咳嗽未除也？”予曰：“前重用滋肾养肝之品，而轻佐上升之药以治头脑之痛，药证相符，头痛顿愈。其咳嗽未止者，因内风将静，相火虽不上达巅顶，而

犹冲肺炼金，此咳嗽之所以未已也。”曰：“名言也。”予今以清燥救肺中，少佐祛风意，虽风静痛平，而相火未央者，究宜防之。所谓一而二，二而一者也。

枇杷叶三钱，去毛蜜炙 霜桑叶一钱半 叭啞杏三钱，去皮尖 薄荷一钱 海蛤粉三钱，煨 明天麻六分，煨

六味煎好去渣，投西瓜汁一茶杯、莱菔汁一酒杯、藕汁一酒杯，三汁和前药汤内，温服。

服一剂，干咳稍缓，少有薄痰。

又，六月十九日：

元武板八钱，炙 北沙参三钱 元参三钱 川贝母一钱半，去心 大麦冬一钱半，去心 广橘红一钱 甘菊一钱 海蛤粉三钱，煨 明天麻八分，煨

加藕二两，莱菔汁一酒杯（冲）。

服两剂，咳嗽十减六七，夜咳亦稀，痰亦易出。

又，六月二十一日方：咳嗽后，稍有头痛。

制首乌三钱 炙鳖甲三钱 北沙参三钱 麦冬一钱半 款冬花三钱 叭啞杏三钱，去皮尖，炒 冬桑叶一钱半

加莱菔汁半酒杯（冲）。

服两帖，干咳已十去七八，头痛之意亦平。

又二十三日：

制首乌三钱 炙鳖甲三钱 元武板五钱 炙  
元参三钱 冬桑叶一钱半 川贝母一钱半，去心 大  
麦冬一钱半，去心 甘菊一钱  
加藕二两。

服八剂，咳嗽全安。随用都气丸，每晨空心服五钱，调理收功。

(案猿) 徐瞻君侄女幼年背心痠疼，腹痛发厥奇验(附丸方)

徐瞻君侄女，年九岁。

三四年來，背心痠疼無時，每發必着人撲背、摸鼻則痠疼稍緩。左腹有塊，不時腹痛，痛甚則厥。每朝吐痰，痰如破絮。土醫治療，毫無奏績。家居橫塘，買舟就治於余。余細審病情，兼察色脈。每發必起於背俞，三椎痠疼而波及於鼻。夫三椎乃肺之穴，而肺竅又開於鼻，故疼則俱疼，痠則俱痠，前後相應也。其所以如斯者，實風痰痺於肺穴也。更兼飲冷傷脾，脾土壅而生痰，故每朝必吐痰如敗絮之狀，或吐青色稠痰。此脾肺虛而木來侮土、乘金，是以或受寒，

或冒风,或停食饮冷,亦必如前而发。病经四载,屡受肝木侵欺,然肝木过旺,肝亦自伤,所以块起左腹,痛剧发厥,是脾肺而又兼乎肝也久矣。迩来常厥,内风挟痰,此右寸关之所以虚滑,左关之所以弦数者,又显有明征耶。为今之计,急则治标,扶脾和肝兼祛风痰,少佐引经之法为亟亟也。俟其少安,再为治本可耳。

嘉庆丁卯七月二十三日方:

制冬术二钱 制半夏一钱半 茯苓一钱半 钩藤钩五钱,后入 石决明五钱,煨 天竹黄一钱 橘红一钱

加猪脊髓两条,引经妙法。

服四剂,据述厥未发,每日吐痰一块如败絮者竟不见矣,左腹之块渐消。

又,七月二十七日方:

制香附二钱 元胡索一钱 归身一钱 白芍一钱,炒 熟半夏一钱 牡蛎粉三钱 茯苓一钱半 陈皮一钱

加鸡内金二钱,炙。

服此四剂,每朝无痰,背脊三椎痠疼全愈,厥止块消,唯腹痛尚有三分。

又,八月初二日方:

制香附二钱 淮山药二钱 炒 半夏曲一钱半，  
炒 干姜六分 炒 广藿香一钱半 陈皮八分 生  
甘草五分 乌药六分 白通草八分

加鸡内金一钱 炙。

服数帖，腹痛止，诸恙如前安妥，并不一发。

又，进前方，诸证全愈，治其标也。再立  
调补之剂以治其本，用六君子汤加建莲肉、制  
香附、煨木香辈。再服十剂，继以丸剂调理收  
功。

丸方：用归芍六君子汤加山药、干姜、制香  
附，另加猪背脊骨（自大椎骨起约五寸长，蜜水  
涂，炙脆）研磨如粉和入前药末内，用荷叶煎汤  
洒叠成丸。每服四钱，清晨炒米粉送下。

九龄幼女，沉痾积岁，非不终朝医治，而治  
之者概作湿热、湿痰，或作肝气、肝风。如此妄  
治，无怪乎病日加深，而愈发愈勤也。皆缘审证  
不明，而又未能尽切脉之巧，是以终无成功也。  
予于斯症，于四诊中详谛之。知其年幼之女，症  
非七情所关，唯于六气、内伤中合参之，定为风、  
痰、痹、肺四字求治，加以调中疏气为活法。先  
治其标，药投四剂果然中的，再数剂而收全功  
矣。四载沉痾，数日而霍然全瘳。瞻君谓予曰：

“诚神方也，令人口张舌缩。”予曰：“非神也，理也。岂有理明法备，而药不应者乎？”

（案獮）黄埭许氏女咳嗽、寒热，经水五月未通治验

黄埭许氏女，年十八岁，十一月三十日诊。

自七月初旬经水行后，至今五月未通。夜来咳嗽寒热，每至天明必大汗出后热渐退，迄今月余。营卫两虚，脉右浮小，左虚弦。法宜养阴和卫，速退寒热，冀其经转，庶免成怯。

生鳖甲三钱 青蒿子一钱半 地骨皮一钱半  
桂枝八分 制香附一钱 赤茯苓一钱半 大麦冬一钱，去心 甘草六分

服四帖，寒热稍轻，其余如前。

又，十二月初五日：

制首乌三钱 炙鳖甲三钱 青蒿子一钱半  
苏子一钱半，炒 地骨皮一钱半 银柴胡六分 大麦冬一钱半，去心 当归一钱半

加生姜五分，黑大枣两枚（去核）。

服四剂，寒热俱停，天明汗止、咳平，自觉体健，食饮喜进。

初十日：即原方去青蒿、苏子、地骨皮，加白

芍、陈皮、炙草、制香附。

服四剂，如前安妥，食饮又增，精神更健。

十四日：又用八珍汤加炮姜、蕲艾，服十二剂经水方至。于十二月二十六日，仍以八珍汤加丹参、制香附作丸培补气血而痊。

**(案猿)** 汪鸣吉室人咳嗽、肌削，经停五月虚怯治验

汪鸣吉乃室，咳嗽几成虚怯治验，年二十三岁。

寒热起自丁卯孟冬，月余方止。已后渐自咳嗽口干，痰中见红，食饮渐减，肌体日瘦，经停五月。交春咳嗽日增，气急喉鸣，浓痰甚伙，日约二三盂。午后欲睡，夜来盗汗，腿痠腰疼，白带淋漓。日进二地、阿胶、归、芍、知、苓及二冬、参、苓辈，屡进滋阴之剂，少佐益气之法，浓痰益增，食饮益减，几乎成怯。于戊辰季春之十日始告治于余，余细审病情，合参色脉，形羸气喘，咳嗽声哑，食饮维艰，面色痿黄。右寸关细小兼滑，左寸关弦涩而劲，两尺虚浮小数。知其五脏皆亏，惟脾为最。盖土虚不能生金而肺气弱，金虚不能生水而肾水亏，水亏不能滋肝木而相火

炎上烁金 ,以致咳喘交加 ,食饮下咽尽变浓痰 ,肌体骨立 ,经事不行 ,而更加之以嘈杂、怔忡、痰红、盗汗又关心液之不足 ,由肝而波及其心 ,此予之所谓五脏皆亏也为此。其所以尤重于土者 ,何也 ? 以土为万物之母 ,胃为水谷之海、六腑之大源也 ,坤土一虚 ,诸证蜂起矣。为今之计 ,亟宜扶土保金 ,佐以清燥宁嗽。冀其食增咳缓、浓痰日减 ,渐次加入养心、滋肝、补肾、调经之品。至于其中标本后先、缓急、轻重之法 ,又在临时辨脉审证而权衡之 ,亦无能预料其必然也。

北沙参三钱 制洋参三钱 白花百合一两  
款冬花三钱 川贝母一钱半 ,去心 叭哒杏仁三钱 ,  
去皮尖 炒 生蛤壳三钱 海浮石三钱  
加枇杷叶膏二钱 ,冲。

服两剂 ,嗽咳稍减 ,夜来睡安 ,即原方去贝母 ,加山药、茯苓、旋覆花。再二剂 ,如前安妥 ,浓厚之痰稍薄 ,盗汗渐平 ,痰红不觉 ,气喘喉鸣顿止。

又 西党参三钱 淮山药三钱 ,炒 芡实三钱 ,  
炒 茯苓一钱半 制首乌三钱 炙鳖甲五钱 天冬  
二钱 柿霜八分 款冬花三钱 叭哒杏三钱 ,去皮尖 ,

炒 海浮石三钱 炙草八分

加白花百合二两 煎汤代水。

服四剂 咳嗽减去大半 痰之厚者亦渐薄而少 非前之日咳二三孟者可比。日来口不觉干，盗汗已止。药病相符，原方去茯苓、款冬，加玉竹、归身。

再四剂 据云浓痰十去其五，咳嗽减去六七，喉音清，精神爽，食饮亦贪，渐能知饥。足征脾胃之精气渐复，而能上归于肺、下输膀胱也。以故日逐应手，而奏功甚捷也。虽肌体骨立之躯，而药中肯綮，未有不从斯而挽回生机者也。

又 西党参三钱 嫩黄芪二钱 淮山药三钱，炒 鳖甲三钱 炙 制首乌三钱 柏子仁三钱 研 瓜蒌仁二钱 陈皮一钱 海浮石三钱 芡实三钱，炒

加白花百合二两 煎汤代水。

服六剂 肌肤润泽 不比前之干燥。向来午后必睡，自服余方午后不欲睡矣 益见脾土之渐运 是以怔忡、嘈杂、腰疼、白带等亦从兹而平矣。

又 西党参四钱 嫩黄芪二钱 盐水炒 山药三钱 炒 茯苓一钱半 大南枣三钱 炙甘草六分

沉香五分 陈皮一钱 益智仁一钱 左牡蛎三钱，  
煨 龙眼肉五枚，同煎

服六剂，自夜至晨咳痰不过三四口，大如弹丸，较前大相远矣，惟午后咳嗽稍增。其饮食精神俱觉健旺，面无痿黄之色，肌有丰润之形。前方去沉香、益智、牡蛎，加沙参、叭啞、女贞子，仍以白花百合煎汤代水。再六剂，并不咳嗽，惟清晨干咳几声，午后咳痰亦稀。

又病起五月，医更数手，百无一效。得予扶土保金、益气养阴，而更加以壮水滋木之法，药进三十剂，病除十有八九。再以前方出入，俾气血融和，脉络贯串，血海流通，冀其经事之转为最耳。

西党参三钱 嫩黄芪三钱，盐水炒 建莲肉五钱，去心炒 南枣三钱 龟腹心三钱，炙 炙鳖甲三钱 柏子仁三钱 茯苓一钱半 当归身一钱半 叭啞杏三钱，去皮尖炒 炙甘草八分 陈皮一钱

加白花百合二两，煎汤代水，服六剂。

服三帖，据云经水已至，色淡，小腹微疼。又三剂，经水止，腹中平和，痰嗽仅见一二。原方去党参、归、芪、叭啞杏，加人参、沙参。三剂，如前安妥。

又肺脾将旺, 气血渐和。缘食鲋鱼忽然便溏, 引动痰嗽。以五味异功散加扁豆、山药、款冬、煨木香, 三剂便溏即止, 而咳嗽痰多比之三日反增。此便泄之后, 肺气下降, 肝火上升, 究竟虚劳之根未除。是以右寸、关软小无力, 左关、尺虚濡小数, 仍当益气扶阳、养水滋木为法, 庶乎戩穀, 以补肺汤去白蜜加百合、陈皮、粳米。方列于下:

西党参四钱 炙黄芪三钱 大熟地三钱 紫菀二钱 桑白皮一钱五分 五味子四分, 研 干百合五钱 陈皮一钱

加陈仓米三钱, 生绢包扎同煎, 渣倒河内。

补肺而用参、芪、熟地者, 以脾为肺母, 肾为肺子也, 取虚则补母, 劳则补子之义。丹溪曰: “补水以制相火, 其痰自除”, 且熟地亦化痰之妙品也。其余之药, 清润兼敛, 合而用之。又取补土以生金, 壮水以滋木, 则咳嗽可除, 痰火可清矣。回环照顾, 药岂轻投哉。此唯肺虚咳嗽者为宜, 若实火咳嗽者固非所宜, 即嗽而无关肺、肾之虚者亦非所宜。识认不的, 宁可不用之为稳也。

服十剂, 夜间痰嗽俱无, 侵晨少有咳痰。仍

用补肺汤去白蜜、桑白皮，加山药、炙草、款冬花，两剂而安。继以归脾汤去远志、木香，煎送都气丸，每晨五钱，服一月而全愈。

（案獯）通邑文学顾萃芙先生令媳，惚症，丸剂调理

顾萃芙先生令媳，惚症。

嘉庆丁巳，时届秋令，先大人命予回通拜祭祖先，兼探学台考试之期。仲秋三日，闻予回里，特延诊治，萃翁先生与先君子同庠契友也。令媳素有惚症，迩来不时举发，因立方案以应之。

惚症有五，治法不一。细审病情，每发时必先从左足筋惕而起，痰升气逆，耳有闻而目无见也，退则如故。诊其脉：左关弦数而滑，按之不足，知是肝病无疑。盖肝主筋而行属木，震为足而位居东，东方木郁生火，火郁生风，风火煽而痰升，痰火冲而气逆，急则治标不外乎此，而探厥本源定属肝虚。虚不受惊，惊则魂飞；虚不耐烦，烦则气越。不此之求，而重投疏风、破气、降火、消痰之剂，如虚虚何，而气火风痰亦不可尽置不问也。

制首乌四两 炙鳖甲四两 归身三两 酒洗  
木瓜一两五钱 制香附三两 川郁金二两一钱 丑  
筋三两 切片砂炒 钩藤二两 女贞子三两 松萝茶  
五钱 生明矾九钱

上为细末，炼白蜜和丸，如梧桐子大。每服五钱，清晨滚水送下。

(案 獠) 海门厅尊李枚九先生令姐呕吐危症治验

海门厅李枚九先生令姊，寡居，年逾六旬。

呕吐两月，无论粥饭，进胃即呕。或呕而带酸，或吐而挟痰。药投罔效，诸医束手，乾隆乙卯五月二十日乃延治于予。诊其脉，两关双弦，按之不足，知其木乘土位，犯胃则呕。呕吐久而胃气弥伤，肝木愈强，木强者肝亦自伤。且为之养胃和肝，俾其食入不出，再为之计。用六君子汤加炒川椒十粒煎，送左金丸一钱。两剂呕吐减半，再剂呕止。惟痰中仍兼酸意，此胃中之正气渐复，肝家之郁火未清。仍以六君子汤加姜汁炒生山栀子一钱五分，临服冲沉香汁三分。三剂，痰中之酸意无矣。原方去山栀、沉香，加归、芍、女贞子养胃补肝，治其本也。十剂而安，

继用八珍汤加制香附作丸，调理两月全瘳。

（案猿）毛家镇沈炳文乃室梅核气症奇验

海门毛家镇沈炳文乃室，年二十四岁。

得梅核气症，土医无识，药饵乱投，致病深沉。于乙卯仲秋二日至署，悬门上俞姓转请予往诊。予至其家，细审病情，症由湿火内郁，痰气凝结所致。方案附后：

下指脉沉，气也。沉而兼数，火也。数而带滑，痰也。形如梅核，不随胃气为往来。状似桃胶，直阻咽关之出入。经停三月，或以为胎，似也。而有胎之脉，胡为乎沉细。余作梅核气治，而不用碍胎之品，即曰有胎亦何不可。

方用越鞠丸五钱，饭后进三钱，临卧服二钱，俱以橘皮泡汤送下。

服一剂，觉胸胃间时有响声，且常暖气。问予何故？予曰：“此即向之气结于上脘者，渐有舒通之机，佳兆也！”

原方再二剂，据述服后胸胃不响不暖，惟响在脐腹之下。而咽中咽食之窒塞，呼吸之哽碍，则俱不觉矣，即糕饼、汤饮下咽亦自松爽而无妨。

于事也。第所虑者，脐腹之下响声不辍，似有坠动欲溲之势，得毋小产之征欤。予曰：大凡胎象三月脉必滑疾，何反沉细，前案中论矣。况所进之丸亦无关于胎也，前亦言之。而其所以脐腹响而坠，坠而欲溲者，正为美事，何反虑其响坠而妄疑其胎也。渠虑之，吾取之。取其气与痰火皆由上而下达脐腹，脐腹乃下焦膀胱之地也，知其湿郁之火有从气化而出之象也。其所以犹未能出者，药力未足，功亏一篑耳。仍以前丸用荷蒂二钱煎汤送之，自然通泰矣。如言服之，果然小溲即出，出时热而且赤，约三四次后渐转清白而收全功矣。数月之病，四日而瘳，始终藉一丸之力。而前以橘皮汤下，后以荷蒂汤送，此中微妙可为知者道耳。

间半月复来延诊，问其症，答曰：“内子经转，始悟非胎。今已七日，经水色淡，绵绵不止，少腹微疼，仍求良治。”予诊其脉，右寸关软小，按之不足，左三部缓涩无力。此气虚不能统摄耳，当以益气和肝则血自归经，无足虑焉。于是以四君子汤去茯苓，加黄芪、炮姜、炒黑当归、醋炙青皮、伏龙肝等，两剂经止、痛平。

(案 猿) 通邑王东山荐治林姓室人呕吐  
两月治验

予于乙卯桂秋,自李公署中延诊,病痊告辞  
回通,遇故乡亲友攀留,借榻于钱甥之家。未  
几,接先君家书命予返吴。正欲束装行帆,适表  
兄王东山闻予至通,买舟延予至三十里镇。渠  
亲林姓之内患呕吐症七十有日,遍治罔效,病势  
甚剧,特求予救。夜深不及解缆,翌早同舟而  
往。予至细审,素易动怒,经水愆期,呕吐兼咳。  
病逾两月,年近三旬。方案列下:

木强乘土,犯胃则呕。木胜侮金,冲肺则  
咳。须知肝气过旺,肝亦自伤,此左关之所以弦  
且涩也。疏肝平木治其标,养肝滋木治其本。  
见证虽多,不必枝枝节节求之。

用制首乌、女贞子各四钱 归、芍各一钱五分  
茯苓一钱五分 叭啞杏三钱 款冬花三钱 生姜汁  
炒小川连七分

煎好去渣,入生姜汁两小匙,徐徐饮。

一剂而呕吐减,再剂而咳缓,三剂霍然矣。  
随用左归饮加百合、归身、女贞子,嘱服二十剂。  
攀留六日,解缆而行。

左归饮加味附后:

大熟地四钱 淮山药三钱 炒 茯苓一钱五分  
炙甘草八分 枸杞子二钱 山萸肉一钱五分 百合  
三钱 当归身二钱 女贞子三钱  
水二钟 煎八分 食远温服。

(案 獾) 江云洲乃媳寡居 厥症有年 丸剂调理收功

江云洲乃媳 寡居无后。

厥症有年 不时举发 服后丸剂 竟不再发。  
方案列下 丁巳六月望后三日定：

左关脉弦数而虚 右寸关不任重按 知其病起于肝而波及脾肺也。盖肝火素郁 发则冲肺 烁金 木气过强 甚则侮脾剋土。土虚不能生金 而肺弱 金虚不能平木而肝强。且肝邪过旺 肝亦自伤。不此之求 而专于降火消痰、疏风破气 不过稍缓须臾 而究非善后之策也。为之扶土以生金 金气足而木有所畏 兼之养肝以疏木 木气调而火不能升 由此而厥逆渐停 癩瘵幸免。岂谓沉痾积岁 无计可施耶。虽然气郁之病女子为多 其所以散虑逍遥不尽归功于用药者。

建莲肉六两 去心 一半用甘草一两煎汤拌蒸晒炒 一

半用荷叶一个煎汤拌蒸晒炒 生香附三两,去毛,一半用盐水浸炒,一半用好醋浸炒 西党参四两 制首乌四两 全当归二两,酒洗 茯神二两 酸枣仁二两,炒 炙鳖甲四两 白芍药二两,醋炒 远志一两半,去心,甘草水浸

上为细末,炼白蜜和丸,如小绿豆大,晒令极干。外用川郁金末一两五钱、生明矾末八钱、松萝茶末五钱、龙齿一两五钱,煅研。四味研粉和匀为衣,用荷叶煎汤洒叠成丸。每服五钱,清晨滚水送下。

(案 獯) 戴元魁乃婢痛症不治案

戴元魁乃婢,痛症不治案。

痛分九种,而气郁之痛女子为多,孀妇更甚。苦如尊婢,其孀居之尤者乎。即此夫亡子丧,泪洒空闺,姑老家贫,寸肠百结。无怪乎沉痾积岁,百药无灵。而予有说焉:“退一步,多延片刻光阴,耐三分,省受百般痛苦。是固不药之药,无方之方也,请自度之。”

(案 源) 潘莘庄三女天癸未通,大腹膨胀块攻治验

潘莘庄三女 ,年十四岁。

天癸未通 ,素喜饮冷食酸 ,以致大腹膨胀 ,痛块攻冲 ,状如笔管 ,起于右而行于左。病经数月 ,迩来甚至食入即痛 ,体瘦食减 ,医治罔效。于戊辰六月二十三日乃延余诊 ,方案附下 :

食入即痛 ,气滞不舒也。痛而复胀 ,脾阳不运也。此右关之所以沉而且迟者 ,不为无自 ,宜以附子理中汤加味治之。

西党参三钱 於白术二钱 土炒 熟附子八分  
干姜七分 炒 炙甘草八分 元胡索一钱半 醋炙  
加旧铁器两许 ,煨红药汤内淬服。

服一剂 ,痛胀减半 ,再剂全愈。据述自起病至今口无痰吐 ,服此药后常吐冷痰 ,自觉脘腹松爽 ,足征脾阳之不运。由于寒痰之中停 ,温中诚为对症之剂。而其中痛块攻冲 ,又不无暗受肝木之侵欺 ,以故佐醋炙之元胡 ,入肝而疏血中之气滞 ;以煨红之铁假金气而平木 ,则土不受木侮而脾土愈得其令矣 ,即《内经》亢制之义。故一剂知 ,二剂已也。仍以前方 ,内姜、附各减去二分。再二剂 ,不第冷痰全无 ,且素有之块如笔管者亦自不觉其有矣。论药附后 :

立方时 ,莘庄谓予曰 :“如此热天 ,用此热

药,可无妨乎?”予曰:“有是症,用是药。经云舍时从症,何足虑焉!”及服后奏绩,又曰:“冷痰尚多,姜、附索性重用为妙。”予曰:“减之则可,增之则不可。盖药以治病,中病即已,过则误人。”莘庄深服。

(案 源) 时象明侧室头发脱落,丸剂调理

时象明侧室,年近三旬,头发脱落。丁巳桂月八日。

头为阳之首,发乃血之余。头皮何以痒,血以热而风生也。发根何以腐,血以热而湿蒸也。血何以热,血虚故也。血虚何以发脱,或因新沐当风,或因头汗湿郁,邪气袭虚,而真阴不能固济也。再请验之于脉,左关弦浮,卜肝风之上扰,右关濡数,知脾湿之上蒸,左尺沉涩而虚,益见肾阴之不能上达。况经事不调,后期而至,其为血虚也何疑。

**大生地**六两,不切,先用当归三两、川芎一两五钱、白芍一两五钱,陈酒煎浓汁,去渣煮生地。候发松时取出,先晒后蒸,九次为度,余汁留入药用。

**生首乌**四两,先用马料豆四两水煮浓汁,去豆,入首乌煮熟,切片,先晒后蒸,九次为度,余汁留入药用。

**羊脑**一具 :用荷叶包裹蒸熟 ,去荷叶 ,捣入药。羊脑须用生羊脑。

**晚蚕沙**二两 :用真黑芝麻二两同炒 ,同研。

**生香附**四两 :一用醋浸两日捣碎焙研 ,一用陈酒浸两日捣碎焙研 ,一用米泔浸两日捣碎焙研 ,一用盐水浸两日捣碎焙研。

**鲜旱莲草**捣汁煎膏三两。 **元武胶**三两 :熔化。 **鹿角胶**一两五钱 :熔化。 **白蒺藜**二两 :酒炒。 **血余**五两。 **建莲肉**四两 :去心 ,炒。

上为细末 ,量用西党参、炙黄芪等分 ,煎膏代蜜为丸 ,如桐子大。每服五钱 ,清晨滚水送下。

(案 源) 陆平庄幼女两胯滋水及汪氏、方氏女治验

陆平庄舅兄次女 ,周岁 ,戊辰六月。

两胯滋水淋漓 ,孔如蜂房。因痒自抓 ,滋水更甚。前用白牡丹散搽之 ,嫌痛多哭。今自制黄龙散予与搽之 ,却不多哭 ,方用伏龙肝、煨牡蛎为君 ,佐黄柏、铅粉、密陀僧合成一方 ,命名黄龙散。

内用苡仁、茅术、银花、连翘、滑石、甘草

煎服。

外以金银花、甘草节各三钱，青葱十枝煎汤，候温淋洗，拭干，再敷黄龙散。孔深处以麻油调搽。

三日后，两胯滋水十去其八，再次全愈。

又，汪氏女，年十四岁。

左口吻生疮，滋水淋漓，痛痒交加。疡科治疗反增如胡桃大，结盖自脱，而滋水如前。淹缠四月，求治于予。此湿毒浸淫，予以黄柏，少佐甘草，研细如粉。先用银花、甘草煎汤淋洗，拭干搽药，有水即干，掺之，如无滋水即以麻油调搽。如法用之，不五日而痊，并未服药，命其名曰甘黄散。

又，方氏子病咳血，延治方毕，渠女兄年二旬，患口吻疮两月，滋水淋漓，邀疡医治皆不应手。三日来口吻结紧，食难进口，虚火易升。为此求予煎剂调摄，予应之曰：“食难进，火易升，皆为口吻疮也。治此甚易，何必服药。”且不劳予思索，即以甘黄散麻油调敷，少顷滋水盖脱。再敷之，口吻勿紧而食能进，从此水止、肌生而痊矣。

(案源) 女贞观百寿师湿毒溃烂药误几危治验

女贞观百寿师 正月十七日。

年逾二旬,经水应期。于去冬十月间患湿毒,手足腿股溃烂成疮,大者如盆,小者如杯,痒甚则抓,抓则水出。他医皆指为疯瘫症,有用麻黄、羌、防而兼凉血者,有以芩、连、生地、银花、羚羊角辈而清火解毒者,俱不应手。更奇者,有粗工用银花、苦参、大风子各五钱煎服。据云服之内觉热极难忍,几乎丧命。今始少平,特买舟求救。予闻之深为悲痛,不思大风子性热燥痰伤血,惟外治疮癣疥癩,岂可用此内服。即一钱五分尚不敢轻投,况五钱乎!以人命当儿戏,庸工之作孽,罪莫可追也。予从症脉合参,知其脾家之湿毒,肝经之郁火。外用解毒生肌、收水定痒之法,内以燥湿扶脾、凉血清火之功,何患其不瘳也。

薏苡仁八钱 炒 茅山术二钱 炒 秦艽一钱半  
粉丹皮一钱半 炒 全当归一钱半 甘草节八分  
连翘一钱半 去心 云茯苓一钱半 广陈皮一钱半

外用家制东里膏,搽擦勿间。

服煎剂五日并搽药后,疮不觉痒并无滋水。

二十二日诊：原方去秦艽、连翘，加小生地三钱、金银花一钱五分。外仍用前膏搽擦。

服前方五剂并外搽药，手足腿股之溃烂已十去其八九。两日来经行过多，末期先至，觉头眩身疼，左脉虚数。以四物汤加女贞子、生香附、陈皮煎服，外仍以前膏搽之。服三剂，经止疮愈。

（案源）沈氏女下体不洁玉门生疮奇验  
沈妓女，年二旬。

下体不洁，阴门生疮。据述疮口长约一寸半，深约半寸。起自正月八日，医更数手，疮口愈深且肿，痛无宁刻，迄今四十余日。适岭南王子荐余诊治，斯时正值经水临期，脉虽弦数，未便过投寒凉，遂以四物汤加金银花、甘草、人中黄、贝母、青皮煎服。

外用家制紫霞膏调珍珠散搽之。

次日复诊，据述此药搽上立即不痛，且食饮亦多进，非前之痛如鸡啄、昼夜不安可比也。至于经水亦已减半，原方再剂。外用搽药同上。

二月二十一日，经水已停，下体疮口新肉渐长。内服补中益气汤，外仍搽以前药，不十日而

完口矣。(家制膏散等,注于予《肘百珠囊方》内)

(案 瀾) 木川吴师瞻内人疟未楚,两胁硬块治验

木川吴师瞻乃室。

疟邪未楚,寒热复作,两胁硬块左右横冲,邪食交阻,腹膨不饥,喘而且咳。种种见端,邪实正虚,是以右寸虚软,两关虚弦也。缠绵不已,还恐浮肿、痰红之虞。姑拟辅正以退邪,冀其疟止,庶无变迁。(年近三旬,经水衍期。嘉庆戊辰八月二十八日诊)

淮山药三钱 炒 制首乌三钱 炙鳖甲三钱  
青蒿一钱半 款冬花三钱 制半夏一钱半 淡黄芩一钱半 炒 甘草五分 小青皮一钱 鸡内金一钱半 炙  
加生姜五分,黑枣两枚(去核),用白花百合一两煎汤代水。

服两剂,疟发、寒热俱轻,而两胁下硬块横冲亦缓。唯咳喘未减,寒热间日一发,发在午前。热时有汗,至点灯时热退。

三十日复诊:前方去半夏、黄芩,加知母、当归各一钱五分,老枇杷叶三钱,去毛蜜炙

服一剂,稍觉微热之势。再二剂,症止喘平,而咳嗽亦十减半矣。

又,九月初四诊:

北沙参三钱 淮山药三钱,炒 茯苓一钱半  
款冬花三钱 叭啞杏三钱,去皮尖 制首乌三钱  
鳖甲三钱,炙 小青皮一钱 炙甘草五分 枇杷叶  
三钱,去毛

加生姜五分、黑枣两枚。

服四剂咳嗽止,左右之块攻亦平。惟大便燥结不爽,乃症后气血未充耳。方用党参、山药、百合、制首乌、炙鳖甲、女贞子各三钱,茯苓、陈皮各一钱五分,炙甘草七分,调理十剂收功。

(案源) 太仓杨炳德内人产后三月腹膨、足肿治验(附丸方)

太仓杨炳德内人,己巳三月十四日,年逾三旬。

去年季冬生产,迄今三月,经水未至,食饮减少,夜来两足浮肿至膝,腹膨兼痛。医作阴虚湿热治,罔效。方案列下:

产后三月,经水未行,体虚腹膨,两足浮肿,便溏食减,中满之征也,病属肝脾。《易》云“震

为足” ,足属东方木也。固宜扶脾 ,亦须养肝 ,斯为尽善。他如头眩、口干、腹疼、痰多、内热 ,无非肝阴之不足 ,脾阳之不运也。况左脉虚弦 ,右脉软小乏力 ,更显有明征欤。

《本事方》云：“脐腹四肢悉肿为水 ,但只腹胀而四肢不甚肿者为蛊。”臑 ,谓鼓胀也 ,即今云气虚中满是也。

西党参三钱 生黄芪三钱 茯苓一钱半 制半夏一钱半 淡干姜八分 ,炒 砂仁壳一钱 归身一钱半 白芍药一钱半 ,炒 炙甘草六分 加苡仁一两。

服七剂 ,足膝浮肿渐退 ,腹之膨痛亦缓。再以六君子汤加制首乌、炙鳖甲、归身、益智仁、砂仁壳。服二十剂 ,继以后丸调理而痊。

方用六君子汤合四物汤 ,加炙黄芪、制香附、益智仁、女贞子、木瓜 ,以荷叶煎汤洒叠为丸。每服五钱 ,清晨炒米汤送下 ,服三月止。

(案源) 芜湖邑宰张槎客令爱舟中冒暑寒热治验

芜湖邑宰张槎客令爱 ,年十三岁 ,己巳

七月。

自乡往署，舟中感冒风暑，寒热头疼。泊舟虎丘，邀予诊治。案云：证脉合参，暑风外袭，食饮中停，乍寒乍热，似疟而阴阳未分也，疏解为宜。

香薷一钱半 防风一钱半 白蔻仁五分 半夏  
曲一钱五分 赤苓二钱 滑石三钱 广藿香一钱半  
六神曲三钱，炒

加藕一两。

服一剂，寒热头疼俱减，再剂而退。

(案 瀝) 文连万内人疟发间日，寒热交作  
治验

文连万妻。

疟发间日，寒热交作，舌苔白腻，不饥纳少，脉左弦右滑。邪伏少阳、阳明，宜从和解治。

柴胡五分 黄芩一钱半 炒 姜制半夏一钱半  
甘草五分 青皮一钱 赤苓一钱半 广藿香一钱五  
分 滑石三钱

加生姜一片、大枣一枚。

当服一剂，明日于未发前一时再一剂疟止。后以二陈汤加藿香、石斛、谷芽、砂仁和胃醒脾，

调理四剂而安。

(案 源) 木川殷氏小姐食入呕吐治验

木川殷氏小姐 年二旬。

每食饮入胃 少停即呕吐。病经半月 进药无效 邀余诊治。其脉右关沉滑 左关小弦。胃不和 肝不疏 此呕吐之所由来也 以代赭旋覆汤加味治之。(呕家不喜甘 原方去甘草、大枣，以干姜易生姜 而加山栀、青皮也。少佐盐花亦止呕 咸降之意耳。)

西党参二钱 旋覆花二钱 生绢包扎 制半夏二钱 干姜六分 炒 代赭石三钱 煨 生山栀一钱 小青皮一钱

临服入盐花少许。

服三剂 呕吐减半 且非前之食入即吐可比也。再三剂而全愈。

(案 缘) 上舍钱云峰侧室经水愆期 胁痛彻背治验

上舍钱云峰侧室 年逾三旬。

经水愆期 于己巳孟冬右胁刺痛彻背 两关沉细 乃肝胃气滞不疏。

元胡索一钱半 当归一钱半 瓜蒌全一钱半 酒  
炒 炙草五分 广木香六分 磨冲 青皮八分 薤  
白三钱

河水一碗、陈酒一杯和匀同煎。

服三剂，刺痛如失，食饮如常。

(案缘) 陆氏姬齿衄蓄血有年用釜底抽薪法果验

陆氏姬，年五十四岁，十月二十二日。

下齿龈出血，盛则上龈亦出。五六年前，每出三四碗，成条成块者居多。二三年来，不时常发。今齿龈出血两碗余，亦复如前成条成块，病名齿衄。服他医生地、丹皮、侧柏、蒲黄、血余、元参、茅根、旱莲草辈凉血止衄之剂，毫末无功，乃问治于予。方案附下：

血蓄阳明，发为齿衄。病经有年，不时举发，瘀血成条。夫阳明为多气多血之乡，蓄而不去，妄行上溢。欲断其根，必获釜底抽薪之法，庶几不致受累于终身也。

酒浸生大黄三钱 桃仁泥三钱 当归尾二钱  
漂淡人中白一钱 紫降香三分 研细 冲  
加荷叶一钱五分 炒黑存性同煎。

酒浸、酒洗，各有分别。洗轻于浸，但能至胸中。浸重于洗，故能引于至高之分。

服两剂，齿衄未出，解黑粪而止。再以益气养营法，取阳生阴长，血脱固气之义也。

西党参三钱 黄芪三钱 盐水炒 大熟地三钱  
归身一钱五分 炙甘草八分 降香五分

加入中白五分，漂淡，冲。

调理数剂，全安。

（案 续）予内人身微热、头顶痛、无汗，湿气内侵治验

余内人。

身微热，头顶痛，无汗，不欲食，脉右浮缓。此连日阴雨，地土卑湿，久坐针工，湿气内侵。况值长夏，更非无因，宜平胃散损益之。

茅山术一钱半 炒 藁本一钱半 秦艽二钱  
生甘草五分 广木香六分 陈皮一钱

加葱白三枚。

服后，少顷汗出未畅。继以米饮以助其汗，始得汗透，自觉周身之疼松。次日头顶之痛如失，惟手足心热，四肢软倦，恶心不饥，遍体似有不疏之象，方用平胃正气散加减之。

茅山术一钱半 炒 秦艽二钱 制半夏一钱半  
陈皮八分 广藿香一钱半 麦芽三钱 炒 广木香  
七分 甘草五分

加鸡内金二钱 炙。

服后遍体松爽 诸恙向安矣。

内子病湿 审证明确 投剂中的 效如影响。竹亭  
自识。

(案缘) 黄埭朱氏妇经水两月未止治验  
黄埭朱氏妇 年四十四岁 庚午八月十  
七日。

经水缠延 两月未止 右关小数 左关弦细。  
宜以引血归经法 天癸自止矣。

白术炭一钱半 炒黑蒲黄二钱 炒黑荷叶二  
钱 炮姜炭五分 炒黑白芍二钱 存性 漂淡人中  
白一钱 旱莲草三钱 炒黑当归一钱半

加血余六分 研细 冲。

服两剂 经水即止。再二剂 更觉精神爽  
健 腰痠亦平矣。

(案缘) 予先慈高年患痢 腹痛、白冻、里  
急后重奇验

予先慈 ,七十六岁 ,嘉庆庚午九月重阳日。

体质素健 ,三日前头疼微热 ,服疏解药即停。后渐腹痛欲解 ,解下纯是白冻 ,日夜十余行。服温中消导之剂 ,仍然腹痛 ,里急后重 ,一昼夜约廿余行。食饮稍减 ,舌苔腻白 ,脉右沉紧。寒积中停 ,温通为宜。

制大黄一钱 熟附子六分 炮姜五分 炙草五分 焦谷芽三钱 大腹绒一钱半 枳壳一钱半 炒桔梗一钱 鸡内金一钱半 炙

服后 ,大便黄粪兼白冻 ,非前之纯冻可比。日二三次 ,夜解四次。

初十日 :原方 ,制大黄只用五分 ,余药如前。服后日解两次 ,夜反甚 ,解其数次 ,里急后重 ,所解者仍是白冻 ,状似鼻涕。

十一日 ,用理中汤合叔微温脾汤之意 ,而变易之 :

西党参三钱 焦冬术一钱半 熟附子六分 炮姜五分 生大黄八分 陈酒洗 五谷虫一钱半 炙广木香六分 切片 薤白二钱 生谷芽三钱 鸡内金一钱半 炙 炙甘草六分

服后 ,粪带黄色 ,稍兼白冻 ,日三四次 ,夜间两次 ,里急后重之势大减。至十二日 ,清晨至午

刻解两次 ,纯粪无冻。

十二日方附下 :

焦冬术一钱半 白扁豆三钱 炒 广木香八分  
桔梗一钱 五谷虫一钱半 炙 焦谷芽三钱 炙 甘  
草五分 槟榔一钱 薤白二钱 鸡内金一钱半 炙  
服后 ,夜间解两次 ,无冻 ,后重不觉。

十三日 :原方去槟榔 ,五谷虫减去五分。十四日清晨解正粪一次 ,已后未解 ,知饥能纳 ,继用香砂六君子汤十剂调理全安。

寒积阻于肠胃 ,自应温通 ,故以大黄佐附、姜而温通之 ,服后寒积顿减。次日大黄减用五分 ,服后积反增如初 ,脉仍沉紧 ,知其大黄减半而病复 ,寒积犹存 ,因用附子理中汤加酒洗生大黄 ,佐疏运之法。服后寒积始尽而无余 ,一剂而霍然矣。斯时倘畏其虚而不敢推荡 ,则积垢终难尽除 ,自是大黄之力也 ,且非酒洗之生大黄亦不能若斯之速奏功也。然大黄之用 ,非姜、附佐之 ,则寒积必不能除。设重用姜、附、轻佐大黄 ,则积垢亦必不能尽彻。制方之妙 ,妙在大黄之重于姜、附 ,姜、附之轻于大黄也。其所以然者 ,缘肠胃暴受新寒之积垢 ,非锢冷之积滞久留肠胃者可较也。是以用方之意与叔微之温脾汤 ,

又自觉其同而不同矣 ,亦各有取意存焉。

(案缘) 陆配佐幼女痧发复感 ,外熨内服  
治验

陆配佐次女 ,三岁 ,庚午五月。

痧发将齐 ,又冒风邪 ,尚有隐而未透者 ,防  
其喘急 ,宜以轻疏为最。

用前胡、防风各一钱 杏仁二钱 桔梗 橘红  
各八分 甘草三分 赤茯苓一钱五分 西河柳三钱  
煎服。

外用胡荽 (俗名元荽)二两煎汤 ,用棉布浸  
透绞干 ,熨头面、胸背。

次日 ,热退 ,有汗 ,痧清 ,咳止而愈。

(案缘) 休邑上舍程梅溪继室行经腹痛、  
腰疼治验 (附丸方)

休邑上舍程梅溪继室 ,年逾三旬 ,辛未二  
月。

经行两日 ,小腹胀痛 ,腰疼不已。固由气血  
凝滞 ,亦关感寒所致 ,宜以温经散寒。

独活一钱半 稽豆衣三钱 归尾一钱半 元胡  
索一钱半 炒 炮姜八分 五灵脂八分 甘草六分

大腹绒一钱半 木香七分

加青葱一大枝。

服一剂 ,血块随下。再剂 ,胀痛平而腰疼缓 经水尚淋漓未止 ,调其血而自已。

用归、芍各一钱五分 制香附、杜仲各三钱 枳壳、元胡索各一钱五分 炮姜、炙甘草各八分 淡茱萸三分 陈皮一钱

服后 经水即止 继以调经丸剂。

平素经行愆期三日 ,未至必先胀痛 ,痛甚经行 血中兼块。左关尺虚濡 ,右寸虚软 ,关脉沉小。自是气血两虚 ,理宜益气养营为主 ,而中间佐以调血通经之法亦不可少。方用八珍汤加制香附、女贞子、元胡索、茺蔚子、广木香 ,炼白蜜为丸 (桐子大) 。每服五钱 ,清晨滚水送下。服两月余 经行如期 ,腹竟不痛 ,血块亦减 ,颇为合宜。

(案缘) 陆我斋女腹痛胀满 ,新谷与故寒相争治验

陆我斋舅兄长女 ,辛未六月。

素喜贪凉饮冷 ,右关紧滑 ,不无寒阻。新谷与故寒相争 ,此大腹之所以痛且胀也。治宜温

通 通则不痛。

广木香五分 陈酒磨冲 薤白三钱 神曲三钱 炒  
砂仁壳八分 大腹绒一钱半 枳壳一钱半 炒 苏  
梗一钱半 鸡内金二钱 炙

加青葱一枝。

外用 陈香椽五钱 生姜二两 葱二两 大皂  
角两挺

俱切碎 用河水两大碗 滴醋、陈酒各一大  
杯 和匀煎滚 用棉布浸透绞干熨胸腹 冷则易。

熨后腹中响声 随服前药。未两时 胀痛俱  
止矣。

(案缘) 周氏妇肝脾胀痛挟块治验

周氏妇。

两关带弦 扶脾疏肝 胀痛自平 块亦自消。

焦冬术一钱半 白扁豆三钱 炒 茯苓二钱  
炙甘草八分 广木香六分 淡干姜三分 炒 麦芽  
三钱 炒 淡茱萸三分

加生谷芽四钱。

服后胀痛大减 块亦平静。

(案缘) 予内人呕吐、脐腹块攻痛极高突

## 危症奇验

予内人，年三十一岁，嘉庆己巳四月八日。

由忿怒伤肝渐发寒热而起，服疏解药寒热究未尽彻，食减口干。又以疏肝和胃法似觉稍安，忽夜间腹中大痛，上吐下泻，痛甚头汗如雨。随用藿香正气散出入之，外用香附、皂角、姜、葱煎汤熨之，似缓。而少顷又大痛、大吐、大泻，如此一夜。次早以汤饮下咽，顷之即呕。因用黄连汤治之，下咽未几，呕、痛立至，于是以旋覆代赭石汤煎服，呕吐始平，而痛势仍未一减，非但不减而反增腹胀脐突，宛如小锅覆于大腹之上，痛缓渐平，痛剧即高起。得汤仍呕，惟泻渐停，自觉痛甚欲绝。因延同事老医陆君诊视，方用金匱肾气丸，每服三钱，开水送下。服后痛势渐减，腹胀脐突之势亦缓。次早仍服之，而痛势又甚。午后仍然腹胀脐突，且呕青黄水。复延诊治，仍以前丸，惟用水泛者三钱服之，仍然大痛，脐腹胀突，头汗如雨，奄奄一息。至更余时，予默坐静候，索想久之。面青少神，其脉左关（肝部）沉弦小数，原于忿怒伤肝，气结火郁无疑。假外因而发，故初起似寒似热、似疟非疟，从乙木而波及甲木，表里并至。甚至肝木横冲直撞，

木乘土位 ,以致腹胀脐突 ,大痛而吐泻并作也。色脉谛详 ,深知脾土之受困于肝也匪浅。陆先生所定肾气丸似属中窾 ,故初进小效 ,而再服则不应矣。盖肾气丸乃肝脾肾三经之药也 ,虽有桂、附而究不能专主于脾也。谛思良久 ,时已三鼓 ,必得以和中之法为最当。曾记先大人曰 :“凡上下不和者 ,当击其中而首尾皆应也。”旨哉斯言 ! 于是以理中汤合黄连汤 ,少佐柴胡。煎好 ,徐徐服。服后未几即渐睡着 ,时已天明 ,痛阵渐缓。至辰初 ,仍然一呕 ,尽是酸黄水 ,觉口齿酸软。虽呕未泻而痛阵已缓 ,兼之泻停 ,自是药之对症也。

原方去柴胡而稍为增减 ,日逐渐安。痛减呕平乃去黄连 ,而总不离于理中汤之出入 ,或四、六君之加减 ,间佐归、芍辈调治之。中间偶用向阳陈壁土四两 ,淘净澄清 ,以此水先同陈皮一钱五分 ,水二钟半煎至两钟 ,去陈皮 ,入药同煎至一钟服。此法在呕痛减半之时用过数次 ,颇妙。取向阳土得阳光之气 ,以土扶土。土能解诸臭 ,可祛胃中之秽浊 ,和以陈皮可疏脾土之气滞 ,煎汤代水可助脾胃之生气也。

调治月余 ,诸恙向安 ,偶尔胸脘不爽 ,似有

小疼之象。自制一方名茱萸丸，每服五分，食后滚水送下。服五六日渐自平妥，而食饮仍不大贪，因以陈白米煮饭，随所喜可口之物烹炊作肴，当觉有味。从此食饮渐贪，不半月，胃口大开，食饮倍增，脾胃健旺，精神日充，气血和而肌体丰润。通计药投两月之余，始觉平安如常，大病回春，诚再生之幸也。

予室人陆氏起病时，次子凤生将及半周，彼时尚有乳汁可吮，已后病增，乳汁全无。迄今两月，病已全愈，气血融和，精神健旺，疼爱小子，常抱于怀而吮以乳。未数日而乳哺果有，渐自充足，哺之有余。正所谓母安而子受荫矣，快哉！孙竹亭识

**自制茱萸丸**治胸脘气阻不爽，或受寒呕痛，或肝脾气滞不疏者，皆可用之。竹亭（邻）注

淡茱萸一钱五分，不经火    淡干姜一钱五分，炒  
紫沉香一钱二分，不经火

上三味，各研极细，和匀，用神曲打糊为丸，如小绿豆大。每服五分，滚水送下。

此丸如前云，或受寒呕疼、脾肝气滞不疏等症，即用一钱亦可。如只胸脘不爽，气阻小疼，其丸不过服五分耳。

(案 18) 谈秉衡乃堂肝胃痛 ,两胁块攻危症奇验

谈禹范襟兄乃堂。

素有肝气 ,去冬偶发。今交春令 ,不时常发。二月间 ,痛甚气逆 ,两胁块攻。腹胀必得以滚水灌之渐引其呕 ,呕出新谷 ,腹中稍觉平和。着人揉摩腹胁 ,始觉块平腹软。土医作肝气治 ,以槟、沉、枳、朴辈疏气 ,间有用旋覆花、代赭石加诸破气之品 ,服之亦间或奏效者。第不日仍然大发如前 ,有时新谷未入即呕出旧谷觉酸 ,医用左金丸加归、芍、金铃子、石决明 ,佐降气法。延至三月初旬 ,痛势更甚 ,以至头汗如雨 ,四肢俱冷 ,仍以滚水灌之引其自呕 ,一呕稍宽 ,加以揉腹 ,人事渐苏 ,神识渐安。日来食饮维艰 ,大腹有膨胀之势 ,两颧浮肿 ,病象沉重 ,始求治于余。其脉右关细软无力 ,左关弦细按之不足。病由痛起 ,痛甚伤肝 ,木来乘土 ,脾胃已亏。痛极引呕 ,呕时似快 ,而脾胃则益受其累矣 ,以致不饥纳少 ,痛发无时 ,头汗淋漓 ,四肢厥冷 ,土为木贼 ,乃极险极危之候也 ,幸胃气未绝 ,还图一线。

方用代赭旋覆汤去生姜、大枣，加干姜、青皮、吴茱萸。一剂，是晚安妥未痛。

次日用六君子汤合附子理中汤，加代赭石三分，煨研冲。服后如前未痛，食饮渐贪，肢暖汗止。再剂如前安逸，再以五味异功散合附子理中汤，加女贞子、砂仁。

至半月后买舟就诊，据述服前方两剂诸恙向安，停药有日，痛症又发，较前稍缓。证脉合参，究属脾阳不运，肝木乘之，肝气过旺，肝亦自伤。为之扶脾温中，兼之养肝舒木，加意调治，自尔平可。

西党参三钱 淮山药三钱，炒 茯苓二钱 炙甘草八分 熟附子三分 淡茱萸三分 半夏一钱半，炒 旋覆花一钱半，包 女贞子三钱 制首乌三钱

加橘络一钱。

服两剂，痛止未呕，自觉安静。复诊方附下：

西党参三钱 玉竹三钱 炙甘草七分 益智仁一钱半 柏子仁三钱 归身一钱半 半夏曲一钱半，炒 淡茱萸二分 广木香六分 白芍一钱半，炒  
加橘络五分。

服五剂 ,如前不痛不呕 ,食饮渐增。再以五味异功散加苡仁、益智仁、制首乌、归身、吴茱萸二分 ,泡淡煎服十剂 ,调理而愈。

(案 远) 湖州程锦堂室人经行腹痛、腰疼等症治验

程锦堂乃室 ,家居湖州 ,买舟就治 ,年四十一岁。

素体肥胖 ,贪凉恶热 ,喜冷饮 ,向有痔症 ,此脾虚挟湿 ,肝虚血少。夜热口干 ,经行腹痛 ,腰腿痠疼 ,四肢虚浮 ,腹块有年 ,小溲短赤 ,种种见证 ,皆肝脾为患。况右脉虚小 ,左脉虚数 ,又显有明征耶 ,盍早图之。

西党参三钱 制首乌三钱 炙鳖甲三钱 香附三钱 稽豆皮三钱 盐水炒 赤茯苓二钱 炒麦冬一钱半 秦艽二钱 怀牛膝二钱 杜仲四钱 炒川木通一钱

加橘络八分。

服两剂 ,诸恙渐减 ,惟四肢之浮及手指刺痛未减耳。(壬申四月初六日)

又 ,初八日方 :

西党参三钱 苡仁四钱 炒 制首乌三钱 炙

鳖甲四钱 青蒿梗一钱半 归身一钱半 香附制三钱  
川续断二钱,炒 怀牛膝二钱 木瓜一钱半  
赤茯苓二钱 杜仲三钱,炒

加阳春砂仁三分,研冲。

两剂,夜热口干更减,手指刺痛亦缓,且稍可弯曲,其腹块之疼、腰腿之痛、小溲之赤亦俱减半。再用六君子汤加首乌、鳖甲、青蒿、女贞子、益智仁、吴茱萸三分。五剂,诸证向安。后以八珍汤加制香附、广木香,调经而健。

(案 远) 西跨桥吴氏妇伤胎后气逆、头眩、烦躁治验

西跨桥吴氏妇。

胎怀三月,据述以伤胎药一服,当晚即下恶血甚多,两日后血渐少,气逆上冲,恶心头眩。延余诊视,其脉虚数不静,烦躁微热,气从下而逆上,已属险途,再乡僻之地又不能避风节食,更兼所进下胎之丸如此效速,必有毒药,余气未清,均未可知。合色脉而谛详,气血两伤,恶血未尽,务宜气营两固,佐以温疏为最,否则恐其郁冒痉厥之虞。(壬申三月二十四日)

西党参三钱 炒松熟地三钱 归身一钱 炮

姜二分 炙甘草八分 半夏曲一钱五分 炒 陈皮一钱 苏梗一钱半

加沉香三分 磨冲。

服一剂，气逆恶心稍平，自觉内热烦躁，此血去多而阴气骤伤也（外仍微热）。

又，二十五日方：

炒松熟地四钱 归身一钱 西党参三钱 炙草八分 生鳖甲四钱 丹皮一钱半 炒 青蒿子一钱半 苏梗一钱 代赭石三钱 煨

加生谷芽六钱。

进两剂，身热渐退，烦躁内热已止，恶血全无，惟觉体倦，幸食饮渐贪，胃气渐和，佳兆也。

又，二十七日：四君子汤加熟地、鳖甲各四钱，丹皮、归身各一钱五分，丹参三钱，生谷芽六钱。

两剂后，食饮渐增，诸恙俱平。

二十九日：用八珍汤加丹参、南枣，五剂全瘳。

（案透） 陆守愚幼女温邪内蕴，壮热不解 治验

陆守愚内阮之女，四岁，壬申四月。

温邪内蕴 ,壮热不解 ,宜以清疏 ,免其痙厥。

葛根一钱 前胡一钱 薄荷一钱 赤茯苓一钱  
五分 连翘一钱 ,去心 甘草四分 橘红六分 钓藤  
钩三钱 ,后入 查肉二钱 ,炒

加青葱一小枝。

进一剂 ,汗出热退 ,便解神清。

(案 遼源) 陆我斋三女感寒停食 ,身热无汗  
治验

陆我斋舅兄三女 ,九月二十八日。

感寒停食 ,身热无汗 ,冲龄质弱 ,宜于轻表  
得汗为妙。

苏叶一钱半 防风一钱半 蔓荆子一钱半 连  
翘壳一钱 麦芽三钱 ,炒 查肉三钱 ,炒 橘红八分  
生甘草五分

加生姜皮三分。

服后 ,至半夜热甚 ,天明汗出 ,热减其半。  
食饮不贪 ,大便三日未解。

又 二十九日方 :

青蒿子一钱半 防风一钱半 桂枝八分 赤茯  
苓二钱 半夏曲一钱半 ,炒 秦艽一钱半 枳壳一钱  
半 ,炒 焦谷芽三钱

加生姜皮四分、黑大枣一枚。

服后 ,身热退清 ,大便欲解未解。

三十日 :用鲜石斛、赤茯苓各三钱 鲜首乌五钱 大麻仁、杏仁各三钱 神曲三钱 甘草、陈皮各七分

服后 ,大便结粪已解 ,食饮渐进 ,继用养胃生津之剂而愈。

(案 透) 陆守愚内人经水适来寒热间作治验

陆守愚内阮乃室 ,四月十三日。

经水适来 ,寒热间作 ,随即经止 ,却无腹痛、胀闷之势。因有小官哺乳 ,经水无多。惟头眩且痛 ,咳呛身热 ,热无定期 ,非疟也。乃温邪外袭。夜热不止 ,邪在阴分 ,疏解为宜。

蔓荆子一钱半 荆芥穗一钱半 前胡一钱半 杏仁三钱 研 黑苏子一钱半 炒 制半夏一钱半 桔梗一钱 陈皮一钱

加姜皮三分、葱白两枚。

服后 ,身热稍减 ,其余如前。

又 ,十四日方 :

老苏梗一钱半 蔓荆子一钱半 豆豉三钱 枳

壳一钱半 炒 半夏曲一钱半 炒 白杏仁三钱 研  
前胡一钱半 连翘一钱半 去心 薄荷叶一钱半  
加梨肉一两。

服此 身热、头眩、呕恶、咳嗽等俱十去其八 继用清解和胃之剂 两帖而痊。

二十四日 足指缝湿痒难忍 起已有年。

外用茅术、黄柏、苦参各四钱 石膏、明矾各一两 白芷、川椒各一钱 七味煎浓 先薰后洗 拭干搽余家白牡丹散。如湿水出、痒不已 再以药手捻擦之 痒止水干而愈。

(案选) 孙府女阴虚邪乘 夜间身热、骨节疼痛治验

孙女 年逾三旬。

素体劳役 恶热贪凉 微冒风邪 阴虚邪乘 夜间身热 骨节疼痛 食少体倦 连发两日。诊其脉 浮而缓 按之小数。知其邪入于阴 用后方一剂 半夜汗出身凉 骨节疼痛等症俱平矣。

秦艽一钱半 防风一钱半 青蒿子一钱半 地骨皮一钱半 藿梗一钱半 甘草六分 半夏曲一钱半 炒 生鳖甲三钱

加青葱一枝。

(案述) 吴氏女牙龈肿痛,内如针刺,咽疼口干治验

吴女,年二十四岁,壬申五月。

牙龈肿痛,内如针刺,更兼咽疼口干,经水未期,脉象浮小,治在轻清。

元参三钱 薄荷一钱半 桔梗一钱 牛蒡子一钱半 炒 马勃一钱 麦冬一钱半,去心 甘草八分 川贝母一钱半,去心

加水梨肉一两半。

服后牙龈、咽痛俱稍减。

又二十日方:服后方一剂,咽疼已止,牙龈肿痛减半。

蔓荆子一钱半 薄荷一钱半 桔梗一钱 生甘草八分 元参心三钱 连翘一钱半,去心 白芷五分 细生地三钱

加水梨肉二两。

又二十一日方:进前方咽疼止,牙龈之肿痛亦十去其五。

再以薄荷、山栀、黄芩、连翘各一钱五分 细生地、熟石膏各三钱 白芷五分 甘草八分

一剂肿消痛减 ,牙痛可免 ,余火未尽。

继以生地、元参心各三钱 川黄连三分 甘草八分 桔梗一钱 赤苓、薄荷各一钱五分 川通草八分

服后全愈。

(案 逐) 黄埭吴豫得女内热 ,咳嗽痰红、腹块经闭治验

黄埭吴豫得女 ,年十八岁 ,壬申八月二十六日。

病由内热咳嗽而起 ,痰中渐带红丝 ,夜来寒热 ,不饥纳少 ,经停四月。医更数手 ,肌体日瘦 ,腹左块攻 ,病势日增 ,买舟就治于余。诊其脉 ,右部数急 ,左部弦紧。知其肝阴不充 ,血海无潮 ,胃阳久弱 ,贲门纳少。色脉合参 ,虚怯之征已露先声矣。且议养阴退热之法 ,俾寒热退 ,咳嗽缓 ,再为之计。

生鳖甲三钱 青蒿子一钱半 地骨皮一钱半  
归身一钱 炒 叭哒杏三钱 ,去皮尖 生蛤壳三钱  
炙甘草八分

加藕汁半酒杯 ,冲。

进两剂 ,寒热咳嗽俱稍缓。

又，八月二十八日方：

制首乌三钱 生鳖甲三钱 青蒿子一钱半  
 麦冬一钱半 地骨皮一钱半 款冬花三钱 叭啞杏  
 三钱，去皮尖 炙草六分 银柴胡四分 制香附三钱，  
 研

加生姜皮八分、大枣两枚。

服三剂，微寒之势已停，夜热亦缓，咳呛、口  
 干及左腹块痛上升之象亦俱渐平。

九月初二日：前方去款冬、香附、柴胡，加女  
 贞子、蛤粉炒阿胶、老枇杷叶去毛蜜炙各三钱。

服三剂，夜热十退其八，食饮渐增，中午可  
 进饭两碗，夜来饮粥或饭亦不觉胀，他如口干、  
 咳呛等亦俱减半。

又，九月初五日方：

北沙参三钱 山药三钱，炒 款冬花二钱 制  
 首乌三钱 炙鳖甲三钱 麦冬二钱，去心 青蒿子  
 一钱半 叭啞杏三钱，去皮尖 炙甘草八分 贝母一  
 钱半，去心

加老枇杷叶三钱，去毛蜜炙。

三剂夜热退清，左腹之块天明时不上攻矣。

又，初八日方：药投数剂，诸恙渐平。但脉  
 右之数虽缓，而左部之弦劲未平。总是气血未

旺，八脉未和，故中宫亦时有微疼之象也。加意图维，俾阴阳和而经事转斯可矣。

西党参三钱 淮山药三钱 炒 茯苓一钱半  
炙甘草八分 制首乌三钱 女贞子三钱 叭啞杏  
三钱 去皮尖 款冬花三钱 炒麦冬二钱 益智仁一  
钱半

加老枇杷叶三钱，去毛蜜炙。

是方扶脾保肺，用四君子汤去白术，加山药者，因“术”性兼燥，不利于咳嗽肺燥之人。佐以首乌、女贞以养肝肾之阴。加麦冬之甘寒降火而生津，使火不烁金。再以款冬、杏仁、枇杷叶之治嗽、除痰、顺气而清秋令之燥，均为肺家之本药也。又用益智仁者，缘脾阳不运中宫时而觉疼，取其醒脾和胃，心脾同治，火土相生之妙也。合而成方，颇有至理存焉。

服五剂，咳呛又减，中宫不疼，食饮日增，天明喉舌不干，汗少块平，药颇合宜。

十三日：原方去麦冬、益智仁，加炒归身一钱、百合三钱、蛤粉炒阿胶三钱。服七剂，诸恙皆安，惟经事未转耳。

二十日：再以五味异功散加熟地、阿胶、女贞子、紫衣胡桃肉一枚，不去衣，连鬲板。服数

剂而痊 继以丸剂调理收功。

吴豫得女调经丸方：色脉合参，年将十八，经停五月。胃阳弱而贲门少纳，肝阴涸而血海无潮，寒热交作，咳呛痰红，腹块攻痛。脉右数急，左则弦劲，干血之征已露先机矣。念其路途遥远，望治情殷，不得已而用乙癸同源之治，侑以退热生津之法，不数剂而寒热止矣。再以补肺养肝兼益脾肾之剂，块平咳减。又以扶土生金、滋水养木之法，食饮渐增，气血渐和。诸证向安，治法可征。继以丸剂，以为行经之计。据述每多趲前，一月两至，似属血热。而脉症并参，究关中气之大虚。盖气为阳血为阴，《经》云“阳生则阴长”也。自宜益气为争先之着，少佐和血通经之法亦不可缺也。

西党参五两 炙黄芪三两 於白术二两 土炒  
茯苓二两 大熟地四两 制香附四两，一用米泔浸一日，一用米醋浸一日，一用盐水浸一日，一用陈酒浸一日 川  
芎一两 柏子仁三两，去油 紫石英三两，火煨醋淬  
七次，研末水飞用 白芍一两五钱，酒炒 粉丹皮二两，  
酒炒 当归身一两五钱，酒洗 炙甘草一两 陈皮一  
两五钱

上为细末，炼白蜜为丸，如桐子大。每服五

钱 ,清晨滚水送下 ,或桂圆汤亦可。

(案 透) 程梅溪继室怀胎五月子嗽治验  
程梅溪继室 ,壬申九月。

怀胎五月 ,咳嗽频频 ,证名子嗽。正值胃土  
养胎之际 ,宜于肺胃并调。

南沙参二钱 冬桑叶一钱 茯苓二钱 叭啞  
杏三钱 ,去皮尖 老苏梗一钱半 生甘草六分 橘白  
八分 川贝母一钱半 ,去心  
加青葱尖三枚。  
三剂而安。

(案 苑) 昆邑朱廷光室人妊娠下痢垂危  
奇验

昆邑朱廷光乃室 ,丙辰九月十六日。

妊娠三月 ,痢下红白 ,昼夜百余度 ,点滴后  
重 ,知饥纳少。痢起数日 ,年三十五岁。医用痢  
门套药治 ,甘、苦、寒凉备尝之矣 ,奄奄一息。适  
渠戚程君荐予诊治 ,其脉沉数而滑 ,重按无力。  
知其正虚邪实 ,攻补两难 ,盖攻之恐其伤胎 ,补  
之又恐邪毒不去。索想久之 ,幸胃气犹存一线  
生机 ,尚可图救。不得已而用攻补兼施之法 ,取

其辅正驱邪 ,保母留胎 ,未始非一举两得之法也。《经》云 :“有故无殒 ,亦无殒也 ”正此谓耳。

人参五分 另煎冲 大熟地八钱 广木香五分 ,  
磨冲 甘草八分 大黄五分

用荷叶一小个 托底煎药。

服后约两时 ,痢下成堆 ,非前之点滴者可比 ,且不后重。从此痢减胎安 ,渐能进粥 ,不呕不痛。

次日原方去大黄 ,加五谷虫一钱五分、於白术土炒一钱、条芩一钱。

仍以荷叶托煎 ,两剂痢顿止矣。

十九日 :脉浮小而不沉数 ,按之少有力矣。日进粥六七碗 ,粪带焦黄色 ,早晚一二次。当以四君子汤加黄芩、芡实、广木香 ,仍用荷叶托煎 ,两剂全安。继以香砂六君子汤调理 ,五剂而愈。

### (案 苑) 邹氏妇腹痛呕吐治验

邹氏妇 ,年六旬又三。

腹痛且呕 ,脉沉而细 ,气食交阻 ,痛甚防厥。

制香附三钱 广木香八分 陈皮一钱半 当  
归一钱半 元胡索一钱半 白蔻仁五分 神曲三钱 ,  
炒 甘草五分

加葱一枝。

外用香椽、青葱各一两，大皂角两挺，生姜一两半，四味切碎煎汤，用棉布浸透绞干熨腹。

进前方，如法熨之，全安。

**(案苑)** 张荣廷乃室产后三月咳嗽、气逆、畏寒治验

张荣廷乃室，年逾二旬，癸酉正月。

产后三月，咳呛延绵，气逆痰稠，日间畏寒。医作冬温，误投疏表不应。更医用小柴胡汤加鲜生地辈，致病日增，始问治于余。诊其脉，右部虚小，左部虚濡。乃气血两虚，表气不固，易于畏寒咳呛。当益其气，调其营卫，兼以降气化痰，痰自除而气自不逆。服四剂，咳呛畏寒可自平矣，如数服之而瘳。

生黄芪一钱半 北沙参三钱 建莲肉三钱，去心炒  
苏子一钱半，炒 鹿角霜六分 款冬花三钱  
白花百合五钱 炙草六分 紫衣胡桃肉一枚，连扁板  
云茯苓一钱半 旋覆花一钱半，生绢包扎  
加煨生姜五分 黑大枣两枚，去核。

**(案苑)** 李朗夫女经止、寒热、恶心、头项

## 痛治验

李朗夫女，十五岁，癸酉三月。

天癸四日，经止寒热。医用苏梗、桑叶、郁金、连翘、大豆卷等作风温治，身热反增，因邀予诊视。

案云：寒热起于经行之后，血室空虚，邪乘虚入，是以热而无汗也。《经》曰：“夺血者无汗”，正此谓耳。头痛项强，口干恶心，舌腻边白，遍体疼痛。虽属温邪，而治法则以和解为妥。（十一日）

蔓荆子二钱 淡豆豉三钱 广藿梗一钱半  
秦艽二钱 防风皮一钱半 半夏曲一钱半，炒 鲜  
竹茹二钱 姜水拌炒 青皮一钱 赤茯苓二钱

加生姜皮三分、黑大枣一枚。

服后更余时，烦躁呕吐，顷之汗出周身，却非大汗可比。从此热缓，头顶遍身俱不疼痛，且不喜饮，二便通利。因予往乡，停药一日，颇安。

又，三月十三日：客邪已解，少有头眩腹疼，仍宜和之。

老苏梗一钱半 广藿梗一钱半 半夏曲一钱半，炒  
赤苓三钱 川通草八分 砂仁壳一钱 小

青皮一钱 川芎一钱

加鸡内金一钱半 炙。

服后 邪退休倦 食饮渐贪 惟脐上稍疼 得温暖即已 头眩少减。

再以霍山石斛三钱 焦谷芽三钱 炒甘菊一钱半 青皮一钱 半夏曲一钱半 炒 淡干姜五分 炒 淡茱萸一分半 山栀一钱 炒

加荷蒂一枚。

两剂而愈。

病愈停药二十有五日 行经后干咳无痰 脉象浮数 按之不足。肺金之虚火不宁 治宜清润 议喻西昌清燥救肺汤损益之。(四月初八日)

北沙参二钱 冬桑叶一钱半 黑芝麻一钱半 炒 苏子一钱半 炒 枇杷叶三钱 去毛 蜜炙 炒麦冬一钱半 去心 巴旦杏三钱 去皮尖 炒 甘草五分 款冬花三钱

加蛤粉炒阿胶三钱。

进三剂 干咳全愈。

(案 苑) 黄埭陈氏女产后咳嗽有年 近冒暑复发治验

黄埭陈氏女，年三十岁。

咳嗽有年，起于产后，举发无时。近感暑湿之邪，咳嗽兼呕，气逆痰稠，骨节疼烦，脉象浮小，咳甚防血。（七月十四日）

旋覆花二钱，生绢包 黑苏子一钱半，炒 半夏曲一钱半，炒 甘草六分 块滑石三钱 广藿香一钱半 广皮白一钱 杏仁三钱 香薷一钱

加老枇杷叶三钱，去毛，蜜炙。

服三剂，痰减呕缓，其余如前。

又，十七日方：

干百合三钱 款冬花三钱 旋覆花二钱，生绢包扎 橘白一钱 生蛤壳三钱 黑苏子一钱半，炒 薏苡仁三钱，炒 杏仁三钱 秦艽二钱

加老枇杷叶三钱，去毛，蜜水炙。

服三剂，呕止，咳嗽、气逆、骨节疼等俱减半。

二十日：原方去百合、苡仁，加沙参、赤苓、半夏曲、甘草。再三剂，咳嗽、疼痛更减。

又，二十三日方：

北沙参三钱 款冬花三钱 杏仁三钱 苏子一钱半，炒 生蛤壳三钱 半夏曲一钱半，炒 苡仁三钱，炒 百合三钱 广陈皮一钱

加老枇杷叶三钱 ,去毛 ,蜜水炙。  
服三剂 ,咳嗽全安。再三剂 ,诸证平矣。

(案 殒) 陆我斋乃室经行后欲呕 ,遍体不  
疏治验

陆我斋舅兄乃室 ,癸酉十月五日。

寒热一日 ,缘经行而寒热止。日来遍体不  
疏 ,食饮无味 ,口吐清水 ,舌腻欲呕 ,脉按之则  
数。其为邪之蕴于内者无疑 ,治以和解 ,使其微  
汗润泽 ,邪自退矣。

葱汁炒淡豆豉三钱 广藿梗一钱半 生谷芽  
四钱 生姜汁炒半夏一钱 淡茱萸二分 鸡内金  
一钱半 炙

加盐水炒黑稽豆皮二钱。  
服两剂而愈。

(案 殒) 章氏幼女痘出三朝极险危症  
章氏小姐 ,五岁 ,癸酉五月二十日。方案列  
下 :

年将五岁 ,痘出三朝 ,点来繁密 ,颗粒不分 ,  
树小花多 ,咳逆呕恶 ,便秘不食。毒火内壅 ,大  
险之候 ,慎勿藐视。速宜清火解毒 ,以俟高明 ,

然否。

生大黄三钱 紫草茸一钱半 荆芥一钱半 桔梗一钱 牛蒡子一钱半 炒 川木通一钱 甘草八分 连翘一钱半 去心 赤芍药一钱半 小青皮一钱 红花一钱半 查肉三钱 炒

加地龙干三条 ,芦根一两 (去节) ,香薷五钱。

(案 苑) 胡氏幼女复感夹食治验

胡氏女 ,八岁。

寒热未尽 ,复又感冒夹食。冲年质弱 ,速宜退热。进疏解药两剂 ,寒热如前 随用小柴胡汤加青蒿子、查炭、谷芽、陈皮、白蔻仁、姜皮五分、大枣两枚。两剂而寒热退矣。

(案 苑) 文学张敬斋室人调经兼论诸证 (换膏方并附膏蜜成规)

嘉定文学张敬斋乃室 ,年逾三旬 ,癸酉仲冬延诊。

色脉合参 ,见证多端。冲为血海 ,任主胞胎 ,二经俱虚 ,无怪乎经前之趱前 ,而生育之维艰也。时而肝火内动 ,不耐烦劳。一眩晕而眼

底模糊,恍如倦鸟翻云之后。一恼怒而胸中跳跃,宛似游鱼脱水之初。十指觉麻,腰背痛而身如刺,百脉兼疼,肢节痠而筋似抽。他如口干唇燥,肌肤索泽。或有时而外寒,或有时而内热。种种情事皆卫阳虚,而营阴不足也,为之固表以扶阳,和里以益阴,则气血充而阴平阳秘矣,何必枝枝节节而求之。

西党参五两 炙黄芪二两 焦冬术二两 防风一两半 大熟地八两,捣入 陈阿胶三两,敲碎炒珠 当归身一两半 白芍一两半,炒 女贞子四两 制香附四两 青蒿子三两 甘菊二两 地骨皮二两 叭啞杏四两,去皮尖,炒 炙甘草一两半 白薇二两,酒洗

上药如常法煎膏,稍加炼白蜜和,收放磁器内,隔水浸一昼夜退火气。每晨空心用五六钱,白滚汤化服。自定煎膏加蜜法附后。

煎膏加蜜成规:

凡药一两,煎膏三钱。每膏一两,加白蜜二钱。此成规也,如少煎膏薄则药味不及,多煎则太过。蜜加或多或少又非所宜,取中和之道,庶与病相符。方内倘有现成胶(如阿胶、龟胶之类),不在此数内算之。嘉庆十八年癸酉岁竹亭定

(案苑) 陆熙堂乃妹肝气感寒,胸闷、脊痛治验

陆熙堂内阮二妹,年近二旬,癸酉春正。

两关沉紧,素有肝气,今又感寒,气与寒并,以致胸闷脊痛,头不能举。痛非轻候,防厥。

瓜蒌全三钱 酒拌炒 淡豆豉三钱 薤白三钱  
青皮八分 制香附三钱 炙甘草六分

加白酒酿汁一小杯。

服后胸背之痛稍有缓时,大便结粪一次。

又,脉象沉紧渐减,仍宜疏理肝脾,痛自平矣。

制香附三钱 淡豆豉三钱 瓜蒌全三钱 木香六分 元胡索一钱半 白蔻仁八分 江枳壳一钱半 炒 甘草六分 大麦仁三钱 炒 山查炭三钱

加生姜八分、葱一枝。

服此,脐腹之痛、背脊之疼俱十去其七八。原方去瓜蒌、豆豉、蔻仁,加干姜五分、半夏曲一钱五分,温中和胃而疏气。再两剂而痛愈。

三日后,因多食,夜来经行,腹痛。用木香化滞汤去红花、枳实、柴胡,加香附、元胡索、神曲、淡茺萸。

广木香八分 归尾一钱半 白蔻仁六分 甘

草六分 半夏曲一钱半 炒 陈皮一钱半 制香附三钱  
神曲三钱 炒 元胡索一钱半 茺莢二分 滚水泡  
淡三次

加煨姜一片、鸡内金二钱 灸。

一剂 痛止经通。

(案 愿) 陆氏妇癩症气郁痰凝治验

陆氏妇 年四十八岁 己巳三月。

气郁痰凝 挟火而升 谵语妄言 不时歌泣，  
脉数而虚 癩也 非狂。

女贞子五钱 盐水炒 甘菊花二钱 制半夏二钱  
苏梗一钱半 制香附三钱 海蛤粉三钱 黑山  
梔一钱半 麦冬三钱 朱砂拌

加生明矾五分、松萝茶三分。

两剂而痊。

(案 愿) 星士胡宝光长媳产后垂危再生  
始末奇验

胡宝光星士长媳 福堂之妻 癸酉四月。

怀胎七月 因身热泄泻 胎动小产。素体质弱 产后恶露无几。虽不腹痛 自觉膨胀 不无瘀阻。微热口干 便泄未已 头汗体倦 骨节疼

烦 求救于予。诊其脉 ,左关弦紧 ,右脉浮数如绵 ,知其恶血停留 ,虚阳外越。色脉谛详 ,神倦汗多便泄 ,症属险极 ,亟宜益气养阴 ,兼除恶露 ,以防汗脱。四月十五日方 :

西党参三钱 丹参三钱 炒 炒熟地四钱 归身一钱 炮姜五分 川芎八分 血余六分 冲 青皮六分 炙甘草六分

加藕汁一酒杯 冲。

据述余诊后 ,复延一医诊视 ,以为因身热而小产者究属客邪挟食 ,方用举卿古拜散加归、芍、山查、藿梗、香附、神曲、茺蔚子等。又一医立方之意与前医方相仿佛 ,皆以余方为断不可用。福堂乔梓精于星卜 ,而不精于医 ,因尔自卜以决疑。乃尊占予方甚好 ,泰卦变需卦。翁曰 :“需者须也 ,用也。”竟用予方服之 ,少顷安妥。身热渐缓 ,饮粥一碗又半 ,神识清爽。午后便泄三次 ,至二更时复有身热 ,胸闷腹膨 ,口干欲饮 ,必须滚热汤饮之胸中方快 ,即此可知虚热而非客邪实热愈明矣。

十六日 :用党参、熟地、鳖甲、青蒿、归尾、香附、炮姜、桃仁等。

又 ,十七日诊 :服昨方 ,身仍大热不解 ,便泄

数十次不止，口干喜饮滚热汤，气急神倦，腹膨鼻煽，恶露全无，脉右数大而软，左脉弦紧而数，彻夜不安。主家知其危笃，业已治扞<sup>①</sup>具矣，勉求立方。余见其头汗渐减，恶露未行，合之色脉，尚有一线生机。方用扶阳益阴以退热、温中、逐瘀、敛阴、固肠，俾恶露行而便泄止。若能应手，尚可无虞。

西党参四钱 炙鳖甲四钱 归身一钱半 白芍一钱半 炒 炙甘草一钱 煨木香八分 炮姜五分 陈皮一钱半 红曲三钱

上药九味，河水煎好去渣，加童便一小杯，冲服，再用禹馀粮五分、赤石脂五分俱研极细，调和粥内饮之。如服毕，照数再用为最。用此调服，取其立止便泄，颛<sup>②</sup>固下焦之脱也。况肠胃空虚滑溜，非二味不复其粘着之性。所谓下焦有病人难会，须用余粮、赤石脂者，职是故耳。

煎剂之功，在于扶阳益阴、和营逐瘀、温中厚肠。最妙者以红曲佐之，取其色赤入营而治

① 扞 (xiōng 凶):凶,险恶。

② 颛 (zhuān 专):专。

产后之恶露未尽者，合之童便之补阴散瘀，诚有奇功。归、芍得木香、甘草调脾和营以厚肠，合之炮姜之温通、陈皮之疏中，则恶露未有不从斯而行矣。然不有益气、养阴、退热之党参、鳖甲为君者合而用之，亦难图其成功也。所谓君臣相宜，真足法矣。

予立方后，因病危笃，又延他医，亦云脉急促，危在顷刻。方用荆芥、黑豆皮、琥珀、归、芍、丹、苓、炮姜辈，主人见渠方与予方大不同，戚友议论纷纷，举家彷徨无措。福堂之岳母素信观音大士，将余方卜之神灵，随示大吉之签始敢煎服。先将稀粥带热照数调和赤石脂、禹余粮与服，服后即觉便泄大减。随将煎剂与服，服未两时觉神识不定，病者又欲饮滚烫之粥，仍用二末调和，服一碗之后渐渐睡着，微微之汗。约睡三时，至酉时方醒，醒后壮热顿退，神识安静，便泄亦止。至夜半恶露渐下，色红且多。从此腹亦不膨，饮粥两碗，语言清爽，面色之浮光亦退，诸恙悉安，惟觉其疲倦乏力，何足虑焉。设两日间，病家狐疑，误投他剂，其不立毙者几希。自此守服原方三剂，粥内二末自此而止。日来恶露将停，食饮渐增。后因下床劳力，复又壮热、

便泄，饮入即泻，福堂乔梓又甚惶惑。予曰：“此气虚劳复，固病后常事。”补中益气汤加赤石脂、禹余粮煎服，三剂而霍然矣。继以归脾、八珍等剂，调理收功。

（案愿） 王氏妇三阴症治验

王氏妇，年四旬，壬戌秋。

患三阴症，每发在戌初。先寒后热，热甚于寒，口渴喜饮。舌苔白腻，脉左弦右滑。迄今半月，已发五次。小柴胡汤加减。

柴胡八分 葛根一钱半 黄芩一钱半，炒 制半夏一钱五分 花粉一钱半 青皮一钱 知母一钱半 白蔻仁五分，研 甘草四分 草果五分，煨

加生姜五分，大黑枣两枚，去核。

煎好去滓，露一宿。明日临期侵晨隔汤炖热服，如法服之而疟果止。

（案愿） 文学汪书蕉室人嘈杂症治验

文学汪书蕉乃室，年逾三旬，甲戌孟秋。

胸中嘈杂，攸关心脾，议归脾法。

西党参三钱 柏子仁三钱，研 茯神一钱半 远志七分，去心炒 当归身一钱半 酸枣仁一钱半，炒

炙草七分 陈皮一钱

加桂圆五枚。

三剂而痊。

(案 愿) 文学张敬斋内人外感泄泻治验  
文学张敬斋乃室。

身热头疼 恶心不饥 兼之泄泻日数行。舌  
苔白 脉沉小 左弦细。此夏感暑湿 热交秋而  
发 治宜解表疏里。

葛根一钱半 蔓荆子一钱半 半夏曲一钱半 炒  
滑石三钱 飞 枳壳一钱半 炒 山查炭三钱 生甘  
草六分 泽泻一钱 猪苓一钱半

加白蔻仁五分、葱白二枚。

一剂而热退 再剂而泄泻止。

(案 愿) 陆半峰乃堂脾虚泄泻、带下治验  
陆半峰乃堂 年五旬又八。

脾虚挟湿 此便泄、带下之所由来欤。用香  
砂六君子丸 每服四钱 食后滚水送下。进十  
剂 便泄十减七八 而带下仍然。再用蜜丸补中  
益气丸十剂 便泄固止而带下亦瘳矣。(服法附  
后)

补中益气丸(蜜丸)六两,每早空心服三钱,滚水送下。晚间临卧前再服三钱,炒米汤送下。

(案 愿) 张竹坡乃室经停两月,畏寒、头痛、呕吐治验

张竹坡乃室。

经停两月,时值仲冬,畏寒头痛,得食即呕,腹中有块,左右相攻。此食填太阴,法宜疏表、运食、止呕。(十一月二十日)

老苏梗一钱半 藿梗一钱半 桂枝一钱 广木香八分 淡茺萸二分 神曲三钱,炒 查炭三钱 小青皮八分 生甘草五分

加葱白两枚、川椒五粒,炒出汗。

又二十一日:进昨方,畏寒渐减,腹块不攻,得食仍呕,呕出酸水食物,大便六日未解。先须解肌止呕,使上部松而大便自通。

老苏梗一钱半 半夏曲一钱半,炒 陈皮一钱半 茯苓一钱半 广木香八分 乌梅肉三分 桂枝八分 神曲三钱,炒 江枳壳一钱半,炒

加左金丸五分,药汤送。

服后,欲呕之势顿平,少顷进饭亦不呕不吐,大便亦解,甚结且畅,腹块已消,惟头疼畏寒

之势未罢。

二十二日 用羌活、秦艽、苏梗、半夏、枳壳、  
陈皮各一钱五分 川芎一钱 茯苓二钱 焦谷芽三  
钱

一剂而遍体小汗，从此畏寒、头痛若失矣。

(案 愿) 许关李东阳内人小产，壮热危症  
治验

许关李东阳乃室，年二十六岁。

胎怀七月，五月下浣因时热小产。产后热  
势更甚，头疼胸闷，舌苔糙腻，口渴喜饮，腹中微  
痛，恶露全无，脉虚大而弦。邪乘虚入，若因壮  
热而误进寒凉，危在反掌。当以生化汤加味，俾  
恶露行而热渐退，庶有生机。

当归尾三钱 川芎一钱 桃仁泥三钱 炮姜  
四分 生甘草六分 葛根一钱半 淡豆豉三钱 陈  
皮一钱 炒 炒荆芥一钱半 防风皮一钱半 元胡  
索一钱半 炒

加葱白两枚。前方归、芎、桃、姜、草五味即  
生化汤也，后六味予增之。

翌日复诊，果然热缓、血下、渴减，解结粪成  
堆，当进粥两碗。今晨又进如前，小腹尚阵痛，

痛则血块随下。仍用前方去葛根、豆豉、防风，加黑豆皮、广木香。再剂而热退血止，神识安静，食饮倍增。继用异功散加归、芍、丹参。五剂精神愈健。再以八珍汤调理，数剂而痊。

终

# 竹亭医案女科卷二

古吴孙采邻亮揆甫著

门人程定治济霖

金传勋继文

侄兰生芳田

男鹤生于九

凤生茂常 同校

竹

亭

医

案

## 妇女经产杂症

(案员) 凌景扬内人干咳无痰、气逆喉痒  
治验

凌景扬内人，年逾三旬，丙子正月下浣。

素有肝气，发时块攻，经事将行，白带甚伙。  
于去秋咳嗽，至今未已。

案云：咳嗽起自去秋，干咳无痰，气逆喉痒，

午后先寒后热，口舌干燥无津，不饥食少。阴虚内热，阳虚外寒，气血两亏，脉象细小无力。还防涉虚损之门，亟宜补肺生津，俾咳缓思食，庶可图维，幸勿视为小恙而懈怠之。（正月三十日）

北沙参三钱 淮山药三钱，炒 百合四钱 款冬花三钱 叭啞杏三钱，去皮尖 生蛤壳四钱 天冬一钱半，去心 炙甘草五分 麦门冬一钱半，去心 肥知母一钱半

加老枇杷叶三钱，去毛蜜炙。

进两剂，咳渐有痰，口舌有津，夜能睡，寒热、盗汗俱减，药颇相宜，惟脉仍如前耳。

又二月初二日方：

北沙参三钱 玉竹三钱 柏子仁三钱 叭啞杏三钱，去皮尖 川贝母一钱，去心 茯苓一钱半 炙甘草五分 淮山药三钱，炒 生蛤壳四钱 天冬一钱半，去心 淮小麦四钱

加老枇杷叶三钱，去毛，蜜炙。

服三剂，如前安妥，咳嗽更减，气不逆，喉不痒。

又初五日方：

北沙参三钱 山药三钱，炒 款冬花三钱 茯苓二钱 生蛤壳四钱 芡实三钱，炒 黑苏子一钱

半炒 紫菀一钱半 酸枣仁一钱半炒 天冬一钱半去心

加枇杷叶三钱去毛蜜炙。

服药后，干咳十减七八，口舌干燥亦从此而津液生矣。莫谓药之不灵也，特恐用之不当耳。

又初七日方：

西党参三钱 山药三钱炒 茯苓二钱 炙甘草五分 广木香八分 归身一钱 白芍一钱炒 淡茺萸二分 天门冬一钱半

加黑芝麻三钱、生蛤壳四钱。

服后寒热已止，非惟咳减津生，即大腹块痛膨胀之势亦十去其半矣。

又初九日：原方去白芍，加扁豆、款冬花、女贞子各三钱。服之咳嗽十去其八，腹块及膨胀俱平。连日饮粥，今已进饭碗许，食后颇安。再四剂，咳嗽痊愈，诸证向安，惟少有白带未已。

十六日：用益气生津治带之法，调理而愈。

方以黄芪、党参、百合、款冬各二钱，生地、牡蛎、茯神各三钱，二冬各一钱五分，炙甘草六分，椿根白皮二钱，南枣三枚。

十剂而安。

(案圆) 陈元隆妾因咳嗽、喷嚏以致鼻衄常发治验

陈元隆侧室 嘉庆乙亥八月 年近三旬。

素有鼻衄,不时举发。经水应期,常多白带。迩来因咳嗽而致鼻衄者居多,亦有时缘喷嚏而来者亦不少。夫鼻乃肺窍,咳嗽、喷嚏皆属于肺。肺为五脏之华盖而属金,金虚木旺,木挟火势而乘金,金叩则鸣,此咳嗽、喷嚏之所由来耶。甚至气逆火升,此又鼻衄直注而出也。再验之脉,右寸虚数,左脉虚弦,又显有明征耶。先治其衄,再商善后。(八月二十四日)

白花百合二两 侧柏叶四钱 炙 丹参三钱  
知母一钱半 漂人中白一钱 旱莲草二钱 降香一钱 甘草五分 炙

先将百合浸去浮沫,用河水四碗先煎百合,煎至两碗,去渣,入后七味同煎至一碗,去渣,入藕汁一酒杯冲服。

服后鼻衄即止,喷嚏减半。进第三剂,因稍有喷嚏,鼻衄又出,些少即止。再剂仍无,共经四剂甚妥。经水昨至,亦无他苦。

又二十八日方服后方六剂，鼻衄全愈。

北沙参三钱 侧柏叶四钱 炙 人中白一钱  
降香一钱 白茯苓二钱 桑白皮一钱半 枇杷叶三  
钱 去毛 炙 丹参三钱 天门冬一钱半  
加炒黑荷叶一钱五分。

（案猿）张敬修内人寒邪客肺，身热、咳  
呛、无汗治验

横山张敬修内人，年二十五岁，季冬初五日  
诊。

平常经水约廿余日即至，自去年出嫁之后  
经水愈觉趲前，或半月或数日一至。今于前月  
二十九日畏寒发热，骨节痠疼，咳嗽不已。延邻  
医治，用轻疏不应，随用玉竹、白薇、丹皮、黄芩、  
紫菀、赤苓、旋覆花等治咳，而咳转剧。始问治  
于余，诊其脉右寸浮紧，寒邪客肺。身热六日，  
咳呛不已，舌苔腻白，经水适来，寒郁营分。亟  
宜疏肺以免变迁，拟麻黄汤加味，兼治经水。

麻黄四分 去节 杏仁三钱 研 桂枝八分 生  
甘草五分 归尾一钱 青皮八分

加生姜五分，白萝卜汁半小酒杯，冲。

进药未几即渐微汗，咳呛顿除，经水停而病

霍然矣。

（案源）汪书蕉乃嫂身热、烦躁、胸闷、呕吐治验

文学汪书蕉乃嫂，寡居，乙亥季秋。

肝火内郁，旧恙也。身热烦躁，新病也。新病与旧恙相争，发为寒热，舌绛口干，胸闷兼呕。木火郁而心神扰乱，肝风动而手臂颤振，语言错乱，面容带笑，右寸浮小，左寸关弦数。势非轻候，深虑痙厥，拟逍遥散意。（九月初六日）

柴胡七分 薄荷一钱半 鲜竹茹一钱半 淡黄芩一钱半 赤苓二钱 青皮一钱 广藿香一钱半 天竹黄一钱半 丹皮一钱半 炒 山栀一钱半 炒

加梨汁一小酒杯，投生姜汁一匙，冲服。

服后，身仍乍凉乍热，左足小腿热肿色红，亦肝经气郁下注而成脚气，又恐挟肝火而上升见厥。惟心烦欲笑之势减，两手臂颤振之势亦缓。

又，初七日方：两关弦数，舌绛，呕吐，肝火郁而阳明之肌热不解。法宜解肌、和胃、疏肝，用柴、葛、芩、夏、生地、麦冬辈，不应。

又，初八日方：得汤则呕，身热七日不解，朝

轻暮重，入夜壮热无汗，欲笑，心烦扰乱，口齿干燥却不渴饮，不饥不纳，两关弦数。知其肝火上逆，犯胃则呕。邪闭血分，入夜热甚。法当清解血分之热，佐以疏肝、和胃、解郁，使其呕止、热退，庶免痉厥之虞。

鳖血炒柴胡八分 小生地三钱 丹皮一钱五分 炒 麦门冬一钱半 去心 川郁金七分 青皮八分 当归一钱半 炒川椒七粒

煎好去渣，送左金丸六分。

服后，果然呕止热退，药用对症，效如影响。

是方君以鳖血炒柴胡者，因肝血不足而邪热内陷于阴，入夜尤甚者用之神妙。得生地、丹皮、当归、麦冬凉血退热而和肝。再以青皮、郁金疏肝而解郁。用川椒者，缘其得汤即呕、口多涎沫，亦不无胃热而虫动，虫见椒则伏也。制方颇善，而犹恐肝火上逆而呕吐，故最后又以左金丸之入肝止呕。法备理明，一剂而呕止、热退矣。

又，初九日方：清理余邪，肝胃并调。

小生地三钱 粉丹皮一钱半 炒 麦冬一钱半 鲜石斛四钱 天花粉一钱半 小青皮八分 通草八分 生甘草四分

加乌梅肉二分、炒川椒五粒。

服两剂，夜能安睡，食饮渐贪，口不干燥，左小腿之红肿脚气亦渐退。再剂，食饮更增。

又睡后易于惊醒，多梦纷纭，神魂不静耳。养阴安神，治在心肝。

炙鳖甲三钱 小生地三钱 麦冬一钱半 茯神二钱 白芍药一钱半，炒 酸枣仁一钱半，炒 远志八分，去心炒 青皮八分 半夏曲一钱，炒 黑山栀一钱半

加砂仁末二分，冲。

进四剂，神安梦止，精神日健，诸恙俱平。原方去半夏、山栀、麦冬，加归身、女贞子，再五剂而健。

**(案缘)** 文学陆鉴亭伯岳次媳齿衄不止治验

文学陆鉴亭四伯岳次媳，孀居，丙子六月。

上牙龈齿衄不止，阳明胃土火逆上行。法宜清降，以免眩晕之虞。

大生地四钱 旱莲草三钱 侧柏叶三钱，炙 甘草五分 人中白八分 紫降香一钱 炒蒲黄一钱半 血余五分，冲

加活水芦根八钱(去节),藕节五枚(打碎)。服后衄血即止,再剂霍然矣。

(案远) 上舍钱云峰侧室腹痛、呕吐不禁  
治验

上舍钱云峰侧室,呕痛症。

起自六月十四日,汤水入胃即呕,大腹阵痛难忍,甚至于手指厥冷,二便不通,胸闷不饥,邀余诊治。细审病情,昨晚忽然腹痛,痛甚即呕,呕不自禁,六脉沉小,气郁食阻,舌中淡黄,苔糙。痛剧防厥,素体质弱,恐难胜任。议和中法,佐以定痛止呕为最。

制香附三钱 广藿梗一钱半 半夏一钱半 姜制厚朴八分 姜制 江枳壳一钱半 炒 山查炭三钱 川椒五粒 炒出汗 赤苓三钱

加左金丸八分,研细冲入药汤内服。

服后,呕吐即止,痛亦渐减,至次日午前痛止,大小便俱通。

又,复诊:呕止痛停,至夜半先寒后热,天将晓又复寒战咬牙,后又发热口渴,热盛神昏不语。至申刻热势方衰,语言清爽。面色带红,舌苔淡黄(湿阻于内),小溲觉热,口干喜饮。始由

气郁食滞 ,中宫暑湿交阻。服前药呕痛立止 ,而暑湿之邪未解 ,入里与阴争故寒战 ,出表与阳争故热盛。暑湿内伏 ,营卫不和 ,此寒热之所由来也。法宜和解 ,以退寒热。

柴胡六分 葛根一钱半 瓜蒌仁三钱 半夏曲一钱 炒 藿香一钱半 黄芩一钱半 赤茯苓三钱 小青皮一钱 枳壳一钱半 炒 甘草四分 薄荷叶一钱半

加生姜一片、松萝茶二分。

进一剂 ,寒止热缓 ,稍能纳粥 ,惟脐腹左右仍稍疼。原方去薄荷、枳壳 ,加淡菜莢二分。

再剂痛停。

又 经水适来 ,头疼 ,热仍未尽 ,口干不喜饮 ,用小柴胡汤意。

柴胡、甘草各五分 黄芩、青蒿、当归、香附各一钱五分 陈皮、川芎各一钱 瓜蒌仁三钱 鲜荷叶一小个

服后 ,头不疼 ,经水渐停 ,余热将清。继以养胃和肝之剂 ,五剂而安。

(案 苑) 吴师瞻内人呕吐、腹痛、气胀垂危  
治验

木川吴师瞻内人，嘉庆乙亥二月三十日诊。产后未滿百日，始而经水淋漓，继而白带绵绵。至二月望前，呕而腹痛，时作时止。医者皆作肝气治，概用香燥破气疏肝之剂，呕痛愈甚。以致汤药入胃即呕，呕之不止，甚至黑汁从肠中泛出，黄浆自胃底翻来。愈呕愈痛，痛甚则胸腹气胀，两臂直竖，有角弓反张之势。举家彷徨，诸医束手，始求治于余。予谛审病情，兼察色脉。脉之右关虚而滞，左关细而弦，一呕而痛剧难忍。前症毕集，危在顷刻，惟嘱家人备办衣物后事，且向予哭告求救，情惨极矣。予索想良久，呕痛起于产后，脾土早已先亏，更兼贪食啖荤，野味不禁，以致脾胃愈伤，中宫阻塞，痰凝气壅，以故呕痛无已。必须急则治标，先以止呕为最，使呕止而痛可渐平。医者不究呕痛起于产后，误作肝气治，反以破气止痛为先，所以终无成功而呕愈剧也。予于斯而深得病情，莫妙于先理脾胃立止其呕。若不此之求，再呕必然汗脱。吾何忍立视其毙哉，于是以代赭旋覆汤略为更变，立救其呕以尽婆心耳。

西党参四钱 旋覆花二钱，生绢包扎 制半夏一钱半 干姜六分 炒 代赭石三钱，煨红醋淬 淡菜

莫五分 紫沉香四分 切片

加开口川椒七粒 炒出汗。

煎好去渣 徐徐服。

更余时正值煎药 呕痛欲绝。少顷进药 徐徐服毕。约一炷香后稍呕几口 却无药汁。随又将原渣再煎服之 即不呕不痛 且睡其两时之久 至鸡鸣方醒。醒后索饮米汤 饮后并不一呕 神识安静。主人见药效如响应 鼓掌称快 深感妙手回生。予应之曰：“吉人天相也。”

三月初一日进诊 病者言语清爽 唯觉软倦音低。侵晨饮薄粥一杯 亦未呕痛。

原方加茯苓、藿梗、鸡内金各一钱五分 以醒脾胃之滞 补中兼疏 诚善治脾胃之妙法也。非熟读东垣、立斋、嘉言诸书 不能深悉其中之妙旨也。

又 三月初三日诊 服前方 呕痛俱止 渐能进粥 舌苔腻白 中心微黄 痰厚黏稠 大便秘结 小溲涓滴。究属脾土不运 胃土未和。法宜疏补兼施 自然清升浊降 不必多寻头绪。

西党参三钱 薏苡仁四钱 炒 制半夏一钱半  
陈皮一钱 赤茯苓三钱 大腹绒一钱半 旋覆花二钱 绢包扎 滑石三钱 车前子一钱半 炒研 鲜石斛

四钱

加沉香汁五分、枳壳汁六分、槟榔汁五分。  
三汁和匀冲入前药汤内服之。

进一剂，小溲如注，出时且热。再剂，至酉后大便解结粪如栗者四五枚，饮粥碗许。

初五日：清晨腹中又忽痛忽止，至灯后又大便结粪成条者二三断，如此腹中松爽，毫不痛矣。戌初予至，病者自述今自早至晚饮粥四碗矣，安妥如常。惟嫌其胁背刺痛不在肌肤，自觉其经络中收束刺痛，此亦关产后失调，脾胃虚而气血不和，不能营养贯注，脉络滞涩之故耳。方用西党参、归身、木瓜、杜仲、续断、山药、陈皮、广木香等，五剂而前症悉除。

**（案愿）** 张敬修乃室经水过多，血下成块  
治验

张敬修内人。

经水延绵，血去过多，业已八日，犹未停止。脉右虚小，左脉虚大，阴亏阳弱。正值大暑，血下成块，形如鱼肠，腥秽不堪。肝脾两伤，亟宜扶土滋木，引血归经。俾其速止，庶无他虞。

建莲肉三钱，去心 淮山药三钱，炒 南枣五枚，

去核 炙甘草六分 制首乌三钱 炙鳖甲三钱 人中白一钱 旱莲草一钱半 侧柏叶四钱 炙伏龙肝三钱 牡蛎四钱 煨块

加炒黑荷叶一钱五分、血余五分，研冲。

三鼓进药，夜半下血两小块。鸡鸣时又下一小块，较未服前血下稍减，块亦稍小。

又，复诊方 脉形如昨。

西党参五钱 山药三钱 炒杜芡实四钱 炒茯苓一钱半 制首乌三钱 炙草六分 女贞子三钱 蒲黄一钱半 炒黑 山萸肉一钱半 炮姜五分 旱莲草一钱半 升麻三分 蜜炙

加伏龙肝四钱，大南枣三枚（去核）。

进一剂，至次日辰刻血块停止，且散血亦无。

又，复诊方 昨以引血归经法，血止块停。

西党参四钱 制洋参一钱半 淮山药三钱 炒芡实三钱 炙甘草六分 女贞子三钱 白芍药一钱半 炒 归身一钱 炒 酸枣仁一钱半 炒 制香附二钱

加南枣四枚，去核。

服六剂，神健睡安，惟食不加餐，头时眩，白带多。原方去洋参、芡实、枣仁，加川芎、制首

乌、益智仁、云茯苓、椿根白皮等，调治八剂而痊。

(案怨) 予小女日晡发热，夜间更甚治验  
予小女，年十一岁。

时值四月，素喜贪凉，忽身热头痛，当用荆、防、羌、芎、楂、麦辈。服之遍体汗出，惟小腿之下未出，从此渐减。已后晡时渐热，夜间更甚，口渴喜饮热汤，食饮减，小溲赤。每至天明热渐缓，究未能退清。如此三日，始因畏药而竟不服药。继缘夜热增盛而不能任意戒药，于是用小生地、丹皮、薄荷、青蒿、黄芩、甘草六味，加姜、枣。煎服一剂而晡时之热顿止，再剂而夜热全清矣。药用得当，捷于桴鼓。

(案园) 钱云峰侧室时邪内伏，寒热、咳呛治验

钱云峰侧室，五月十九日。

忽身热头痛，胸闷咳呛，口干不喜冷饮，舌苔黏滞淡黄，脉俱沉细。时邪内伏，凛凛畏寒，四末清凉，入夜热盛，阴虚体质最虑邪陷，是非轻候。议和解法，以冀周体微汗为妥。

蔓荆子一钱半 葛根一钱半 川芎一钱 薄荷  
叶一钱半 黑苏子一钱半 炒 橘红一钱 查炭三钱  
防风皮一钱半 鲜竹茹一钱半

加生姜皮六分、葱白一枚。

进一剂，汗出热退，头痛止，肢末温，脉之沉  
细渐起。唯舌胎如前，口干无味，便结不爽，小  
溲短少。邪退胃未和，清胃调中自平。

鲜石斛四钱 半夏曲一钱半 花粉一钱半 麦  
冬一钱半 焦谷芽三钱 黑苏子一钱半 炒 甘草四  
分 陈皮一钱半 山楂肉三钱 炒

加鲜荷叶一小个。

服四剂而诸恙向安矣。

(案 录) 费天如内人寒热、滞下腹痛点滴  
治验

费天如内人。

寒热滞下，色兼红白，表里俱病，昼夜无度，  
腹痛点滴，脉象沉滞。乃暑湿之邪感于盛夏，发  
于秋后，又为寒凝食积，郁而成痢。不饥纳少，  
防有噤口之虞。

淡豆豉三钱 薤白三钱 广木香一钱，切 滑  
石三钱 大腹绒一钱 桔梗一钱 五谷虫一钱半 炙

甘草六分 山查肉三钱 炒 红曲三钱 广陈皮一钱半

加煨姜三片。

前方两剂，滞下全瘳，继用苡仁、扁豆、木香、陈皮、茯苓、炙草、藿梗、砂仁、鸡内金养胃调脾，四剂而健。

(案 圆) 王南乔乃室伏邪误治垂危治验  
王南乔乃室，伏邪垂危症，年六十三岁。

于丙子九月初旬得伏邪症，身热，舌苔白，有汗，右肋刺痛难忍，咳嗽胸闷。医以牛蒡、杏仁、枳壳、丝瓜络等以泄肺热，不应。两日后更医，医用羚羊角、生地、丹皮、青蒿、地骨皮辈以泄肝热，不应。又用生地、豆豉同捣作黑膏法，再佐诸寒凉，服后愈觉身热，右肋益加刺痛，昼缓夜甚，有时昏语，耳聋，口渴不喜冷饮，头汗粘手。举家彷徨，乃延余治。余至医已立方于前，用鲜生地、羚羊角、茅根、黄连，一派寒凉尤甚于前，且生地用一两五钱。余诊其脉，右寸关滑数而大，按之无力，知其痰火非实，因立阻前方断不可用。盖现在口渴不喜饮冷，舌胎腻白，情已大露。再观其身热、咳呛、气逆、痰稠，明明是客

邪内蕴，湿痰中停。不此之求而概以寒凉遏抑，邪无从出，以致耳聋、昏语、神识模糊，变症蜂起矣。倘再误治，定然昏厥痰升而脱矣。为此时计，亟宜清解肺胃之邪，兼以和中退热，为紧要关头。（重阳日方列下）

荆芥穗一钱半 葛根一钱半 防风一钱 瓜蒌仁二钱 薄荷叶一钱半 秦艽一钱半 青皮八分 淡黄芩一钱半 块滑石三钱 赤苓二钱

加沉香汁三分、梨汁半酒杯、生姜汁一钱，三汁和匀冲入前药汤内服。

服后未几，自觉热势渐退。至夜半后，少有烦躁昏语，舌之白苔顿退。

又，初十日诊：身热已退，而神识尚似清非清，汗出粘手，咳频痰稠，气逆耳聋，脉形如昨。再以肺胃并调，俾清肃之令下降，则胃中痰火湿浊亦可从斯而除矣。

大沙参三钱 鲜石斛五钱 鲜竹沥五钱 冲 麦冬一钱半 枇杷叶三钱，去毛，炙 川贝母一钱半，去心 赤茯苓二钱 甘草五分 白杏仁三钱

加生谷芽一两 煎汤代水。

服后，咳呛大减，稠痰甚少，耳聋减，口不渴，且知饥。申后予至，已进粥三次，据述约有

四碗 ,与三日前之不饥食少大相远矣。

又 ,十一日诊 :原方去贝母、赤苓 ,加南枣、淮小麦各三钱。服后食粥日增 ,诸恙渐退 ,惟夜来汗多 ,表气未固 ,少有咳呛 ,右肋稍疼 ,宜以益气宁嗽为法。

生黄芪二钱 ,盐水炒 清阿胶三钱 ,蛤粉炒 北沙参三钱 南枣三钱 ,去核 叭哒杏三钱 ,去皮尖 酸枣仁一钱半 ,炒 远志肉一钱 ,炒 茯神二钱 黑芝麻二钱 ,炒

加左牡蛎六钱。

服五剂 ,诸症悉除 ,继以归脾汤调理 ,数剂而愈。

(案员袁) 孙姬喘咳冬甚 ,贫苦惜费 ,奇方神验

孙姬 ,舟人。

素有咳喘症 ,交冬更甚 ,肺俞畏寒 ,喘咳频增 ,闻烟、酒则愈咳。年五旬又四 ,交冬即发者 ,贫妇不免单衣食薄 ,舟中又不能避风寒 ,所以咳无停而常有畏寒兼喘之势。欲求方愈疾而又惜费 ,余怜其贫苦而想一省 ,便简易之方以应之。药虽平淡 ,实有至理存焉 ,因识之。

生白果肉二十一粒 ,去心衣 胡桃肉两枚 ,连皮用  
冰糖五钱 鲜生姜一钱五分

四味共捣极烂 ,用滚水冲服 ,连渣齐饮。每  
早、晚各饮一服 ,无间。

遵法服之五日 ,不第喘咳止 ,而畏寒之势顿  
平矣。后偶遇寒冷、劳力复发 ,如法行之 ,一服  
而止。予乃一时之灵机 ,竟成千古之秘方。先  
大人云：“神奇平淡中” ,信不诬也。丙子孟冬 ,  
适洞庭吴勉斋世兄内人 ,每交冬令不时喘咳 ,夜  
来尤甚 ,向予索单方 ,予即将此方与服。据述两  
日服四服而喘咳全愈 ,深感方之奇妙 ,予闻之甚  
快。

是方也 ,唯外感风寒而致身热、头疼、鼻塞、喘咳  
者则禁服。竹亭再识

(案 原) 周氏姬胃土衰败 ,舌起雪花苔不  
治症

周氏姬 ,年逾七旬。胃土衰败 ,舌起白胎 ,  
不治症。

病由感冒而起 ,邪退正虚 ,日进滋补 ,胃土  
不醒。是以不饥纳少 ,厌厌不乐 ,体倦神怯 ,怵  
惕不寐 ,心营虚而胃土之精衰。诊其脉 ,左寸虚

涩，右关粟小无神。视其舌，舌形胖大，胎白如雪花片散布于舌上者，乃胃气败也，难以许治，拟益胃养营法以尽人工。

方用建莲肉、淮山药、大南枣、柏子仁、茯神、枣仁、益智仁、广皮白、炙甘草等治之，不数日而逝。

杨云峰《舌胎论》云：“舌起白苔如雪花片者，脾冷而闭也，不治。”正与余之论胃土之精衰者，暗相符也。盖舌乃心苗，心火不能生胃土，精气衰败，故有此点见之耶。

**(案 缘)** 陆诚斋室人感冒风邪，咳嗽、头疼治验

陆诚斋室人。

素体畏热贪凉，易于冒风，咳嗽头疼鼻塞，舌苔边白中黄。进疏肺药，诸恙少平，而头疼、咳嗽究未尽彻，拟清疏法。四月初八日

蔓荆子一钱半 马兜铃一钱 冬桑叶一钱半  
苡仁三钱 生谷芽五钱 款冬花二钱 黑苏子一钱  
半，炒 百合二钱 广皮白八分

加老枇杷叶三大片，去毛，蜜炙。

服五剂，头疼止，咳嗽十去其八矣。原方去

蔓荆子、马兜铃，加北沙参、茯苓，五剂而痊。

(案 员) 李鸣山内人寒热内蕴，头重、呕恶治验

李鸣山内人。

似寒似热，头痛且重，呕恶痰涎，小溲赤痛，腹膨时疼，经水匝月未行，骨节痠疼，脉象沉小，病起数日，食饮不贪。乃风寒内蕴，兼之肝胃不和，法宜疏通，俾经行，庶乎渐安。(四月初六日)

蔓荆子—钱半 老苏梗—钱半 广藿梗—钱半  
陈皮—钱 小青皮—钱 生香附二钱 赤茯苓三钱  
川芎—钱 制半夏—钱半 秦艽—钱半

加葱白二枚。临服入生姜汁三小匙冲。

又复诊方：服前方两剂，二便通利，头痛缓，惟干呕、小腹疼、经水未行。拟疏表和里法，冀其经转为安。

蔓荆子—钱半 白池菊—钱半 川芎—钱 花粉—钱半 瓜蒌仁三钱 淡茱萸三分 藿香—钱半 木香八分，切片 黑山栀—钱半 生香附二钱 半夏—钱 炒

加鸡内金二钱，炙。

服两剂，经行，其余全愈。

(案 10) 金竹溪内人肝气作楚,寒热、块攻治验

溧阳金竹溪内人,年近三旬。

素有肝气,发则块痛攻冲,内热畏寒,头疼汗冷,腹膨胁胀,不饥欲呕。种种见证皆肝胃为患,两关弦紧而滑。速宜疏肝和胃,以免痛厥。(四月二十八日)

制香附三钱 老苏梗一钱半 广藿梗一钱半  
川芎一钱 淡茺萸四分 广木香八分 半夏曲一钱  
半 炒 青皮一钱 当归身一钱半

加生姜渣五分、鸡内金二钱,炙。

进一剂,诸证顿平,再剂全安。

(案 11) 予妹脂瘤廿载自溃治验

予妹脂瘤自溃症治验。

年未及笄,左臀外侧起一小核如黄豆大,不痛不痒,无足介意。日渐月积,大如胡桃,后大如酒杯,亦毫不觉其痛痒。惟其不痛不痒,累月穷年,甚至大如茶杯,肉色不变,拊之似软,坐之将平于椅。至嘉庆戊寅五月始渐自溃,计其年月,迄今二十载矣。初溃时流滋水,渐小其半。因炎热洗浴,两日后又渐大,少有疼痛,行步牵

强。以手捺之，瘤内脂片随出，其形如梅花瓣，色白光滑。于是又以两手大指按瘤四围，中间脂片层层叠出，不觉痛痒。视其瘤头溃处胥肉高突，根窠坚固。予详审原由，始缘气血充和，瘤故日渐长大，二十年来气血渐衰，瘤亦自溃。幸喜脂瘤，尚可图治，然亦须气血并补。用探本穷源之法温补下焦为最当，不然脾胃衰惫，气血不复，滋水淋漓，究难完口，终成不救者伙矣。丹溪云：“臀居僻位，气血罕到之处，最不易治。”正谓此耳，故寒凉剋伐之药所宜深戒者也。乃拟养营汤加附子，藉温补气血为紧要。至于瘤口之胥肉外，以自制之白云散点之，用膏药护之，五六日而胥肉腐落。（白云散记《肘百珠囊方》卷三十页内）

如此内服外点，根窠之坚固者渐松。再以手拊之捺之，瘤中又有白条如笔管者约二三寸长，捺出一二条或三四条，间有如豆渣者出之亦复不少，再按之犹有坚硬未化者。内服前方，外又用三品药线纳入瘤中二三分，仍以膏护。四五日后，坚硬者亦渐化为稠脓而出。内服之方仍以前方出入之，外以去腐生新之药捺之，渐自肉长肌完。未一月而收全美之功矣，快哉！

## （案 195）姚元章女虚劳，寒热、咳嗽几危治验

姚元章女，虚劳危症治验。

年十六岁，天癸未通，素体质薄。向来便溏，日二三次，面色痿黄。今夏患疟，寒热交作，已后似寒似热，蔓延日久，咳嗽有汗，不饥纳少，大便愈溏，较前倍增，气怯神弱，肌体羸瘦，药投罔效，渐成虚劳。于戊寅九月十一日始问治于余，余诊脉辨色，面无神彩，脉之右寸微若秋毫，关则虚小，尺软如绵，左脉弦细乏力。知其肺脾大亏，而肾阳不足以生脾土，则肺气愈弱。心肝久虚，而肾阴不足以滋肝木，则心血少充。无怪乎咳嗽寒热，食减便泄，而致天癸未通也。阴阳两亏，虚劳之征也，难以许治。怜其幼年丧母，望治情殷，谛思良久。肺脉虽如秋毫之微，而他脉未败。面色虽无神采，而夜间尚能安睡。寒热虽有，而汗出尚不淋漓。平素大便溏薄，今则倍增水泻，乃肠中之湿邪下注，究非脾阳之下降可比也。再舌中腻黄腐烂，四边淡白，食不知味，口干欲饮，此又胃中之湿阻不化，以致清浊不分，而升降不灵也。是以上则耳聋，下则便泄。种种情事，虚中挟滞。滞者壅也，郁也。知

其意者，可以神明变化之，因立方以救之。方用补肺和中，先调肺胃，少佐养阴退热之品，疏补兼施。服后咳缓热减，舌胎渐退，从此增损，取不润不燥之法，而便泄渐退，如平时之溏，食饮日增。

又，九月二十五日复诊：前用疏补兼治，诸恙少退。今值霜降节令，阳弱阴虚之躯，更宜加意留神。

西党参四钱 淮山药三钱 炒 芡实三钱 炒  
苡仁三钱 炒 炙鳖甲三钱 青蒿子一钱半 沙参  
三钱 地骨皮一钱半 五味子五分 研 禹余粮三钱  
加枇杷膏三钱 冲。

服三剂，寒热退清，咳嗽大减，舌胎退，惟嫌娇红光滑无苔。此胃阴未复，津液未充也。

原方去鳖甲、青蒿，加款冬花三钱、生蛤壳四钱、益智仁一钱。

再服三剂，咳嗽十去八九。据述平常可吃饭五六小碗，今可进三四碗，夜来两小碗。虚劳之症大有生机矣，从此节食避风寒则更有益焉。

又，十月初一日诊：气血稍和，脾肺渐调，右寸脉指下按之亦稍有力矣。其右尺之软如绵者

渐转濡小，而浮分按之似无也，是属佳兆。再拟气血并补、温胃固肠之法。俾脉络流通，阴阳交和，预为行经之计，且素有之便溏亦可从斯而止矣。

炙黄芪二钱 西党参三钱 淮山药三钱 炒  
炙草八分 白扁豆三钱 炒 鹿角霜一钱 当归身  
一钱半 麦冬一钱半 诃子肉五分 煨 左牡蛎四钱，  
煨

加南枣四枚，去核。

进三剂，食饮更增，舌之娇红光剥无苔，今将转正色。再三剂，夜来背心之热止，且素有之便溏亦止矣。

又，十月初七日方：

炙黄芪二钱 西党参三钱 北沙参三钱 砂  
仁五分 鹿角霜一钱半 鳖甲胶一钱半 海螵蛸二  
钱 牡蛎三钱 煨 菟丝饼一钱半

用浸胖鹿筋二两煎汤代水。

虚劳危症，进药月余而收全功，亦再生之幸也。

服此数剂，继用丸药以俟经行，方用八珍汤加制香附、乌鲂骨、鹿角霜、女贞子、红花、砂仁等，炼白蜜为丸，桐子大。每服五钱，清晨炒米

汤送下。

服未一月，天癸已通。再一月气血充足，肌体丰盈，深感余德。斯症设非明辨详察，欲生也难矣。

**(案 苑)** 邢天一乃堂虚劳，咳嗽、外寒内热治验

邢天一乃堂，虚劳咳嗽症，年四十一岁。

咳嗽旧恙，交冬频发。外寒内热，卫阳虚而营阴不足。经水淡少，脉象细而小数。冬至在即，痰红已见，加意图维。

生黄芪二钱 北沙参三钱 淮山药三钱，炒  
天冬一钱半 侧柏叶三钱，炙 干百合五钱 左牡蛎四钱，煅 紫菀二钱 款冬花三钱

加银杏十四粒（去衣），紫衣胡桃肉一个（连鬲板）。

进两剂，痰红已止，其余未平。

又，复诊方：痰红虽已，而咳嗽喉痒，气逆上冲。肾阴亏而相火凌金，还恐血溢，拟金水相生法。

陈阿胶三钱，蛤粉炒 大熟地四钱，水炒 天冬一钱半，去心 麦冬一钱半，去心 西党参二钱 干百

合四钱 玉竹三钱 甘草八分 叭啞杏三钱 去皮尖  
加紫衣胡桃肉一个 连衣鬲。  
服数剂而痊可 此方甚妙。

(案 圆) 沈裕昆侄女经水适来邪热内陷  
药误不治症

沈裕昆侄女 经水适来邪热内陷不治症 年  
十九岁。

经断身热 血室空虚 时邪内陷。医用犀角  
地黄汤佐苓、连辈一派寒凉之剂 数日来身热愈  
增 神识不清 耳聋呓语 变症蜂起。戊寅七月  
十九日 门人金书山荐治于予。诊其脉 右部软  
大 按之无力 左关弦细 尺脉细小难寻。口虽  
干而不喜冷饮 身虽热而不烦躁 齿唇焦燥 舌  
胎灰黑 拊之有津。就证脉而详谛 寒凉难投 ；  
岂知医者今又定犀角地黄汤合竹叶石膏汤 群  
药不计。斯时已更余 尚有一医未至。余与主  
人云：“昨既进凉剂 热反增 证反重 未敢再投 ；  
予立一方以俟明眼裁正。”同书山议用大生地、  
生鳖甲、麦冬、丹皮、知母、石斛、青皮、归尾、桃  
仁泥、鲜稻根须等 留方而别。至二十四日书山  
会予 知前方占卜未服 仍延前二医及书山诊

治。延书山者 缘其家之伙与书同乡契友也 ,虽然其家议论纷纷 ,不能专主于书山 ,故终无济于事也。连日医以生地、丹皮辈合利小便法 ,二三日不应。复又用犀角、生地等合蝉衣、板蓝根、牛蒡子以化斑 ,三日来热仍不退 ,神识愈昏 , 食饮不贪 ,日泻稀粪二三次。又用清燥救肺法 ,而热仍如前 ,病势甚笃。复属书山求治于余 ,往视之 ,热已十三日之久 ,而一毫未减 ,食饮不进 ,午后想食西瓜 ,约饮半杯而稀粪直溜 ,此等情境岂是退病之象也。身热干燥 ,神识乍明乍昧 ,语言似清非清 ,舌色红润 ,中心灰黑。病由经水适断而起 ,血室空虚 ,邪热内陷。徒事清热 ,热非实热 ,徒以散邪 ,而邪已内陷于血室空虚之所 ,徒清、徒散均无益焉。是以《内经》有无犯胃气及上二焦之论 ,仲景《少阳条篇》有适断空虚邪陷一说 ,明指少阳胆腑 ,亦有三禁 ,与经文暗相符欵 ,各有深意。神明变通 ,全藉心领意会 ,始能得其妙旨 ,岂泛泛医流辈所能深悉其意者也。况此等症最易变迁 ,如前之脉则右大左小 ,今则两关浮弦、尺脉小数而按之无力 ,又非前比。变端不一 ,岂可同日而语哉。今病已危险 ,若再延误 ,措手不及矣。为此时计 ,宗启玄子育阴存津

以退内陷之热，合之仲圣《少阳篇》血海空虚邪陷胆腑之小柴胡合而成方，以冀转机。不此之求，恐肝风一动，劲厥随之，又当如之何耶。案定方成，适前医至，即于方中加其茯神，甚属合宜。方列于下，七月二十四日定：

大生地五钱 炒当归一钱 白芍一钱半 炒柴胡一钱 淡黄芩一钱半 炒 煨葛根一钱半 花粉一钱半 甘草五分 麦门冬一钱半 朱砂拌 小青皮八分 炮姜二分 茯神二钱

服后，头面遍体俱有微汗，诸恙渐平，问答明白，斑消泻停，耳聋亦减，且能饮粥些少，大有转机之征也。次日主人缘病势转轻，俗情惜费，乃不延余而仍邀前医与书山同议。前医案云：“服昨药微躁微汗，斑退泄止，神识渐清，大有转机之象，仍宗竹亭先生法，略为损益”等语。即予昨方内去葛根、炮姜、青皮，加丹皮、川贝、钩藤钩，其余悉照予方，末后书山加鲜荷叶一小个，此二十六日书山会予细述之。是日延诊，书山用育阴存津法，前医加入人参白虎汤，据述服后反觉躁扰不宁。二十七日书山用阿胶黄连汤，前医至以为不然。医用玉女煎法，服后书山云较前更重，甚至昏沉不语。主家从此停药，延

至八月初七而逝,诚可惜哉。

(案 圆) 吴师瞻内人湿脚气症治验

吴师瞻内人,脚气症,己巳正月二十日诊。

脉右虚左弦,肝脾两亏,湿热下注,两足肿痛,屈而不伸,紫斑成朵,证名湿脚气,古称壅疾者是也,宗东垣疏理肝脾,是为上策。

屈而不能伸者,病在筋。伸而不能屈者,病在骨。肿而痛者为湿脚气,宜清热利湿搜风。挛缩枯细痛而不肿者,名干脚气,宜养血润燥。

黄芪皮三钱 焦冬术二钱 茅山术二钱,炒  
茯苓三钱 全当归一钱半 炙甘草八分 怀牛膝二钱  
木瓜三钱 小青皮一钱 川黄柏一钱,盐水炒  
川木通一钱

加杉木梢五钱。

外用鲜橘叶三十片、杉木梢三两煎汤,淋洗足腿肿痛处。

服五剂,两足小腿肿痛十去六七,皮起绉纹而少痒,且能伸屈,非前之拘挛可比,紫斑亦退其大半矣。原方去木通、青皮,加白芍、五加皮,再五剂而痊安。

(案 圓) 谈禹范襟兄乃室产后腹痛误作  
肠痛几危

谈禹范襟兄乃室,己卯五月。

产后恶露未尽,缠绵两月有余。小腹时痛,血块偏左,偶发寒热,食后作胀。脾土亏而肝木不舒,防其腹大块攻。皆由产后失调耳,况右关虚大,左关弦急,又显有明征耶。

西党参三钱 焦冬术一钱半 茯苓一钱半 陈皮一钱 当归身一钱半 广木香八分 白芍一钱半,炒 炙草七分 女贞子三钱 制香附二钱

加阳春砂仁四分,研细冲。

进药五帖,食饮增倍,每次可吃饭两小碗,胀势大减,痛亦渐缓。惟块尚在,此产后积血而成,原不易去,必待气血充和方能渐消,若不加意调治便为终身之累。

复诊:原方去白芍、香附,加川芎、益智仁等,服后诸恙俱减。因腹块未消,不时作痛,病者性急,轻信旁言,疑生外症,因延疡科治。医竟作肠痛论,用当归、桃仁、元胡索、五灵脂、益母草膏辈,佐攻伐破血之法,不应。又用平肝、活血、行气之剂,又不应。复更疡科,用破气、泄肝、导气、散痛之法四五帖,亦不应。二医皆以

为肠痛，且云已有作脓之势，药宜内托排脓，不日开刀见脓痛自缓等语，使病者闻之心惧胆怯。自觉廿余日来，块益坚，痛益盛，且连日食饮大减，即杯许之饭不能下咽。头汗常有，夜不能寐，肌肉消瘦，颈粟头垂，四肢乏力。举家踌躇，因买舟延余一决，如果肠痛再请前医，否则仍就予治。予曰前已决定，无庸再决。因而立案疏方以亟救之，迟则不及矣。六月初九日方案列下：

产后失调，瘀血凝滞，结而成块，块偏于左，迄今三月。结块时痛，大如碗口，偶尔寒热，不时腰疼。疡科不明产后变端，误认小肠痛，妄投破血散气、通经导滞之药，以致块坚痛增，小溲不爽，食饮维艰，肌瘦神疲，脉象虚软，气血日亏，郁而不散。诛伐无辜，弄假成真，深可痛恨。如果小肠痛，当小溲数如淋，身皮甲错，腹痛异甚，按之濡如肿状，身无热，再验之于左尺脉独数，知小肠痛之脓已成也，宜以药内溃之，亦无庸刀针开之。今既无此形，无此脉，何可妄治。自予审之乃产后气血大亏，营卫失调，恶血阻络。理应调摄脾胃，和其气血。俾营卫流通，食饮渐增，庶几块消痛止矣。

西党参三钱 焦冬术一钱半 白扁豆三钱 炒  
 茯神二钱 益智仁一钱二分 柏子仁三钱 女贞子  
 三钱 归身一钱半 制香附三钱 杜仲三钱 炒 川  
 续断一钱半

加橘叶三大片。

外用冲和膏，先将葱白头煨烂同捣，临用和入麝香一分，睡时带热贴痛块上，绵纸盖上，软绢扎之。逐日如法，共换三次。

又，六月十三日复诊：服前初九日方四剂，左腹块痛十减其五。敷药三日，块亦渐小，夜能安睡，腰疼大缓，食饮亦增，小溲不滞。药服颇合，仍宗前方出入，不用外敷之法。

西党参三钱 淮山药三钱 炒 白扁豆三钱 炒  
 茯神二钱 酸枣仁一钱半 炒 制首乌三钱 白芍  
 药一钱半 炒 归身一钱半 广木香七分 杜仲三钱，  
 炒 陈皮一钱半 砂仁六分

加鲜橘叶三片。

服五帖，左腹块痛已止。其块大如碗口者，今小如酒杯之口。食饮倍增，精神日健，大有生机矣。

又，十八日方：

西党参三钱 焦冬术一钱半 制首乌三钱

归身一钱半 白芍药一钱半,炒 云茯苓二钱 女贞子三钱 炙草四分 杜仲三钱,炒 川续断一钱半,炒 益智仁一钱 陈皮一钱半

加砂仁末三分,冲。

服此五剂,食饮如常,腹块全消。

是证几乎为疡科所误,服予前后三方,进药十四剂而痛止块消,霍然全愈,诚快事也。

(案 圆) 程梅溪继室经水淋漓、小腹块痛  
治验

程梅溪继室。

经水停阻,淋漓不绝,小腹块攻时疼。病经一月,口虽干,喜饮温,小溲少,赤带多,舌淡黄,脉象沉小,乃下焦之瘀滞未清耳。六月二十五日

制香附三钱 当归一钱半 元胡索一钱半,炒  
茯苓二钱 山查肉三钱,炒 苡仁四钱,炒 建泽泻一钱半 炮姜三分

加阳春砂仁二分,研冲。

服三帖,块消血止,所下黄黏水亦无,小溲通利,下部已平。惟少有干呕,不饥,稍呛。此又胃中之虚火未尽也。

继以鲜石斛五钱 茯苓二钱 藿梗、陈皮、苏

子各一钱半 苡仁、生谷芽各五钱  
加鲜莲肉十四粒,去心衣。  
煎服两帖而全安。

(案 圆象) 张铁珊乃室阴虚内热,肝火易生  
治验

海盐张铁珊乃室,己卯六月,年三十六岁。

素有血崩,兼多内热,肝火易升,不时牙疼。种种见证似属肝火为患,而细按脉象,左关虚数,火非实火;右寸虚小,关脉虚软,知脾土之受累于肝也久矣。盖土虚不能生金而肺弱,金虚不能平木而肝强。然肝强者,肝亦自伤,故脉虽数而虚也。徒事平肝伐木,清火抑阴,皆非法也。当先清补肺胃,少佐养肝舒木之法,再为良图。

制洋参一钱 建莲肉三钱,去心炒 淮山药三钱炒  
南枣三枚,去核 云茯苓一钱半 薏苡仁三钱炒  
制首乌三钱 青皮四分 女贞子三钱 炙甘草五分

加鲜荷叶一小个。

进药三剂,内热火升顿减,牙疼亦从斯而平矣。

又复诊 病脉合参 理宜气营并补 第秋令初交 暑热未楚 药后颇效 仍宗前法。

制洋参一钱半 玉竹三钱 当归身一钱 川芎八分 云茯苓一钱半 元米炒麦冬一钱 盐水炒橘红六分 白芍药一钱 炒

加鲜莲肉十四粒 去心衣。

(案 圆) 陆氏姬 巅顶痛、畏寒、咳嗽、呕恶 治验

陆氏姬 五月初十日诊 年三十三岁。

巅顶作痛 畏寒恶风 咳嗽呕恶 舌胎白腻。医者以为暑风闭于肺胃 用枇杷叶、川贝、橘红、豆豉、佩兰叶、大豆黄卷、桑叶、杏仁等。三四帖 呕、咳、畏寒减 而巅顶之痛仍然 反加内热不饥。予诊其脉浮小 乃风邪上受 兼之早出晚归 又为露水所侵。因用轻解法 以散上部之风邪 庶乎渐安。

未曾小暑 何来暑风。小暑在于五月十七日 观其方案乃初五日也 与小暑日相去十有二日矣 医何荒唐若是哉。

防风一钱半 羌活一钱 藁本一钱半 广藿梗一钱五分 杏仁三钱 研 橘红一钱 桔梗一钱 山

查炭三钱 甘草六分

加鲜荷叶一小个同煎。

服后少顷 ,上部微汗 ,巅顶之痛若失 ,其余俱向安矣。

(案 圆) 王质愚女风暑内蕴 ,身热、无汗、腹中虫痛治验

王质愚女 ,嘉庆己卯 ,十一岁。

素常内热 ,贪啖生冷 ,不时腹痛。今于七月十九日 ,身热无汗 ,头疼 ,大腹时痛时止 ,痛时如啮 ,口干舌绛。医用清疏药二三帖不应 ,又用小柴胡加连翘、青蒿辈 ,反加闭闷、壮热 ,仍无汗。早上热轻 ,午后甚 ,因延余诊。案云 :身热头胀 ,干热无汗 ,腹中时痛时止。舌绛唇红 ,脉象浮数不弦。似疟非疟 ,乃风暑内蕴而兼蛔虫作痛也。宜以疏表和里 ,佐以祛虫 ,俾邪外达为最。(二十六日)

香薷一钱 防风一钱半 淡豆豉二钱 块滑石三钱 黄芩一钱二分 木香六分 大腹绒一钱半 半夏曲一钱 炒 赤苓二钱

加藕一两五钱。

煎好去渣 ,入炒川椒末二分 ,冲 ,炒鹤虱末

六分，冲。

进一剂，腹痛顿止，热亦稍减，有汗，非前之干热可比，口干欲饮，小便赤。

又，复诊方，二十七日：

葛根一钱 蔓荆子一钱半 鲜竹茹一钱，炒  
木香七分 丹皮一钱，炒 瓜蒌仁二钱 广藿香一钱半  
查炭三钱 大腹绒一钱半

加炒川椒五粒。

进药后，今项背发出白痞，少有汗，下半身无汗，微咳，胸闷齿疼，热势较昨减半，口干喜饮亦减，脉浮小数，邪未尽彻。

又，二十八日诊：

前胡一钱半 蔓荆子一钱半 蝉衣一钱，去足  
广藿香一钱半 防风一钱半 赤茯苓二钱 连翘一钱半  
山查炭三钱 陈皮一钱半 桔梗一钱

服后周身微汗，表热渐彻，白痞亦退。早晨热停，日晡稍有微热，胸胃似闷。大便数日未解，却无欲解之意，此亦肠燥不润。议益阴润肠法，以冀热退、便通为稳。

又，八月初一诊：

小生地三钱 粉丹皮一钱半，炒 地骨皮一钱半  
赤苓三钱 炒麦冬一钱半 块滑石三钱 黑山

梔一钱 橘红八分 油当归一钱半 大麻仁三钱 研  
加莱菔子三钱 炒。

服一剂热退清 再剂便解未畅 又进一剂便  
畅而止。

(案 國) 上洋陈杏千内人产后感冒,头  
疼、腹痛、滞下症

上洋陈杏千内人。

产后两月,冒风头疼,感寒腹痛,滞下数次,  
脉软小兼浮,宜用清疏法。十一月廿三日

蔓荆子一钱半 防风一钱半 老苏梗一钱半  
查炭三钱 广木香八分 神曲三钱 炒 焦谷芽三  
钱 陈皮一钱半 淡茺萸三分

加葱白两枚、煨姜二片。

进三帖,痢止痛平,头亦不疼,风寒两解。

二十六日:用和胃调中法,参苓白术散出  
入,调治而痊。

(案 國) 许氏女经行腹痛,时值三冬治验  
许氏女,年十八岁,嘉庆戊辰仲冬。

经行腹痛,时值三冬,脉象沉迟,非温不通。

熟附子四分 炮姜六分 当归梢一钱半 陈

皮一钱 元胡索一钱半 炙草五分

服一帖,痛减大半,血下兼块。次日原方去  
陈皮,加乌药、白芍,两帖全安。

(案猿) 潘氏女素有痰厥,不时举发治验  
潘氏女。

素有痰厥,不时举发,久恐成愒。

制半夏二钱 天竺黄一钱 石决明六钱 钩  
藤五钱,后入 大麦冬一钱五分,去心,朱砂拌 制香附  
三钱 羚羊角一钱半,镑 橘红一钱

加沉香汁二分,冲。

进药五剂,共厥两次,较前甚轻。

又复诊方:痰厥渐轻,疏理肝脾,仍宗前  
法。

二原地三钱 女贞子三钱 归身一钱半 白  
芍一钱半,炒 制香附三钱 羚羊角一钱,镑 陈皮  
一钱 钩藤五钱,后入 制半夏一钱半

加旧铁器两许,烧红,药汤淬服,淬时须将  
有药之碗置水盆中,以免碗爆碎。

(案猿) 谈星昭内人胸腹急痛,呕吐发厥  
治验

谈星昭内人 ,年五十岁 嘉庆己巳八月。

六脉沉细 ,胸腹急痛如锥 ,呕吐肢冷 ,汗多且厥。寒凝食滞 ,气阻中宫 ,来势甚险 ,先以熨法 ,再投煎剂。

熨方 :用陈香椽二两 生姜三两 青葱三两  
大皂角三挺 枳壳一两

五味各切碎 ,用陈酒一碗、米醋一杯、河水三碗煎滚 ,用木棉手巾两块四折浸透略绞 ,自胸至腹更换熨之 ,冷则易 ,随用后方煎服。

淡干姜八分 炒 代赭石三钱 煨 制香附三钱  
陈皮一钱 元胡索一钱半 制半夏一钱半 旋覆花二钱 生绢包 木香六分 山查炭三钱 六神曲三钱 ,  
炒 沉香汁三分 冲

加炒出汗川椒一分。

一熨一服 ,痛呕顿平 ,再剂霍然矣。

(案 獾) 沈氏姬食入即胀 ,胀甚则痛治验  
沈氏姬 ,年六十七岁 ,己巳十月。

食入则胀 ,胀甚则痛 ,脉右弱左弦。脾阳不运 ,肝木乘之 ,宜补坎中之阳 ,以生己土之不足。老年得此 ,防成虚臆。

焦冬术一钱半 白扁豆三钱 炒 淡干姜六分 ,

炒 木香五分 元胡索一钱半 破故纸一钱半 炒  
炙甘草五分 茯苓一钱半

服后 ,食入胀缓痛减。再两剂 ,食后胀痛咸止而全安矣。

(案猿) 张氏姬发热二月肝火内郁治验  
张氏姬 ,年五十四岁。

发热两月未退 ,脉虚而数 ,阴气亏而肝火内郁。前进四物汤去芍药 ,加鳖甲、地骨皮、青蒿子、丹皮、花粉、甘草、赤茯苓辈三帖 ,以养阴退热 ,据述热未已。体虚之人远路步行就诊 ,途中不无冒风 ,药难奏功 ,须择近便者调治最妥。议逍遥意 ,合养阴退热法治之。(三月初六日诊)

小生地四钱 丹皮一钱五分 炒 全当归一钱  
白芍一钱半 炒 生鳖甲三钱 薄荷一钱 淡黄芩  
一钱半 炒 甘草八分 银柴胡以青皮六分易柴胡  
加藕二两。

未诊脉前 ,据云服初三方夜间热势更甚 ,甚至头眩眼花 ,欲饮冷卧凉方快。观其舌 ,舌绛无胎 ,诊其脉 ,虚而带数 ;明是阴虚而相火不静。阅予前方理当合宜 ,何服之而反热甚 ,因立案嘱其近便处就治 ,性急欲速 ,难与之言。再思之 ,

既服药不合复来求治 ,又不得不尽心以图之 ,因仍用养阴法合逍遥散加減之。疏方毕 ,深嘱戒怒、饮酒 ,若能遵之 ,尚可图功。设二者不戒 ,难以许治。谈至此 ,而病者与来人鼓掌大笑曰 :“名医也 !君何见之神也。”追问之 ,则曰 :“前自初三四两日进药后 ,夜热大減 ,十去其八。惟初五日服药后 ,复饮陈酒半斤而睡。是夜身热大甚 ,饮冷就凉 ,夜不安宁。至于气恼 ,常常有之。既蒙嘱戒甚切 ,特诉真情 ,仍望一救。”予始解疑 ,不然何药与病合而服之反不符也。因将原方之银柴胡改用小青皮与之。甚矣 !医之难行也 ,设不叮咛再嘱 ,何能探其实情。柴胡之用 ,有可用可不用之道也 ,去此而增青皮以舒肝 ,未始非良策也。

进四剂内热退清 ,喉舌少有干燥 ,味苦。原方去黄芩 ,加黑山栀一钱五分 ,再四帖而痊。

(案獮) 孙氏女中脘作疼波及左胁治验  
孙氏女 ,年逾三旬。

中脘作疼 ,起自去冬十二月 ,不拘食前食后、或早或晚 ,大率受凉则愈觉耳 ,喜饮温暖。至今春二月 ,胃中时刻隐隐作疼 ,食饮渐減 ,饥

也不敢多食,食后胃中不疏即疼,连痛三二日,甚至牵引左胁。诊其脉右关软小不疏,幸左关肝木不弦,故无兼证。惟以调和脾胃,兼之温中运食为法,自尔痊可。(十一日诊)

焦冬术一钱半 白扁豆三钱 炒 制香附二钱  
干姜八分 炒 淡茱萸四分 制半夏一钱半 鸡内金一钱半 炙 炙草六分

服一帖仍疼无减,再剂疼止,胃中渐松,并无气闷之势。

十三日:原方去香附、半夏,加木香八分,砂仁四分,研冲。两帖,如前毫不觉疼,加南枣四枚,再两帖安妥如前,食饮渐复。

十七日:将前十三日之方去鸡内金,调理两剂而愈。

(案 獠) 云间陶大奎乃室新产发热、腹痛治验

云间候补理问陶大奎室人,年逾三旬,庚辰正月下浣八日。

新产旬日,发热头疼,小腹觉痛,延余诊治。据述产后恶露甚少,于三四朝时腹痛甚急,忽下血两大块,当即痛缓血少。迄今十日,心一烦而

汗出,火一升而头疼。发热腹痛,两耳常鸣,口干咽疼,喜多言语,舌绛光剥。右脉虚滞,左脉见芤。细审之,乃产后大血去多,营阴不足,肝火内郁,少有恶露未尽,气滞不疏。宜先舒肝和血,俾恶露清而相火降,再为之计。第须避风戒怒,庶免产后余波。

当归梢二钱 炒香附三钱 元参二钱 川芎一钱 炒橘红八分 元胡索一钱半 炒甘草六分 池菊一钱

加炮姜五分、砂仁末五分。

进药后,夜睡安宁,口不黏腻。舌绛光剥,下半断已退本色,舌根尚腻。热缓,恶露少见,痛定,渐能饮粥。

又,正月二十九日诊,进昨方,诸恙渐减,惟动辄汗多,口干耳鸣。此气血两亏,血海未清,胃阴未充,故痰稠兼咳。暂以固表养营,佐以疏运之法。

生黄芪三钱 炒归身一钱 元参三钱 茯神二钱 炒枣仁一钱半 半夏曲一钱半 炒青皮五分,醋炙 牡蛎五钱,煨 叭哒杏三钱,去皮尖

加炒池菊一钱。

服后恶露停,热止,头痛大减,舌之光剥

退清。

又二月初一日诊，固卫养阴。

生黄芪三钱 大生地三钱，炒 元参三钱 麦冬一钱半，去心 女贞子三钱 柏子仁三钱 归身一钱半 远志一钱，去心炒 炙甘草七分 炒枣仁二钱 茯神二钱 橘白八分

加生姜六分、黑大枣三枚，去核。

服两剂，汗出渐减，头角不疼，口干耳鸣亦缓。惟夜睡时醒，咳平痰尚多。自早至晚可饮粥四五盏，知饥口淡，两足不温。脉右虚大无力，左三部虚小微数。气血两亏，虚火渐降，理应峻补，而胃气未旺，脾土未健，肝肾之阴虽虚，而滋补腻膈之药究嫌其骤。且以益气扶阳，佐以养心宁神之剂，再为善后之谋。

潞党参三钱 生黄芪三钱 山药三钱，炒 归身一钱半 柏子仁三钱，去油 炒枣仁一钱半 茯神二钱 炙草八分 制半夏一钱半 五味子五分，研 苏子一钱半，炒 茯苓一钱半

加左牡蛎五钱（煨块）红枣五枚。

服两帖，耳鸣止，睡亦安，诸恙俱平，惟两足未温，汗仍时有。

原方去山药、半夏、苏子、茯苓，加焦冬术一

钱五分、白芍药一钱五分。再三帖，汗出甚少，  
 食饮倍增，两足渐温。

初八日：即此方加玉竹四钱，去牡蛎、红枣，  
 加姜二片、黑枣二枚。服两剂汗止，再剂两足不  
 觉其冷矣。

又，十一日方：新产之后，气弱血亏，脉细无  
 力，诸恙俱平。大便数日未解，而血海空虚、肠  
 燥便结者，又未便擅用通幽之法使虚者益虚，必  
 得益气以充之，养血以润之，佐以温肾以达之，  
 便自通矣。

潞党参四钱 归身二钱 柏子仁三钱，研 郁  
 李仁三钱，去皮尖 制首乌三钱 生首乌八钱 松  
 子仁三钱，去衣 黑芝麻三钱，炒 肉苁蓉三钱，泡淡  
 陈皮一钱二分

煎好去渣，入清阿胶二钱，烱化二三滚服。

服后，晚间解结粪如弹丸者，据述约数枚，  
 未畅。次日再一剂，又解结粪成条而安。

十三日：以气血并补法，调理收功。方用八  
 珍汤略为增减。

人参四分，另煎 於白术一钱，土炒 茯神一钱半  
 酸枣仁一钱半，炒 熟地三钱 当归身七分 白芍  
 一钱，炒 炙甘草六分 南枣三钱，去核

加桂圆肉四枚。两剂。

新产十日，头疼身热，腹痛耳鸣，汗出无时，口干咽疼，咳呛痰稠。种种见端似属外因之象，而证脉合参究关气血两亏。予专作新产论治，随机应变，逐日平可，深中肯綮，此其所以收功之捷也欤。

（案猿）海盐王芝峤侧室咳嗽吐血渐成虚怯症

海盐上舍王芝峤如君，庚辰正月初旬延诊，年逾二旬。

咳嗽吐血，起自上年，医治罔效，渐成虚怯症。脉右细奕无力，左脉寸涩，关脉弦数，尺脉濡小，知其素体阴亏阳弱。腹块攻痛，白淫绵绵，任脉为病。日来咳呛痰血，颧红口干，痰沫常吐，虚怯之征已露先声矣。色脉详审，自是相火上炎，水不养木，宜乎滋阴为最。而脾肺久虚者概以滋阴降火，又恐不利于脾。必得土旺金生，使木不侮金，金气充而肾水自旺。为今之计，亟宜扶脾保肺，佐以养肝，是为上策。（初七日方）

白花百合一两 款冬花三钱 淮山药三钱 炒

南枣三钱,去核 云茯苓一钱半 炙甘草六分 制首乌三钱 橘红三分,炒 参三七三分,研冲

加饴糖一钱,融化。

又,十二日诊:进前药,咳呛渐缓。就色脉而详谛之,阴固亏也,阳亦虚矣。阳何以虚,由于气之不充。阴何以亏,由于火之上炎。是以喉干舌燥、咳呛痰红。至于腹块攻冲,肠鸣白带,虽关任脉,然亦未尝不关乎脾阳之不运耳。无怪乎右脉虚软,左脉弦细极也。且再调治肺胃,佐以养肝,斯为善矣。

生洋参一钱 白花百合一两 款冬花三钱  
紫菀一钱半 淮山药三钱,炒 云茯苓二钱 叭哒杏三钱,去皮尖 苏子一钱,炒 女贞子三钱 制首乌三钱 人中白八分,漂淡 炙草六分

煎好去渣,投枇杷叶膏一钱五分,冲服。

又,十六日方:始也咳血,继也骤吐。《经》云:“阳络伤则血上溢”,是肺气虚而胃土不充也,前案已详。《易》之《象》曰:“大哉乾元,万物资始”;“至哉坤元,万物资生”。坤属于土,乾属于金。未有气不充而血能固者,亦未有土不足而血能统者,此予之所重在肺胃者近是。证脉细审,行经趱前,刻在临经之际,骤然一吐,是属

倒经之象也。不然何脉不见数急，而神识反安静也。议益气养胃，侑以疏之调之而运动之，庶乎可也。至于块之上攻，腹中雷引，白带绵绵而下，亦无非气不充而清阳不升也。一以贯之，不必枝枝节节而求之。

西党参四钱 淮山药三钱，炒 茯苓一钱半  
炙甘草六分 清阿胶三钱，蒲黄同炒 金石斛四钱  
降香三分 人中白八分，漂 白扁豆三钱，炒 天门冬一钱半，去心 橘络八分 大南枣三枚，去核  
加白花百合一两五钱，煎汤代水煎药。

(案猿) 崇明夏建中内人肠覃症详论治法

夏建中内人，年三十三岁，肠覃症，嘉庆庚辰四月，崇明人，渡江来苏就治于予。

据述自二十二年十二月生产，至二十三年春间于左腹起一小块，日渐长大。遍延医治，有作瘀血治，或作癥瘕治。用消坚破积，以及行血逐瘀等药，服之块更坚大。所幸者，饮食睡卧如常，乳汁充足，吮乳不缺。延至二十四年冬，块移当脐，状若怀子。惟曲腰不便，其余无他苦。至十二月，经事已转。至二十五年春，经行应

期。季春至苏，曹先生用补血、削坚，佐制大黄、桃仁辈。服后经事趱前几日，月水稍多，其块如前，复定丸方。方用四物汤合调胃承气汤，加三棱、莪术、槟榔、枳壳、香橼、香附、苏梗、乌药、丹参、元胡索、鸡内金、冬术、茯苓、泽泻为丸。主人缘煎剂进数余帖不见应手，且嫌丸剂中有硝、黄等猛烈之药，因求治于予。

案云：块由产后而起，寒气客于肠外，与卫气相搏，气不得营，因有所系，癖积于内，瘕肉乃生。始如鸡卵，日以益大，状如怀子。按之则坚，推之则移，月事以时下，此肠覃症也。病经两载，攻伐非宜，当宗经旨，调气以温之，王道迂徐无近功也。（四月十八日诊）

病在气而不在血，故月事不断，应时而下。如石瘕则“生于胞中，寒气客于子门，子门闭塞，气不得通，恶血当泻不泻，衃以留止，日以益大，状如怀子，月事不以时下，可导而下”，与此肠覃有别也。胞中即子宫也，男女之通称，前通关元，后通命门。男子阳动于此，泄精；女子阴静于此，受胎之处也。是论予细注于《耐百珠囊》卷二之三十一页，皆详论诸家之说，合而注之。以正景岳之误认胞中即命门之说非是。

党参三钱 淡干姜八分 炒 熟附子六分 木香八分 冬术一钱半 炒 制香附三钱 上肉桂六

分,去粗皮 青皮八分 炙草六分

加血竭一钱,乳细冲。

服三剂后,腹中响动,自觉温暖松爽,块亦软和,非前之紧急可比也。

细按当脐之块,予以手隔裙拊摩其块,大腹胀急如臑,腹皮内宛如棕草之声,又似隔布摩木贼之音。此言可以意会,而难以言语形容也。姑假形似以揣摩之耳,能于不可言传中而独得其意,则治病之道可以深中肯綮矣。

又二十一日诊:肠覃有年,缓图可消。若因块坚而速投峻厉之剂,恐反节外生枝。证脉合参,宗罗氏《金鉴》方出入之,庶乎尽善。

焦冬术一钱半 熟附子六分 元胡索一钱  
当归一钱半 大茴香八分 制香附三钱 上肉桂六分,去粗皮 槟榔一钱半 桃仁泥二钱 炒 云茯苓一钱半 广木香八分,切片 炮姜七分 小青皮八分

加紫沉香五分,劈碎同煎。

服五六帖合宜,即以此方十倍为丸,淡姜汤打糊为丸,如梧子大。每服三钱,空心炒米汤下,或淡姜泡汤送下亦可。

(案 獮) 陈仪山女悞症常发治验 (附紫

雪丹)

陈仪山之女。

憊症年余,发则眩仆倒地,昏不知人,口眼牵动,痰涎作声,手足抽搐,叫若罔闻,甚至遗尿。五憊中之极险者,况年将二八,天癸未通,痰随火升,心火不降,故月水难至耳。迩来一月三、两发,气血更受痰火之累矣,盖早图之。(嘉庆丙寅三月十二日)

姜汁炒生山栀一钱半 盐水炒橘红一钱半  
石菖蒲八分 矾水浸松萝茶六分,晒干,不炒 朱砂  
拌麦冬一钱半,去心 制半夏二钱 抱木白茯苓二  
钱 去心远志肉一钱 炒 紫沉香四分,切片

进四剂,憊病未发,自觉喉中痰少,体健食增,原方加天竹黄一钱五分。再四剂,憊病仍未发。渠家因药颇合,如前再服,仍不再发,精神更健,喉中痰声全无,口舌并不干燥,二便通利,知饥能纳,脾胃调和。复诊之,左脉之弦数者大减,惟右寸关反觉其滑而少力耳。当用二陈汤加焦冬术、柏子仁、归身、远志、沉香,煎送白金丸八分。服十五剂,憊病霍然全愈,天癸亦通,精神健旺,肌体未复。向予索调理方,予以归脾汤去木香,加熟半夏、制香附,用荷叶煎汤洒叠

成丸，每服五钱，食后滚水送下。

昔先君子治李氏妇癩疾，来势颇重，将暮先服紫雪一分，灯心汤化服，癩势渐平。一更时，服郁金、瓜蒌、杏仁、橘红、麦冬、山栀、海蛤粉等，加茶叶五分、明矾五分（冲）。上八味煎服，一夜安卧。已后仍以平肝降气、消火消痰之剂而渐瘳。因癩势颇重，先进紫雪丹分许而癩势渐平，用意极妙。竹亭注

（案猿） 费氏姬胃气作楚，近感暑风，呕痛并至治验

费氏姬，年四十一岁，六月望日诊。

素有胃气作楚，近冒暑风，痛而兼呕，得汤则剧，手足麻，头小胀。舌胎腻白，有汗恶风，六脉沉小。议和中法，佐以辛苦。

姜制半夏一钱半 广藿香一钱半 防风皮一钱五分 香薷一钱 白蔻仁五分 淡茺萸二分 小川连六分 姜汁炒 滑石三钱

加炒出汗川椒十粒，拣去闭口者。

服后呕痛、头胀俱止，舌转淡黄苔，口干喜饮。

又，复诊方：

鲜石斛四钱 鲜荷叶四钱 鲜藿香二钱 枳

壳一钱半 炒 焦谷芽三钱 半夏曲一钱半 炒 宣木瓜一钱半 陈皮一钱

加西瓜翠衣一两。

服两剂，口舌不干，渐进粥，大小便通利。继以养胃和中，调治而安。

(案源) 昆邑徐云坡内人寒热、头胀、腰疼、腹膨治验

昆邑徐云坡室人，庚辰六月。

日晡寒热，得汗而解，头胀恶心，小腹膨急，溲便不爽。舌苔白腻，合之脉象似疟而阴阳未分也，素属阴虚挟痰。经行一月两至，兼之腰疼，内如针刺，遍身不疏。先以解暑却湿，少佐治本之法。(初四日方)

香薷一钱 防风一钱半 半夏曲一钱半 炒  
白蔻仁五分 研 滑石三钱 秦艽一钱半 鲜藿香三钱 赤茯苓三钱 青皮八分 橘白六分 杜仲三钱 生姜汁拌炒

加鲜荷叶三钱、姜皮八分、松萝茶二分。

服后寒热、头胀、腰疼俱减，其余如前。因其得效，据述又服一帖，而胸闷、恶心反增。此方原不可接服，因有疏解药也。

又初六日方寒热、腰疼俱缓，而小腹尚急疼，大小便不爽，胸闷恶心，暑湿之邪未尽也。脉左弦细而数，防经水骤至。拟和中法，佐以舒之运之。

姜制厚朴一钱 白扁豆三钱 炒 淡豆豉三钱  
苏梗一钱半 广藿香一钱半 半夏曲一钱半 炒 稽  
豆皮三钱 青皮八分 台乌药一钱半 宣木瓜一钱  
半

加益元散三钱、鲜荷叶边一小个。

正欲煎药，果然经行，着人延予，予将原方去木瓜，加制香附三钱，余如前。服后，寒于二更时作，鼓颌戛齿。少顷热至，至天明得汗而退。昨未服药前，经至腹疼，血下兼块，小腹尚急，二便通利。

初七日方案列下：

寒热有期，渐转暑疟。胸闷稍减，而尚呕恶腹疼，舌腻糙刺。拟清解法，冀其寒热渐退，不致热入血室为最耳。

姜制厚朴一钱 姜汁炒半夏一钱半 淡黄芩  
一钱半 炒 柴胡七分 淡茺萸二分 赤茯苓三钱  
炒 查肉三钱 青皮八分 江枳壳一钱半 炒

加藕一两五钱。

服后未寒 , 少有热象即退 ; 仍然呕恶 , 口干舌腻。经水未停 , 少腹仍疼 , 血块仍有 , 腰膝痠软 , 左脉小数兼弦 , 右脉小滑。胃不和而少阳之邪未彻也 , 还防寒热。

又 , 初八日方 :

鲜竹茹二钱 , 姜汁炒 姜制半夏一钱半 藿梗一钱半 青皮八分 元胡索一钱半 , 炒 川郁金六分 归尾一钱半 赤苓二钱 黑山栀一钱半

加左金丸五分 , 药汤送下。

服后 , 呕恶即止 , 寒热仍未至 , 口舌尚干 , 经水未尽。原方去半夏、藿梗 , 加花粉、麦冬。再两剂而诸恙向安矣 , 继以养胃和肝 , 调理而健。

(案源) 徽歙洪季威夫人体虚感邪误治几危治验

徽歙孝廉洪季威夫人 , 年四十二岁。

体虚感邪 , 误治几危。嘉庆庚辰九月望后问治于予 , 方案列下 :

素有肝胃气 , 食饮甚少 , 肌体不丰。经水色淡 , 每临期约四五日方停 , 今经行三日而止。于九月初五、六日 , 觉头疼身热、齿痛有汗。延曹先生治 , 以为风热化燥 , 用荆芥、连翘、枳壳、桔

梗、薄荷、山梔、牛蒡、鲜生地辈凉之，而热不减。次日仍以原方出入，总不离乎清凉。医治七八日，仍然身热有汗、头疼齿痛、胸闷欲呕。偶尔吐出风沫痰，似觉胸前稍松，顷之仍然。少饮稀粥碗许，今早解出结粪一块。齿疼稍平，而头疼、身热有汗一毫不解，于十六日延诊。

案云：头疼责之太阳，齿痛责之阳明。左右脉俱沉细小弦，邪由表达里。仲圣云：“身热头疼有汗而热不彻者，此营弱卫强，阳邪内陷。”况在经断后得之，其为营虚邪陷更无疑矣。兼之舌苔白腻、胸闷欲呕、二目羞明，邪闭未能出表，岂是小恙。议调营和卫，佐以豁痰解郁，以冀热退汗止，庶几无虞。

大生地四钱 全当归一钱半 丹皮一钱半 炒  
白芍一钱半 炒 川桂枝一钱 瓜蒌全三钱 酒炒  
川芎一钱 甘草五分 地骨皮一钱半

加梨汁八钱、生姜汁一钱，前药煎好去渣，将二汁冲入，再煎一二滚服。

照法煎服，据述至三更时，汗出遍身至膝，惟小腿下未到。当即热退，头疼齿痛顿减。少顷饮稀粥一盞，渐睡至天明后而醒，醒后安妥，非昨之烦躁可比。至辰刻又少有热象，却不烦

躁。大便稀粪一二次，胸胁尚有不舒之状，时欲暖气则松。小溲甚少，出时甚热。时有转失气，据述极臭。究属阳明宿垢未清，余邪未尽。吐痰盈盂，右关脉稍起，左脉弦细如前。正虚挟滞，痰湿中阻，先宜舒中却湿，再为之计。十七日方：

沉香汁三分，开水磨冲 盐水炒橘红八分 砂仁五分 瓜蒌仁三钱 炒黄半夏曲一钱半 甘草五分 赤茯苓三钱 广藿香梗一钱五分 炒黄枳壳一钱半

加车前子二钱，炒研。

晚诊：据述午前进前方，服后安妥。至戌初，大便结粪一次。至更时，陡然手足厥冷，上至腕，下至足跗，谵语胡言，已后默默不语。予至诊脉，脉左如丝，右脉稍起。气凝痰厥，用竹沥、姜汁、陈皮、半夏、沉香汁冲服，服后顷之厥回。

又，十八日诊：神虚火升，相火随之。舌苔焦黄干糙，转失气时下，燥屎中阻。然气营两亏而津液不足者，又未便峻攻。当宜清降肝火，佐以水火相济之法最为稳妥。候季威四兄先生自裁。

羚羊角三钱 镑 小生地四钱 连翘心一钱半  
元参二钱 川黄连五分 白芍药一钱半 炒 薄荷  
头一钱半 甘草五分 小青皮八分

煎好去渣 送更衣丸一钱。

服后 神安语清 睡着多时 心中一团火热之势亦无 惟大便未解 夜不安宁。至鸡鸣渐睡 睡有三时而醒 醒后神清小倦。自昨至今晨 仍不时转失气 小溲后似有欲便之象而未能出。

十九日 :原方去连翘、薄荷 加当归、柏子仁。再剂 至二更时解结粪两块 兼些少稀粪而下。天明睡醒 饮粥一盏 口干喜饮米汤 腹中稍觉松爽。

又 二十日诊 右脉虚爽 左寸细涩 关脉弦数 尺则濡小。气营两亏 水不滋木 肝火易升 心烦乱语 舌苔中央腻滞。转失气仍时下 宿垢犹未尽也。证属虚实相兼 议益气养水 佐以清降 庶几两擅其长矣。

人参三分 另煎 龟腹心三钱 炙 元参心二钱  
连翘心一钱半 远志一钱 去心 柏子仁二钱 去油  
羚羊角一钱半 镑 肥知母一钱半 枣仁二钱 炒  
当归身一钱 叭哒杏三钱 去皮尖

临服冲入沉香汁三分。

未时进药 ,时醒时寐。至三更时 ,直睡至天明。醒后仍少有乱语 ,自觉软倦。舌胎仍腻 ,口干喜饮。

又 二十一日诊 :

人参三分 ,另煎 大生地三钱 天门冬一钱半 ,  
去心 麦冬一钱半 ,去心 元参二钱 木茯神二钱  
炒枣仁二钱 白芍一钱半 ,炒 归身一钱半 炙甘  
草六分

申正服此 ,少顷即睡多时 ,醒后稍有烦躁 ,  
却无乱语。饮粥盏许 ,渐睡安妥。至酉、戌时 ,  
少有烦躁之象 ,较前安妥多矣。小溲日三四次 ,  
转失气仍时下。

二十二日 :原方加丹参三钱、柏子仁三钱。  
服后安妥如前 ,而烦躁之势究未尽也。

又 二十三日方 :肾水亏而心火不静 ,肝阴  
虚而相火易动。肾不交心 ,水不养木。理应峻  
补 ,第客邪虽解 ,肝火未彻 ,宿滞未清 ,又未便遽  
投重补。当宜壮水以滋木 ,润燥以通幽 ,佐以降  
火生津 ,则宿垢除而虚火退 ,自无遗蕴矣。

生洋参一钱 大生地三钱 元参三钱 麦冬  
一钱半 ,去心 龟腹心三钱 ,炙 柏子仁三钱 ,研 枣

仁一钱半 炒 白芍一钱半 炒 当归身一钱半 木茯  
神二钱 麻仁三钱 研

煎好去渣 ,投梨汁八钱 ,再二三滚服。

进药后 ,夜间安睡 ,一无烦躁。至次日辰  
刻 ,大便结粪成条 ,据述约长五寸 ,色带焦黄。  
解后腹中松爽 ,人颇安静。

又 ,二十四日方 :益阴宁神 ,养胃生津 ,宗前  
方损益之。

大生地四钱 龟腹心四钱 ,炙 川石斛五钱  
天冬一钱半 ,去心 川贝母一钱半 ,去心 麦门冬一钱  
半 ,去心 黑山栀一钱半 茯神二钱 柏子仁三钱 研  
酸枣仁二钱 炒

加梨汁五钱 ,冲 ,沉香汁二分 ,冲。

服后安妥如前 ,可以坐起梳发 ,食饮渐增 ,  
睡卧渐安。惟醒后觉口舌干苦 ,喉中黏痰。小  
溲日二三次 ,出时稍热。此病后之余波未清 ,无  
足虑也 ,耐性调摄 ,自尔平可。原方再三剂 ,余  
波渐彻。

又 ,二十八日方 :病后胃阴未复 ,食不加餐。  
法宜养胃生津 ,胃土自旺。

大生地三钱 金石斛四钱 麦冬一钱半 ,去心  
花粉一钱半 大南枣三钱 ,去核 广皮白七分 茯

苓一钱半 炙草七分

加雪梨肉一两五钱、生谷芽五钱。

进两剂，胃阴复，食渐贪，舌中之腻黄苔始退清矣。精神渐健，睡卧亦安。

又，十月初一方：益气养胃。

西党参三钱 白扁豆三钱 炒 山药三钱 炒  
麦冬一钱半 去心 云茯苓一钱半 半夏曲一钱 炒  
炙草六分 南枣三钱 去核

加陈仓米半合，绢袋包扎同煎，阳春砂仁二分，研细冲。

进四剂，诸证咸除，调理而痊。

**（案 瀾）** 王锦堂乃媳产后停经两载几成虚劳治验

太学王锦堂乃媳，年二十八岁。

于嘉庆二十三年四月生产，至七月间经行一次。已后渐转寒热，月余方退。退后食减体倦，延绵日久。至二十四年秋间，小腹坚硬有块，腹中不爽。至二十五年三月间，忽发寒热。自产后经转一次，至今二载未行。每于申、酉时微寒渐热，热至五更方退，日轻日重。食饮少进，身倦体瘦，医治无效，于六月中旬始求治

于余。

案云：产后停经，迄今两载。日晡潮热，脉象浮大，按之不足，两尺沉迟，左关弦细。肝阴涸而血海无潮，胃阳衰而贲门少纳。缠绵有年，将涉虚损之门矣，盍早图之。

全当归一钱半 白芍药一钱半，炒 丹皮一钱半，炒 银柴胡七分 地骨皮一钱半 生鳖甲四钱，醋炙 炙草八分

加生姜六分、黑大枣两枚，去核。

进两剂，潮热稍缓，食饮渐贪，口中干苦，热时喜饮。

复诊：原方加二原地三钱、川芎一钱、麦冬一钱半，再两剂。至申、酉时，寒至甚轻，热亦减，至夜半而退。

复诊：原方去麦冬、甘草，加黄芩、制香附各一钱五分，紫石英三钱，煅红醋淬，再四帖。服之如前安妥，寒热俱减。

又，复诊方：

制首乌三钱 女贞子三钱 炙鳖甲三钱 归身一钱半 银柴胡六分 地骨皮二钱 粉丹皮一钱半，炒 青皮八分 青蒿子一钱半 淡黄芩一钱半，炒 加生姜二片，黑大枣两枚，去核。

服五剂 ,寒热停止。缘有喜庆事 ,停药数日 ,寒热却无。惟小腹内素有之坚块仍在 ,经水未转。日来脐下作痛 ,时痛时止 ,更兼腹膨。速宜止痛调经 ,俾天癸渐转 ,庶几无变迁之虞。

制香附三钱 全当归一钱半 木香五分 二  
 原地三钱 元胡索一钱半 醋炒 桃仁泥三钱 红  
 花一钱半 淡茺萸三分 川芎一钱

加茺蔚子二钱。

服三帖 ,小腹痛止 ,膨胀亦平 ,惟经水未行。

又 ,复诊方 :左腹向有一块 ,据述大如杯口。证脉合参 ,宜以调经为主 ,俾气血流通 ,块可从斯而消矣。

炙黄芪三钱 大熟地三钱 归身一钱半 制  
 香附三钱 女贞子三钱 白芍药一钱半 炒 茯苓  
 一钱半 炙甘草八分 小青皮八分 砂仁五分 川  
 芎一钱

加大南枣五枚 ,去核。

进药八剂 ,经水仍未行 ,惟素有之坚块如杯者今渐粟小如桂圆大矣。

复诊 :原方去青皮 ,加西党参三钱。再进十剂 ,腹块全消 ,饮食睡卧如常 ,诸恙咸安 ,惟月水未转耳。

又复诊方：气血并调，八脉融和，经事可行。

潞党参三钱 炙绵芪三钱 大熟地五钱 归身一钱半 制首乌三钱 制香附三钱 白芍药一钱半 炒 川芎一钱 女贞子三钱 鹿角霜二钱 紫石英三钱 煨红醋 山药三钱 炒 海螵蛸二钱 炙黄加砂仁五分同煎。

服此十五帖，经水始转。据述来时小腹稍疼，少有瘀块二三，色紫。至四五日而停，与平时相同。继用归脾汤加丹参、制香附为丸，每服五钱，清晨滚水送下。调理两月，康健如常。

（案源）詹氏女经水愆期，腰腹疼、头眩胀、带浊治验

詹氏女，年二十五岁。

经水愆期半月，来则甚多，淋漓五六日而停，白带绵绵。经止五日，小腹疼，腰胯痛，知饥纳少，头胀，舌无苔，肝胃不舒也。

制香附二钱 炒当归一钱半 川芎一钱 白芍一钱半 炒 淡茺萸二分 建莲肉三钱 去心炒 茯苓二钱 甘草六分 白扁豆三钱 炒 加生谷芽四钱。

服两帖，头之胀眩减，腰腹之疼痛及带浊如前。

又，复诊方：

制香附二钱 归身一钱半 川芎一钱 小茴香一钱 建莲肉三钱，去心炒 苡仁三钱，炒 乌药一钱 小青皮八分 云茯苓二钱  
加生谷芽四钱。

服四剂，诸恙全瘳，继以异功散加苡仁、制香附，调理五帖而健。

（案源）文学吴芳林室人产后玉门生菌症

吴芳林文学乃室，玉门生菌<sup>①</sup>，道光元年五月延诊。

据述病原，于上年十一月二十七日生产，至十二月二十边，觉子宫内有一物挂下，形如茄子。每日频频作痛，或间三五日一大痛，以及小腹亦痛，甚至玉门肿疼，两旁出水。小溲频数，出不顺利。小便赤，大便结。两足冷至膝，左足尤甚。手心热，口内苦。连服补药，亦不去疾。

① 玉门生菌：即阴挺（子宫脱垂）。

据云病在肝经 ,而用药俱不见效。特书病原 ,求治于予 ,方案列下 :

细审病情 ,玉门生菌 ,形如小茄。起于产后 ,迄今半载 ,苦难鸣状。非不终朝疗治 ,而数手频更 ,究无一效。诊其脉 ,右脉虚细粟小 ;左关沉弦小数 ,惟寸则浮小空虚。知其产前受惊 ,产后肝郁。郁火不舒 ,致成斯疾。无怪乎物一触而心惕 ,闻一响而胸中跳跃。小腹作疼 ,子户肿痛 ,溲赤便结。种种见证 ,病在肝脾而兼乎心也。本此意而求治 ,加之静养戒怒 ,庶乎渐安。

潞党参三钱 焦冬术一钱半 归身一钱半 茯神二钱 白芍药一钱半 炒 酸枣仁二钱 炒 柴胡五分 青皮一钱 醋炙 小茴香一钱 金铃子一钱半 山栀一钱半 炒

用鲜荷叶一小个托底煎药。

又 ,复诊方 :进前方 ,诸证俱减 ,肿痛渐消。加意图维 ,自尔平可 ,仍宗前法出入。

潞党参三钱 炙黄芪三钱 焦冬术一钱半 归身一钱半 柏子仁三钱 炙甘草八分 黑山栀一钱半 柴胡五分 木茯神二钱 新会皮一钱半 龙胆草七分 陈酒拌炒 升麻三分 蜜炙

用鲜荷叶一小个托底煎药。

外用五倍子一两、生明矾六钱煎汤，先熏后洗，早晚各一次。忌海鲜及鸡、虾、蟹等，俱宜戒之。

(案源) 张铁珊内人脾胃不舒、右肋疼刺治验

海盐太学张铁珊室人。

脾不醒则胃络不舒，脉右沉小，此右肋之所以疼刺不舒也。

盐水炒橘红八分 半夏曲一钱半，炒 广藿梗一钱半 陈酒洗当归一钱半 白茯苓一钱半 生甘草六分

加开水磨枳壳三分，冲。

一剂知，二剂已。

(案源) 门人金书山之内经行愆期、腹膨时疼治验

门人吏员金书山之内。

经水愆期，约四十余日一行，行时必腹痛。平素贪凉恶热，体瘦食少。肝木不舒，腹膨时痛。右脉奕小无力，左寸脉涩，关弦尺濡。气虚

血少 ,先理肝脾 ,再商善后。

西党参三钱 焦冬术一钱半 归身一钱半 女贞子三钱 制香附二钱 元胡索一钱半 白芍一钱半 炒 白茯苓一钱半 广木香五分 炙甘草六分 乌药一钱 小青皮八分

加大南枣三枚 ,去核。

服六七剂 ,脾健食进 ,痛止腹爽。

复诊 :原方去青皮、乌药 ,加制首乌、金铃子。又数剂 ,经行时并不腹痛 ,据述经至反觉趱前几日。

(案 源) 陆诚斋女咽嗝腐白作疼治验

陆诚斋女 ,辛巳二月。

喉痛二十余日。据述忽痛于右 ,忽痛于左 ,有时又痛于中 ,大率腐于何处 ,即痛于何处。缠延不已 ,药投罔效 ,邀余视诊。右颐漫肿 ,悬乳腐白。舌胎中央腻白如糊 ,秽浊无刺。喉不干燥 ,亦不欲饮。天癸末期 ,脉右缓滑。此风痰上侵 ,当理肺胃。

干浮萍一钱半 荆芥穗一钱半 半夏曲一钱半 炒 桔梗一钱 黑苏子一钱半 炒 生甘草六分 盐水炒橘红八分 僵蚕三钱 炙

加白萝卜汁一酒杯，冲。

僵蚕去风痰，治喉痛之妙药。

进药一剂，喉痛顿止，且可吃饭。妙哉！药之对症，效如桴鼓之应，诚快事也。

（案源）又，诚斋室人调经丸剂治验

又，诚斋内人丸方。

平素经行或前或后，来时或多或少，腰胯疼痛。今春经行，半月复至，缠绵二十余日而未能已。服余养阴止经之剂，两日而停。左右脉来虚涩濡小，法宜气血并调。

生香附四两，一用米醋，一用陈酒，一用米泔，一用盐水，各浸两日。取出晒干，炒研。西党参六两，柏子仁三两，归身二两，白芍一两五钱，炒，焦冬术二两，黑大枣六两，蒸捣，川芎一两半，茯神三两，女贞子五两，蜜炙，炙甘草一两半，杜仲三两，姜汁炒，砂仁一两半，广木香一两，不经火，大熟地八两，捣入。

上为细末，先将熟地杵膏，同炼白蜜和丸，如桐子大。每服五钱，清晨滚水送下。

服此丸经水调准，颇为合宜。

（案源）嘉兴郑惕庵庶母腹块有年，攻痛

## 发厥治验

嘉兴郑惕庵庶母，年逾四旬，辛巳三月诊。

腹块由疝而起，历有年矣。不时举发，发则攻痛且胀。惟昨晚攻痛最甚，以致发厥，由渐苏醒。脉象左关沉弦，右关沉滑。气与痰并，挟块攻痛，肝木侮土。正值经行之际，当以疏通法，再为之计。

制香附三钱 半夏曲一钱半 炒 木香五分  
甘草八分 淡茺萸三分 白茯苓二钱 沉香三分  
青皮八分 江枳壳一钱半 炒

加阳春砂仁三分，研冲。

服三剂，块平痛止。继以扶脾和肝、化痰降气之品，四帖而安。

（案续）又，壬午春得上消症治验

又，壬午春三月得消症：脉右浮数，渴而多饮，证名上消。病经廿日，速治为最。

酒炒知母三钱 天冬一钱半，去心 小生地三钱  
桔梗一钱 蜜炙橘红八分 茯苓一钱半 生甘草八分 麦冬一钱半

加雪梨肉二两。

据述未服药前，早饮茶数余碗，夜来饮之不

辍。自服余方后，两剂而渴饮大减，再两剂而渴止矣。日来少有咳嗽，背肋带麻，口干喜饮，亦上焦之虚火未尽而兼痰也。

再以沙参、生地、杏仁各三钱 苏子、天冬、麦冬各一钱五分 酒炒知母二钱 鲜石斛五钱  
加竹沥五钱，冲。  
服四剂，诸恙咸除。

(案 缘) 叶素堂内人三月胎孕治验

叶素堂内人，壬午六月。

经停三月，心烦欲呕，体倦食减，口干便结，脉束滑而小数。恶阻之象，勿药有喜。议养胃阴，二剂而已。

金石斛四钱 麦冬一钱半，去心 白茯苓一钱半  
橘白六分 白扁豆四钱，炒 谷芽三钱 鲜藿香一钱半  
麻仁一钱半，研

加鲜莲子肉十四粒，去心衣。

进二剂果然全安，便结亦润。八月间延诊，胎已五月，至十二月初旬，生一男子。

(案 缘) 张氏女二目白珠甚红肺火内郁  
治验

张氏女。

二目白珠甚红，脉右按之数。肺火内郁，宜以清散法。

桑白皮一钱半 地骨皮一钱半 池菊一钱半  
甘草六分 荆芥穗一钱半 小生地三钱 赤苓一钱  
半 枳壳一钱半 炒  
加雪梨肉一两。  
进两剂，目红顿退。

(案缘) 又咳嗽喉疼治验

又，月余后咳嗽喉疼，服后方一帖全愈。

前胡一钱半 苏子一钱半 炒 广橘红六分  
生甘草六分 桔梗一钱 苡仁三钱 炒 牛蒡子一  
钱半 炒

(案缘) 锡山张华国内人气郁成膈治验

锡山张华国内人，年四十八岁，壬午九月  
诊。

气郁成膈，业已半载。日来得汤即呕，气块  
时攻，黏痰常吐，食饮难入。证属险途，姑拟养  
胃和肝法。

白扁豆三钱 炒 鲜石斛四钱 苡仁四钱 炒

南枣三枚,去核 旋覆花一钱半,绢包扎 代赭石二钱,煨 冬术一钱半,炒 淡茺萸二分 生姜渣一钱半  
加陈佛手柑八分。

服三剂呕止,可进米粉粥日三四碗,口不干,痰少。惟气逆胸中阻膈,夜间胀闷未减耳。

再三剂,大便日解,非前之燥结成块者可比,阻膈胀闷之势亦缓。

又,复诊方:用六君子汤加木香、沉香、代赭石、鸡内金、南枣。服三帖,食饮日健,胸腹俱爽,二便通利。仍以原方出入,调理五剂而安。

(案缘) 方氏妇新产五朝左目失明治验  
方氏妇,年近二旬,壬午仲冬。

新产五朝,左目陡然失明,毫无一线之光。头不疼,腹不痛,恶露未清,并无他苦。举家仓皇,向予叩首乞哀,泪潸然下。予因此细察脉形,右虚小无力;左关举之浮,按之弦。再视其左目,瞳神不敛。知其血虚血滞,于是以气血并补法,佐以舒滞、敛神,庶几目可复明。

西党参三钱 全当归一钱半 女贞子三钱  
茯神二钱 炙甘草六分 茺蔚子一钱半,焙 北五味子三分,研 川芎八分

加沙苑蒺藜三钱。

进药三剂，左目顿明。

茺蔚子即益母子，主治：调经、益精、明目，血滞病目者宜之。能活血，行中有补也。又值新产恶露未清，而左目不明者，尤宜用之。是方之妙，其功效又不尽归于茺蔚子也。

（案缘）张铁珊室人六月感寒，腹痛垂危救苏治验

海盐太学张铁珊室人，年逾三旬，道光辛巳六月二十五日。

忽然腹痛难忍，甚至手足厥逆，目闭神倦。更余张灯延诊，予至观其形色，面青少神，低头不语，背曲足踈。再三问之，惟云腹痛难忍，奄奄一息。勉强视其舌，苔白而腻。诊其脉，六脉沉伏。知其寒伏三阴，深虑转筋入腹。况腹左兼麻，更非无自。亟宜温中舒肝，以冀转机，慎勿迟延。

熟附子六分 淡干姜六分 炒 制香附三钱 研  
甘草五分 紫沉香五分 切片 半夏曲一钱半 炒  
广藿梗一钱半 陈皮一钱半

加淡茺萸二分、木瓜一钱五分。

外用熨法 ,用生姜、青葱各二两 ,切碎 ,艾五钱。

三味加米醋、陈酒各一茶杯 ,再加河水一大碗。煎好 ,用棉布浸透 ,绞干 ,熨脐腹 ,冷则易。

立方时 ,在座者铁珊乃兄楚望、乃舅王芝峤先生也。予方一定 ,铁珊谓予曰 :“内子素有齿痛症 ,平日最畏热药。”芝峤云 :“如此暑热 ,用此热药 ,恐非所宜。”予闻二公之言皆以为必不可用 ,大拂予之婆心一片。不思古人云 :“寒者温之” ,治寒以温 ,良医不能废其绳墨而更其道也。况色脉谛详 ,明明是夏月感寒 ,何谓必不可用。既畏热药如虎 ,第恐亥、子二时阴阳分而生气绝矣 ,咎将谁归。因又谓予曰 :“服之当如何?”曰 :“亟亟煎饮 ,腹之痛者可平 ,足之倦者可伸 ,伸则活矣。”二公始信而无疑 ,速取药煎 ,予心方安 ,乘舆而归 ,时已二鼓之余矣。次早铁珊会予 ,曰 :“服药后如言痛止足伸 ,霍然全安。妙剂若神。”叩首感谢 :“内子余生皆先生赐矣”。

次日复诊 ,脉之伏者渐起 ,惟软小不舒耳。用理脾和肝之法 ,食饮渐贪。继以扶脾养胃之剂 ,调理而痊。

(案缘) 山阴虞文庸内人产后恶露未尽  
误药之治验

山阴虞文庸内人,年逾三旬,道光癸未正月。

产后恶露未清,寒热头疼。医者作产后外感治,转增汗多,气逆兼咳,因求治于予。细审病情,产后半月,恶露未尽,腹中不痛不膨,夜来寒热频发,咳呛气逆,汗出无时,脉象虚奕无力。气血两亏,深恐涉蓐劳之门,药饵岂可妄投哉。

(正月三十日诊)

北沙参三钱 丹参二钱 茯神二钱 炒枣仁  
一钱半 叭啞杏三钱,去皮尖 青蒿一钱 归身一钱,  
炒 炙甘草六分

加老枇杷叶三钱,去毛蜜炙。

服后,诸恙俱减三之一,食欲渐进。

又,复诊方(二月初一日):

西党参三钱 白扁豆三钱,炒 茯神二钱 丹  
参三钱 青蒿子一钱半 叭啞杏三钱,去皮尖 归身  
一钱 川芎一钱 款冬花二钱 炙甘草六分

加乌梅肉三分。

进药后,寒热头疼俱止,恶露亦少,其余俱减。

又 初二日方：

北沙参三钱 山药三钱 炒 款冬花三钱 百合三钱 薏苡仁三钱 炒 茯苓二钱 白通草一钱 陈皮八分 黑苏子一钱半 炒 归身一钱

加左牡蛎四钱 煨块。

服此汗止 恶露停。小便出时不觉其热 且长。惟咳嗽未清 大便三四日未解。

复诊 原方加柏子仁三钱。进两剂 大便结粪色黑 解后腹中松爽。

又 初五日方：

西党参三钱 山药三钱 炒 茯神二钱 柏子仁三钱 研 炒熟地三钱 阿胶三钱 蛤粉炒 百合三钱 款冬花三钱 炙甘草六分 五味子三分 研

加紫衣胡桃肉一枚 连鬲板。

进四剂 咳嗽停 痰亦易出 诸恙向安。继以“五味异功”加山药、扁豆、南枣、金石斛、女贞子辈。脾肺并调 兼养肝肾 数剂而健。

(案缘) 吴菊圃室人呕痛作胀 沉痾积岁 治验

吴菊圃乃室 年三十九岁。

素有肝胃气 发则胀痛呕吐 每发必有寒

热。向来酷好浓茶，朝夕不禁。大便溏薄，日三四次不一。有教每日进干莲肉三十粒，服后大便渐结，已服十有余年。每病发时，仍胀痛且呕。平常食后，不胀不疼。迩年不喜饮茶，口亦不干。惟食后大腹必胀，胀则必欲卧，卧则胀平而似痛。痛在脐上胃脘中，必待胃中左右横冲，自觉胃中之气直上头顶，则胃中之气渐松。亦必着人拍打背心及头额则渐爽快。体常畏冷，虽春末夏初，亦须皮绵衣护身，得暖则爽。经水每多趲前，色淡而少。医更数手，投剂似效非效，大率以滋补阴阳、气血为法。病发时，呕痛畏寒，则以桂枝、芍、归、茱萸、沉香，佐二陈汤等治之。淹延数载，沉痾未脱，于道光癸未三月初八日甫问治于余，方案列下：

细审病情，素有肝胃气，迄今十有余载。发则胀痛交加而兼之呕。呕属阳明，胀属太阴，知其脾胃之受累于肝久矣。夫土为万物之母，胃为水谷之海。《易》曰：“至哉坤元，万物资生。”未有土不足而能生长万物者。今土被木乘，脾胃愈惫，以故食入即胀，胀则欲卧，卧则胀安。岂知脾土从斯愈滞而愈壅，食饮难运而难磨，甚至水谷之精气不能四布，上下难以贯串，精气暗

耗,食饮日减,肌体日瘦。运化失职,中满之虞,其能免乎。阅诸君论治,颇中肯綮。而犹时止时作者,想亦沉痾积岁,蒂固根深,而未能一时奏绩也。今证脉合参,右脉细软兼迟,左脉沉小而弦。种种见证,皆脾阳不运,肝木乘之。亟宜益气扶阳,间佐以疏之运之、和之温之、举之降之,而引导之。俾坤元日旺,中满可免,再为善后之谋,庶几无遗憾矣。《老子》云:“万物负阴而抱阳”,意自显然,先得我心之同矣。予岂上工敢治未病,而未尝不愿学焉。

西党参三钱 於白术一钱 土炒 熟附子八分  
青皮七分 醋炙 炙甘草八分 大南枣三枚,去核,内  
填淡茱萸一分,线扎 云茯苓一钱半

加沉香末二分,冲。

服一剂,食后未胀,亦未卧。次日再进,如前安妥。惟觉其口干欲饮,幸大便不溏。再剂,口之欲饮渐减。细审其情,向之脾阳不运不无湿阻,屡服他医滋补膏滋等方,脾土愈滞,是以食后必胀。今服余温中益气之剂,不胀不卧,脾土有健运之机,胃中之湿渐减,故口中自觉其燥耳,无足虑也。

又,三月十一日方:

西党参四钱 於白朮一钱 土炒 淡干姜五分，  
炒 茯神二钱 熟附子四分 炙甘草八分 制香  
附二钱 醋炒 陈皮一钱 淡茱萸二分 砂仁二分 冲  
天冬一钱 去心

是方益气温中，佐以疏运，俾脾阳得令，肝木不致乘土。且土旺金生，木有所畏，坤土益健矣。而温燥之品恐其僭上，前方初进口干喜饮，岂无自也。今加以天冬保肺清金，致高原<sup>①</sup>于清肃。尝按古方，温燥药中必复滋阴保肺，亦恐未得补阳之功，先伤肺金阴气尔，予于是方亦然。进此六剂，如前不胀不卧，口亦不觉其干。昨因食饮不节，即有似胀之象，次日即平。于是观之，益信脾阳之不运耳。

三月十七日：原方去茯神、香附、天冬，加制首乌三钱、杜仲三钱、续断一钱五分。

服七剂，安妥如前。即偶有腹胀之势，亦不欲卧而自平。夜来头足浮肿至早起身渐退之势亦减半，腰股牵引抽痛俱已。惟身中常常畏冷，绵皮衣不能离体。证脉合参，究属脾阳不运，卫气不充，八脉有亏。经事每多趱前似属血热，其

① 高原 指肺脏。

实亦肝阴之不足耳。

复诊换方，用“五味异功”加制香附二钱、良姜一钱、木香五分、生黄芪二钱、淡茺萸三分、砂仁末三分，冲。进五剂，继以后丸，暂服一月再酌。

丸方：西党参三两 於白术一两半，土炒 制香附二两 良姜一两 鹿角霜二两 女贞子一两半 炙甘草一两 归身一两半 云茯苓一两半 广木香一两，不经火

上为细末，用蒸饼打糊为丸，如桐子大。每服五钱，清晨用陈皮泡汤送下。

是丸服毕，如前不胀不卧，夜来头面、足跗之浮亦退。惟食多进或啖肉食等物，胸腹即有胀满之势，甚至腕中作痛，胸疼彻背，而致寒热作呕。引动旧恙皆由于胀而至此，不胀则无其事。而胀亦由于多食则胀，设少食则仍不胀也。

其所以不能多食者，实缘脾阳之不能运也，予之所以首重在厚培坤元者近是。

朝以十全大补汤去川芎，加四制香附、紫石英、新会皮作丸，炼蜜丸如梧子大。每服五钱，清晨滚水送下，服二十日。

饭后进六君子汤加木香、炮姜、山查、鸡内

金煎服十剂。

煎、丸两方服毕，症仍如前，不增不减，颇妙。

又丸方（六月初九日诊）：

大熟地三两 制首乌三两 归身一两半 柏子仁二两，去油 鹿角霜二两 焦冬术一两半 蕲艾一两半 炙甘草一两 紫石英一两半，煨红醋淬 云茯苓一两半 木香一两半 晒研 四制香附二两 陈阿胶一两半，炒成珠 菟丝子一两半，酒拌蒸

按紫石英虽能暖子宫，而石药终燥，只可暂用可也。

上为细末，用西党参六两煎膏代蜜为丸，如梧子大。每服五钱，清晨滚水送下。

平素食饮，午前约吃饭一碗许，夜间饮粥约两碗。服此丸后，至申初还可再进饭碗许，做两次进，较前增倍，夜饮粥仍如前。食后颇安，旧恙并不一发。经水仍趲前，约二十日至，淋漓六七日而止。服丸剂后，大便渐结，非日前之溏薄多解可较也。

又丸方（七月二十九日诊）：

生黄芪二两，用防风一两同泡同焙 西党参三两 焦冬术二两 茯苓一两半 广木香一两半，不经火

炙甘草一两 大熟地四两 归身一两半 鹿角霜二两 菟丝饼二两 女贞子二两 蜜炙 白芍一两半 炒四制香附二两

上为细末，炼白蜜为丸，如梧桐子大。每服五钱，清晨滚水送下，或建莲汤送亦可。

服后，食饮愈增，仍如前毫不觉胀，且不畏风怕冷。向来不时骨节、背腹、腰股胯腿痠疼，自服此丸并不一发。经水亦渐调，超前二三日。精神健旺，药服颇宜。

十月初五日：原方去木香、女贞、菟丝、鹿角霜，加熟附子一两、枸杞子三两、鹿角胶四两，照前丸。服五钱，清晨滚水送下。

服此与前丸俱颇对症，月水有时应期，食饮倍增，而腕中毫无胀满之意。即是啖肉而腹内安妥如常，并不肠滑便泄。皆缘脾阳之能运耳，此其所以奏绩之捷也欤。

又 道光甲申正月二十二日丸方：

西党参四两 焦冬术二两 云茯苓一两半 归身一两半 大熟地五两 鹿角胶四两 炒珠 四制香附四两 白芍一两半 菟丝子二两 蒸 炙甘草一两 杜仲三两 生姜汁拌炒 续断一两半

上为细末，炼白蜜为丸，如梧子大。每服五

钱 ,清晨滚水送下。(此方即去冬十月初五之方去黄芪、附子、杞子 ,加菟丝、杜仲、续断是也)

进是丸 ,安妥如前。

又 ,丸方 (四月二十一日诊):

沉痾积岁 ,历有年矣。予以厚培坤元之法 ,脾土从斯日健。面色红润 ,肌体渐丰 ,诸证向安。而左腰胯不时痠痛 ,赤带绵绵。肝肾之阴未复 ,再以脾肾双补之法。取脾土足而肺金旺 ,肝木有监制之师 ;肾水充而相火平 ,肝阴得滋养之力。内以蜜丸 ,外以水叠 ,使先化者归肺脾 ,后化者入肝肾耳 ,此又脾肾同治之妙法也。

大熟地四两 鹿角霜三两 淮山药三两 ,炒  
归身一两半 马料豆二两 ,盐水拌炒 白芍一两半 ,炒  
四制香附四两 川芎一两 破故纸二两 ,胡桃肉一两半同捣 猪脊髓两条 ,去外硬皮 ,蒸熟同捣 猪腰子一对  
要一只猪身取下者。劈开去内白膜 ,用青盐三钱、小茴香末四钱、杜仲末五钱 ,三味和匀填入腰子内 ,线扎。量用陈酒、河水各半。煮烂 ,去内药末 ,入药同捣。

上药十一味照方制焙蒸捣 ,用炼白蜜为丸 ,如小绿豆大 ,晒令极干。

外用西党参三两 於术二两 ,土炒 茯苓一两

半 广木香一两半,勿炒 炙甘草一两 新会皮一两  
半 六味,各焙晒研极细。用荷叶煎汤,洒叠为衣,晒干。每服五钱,清晨滚水送下。

服后腰痛大减,带浊亦稀。因其颇合,又进一料又半。服至交冬,腰痛已平,食饮如常,睡卧安宁。

又,九月三十日诊,膏滋方:

生黄芪五两 西党参六两 玉竹八两 山药  
三两,炒 鹿角霜二两 鹿角胶二两,炒珠 茯神二两  
归身一两半 炙甘草一两半 菟丝子二两,蒸 南  
枣五两 杜仲二两,盐水炒 制首乌五两 制香附三  
两,四制 陈皮一两半

上药十五味如常法煎膏,煎至滴水不散,用磁罐收贮,悬挂井中一夜以退火气。每早用六七钱,如膏厚少和滚水,隔汤炖温服,橘饼汤过口。

此膏服后,腰脊背板之疼刺不松及常常畏冷之势俱止。服至乙酉正月望前方毕,诸证全愈。

调经丸方(乙酉正月二十六日诊):

平素经水约二十日一至,自服余丸剂后约趱前二三日,亦有时应期。

大熟地五两 淮山药三两,炒 归身二两 白芍一两半,炒 女贞子三两 泽兰叶二两 川芎一两半 茯苓二两,人乳拌蒸 生香附三两,四制 紫石英二两,煨红醋淬 芡实三两,炒 陈皮一两五钱 西党参四两 炙甘草一两 牡蛎三两,煨

上为细末,炼白蜜为丸,如梧桐子大。每服五钱,清晨滚水送下。

此丸服毕颇妥,停药四月,至八月十七日复诊,方记后。

吴菊圃室人丸方:服前乙酉正月廿六日所定丸方,诸恙向安,已后停药四月,日来背脊三椎觉疼,身中偶尔怕冷,连日便溏日三两次。经水趱前二三日,未至前数日觉左腿牵疼。其余无他苦,肌体丰润,饮食睡卧如常。(八月十七日诊)

西党参四两 生黄芪二两,防风一两同焙 於白术二两,土炒 杜仲三两,盐水炒 菟丝子二两,酒蒸 补骨脂二两,酒拌炒 大熟地四两,炒 茯苓一两半 当归身一两半,酒洗 四制香附二两,米泔、盐水、醋、酒分四处制 炙甘草一两 芡实三两,炒 猪脊骨五寸,自大椎起,要囫囵者。阴阳瓦上炙热,用生白蜜调。去油乳香、没药各三钱涂于骨上炙之。候猪脊骨炙至焦黄色带脆为度

上十三味为细末，炼白蜜为丸如桐子大。每服五钱，清晨滚水送下。（丙戌春正延诊，据述此丸服毕，前恙俱平）

（案缘）黄圣涛内人素有肝胃气，脐下作痛治验

黄圣涛内人，年四十六岁，癸未六月。

素有肝胃气，忽于月之初旬胸中跳动，脐下作痛，脘腹不爽。医者作湿温治，以四苓、平胃散辈消息之，病益增。继用气血并调中加入八味丸同进，以为汗多防脱。举家仓皇，因邀余治。审其证，脐下痛剧难言，必得着人以手重按其腹，痛始少缓而气逆亦少平。诊其脉，左关弦细，尺脉迟涩。此冲脉为病，并足少阴之经逆气上冲，乃下焦虚寒为患。痛甚防厥，勿藐视之。

《难经》云：“肝虚则胸痛引背胁。肝实则胸痛不得转侧，喜太息。肝著则常欲蹈压其胸。”又云：“肝著，其人常欲踏其胸上”。蹈音道，践也。踏音谈，入声，践也。著音注，着也。

水煮熟地五钱 紫石英四钱 生白芍一钱  
生左牡蛎六钱 上肉桂七分 去粗皮 金铃子一钱五分  
加淡茱萸三分。

进药未几，即觉胸中之气下降，腹中大响。顷之脐下之痛顿减七八，可以坐立，口能言语。夜间安睡至平旦方醒，醒后进粥盏许。大便向来燥结，今已六七日未解。复诊：原方去金铃子，加制首乌三钱、柏子仁三钱、炮姜三分。

服一帖，便解痛平，再帖而痊。

（案 通）木川吴师瞻内人脾虚作胀，腰腿漫肿治验

木川吴师瞻内人，癸未六月十六日诊。

脉右虚软无力，左关小弦。食后作胀觉疼，腰腿漫肿，经停两月。肝血亏而脾土更亏，土虚金弱，又兼咳呛，防有中满之变。

淮山药三钱 炒 苡仁五钱 炒 白扁豆三钱 炒  
茯苓二钱 炙甘草八分 木香七分 叭啞杏三钱，  
去皮尖炒 百合四钱 广皮白六分

加鸡内金一钱半，炙。

进五剂，腹胀咳呛俱大减，尚有嘈杂之势，天癸已行。

复诊：原方去叭啞、广白，加木瓜、白芍、益智仁、黑大枣，加饴糖五钱，冲。再五剂，胀咳俱平，夜来腰腿肿退。后以六君子汤加干姜、木

香,调治而安。

(案选) 文学刘小峰室人呕吐有年,不时举发治法

文学刘小峰乃室,年逾三旬。

呕吐有年,不时举发。今于癸未五月二十一日呕吐,至今二旬未已。呕出不酸、不苦、不甜,腹亦不痛。更医屡屡,药进无功。且汤药到口中即呕,饮粥有不吐之时。北人素喜食面,又喜水果生冷。右脉沉小乏力,左关虚弦。阳明胃土久伤,肝木乘土犯胃。既进汤药不合,莫若暂投丸剂,待呕吐渐平,再为善后之谋。

越鞠丸:每服二钱,早晚各一服。服时用淡盐汤泡炒出汗开口川椒五粒,以此汤送丸。

(案选) 予妹脑漏治法并详明奇验妙方予妹。

素多肝郁,胸中常闷,木火上炎,或目珠红肿,或有时鼻衄,或偶尔舌痛,已有年矣。今于道光癸未春,忽左鼻出臭水,或清,或浓,或如豆腐脑者,其臭不堪。始为鼻渊,继成脑漏,病成而前之鼻洪、目肿、舌痛等并不一发。合证脉而

详审之，皆肝火郁而冲肺。肺窍开于鼻，木火侮金，故见于左鼻也。肝与胆为表里，经云：“胆移热于脑”，发为鼻渊。甚则漏下如豆腐脑者，此之谓脑漏也。虽分两名，其理一也。予于斯而得一探本穷源之治，庶几无遗蕴矣。

不落水猪脑一具，用辛夷末五钱、白芷末三钱同猪脑拌和，放磁盆内，再以陈酒二两拌匀，置饭锅上蒸熟，所用广藿香叶三两，用猪胆汁浸一日夜，取出晒干，焙研极细。北沙参三两，焦冬术二两，百合三两，茯苓二两，炙甘草一两半，薄荷头八钱，归身一两，白芍一两，炒北柴胡五钱，黑山栀一两半，苡仁三两，炒。

上药十二味为细末，再入制熟猪脑捣和，用神曲打糊为丸。每服五钱，食后滚水送下。

服此一料，左鼻臭水及如豆腐脑者俱止。因停药多日，又渐有鼻水，并无臭气，索性停剂。数月间，日渐水多，味仍带臭，以后如豆腐脑者益多。夜睡则清黄水常有，起身后，头一举则脑中浊水由喉舌而出，午后如腐脑者尤甚。嘱其再将前丸合服，自尔平可，而执意不听，必欲速愈方快。于甲申九秋，予妹倩王履安访得祝由之术，以为数日建绩。往返数里，服符水半月，毫无功效，而尚不思服药，予亦无如之何矣。后于

冬十月，适有鲍君名嘉荫者，官居浙省玉泉场，告假来吴，延余诊治。一日偶谈及向有鼻渊，治之罔效。后遇故乡郑公，用六味地黄汤加沙苑蒺藜，服之觉臭水少减。适又遇一友亦得此疾多年，有教伊单服沙苑蒺藜一味，煎汤作茶饮，服之全愈。因亦用此煎服，日三二次无间，月余而鼻渊全瘳矣，永不再发，诚平淡中之神奇也。予闻之甚快，因将是方嘱予妹服之，日服三四盏，不可间断。如言服之，不一月而脑漏臭水内如腐脑之成块者，俱十去其五六矣。再如前服，两月而症霍然矣。

邻按：蒺藜子乃肾、肝、肺三经之药，本草云补肾，可以代茶。其味甚平而奏效甚捷，神妙莫测，非海上仙方不能有此效速也。

### （案 选录） 吴声振孙女患湿毒疮之治验

吴声振孙女，癸未九月初旬。

忽患湿毒疮，数日内由手臂而至两里股及肩胛内俱生瘡，甚痒，抓无宁刻。惟手腕臂有如小豆脓窠状，抓之出水，浸淫皮肤。夜睡肌热且痒，天癸如常，食饮不减。内服祛风、凉血、解毒、定痒之法。外用煮熟鸡子黄十枚放铜杓内，

慢火熬油 ,去渣 ,调川黄柏末一钱 ,用棉裘蘸药搽之 ,如细小痒极者可以蘸擦。两日后延诊 ,据述内服外擦 ,夜来痒止 ,痞闷渐自焦平。内有几窠大如豆者尚未平 ,却亦不痒 ,脓亦无。内服方仍以前方出入 ,外仍照前法搽之 ,五日而痊。

(案 选) 戴松林母泄泻肠红 ,腹中疼胀治

验

戴松林母 ,年六十岁 ,于嘉庆乙亥七月望日诊。

泄泻有年 ,长夏尤甚 ,食后膨胀 ,兼之肠红。医因肠红概以凉血清火 ,泄泻益盛 ,延绵季夏。日泻数十次 ,夜间少减。食饮维艰 ,腹疼且胀。家居吴江 ,买舟就治于余。诊其脉 ,脾脉细软无力。当调坤土 ,以免中满。

白扁豆三钱 炒 苡仁四钱 炒 淮山药三钱 炒  
煨木香八分 焦冬术一钱半 茯苓一钱半 益智仁  
一钱半 白芍药一钱半 炒 防风一钱半 甘草八分 ,  
炙

加煨姜三片。

服五帖 ,泄泻顿止 ,肠红亦平。因路遥舟中不便 ,停剂半月 ,食饮不节 ,复又泄泻 ,较前甚

轻复来求治。即于原方内去白芍、防风，加陈皮、干姜。再进五六剂，泻止食增，精神健旺。治病用药不在乎奇，对证便是良方。数年之病，未半月而全瘳矣，快哉！

后于七月二十九日，特求丸方调理。方用四君子汤加山药、扁豆、益智仁、煨木香、白芍、归身作丸，用炒神曲打糊为丸。每服五钱，清晨滚水送下。

**（案透）** 吴春泉女经行饮冷，结块如杯，误药成痛，治验

吴春泉女，年十七岁，于五月下旬。

经水将至，喜饮冷茶一碗，当即经止。次日结块如杯，伏于胁下，觉痛。延疡科治，以为串痰流注，服破气攻块药六帖，块反增大，疼痛不已。更延内科，断为经水停蓄，防成中满，初剂用温经活络通瘀法，块顿移于脐旁，其痛如前；次帖用两头尖二钱（旁注：不可为法）佐青葱、韭子辈，服后则痛如刀割。三日前曾发寒热，今已止。病势日重，于六月初八日复求治于余。细按其腹，痛块左脐旁之左，大如五寸盆，坚硬不散。块之中央痛如鸡啄，手不可近。小便如常，

大便不爽。舌绛无苔，口干喜饮，脉象细小。证脉详审，始为冷茶阻遏经水，以致经停成块。理应温通一二剂，而块消痛止矣。疡医不明此理，谬指为流注，妄治误人，无怪病反增重。后之内科论意颇是，而用药又不中的，故块顿移下，而又痛极难忍也。自予观之，有弄假成真之象。大凡痼疽之生，皆因营气之不和，逆于肉理而成者。今经水为寒所凝，成块且痛，其为营气之不和可知。疡医误投攻伐，内科妄用猛剂，脾气血交阻，经络凝滞，痛如鸡啄，肚痛已成，所谓弄假成真者此也。第脉未数疾，脓未成也。亟宜调气和营，继以内托排脓，使其脓出而不至有内攻之忧，是又在乎用药者。

初八日方列下：

制香附三钱 归尾一钱半 元胡索一钱半 炒  
桃仁三钱 研 赤芍药一钱半 炒 甘草八分 小青  
皮八分 乌药一钱半 上肉桂二分 研冲

服后块痛如前，中间一点如龙眼大者，按之渐□，惟此最痛，乃痛之头也。脉象浮数，有溃脓之□，再议托里排脓之法。

初九日方列下：

生黄芪三钱 西党参三钱 当归二钱 大贝

母一钱半 川山甲一钱 炙 甘草节一钱 角刺一钱  
赤芍药一钱半 金银花二钱 广陈皮一钱半 花粉  
一钱半

服一剂，痛缓，痛势渐软。再剂脓熟，用咬头膏贴上，次日痛脓约有两中碗。从此痛止食增，继以气血并调，少佐清火解毒数帖，肌生肉平而愈。

(案 远) 予内人下脘感寒，腹疼、泄泻治验

予内人。

每夜四鼓时，脐上微痛即泻，已六七日矣。脉右沉迟，知其受寒停食。服后方一剂，是夜腹痛便泄顿止。药之对证，效如影响。

神曲三钱 炒 枳壳一钱半 炒 淡干姜一钱半，  
炒 煨木香一钱 乌药一钱半 生甘草六分

(案 远) 先慈咳嗽喉鸣，朝重暮轻治验  
予先母，年七十一岁。

素有咳嗽症，每交冬后渐发。今夏间不时咳嗽，月余来愈甚，薄痰盈盂，喉中如水鸡声，朝重暮轻。风邪客肺，轻疏为宜。

前胡一钱半 杏仁二钱 黑苏子二钱 炒 莱菔子二钱 炒 橘白一钱 甘草五分 海浮石三钱

服两帖 ,痰嗽俱大减 ,喉鸣亦平 ,再两帖而安。后于十一月十九日咳嗽上气 ,当服疏散药不应 ,先大人以固表法亦不应。仍用前方去莱菔子、甘草 ,加制半夏、旋覆花 (绢包)各一钱半。一剂减半 ,再剂而痊。

(案 选) 予内人小腹痛甚、微寒治验

予内人 ,年二十六岁 ,嘉庆甲子二月初五日。

忽小腹痛甚 ,微有畏寒 ,服后方一剂痛止。

桂枝一钱 防风一钱半 淡干姜一钱 炒 赤茯苓一钱半 芍药一钱 炒 炙草六分 台乌药一钱半 盐水炒

加青葱一大枝。

又 ,四月初二日方 经行半月余 ,忽多忽少 ,色带紫泡。四日前 ,自觉内热 ,晚间尤甚。诊其脉 ,关尺沉中兼数 ,左稍大于右 ,舌色纯红无苔 ,口干不渴 ,知其阴虚内热。用后方一剂夜间不热 ,惟觉疲倦 ,懒于言动 ,食饮稍减。

方用四物汤加炮姜一钱 续断三钱 陈皮一

钱五分

后以西党参、丹参、炙鳖甲各三钱 侧柏叶四钱 白芍一钱五分 炒黑蒲黄一钱 炙甘草八分 当归、炮姜各六分

服一剂 ,次日即觉精神爽快 ,惟血未停 ,再剂至午后渐止 ,又一剂而全愈矣。

(案 遼) 黄埭周氏女寒热两月治验

黄埭周氏女 ,年二十四岁。

寒热两月 ,脉象虚弦。速宜退热 ,久恐骨蒸之虑。

淡豆豉三钱 青蒿子一钱半 柴胡八分 甘草六分 制半夏一钱半 草薶仁五分 炒 黄芩一钱半 赤苓一钱五分

加葱白三枚。

服两帖 ,夜间稍寒 ,热势退其大半。

复诊 :原方去柴胡、半夏 ,加陈皮、生谷芽 ,再三帖而痊。

(案 苑) 胡氏女头疼畏寒治验

胡氏女 ,年十八岁 ,丙寅冬。

头疼畏寒 ,舌绛。寒束于外 ,火郁于内 ,宜

以疏散法。

蔓荆子一钱半 荆芥穗一钱半 防风一钱半  
桔梗八分 广藿香一钱半 广橘红八分 神曲三  
钱 炒 甘草七分

加葱白两枚。

服两帖，全愈。

(案苑) 白杨湾顾氏妇感寒停食，腹痛、  
泄泻治验

白杨湾顾氏，年二十九岁。

冬月感寒停食，身中畏冷，腹痛泄泻。病经  
四日，宜于温散。

防风一钱半 桂枝一钱 荆芥穗一钱半 六神  
曲三钱 炒 炮姜八分 乌药一钱半 广木香一钱  
赤茯苓一钱半 甘草六分

加葱二枝。

服两帖，痛减七八，泻仅一二。原方去桂  
枝，加枳壳，再剂而安。

(案苑) 李氏妇腰痛如折兼之身热治验  
李氏妇。

腰痛如折，兼之身热。服后方一帖而愈。

荆芥穗一钱半 秦艽一钱半 淡豆豉三钱 藿  
香一钱半 稽豆皮三钱 独活一钱半 熟半夏一钱  
半 神曲三钱 炒 新会皮一钱半  
加煨姜三片 葱一大枝。

(案 殒) 予内人盛夏炎热惯用冷水灌汗  
发热治验

予内人,于嘉庆乙丑闰六月二十六日。

因暑天炎热,惯用冷水灌汗,头疼,皮肤外  
微热,骨节痠痛,内热尤甚,有汗口渴,舌色淡  
红。知其暑热内蕴,用后方一剂全愈。

香薷一钱半 秦艽二钱 白扁豆三钱 炒 麦  
门冬一钱半 去心 甘草五分

(案 殒) 薛松涛妻左胁块痛,发则胀泻不  
宁治验

薛松涛妻。

左胁块痛有年,不时举发。发则食饮不贪,  
得食即胀,胀则泻。肝脾两亏,木邪乘土,以逍  
遥散出入之。

当归二钱 白芍一钱半 炒 元胡索一钱半 醋炒  
白扁豆五钱 炒 苡仁五钱 炒 茯苓一钱半 炙甘

草八分 薄荷一钱二分 柴胡六分

加生姜五分。

外用熨法 陈香橼一两半 青葱二两 皂角三挺 大者 生姜一两半

四味煎 熨痛处 冷则易。

如法用之 服药后块平痛止。再剂 食进 胀消而泻停矣。

(案 痧) 周氏女风疹屡发 骨节疼痛 风化为热治验

周女 年十三岁 嘉庆己卯五月七日。

舟中不避风邪 风疹屡发。发则内热口干 骨节疼痛 脉左浮数。风化为热 治在清散。

防风一钱半 钩藤钩五钱 后入 黑山栀一钱半 秦艽一钱半 连翘一钱半 去心 炒荆芥一钱半 生甘草六分

加鲜浮萍草五钱 洗净。

服两帖而安。

(案 痧) 王松涛女腹痛、便溏 寒食凝滞 治验

王松涛女 五岁 嘉庆癸亥三月八日。

忽然腹痛 ,即欲大便 ,每解不爽 ,日三五次。  
此寒食凝滞 ,温疏为宜。

广木香四分 ,酒磨冲 大腹绒一钱半 山查肉  
三钱 炒 枳壳一钱半 ,炒 乌药一钱 五谷虫一钱 ,  
炙 生甘草四分

加煨生姜五分。

服一剂 ,大便未解 ,腹亦不痛 ,再剂全愈。

终

# 竹亭医案女科卷三

古吴孙采邻亮撰著

受业休宁程定治济霖

金传勋继文

侄兰生芳田

男鹤生于九

凤生茂常 同校

中医古籍珍稀抄本精选（九）

（案员）王氏女产后腹痛，寒热汗多误作  
外感几殆

胡家庄王氏女，年十八岁。

于嘉庆十三年九月初六生产，两日后恶露渐少，小腹微疼。于初七日忽然头痛，顷之寒热、胸闷、恶心、头汗甚多。次日延土医治，用疏解、消食，加香附、丹皮、归身，又以益母草八钱煎汤代水煎服。服后愈加胸前难过，欲暖气而不能，头痛汗多如前，因特买舟求治于余。

案云 新产受凉 ,虽寒热、头汗兼痛 ,而产后见之又不得作外感治。况脉息虚数无力 ,显有明征。丹溪云 :“产后气血俱亏 ,虽有他证 ,以未治之” ,旨哉斯言 ! (九月初十日诊)

西党参三钱 归身一钱半 川芎一钱 炮姜八分 白芍药一钱半 ,炒 元胡索一钱半 ,炒 蔓荆子一钱半 陈皮一钱 白蔻仁四分 ,研冲

加生姜二片 ,大枣两枚 ,去核。

服此头痛大减 ,气逆汗多亦缓 ,当解结粪 ,小溲短赤 ,口干胸闷 ,身热未退。

复诊 (九月十一日诊) :

西党参三钱 当归一钱半 川芎一钱 炮姜八分 赤茯苓三钱 乌药一钱半 青皮一钱 元参二钱 车前子一钱半 ,炒 炙甘草六分 陈皮一钱半

加生姜二片 ,大枣两枚 ,去核。

服两帖 ,身热渐退 ,胸闷、口干俱平 ,再以益气调荣之剂而全愈。

(案圆) 潘氏女泄泻 ,大腹胀且疼 ,溲少治验

潘氏女 ,年十四岁 ,嘉庆十三年七月十三。泄泻日夜数次 ,大腹胀兼疼 ,小溲少。当

用四苓散加党参、茅术、益智仁、扁豆、大腹绒等扶脾却湿，使湿从小便而利，则大便之泄泻自止。服后泄泻大减，再以四苓散合理中汤，加益智、煨木香、乌药等。服数帖而全愈，从此体丰神健。

**（案猿）** 先慈仲太孺人右肋痛波及胃脘、背疼治验

先慈于嘉庆十二年孟秋。

右肋疼痛，数日间时轻时重，忽又兼脐上胃脘痛，朝轻夜甚，因以木香、当归、元胡、神曲、干姜、枳壳、甘草辈。服二三帖，胃脘痛稍缓而右肋仍痛，又以香附、元胡、麦芽、莱菔子、枳、陈、姜、草等。服一二帖，肋痛似缓，而胃脘又复痛，夜间尤甚，痛时手按之稍缓。仍将前第一方再服两剂，痛仍不减。幸食饮尚贪，脉息右关沉实而滑。痛时牵引背骨，知其胸痛彻背，夜间更甚，不能安卧，非仲景瓜蒌薤白半夏汤不可。因兼右肋痛，又少佐木香以舒肝脾。煎以河水，再加陈酒一小杯同煎。服此一剂而胸痛彻背如失，肋疼亦从此全愈。廿余日之疼痛，服前两方俱未对证，得此一剂，痛若失矣，

快甚！快甚。

（案源）朱氏女表虚易感，头疼、咳嗽，兼之痰火治验（附论）

朱氏女，年五旬又五，嘉庆十二年，岁在丁卯夏定丸方。

案云：右寸虚浮，两关弦滑。表气素亏，风邪易入。土虚木摇，外风与内风相召，痰火随之，故时而头痛咳嗽。症经年余，服煎剂已渐平可，而痰厥犹未全瘳。再以扶脾保肺，兼之养肝化痰，风火自平。至于节饮节劳，兼戒恼怒，料自慎重，无庸深嘱。

西党参二两 炙黄芪一两五钱 防风一两五钱  
制冬术二两 云茯苓一两半 制半夏一两半 甘草一两 炙  
新会皮一两二钱 元武板二两 炙鳖甲二两 归身一两半 制首乌二两 白芍药一两半，炒 生明矾一两 茶芽五钱 紫沉香五钱，勿经火

上为细末，用荷叶煎汤，洒叠成丸。每服五钱，食后滚水送下。

是方也，君以玉屏风散以固表，则外风不入。臣以六君以补脾，俾土旺而木不摇，则内风自平。佐以元武、鳖甲，乙癸同源，首乌、归、芍，

肝肾并治，再以明矾之去风痰，得茶叶而行迟，亦治痰之妙法也。最后以沉香之行气不伤中，且补药得之而能运，痰火遇之而能降也。制方之意，可为知者道耳。

（案缘）嘉兴郑惕庵乃室产后身热发厥危症治验（附膏滋方）

嘉兴郑惕庵室人，道光三年五月二十日诊。

产后十九日，身热有汗，头疼胸闷，舌苔淡黄，口干少饮，耳鸣兼聋，不饥纳少，手指颤振。此产时去血过多，新冒风邪，六脉软大、小数。病已四日，防其发痉。《金匱》云：“新产妇人有三病，一者病痉，二者病郁冒，三者大便难”是也。当明辨之。

小生地三钱 粉丹皮一钱半 炒 炒荆芥一钱半  
青皮六分 蔓荆子一钱半 地骨皮一钱半 川石斛三钱 当归一钱 生甘草六分

加黑穠豆皮三钱，陈酒拌焙。

复诊（五月二十一日）：

进昨方，半日安妥。天晓发厥于下床小溲时，顷之即醒。今晨诊，六脉如昨，头痛渐减，食粥即呕。产后去血过多，荣血大亏，孤阳外浮，

神魂不守，此厥之所由来也，是属险途。议益气养阳、和胃止呕，以免痉厥。方用大生地、党参、茯神、当归、白芍、枣仁、麦冬、甘草、制半夏等煎服。

廿二复诊：未厥，呕止，纳粥。据述进粥三次，约有二盏。惟热势未尽，左脉空虚，右脉稍小无力。细审之，产时去血过多，兼之汗出不少。两日间，汗虽减而心血大亏，以致藏血之肝亦虚，此昨之所以见厥也。血既大亏，无怪虚热难退。宜乎补血为先，而产后之补血又不能全责之血分，必以气分之阳为血分之阴之主为最。盖气阳也，血阴也。扶阳可以生阴，亦阳生阴长之义也，必需益气养血、调和营卫为紧要关头。即此软大无力之脉，神疲难支之状，视一人如两形证名视岐<sup>①</sup>，岂非气血大亏，究恐虚脱，立方于下，酌之高明。

人参五分，冲 炒熟地四钱 陈阿胶三钱 茯神二钱 柏子仁三钱，去油 炒枣仁一钱半 归身一钱 白芍一钱半 小青皮三分

立方后，又延钟愚泉诊。案云：读竹亭先生

① 视岐：视歧，即复视。

方案,颇费匠心周匝,无用更章。即于余方中增紫石英三钱、左牡蛎七钱。据主家云,仍服予原方。

不时呵欠、恍惚、视歧,阳气外越,阴不内守,脉软大而空。仍议固纳一法,以冀转机。  
(五月二十三日)

人参七分,冲 大熟地五钱 茯神两钱 白芍一钱半,炒 龙齿三钱 炒枣仁二钱 左牡蛎七钱 五味子四分,研

加麦冬一钱,朱砂填扎,紫石英五钱,捣碎,水三盏先煎,煎至一半,同前药再煎。

余定方案后,又延曹乐山兄诊,其案云:读竹亭先生方案,俱皆中的,弟亦不能出其范围而喜功生事也。于余方中去牡蛎、五味子,而加石决明、黄芪一钱、珠粉四分。

乐山于余方中所加黄芪、珠粉亦未始不可用也。至于去余方中之五味子、牡蛎而又加石决明,恐未当也。且五味、牡蛎之用,亦取佐固纳之法,何可少也,识者鉴之。

晚诊:晨进前方,二目呆钝之势渐自灵活,视歧之状,近视他人则一,远观之仍是两形,足征阳气虚而心神不敛也。今进固纳法,略有转

机。大便数日未解，欲解未能，亦产后去血过多，气虚不能送，血燥不能润。《金匱》论产后三病，前案已言，今一人而兼之，可为重极矣。仍于晨诊方中加一二润燥之品，扶过明晨再商。

复诊（五月二十四日）：

昨进固纳润燥两方，视岐不觉，惟天明虚热朝暮未克净尽，精神疲倦，喉舌干燥却不多饮，舌绛无苔。究宜气阴两固，冀其热退肠润为最。

人参七分，冲 制首乌三钱 炒生地三钱 丹皮一钱半，炒 茯神二钱 五味子四分，研 地骨皮一钱半 麦冬一钱，去心 归身一钱，炒 白芍药一钱半，炒 远志炭六分 南枣两枚，去核

此方气营两固，理应佐姜枣以退虚热。因素不喜姜，执性不用，方中惟用南枣耳。服后精神稍健，耳聩渐减，舌绛稍淡，忽热忽退，喉干引饮，小溲二三次，出时觉热，转失气时有，食饮渐贪，脉仍虚大无力。用六味地黄汤加人参、麦冬、远志、南枣。煎好去渣，以蔗浆五钱冲服。

服三四剂，虚热渐退，喉干亦减，溲出热缓。

复诊（六月初七日）：

自服前方，停药数日又少有寒热之象，大便燥结仍未一解，兼之耳鸣、喉疼。方用八珍汤加

元参三钱 酒浸龙胆草五分。

服此 未寒热 喉疼减 大便结秘。

六月十三日 :用熟地、归身、党参、山药、茯苓、炙甘草、柏子仁、松子仁、麦冬、南枣、金石斛等。服之便结已通 喉疼、右耳鸣俱平。

复诊 (六月十八日) :大便解后 停药未几 , 腕中热气忽冲忽下 醒后口糜 左耳鸣减半。产后未几 经水已至 六日未止 总缘产后气血未复。议调中益气 加之养水滋木 经水自停。

人参五分 冲 炙黄芪一钱 大熟地三钱 山药三钱 炒 柏子仁三钱 去油 侧柏叶三钱 炙 伏龙肝三钱 炙草七分 血余四分 冲 人中白一钱 , 漂淡 天冬一钱半 去心 麦冬一钱半

加炒黑荷叶一钱五分。

服后 天癸即止。平素大便秘结 五六日一解 此脾约症、口糜及腕中之热往来上下 俱从此渐平。

至六月二十四日 用二地、二冬 佐杜仲、续断、牛膝、归身、柏子仁等 煎好去渣 用党参膏四钱冲入药内 炖温服。服四五帖 大便解时甚易 诸证咸平 食饮如常 继以膏滋方调理收功。

膏滋方 (九月初一日定) :

产后气血将复 , 食饮渐增 , 天癸已行 , 而肌体未丰 , 八脉未充。色脉合参 , 当以益气培阳 , 使气血融和 , 精神自旺 , 且素有之脾约症亦从斯而渐润矣。

大熟地十两 制首乌六两 归身一两半 柏子仁五两 , 去油 清阿胶五两 , 后入 炙黄芪五两 茯苓三两 於白术三两 , 土炒 西党参六两 白芍药一两半 , 炒 杜仲三两 , 炒 山萸肉四两 炙甘草一两半 新会皮一两半

上药用长流水如法煎膏 , 煎浓去渣 , 约煎至七八分 , 将前之阿胶打碎投入 , 煎至滴水不散 , 膏成置磁罐内 , 用新汲水放大盆内 , 将膏罐浸一日夜 , 退火气三日。每晨用膏五钱燉热服 , 滚水过口或橘饼丝汤亦可。

(案远) 木川吴氏女胎怀五月 , 腰痠下坠急固之验

木川吴氏女 , 年逾二旬 , 道光三年九月初四日。

胎怀五月 , 坤土主令。日来胎坠见红 , 腰膝痠软 , 土虚难固。盖胎气系于脾 , 脾土不足 , 此胎之所以下坠也。亟宜扶土益气以安胎 , 犹嫌

其迟。

炙黄芪一钱半 西党参三钱 归身一钱半 焦冬术一钱半 淡黄芩一钱半 炒 建莲肉三钱 去心 炙草七分 台州青芷三钱 洗 杜仲三钱 盐水炒

上药九味，河水煎服。服四剂血止胎固，腰痠下坠之势顿平。

（案苑） 吴姬素喜烧酒，左鼻瘕肉有年治法

吴姬，年四旬，道光癸未二月初二诊。

素喜烧酒，左鼻瘕肉有年，迩来疼痛无时，牵连左目头角，痛极防其失明，脉浮数有力。病起数载，治之匪易。

方用酒炒枯芩、酒炒知母、薄荷、甘草、桑白皮、陈皮、池菊、辛夷，加荷叶边一小个、河水一盞半，煎至一半服。服后左鼻痛有停时，非前之痛极难忍可比也。

初八日换方：原方去陈皮、荷叶边，加小生地、元参、白芷、酒焙龙胆草八分同煎。服四帖，鼻痔痛减其半，且有时不痛，即痛亦大缓矣，后仍于前方出入而痛平矣。

至于鼻瘕，外用硃砂少些同明矾同研，日点

瘰肉上 待其滴尽清黄水 冀其渐消为妥。然亦须戒酒 或可图之。

(案愿) 山西门人曹生乃母冒风咳嗽、痰稠治验

山西曹伯侯乃室 门生曹生之母 嘉庆丁丑岁五月初十 年近四旬。

风邪客肺 气闭火郁 咳嗽痰黏 脉象浮数。宜于疏解 方用前胡、防风、苏子、桔梗、杏仁、陈皮、甘草、桑叶、瓜蒌仁、葱白同煎。服后咳减痰薄 舌苔尚腻 脉仍弦数 夜间口干内热。经水素准 今过期旬日未至。先理客邪 再为之计。

复诊(五月十二日):

鲜石斛四钱 广藿梗一钱半 桔梗八分 杏仁二钱 瓜蒌仁三钱 研 地骨皮一钱半 苏子一钱半 炒研 甘草五分 生谷芽四钱 橘红八分 麦冬一钱半 去心

服前方 内热口干俱平 经水亦通 惟咳嗽未尽。幸痰易出而薄 非前之浓厚可比。天癸将至 更宜节食避风 免其变幻。

十四日:原方去石斛、藿梗、地骨皮 加前

胡、桑叶、枇杷叶。服三帖 ,咳嗽十去其八 ,痰亦甚少 ,天癸已止 ,知饥贪食 ,脉息虚浮 ,夜间有汗 ,表气不固 ,肺胃并调。

复诊 (五月十七日) :

北沙参二钱 款冬花三钱 茯苓二钱 黑苏子一钱半 炒 冬桑叶一钱半 生甘草五分 陈皮六分 淮小麦三钱 瓜蒌仁三钱 ,研加红枣三枚、生谷芽四钱。

服前方诸证咸安 ,食饮如常。

(案怨) 予内人陆氏气血双补、冲任并调丸方

予内人陆氏丸方 ,嘉庆二十三年戊寅岁二月二十八日诊 :气血双补 ,冲任并调。

生香附四两 ,分四处用米泔、盐水、滴醋、童便四制  
大生地六两 ,用陈酒一斤煮透 ,饭上蒸晒九次 当归身二两 牡丹皮一两半 炒 川芎一两半 地骨皮一两半 西党参三两 焦冬术二两 白芍一两半 炒 炙甘草一两 宣木瓜一两半 云茯苓一两半 杜仲三两 ,炒

上为细末 ,炼白蜜为丸 ,如桐子大。每服五钱 ,清晨滚水送下。

(案 苑) 王氏女三岁痘出七朝不治症  
王氏女,三岁。

出痘于三月二十四日,痘已七朝,繁密如麸,窠粒不分,色滞干红,壮热不退,齿干唇燥。舟小载重,毒不化浆,成功难望,八九之险,何待言矣。勉拟一方,以尽人工。方用羚羊角、生地、川连、地丁、赤芍、牛蒡、桔梗、青皮、木通、角针、人中黄、丹皮、芦根、干地龙等服之,至九朝而逝矣。

(案 苑) 郑文山女险痘变顺几为庸工所  
误之验

郑文山,女,五岁。

出痘于戊寅四月。发热三日见点,头面稀疏,胸少背多,色红攒簇。两朝时延李儿科治,用犀、羚、石膏、芦根、紫雪、大黄,佐荆、葛、蝉衣等服之,大便已行而食饮不贪。至三朝,去解表药,索性用鲜生地二两,石膏二两,犀、羚仍各用三钱等,再加昨之紫雪、芦根辈煎服,痘不起发,食饮甚少,烦躁不宁,因求治于余。余燃火一照,痘点干红色滞,点粒细小,窠粒不分,唇舌干燥。自早至午后,惟饮粥不及一盞,且勉强而

进。知其毒伏火郁不能透松者，重用寒凉遏抑为害耳，倘其始用解表松毒之剂何至此极。就此四朝论治，必须疏表透毒，佐以清解血分，正是活血透毒起胀时之工夫也。方用小生地、羚羊角、桔梗、紫草茸、木通、连翘、天虫、山甲、青皮、查肉、地丁、人中黄、笋尖等。煎好去渣，投猪尾膏冲服，诚松毒起发之良药也。

次日五朝复视，据述服此，夜间烦躁大减，稍可睡着，且渐贪食。予至细审察色，头面胸背痘点渐有分窠之形，且有放白行浆之势。于是仍用昨方去猪尾膏，加鲫鱼一大尾（洗净肠肚），其余略为增减，煎服。

至次日六朝，头面浆行半足，食贪睡安，唇舌滋润，治宜凉血清火，以助浆充而达肢体。

至七朝，腿足浆行尚未充足，当托里清火，加之解毒。

至八、九朝，两颧渐有回意，眼封亦渐有开象。再以气荣两补，兼以清火解毒，以杜痘后余波。三日后，浆回痂靥，发物宜禁，清补兼治，而收全功。设仍遭时医之手，其不误事者鲜矣。

（案 苑園） 予内人左牙上龈痛甚难忍治验

予内人陆氏 嘉庆甲戌十一月二十四日。

左牙上齦时疼时止 疑为虫痛 用漱齿药含漱二次 其痛顿止。今停五日又痛 仍以前药漱之不应 且痛甚难忍。因用后方一帖渐缓 再帖霍然矣。

大生地五钱 归头一钱半 独活一钱半 薄荷头八分 香白芷七分  
上五味河水煎服。

(案 员) 程氏女长夏经行感寒 小腹胀痛难忍治验

程氏女 年三旬 乙亥六月。

正值经行 下焦受凉经阻 气滞血凝 小腹胀痛难忍 法宜舒通。

制香附三钱 归尾一钱半 桃仁泥三钱 炮姜五分 元胡索一钱半 炒 乌药一钱半 制半夏一钱半 甘草六分 小青皮一钱 白蔻仁二分 研冲葱须一钱半

服一剂 至灯前经行 血块随下 小腹不痛不胀而豁然矣。

(案 员) 石氏女六月咳嗽上气、微热、溲

## 短之验

石氏女，乙亥六月。

咳嗽上气，身微热、小溲赤短。舒肺气，利小便，则上下通畅矣。用老枇杷叶、前胡、杏仁、苏子、藿梗、赤苓、甘草、橘红、蛤壳、冬桑叶等，煎好去渣，加白萝卜汁半酒杯，冲。

服后微汗遍身，咳呛气逆顿除，热退，溲便皆通矣。

（案 58）妹倩王履安令堂太夫人患肥气有年，左胁块攻，寒热交作，发则叫呼如狂，形如捉物，药颇合宜，拔去沉疴奇验。

妹倩王履安令堂太夫人，年六十三岁。

体瘦食健，素性暴躁，易动肝火。数年来左胁有块，每发必先寒热交作，间五六日一发，其块仍伏而不动，必待寒热发勤其块始动，动则寒热不发。块移于中，心下跳动无宁刻，甚至手指抓桌，形如捉物，叫呼如狂。待其少缓而问之，则曰心中难过如火势上奔之状。发于春，延至长夏而渐减，交秋而渐愈。素性不喜服药，即或病重虽服药亦不过一二剂耳。咸缘病者性躁，不思沉疴积岁岂一二煎帖所能愈病者，故缠绵

至今而未能已也。于嘉庆丁丑正月十七日履安再三延诊乞方，余按其脉，右关虚大无力，左关沉弦而劲。块伏于左肋，即《内经》所谓肝积，曰肥气者是也。块欲发动必先有寒热者，正少阳甲胆木气之报使也，肝与胆为表里。寒热停而左块攻上，横冲直撞，怪形异声，不由自主，亦人所罕见者。今正值寒热之时，间五六日一发，已发二三次矣。发时食后胸中必胀闷不爽。证脉合参，先宜养肝、舒肝、调中，待其块缓再为扶土保肺，间以养水滋木之法佐之，常使土气润泽，木气畅茂。仿灌园之法，合《内经》“亢则害，承乃制”之治，自无遗憾矣。第予有愈疾之手，而究不知病者能从乎否耶。

炙鳖甲三钱 女贞子四钱 青蒿子一钱半  
青皮八分 半夏曲一钱半 广藿梗一钱半 淡茺莢  
三分 甘草八分 制香附二钱

加旧铁器两许，煨红，醋淬三次，同煎。

张戴人曰：“左肋下如覆杯，久不愈，令人发痲疟，此肥气也。”王肯堂云：“肥气病，初如酒杯大，发寒热，不早治，延至十有余年。惟心下三指许无病，满腹如石片，不能坐卧。”

进前药两剂，左肋块毫不觉动，人亦安妥。

至十九夜间，忽又寒热，四肢冷极。其寒热比未服药前之寒热却大减，且胁块亦无动意。

正月二十日复诊：前方去香附，加桂枝一钱、柴胡五分。再两剂，寒热未至，块亦未动。

复诊（正月二十二日）：

制首乌三钱 炙鳖甲三钱 女贞子四钱 青皮八分 枸杞子二钱 白芍药一钱半，炒 焦谷芽三钱 藿梗一钱半 生甘草八分 左牡蛎三钱，煨 柴胡五分 桂枝一钱

加旧铁两许，仍如前煨红，醋淬三次，同煎。

服前方两帖，寒热仍未至，左块虽动移却不攻冲，胸中亦无难过之状，夜半口舌稍干。

复诊（二十五日方）：

制首乌三钱 炙鳖甲三钱 女贞子三钱 归身一钱半 山萸肉一钱 白芍药一钱半，炒 川石斛三钱 茯苓一钱半 小青皮八分 炙甘草八分

加陈海 三钱，洗净，同煎。

服前方安妥如上，口舌之干亦减，颇为合宜。

复诊（正月二十九日方）再以肝脾并治法。

制首乌三钱 枸杞子三钱 焦冬术一钱半 茯苓二钱 益智仁一钱半 女贞子三钱 当归身一

钱半 麦冬一钱半 白芍药一钱半 炒 炙甘草八分  
鸡内金一钱半 炙 陈皮一钱

服药后,左胁块安妥,且食后并不胸闷作胀。于二月初三日用六君子加益智仁、柏子仁、归、芍、女贞子、制首乌、荷蒂等。煎服八帖,至十一日复诊:诸恙俱平,当以五味异功加黄芪、归、芍、女贞、黄精、益智仁、南枣辈益气养荣,自尔痊愈可。服数剂后,再继以丸药调理收功。丸方列下:

炙黄芪一两半 西党参二两 焦冬术一两半  
扁豆四两 炒 大熟地四两 捣入 炙鳖甲一两半  
女贞子二两 茯苓一两半 当归身一两半 白芍药  
一两半 炒 菟丝子一两半 炒 川芎一两 炙甘草一  
两 新会皮一两半 砂仁一两

上为细末,炼白蜜和丸,如桐子大。每服五钱,清晨滚水送下。

是丸服毕,胁块久消,胸中毫无火势上奔之状,食健神爽,寤寐咸安。设非药饵对症,何能若斯效速。嗣后每逢交春,并未见发,数年之疾,从此而愈。益见予前论中之预断,非谬而非狂矣。道光癸巳竹亭自识,时年六十有九

(案 苑) 吴梅村女两岁,微热、咳嗽、腹膨,医人误投寒凉以致病增,反嘱其断乳,病剧更医,几乎无□,嗣后永禁不许庸医妄言断乳,当审证论治,于四诊中求之无不愈疾者,予之治梅村之爱可鉴也

吴梅村,女,两岁,嘉庆二十年乙亥岁冬十月治案,并永禁儿科不许断乳以丧儿命,务宜遵之。

稚年阴气未充,夜间偶尔发热,咳嗽腹膨,多食易饥。幼科专治内热,寒凉屡投,咳呛愈增,反嘱其断乳,甚至面黄肌瘦,热势尤甚。更医,医指为疳积劳热,用清热消积之药治之,热不除而咳不减。祸皆起于断乳者,不思小儿全藉乳以养之,则气血充而肌体和。早断其乳使其夜不能安,惟以食饮以助饥,糕饼以可口,而脾胃日损,气机不运,以致热增积盛病剧。托治于医,儿科不审起病情由,惟见病治病,无非热则清之,积则消之,虫则杀之,不明虚实,鲜有不误事者。余细绎病情,望色闻声,仍须照常哺乳,加以扶脾保肺,益阴退热止嗽,为紧要关头。如法调治,庶几无遗憾矣。当以鳖甲、青蒿、山药、芡实、白花百合、苏子、甘草、款冬花、枇杷

叶、茯苓等。连进五六剂，内热顿退，咳嗽大减，且从此哺乳，神识渐健，食饮节制，非前之多啖易饥可较也。

复诊：原方去鳖甲、青蒿，加苡仁、扁豆、鸡内金。再三四剂，大腹之膨软矣，咳嗽亦渐彻矣。继以参苓白术散，调理半月而全安。

（案 员） 詹文焕乃堂素多思虑劳神，心脾两伤，吐血之后头汗无时，渐自耳聋、昏倦，服药无功，再以扶阳固气一法，头汗顷止。

詹文焕乃堂，年四十九岁，嘉庆丙子五月十二诊。

经水已断四载，于前月二十五日忽吐血，三日而止，共约有一大盏。数年来好饮火酒，孀居十有余年，掌管家务，不无劳心伤脾，此吐血之所由来耶。虽止而头汗无时，渐自耳聋昏倦，自早至暮可饮粥四中碗。至申、酉时，仍然头汗如淋，当以扑法亦不应，惟睡着汗即止。脉息虚大无力，其为阳虚气弱可知。然吐血过多，阴亦伤矣。血止之后，身中似热非热，亦阴虚内热之象也。渐自耳聋无间，虽肾窍开于耳，而心亦寄窍于耳也。心主血，血去多而耳聋者亦有之。 藜

问》云：“精脱者耳聋”，仲景云：“耳聋无闻者阳气虚也”，更兼朝夕不离火酒，中气弥伤，肺金久耗。血止而继以头汗无时，岂不虑其虚脱耶。姑拟益气养荣，佐以达之敛之，俾荣卫和而阴阳交，卧安汗停，庶免一脱。方用五味异功合四物汤，去川芎，以茯神易茯苓，加远志、炒枣仁、五味子、巴旦杏、左牡蛎等十三味煎服。服后稍可多卧片刻，而汗究弗克一减。次日往诊，余门人程子，病者之婿也，予至，适程生先至，与予曰：“进昨方渐可多睡，是佳兆也。”予蹙额频思，头为诸阳之首，汗出不减，神倦语低，脉形豁大而空，究属阳虚气衰，有立见倾危之险，岂佳兆也，程生唯唯。亟与议四逆汤加人参一钱。煎服一剂，头汗顿止，继以气荣并补之法调理收功。

（案 癩）文学程子和乃室，症由肝郁厥逆转为寒热无期，虚怯已成，所苦者又受外虱之累，约有千万之多，痒无宁刻，明知前症无救，而现在之虱岂无法治绝其虱，庶免时刻之苦，治之果然立绝称奇。

文学程平庄乃媳，年二十六岁，道光丁亥岁三月十九日。

病由肝郁厥逆转为寒热无期 ,或日发两次 ,或间二日而连发两日。种种见端未便遽以为疟 ,况脉形细小而劲 ,舌苔光剥 ,唇齿干燥 ,食饮维艰。细绎病情 ,阳弱阴亏 ,荣卫两虚 ,此寒热之所以无定期也。迄今两月 ,虚损之征已露先机矣 ,亟亟护阳益阴 ,虽有良方惜乎鞭长莫及 ,拟方于下 ,斧弄班门 ,既蒙垂青 ,聊为塞白<sup>①</sup>。

方用人参、於术、龟板、鳖甲、鹿角霜、青蒿、地骨皮、麦冬、金石斛、生谷芽 ,加姜、枣煎。

前论之证决难挽回 ,更兼病者又受外虱之苦 ,据述约有千万之伙 ,皮肤痒无宁刻 ,以手握之盈碗 ,自述胸前痛痒异常 ,被褥衣衫处处皆有 ,迄今数日无人能识 ,而亦无人能疗者。平庄知医者而亦不知证之名也 ,仍商治于余 ,余应之曰 :“此血溃证也 ,治之无难 ,第内证不救何。”思所以亟治其虱 ,以治痛痒为最。用百部数两 ,河水数碗 ,煎汁三次 ,去渣 ,三汁并和再煎 ,煎至汁浓 ,离火。另用芦荟两许烘脆研极细 ,同炒出汗川椒五钱研细和匀 ,渐渐调入百部汁内 ,调和极匀。即以此汁洒于新被褥衫裤内晒干 ,将衫裤

<sup>①</sup> 塞白 弥补不足。

着身。将前被褥等一一取去，床上扫清，换新浆被褥而卧之。自此依法而行，虱从此毙，称为仙丹。第气血大败，内证终无救焉，不数月而逝矣。

是症由寒热而起，肝经郁热生风，荣血腐溃，兼多秽浊之气，郁而生虱，盈千累万之多，而生于肌肤间者，此所谓血溃症也。与夏子益所治之血溃症，名同而症异也。彼则因其人目中白珠浑黑而视物如常，毛发直坚如铁条，能食饮而不语如醉，名曰血溃，以五灵脂为末，汤服二钱即愈。子益又治虱出怪病，临卧浑身虱出约至五升，痛痒不可名状，但饮盐醋汤数日愈。二者皆夏子益之《奇疾方》也，与余所治程氏之虱各不同也。方自余创，手到病除，亦不为不奇也，何必拘拘于古方哉。要之今日之古方即昔日之新方也，安见今日之新方非后日之古方乎，均一理也。竹亭老人自识

**（案 魏）** 郑氏女孀居，痛痹症自头至足皆痛治验

郑氏女，孀居，年三十七岁，道光丁亥五月二十九日。

素体肥胖，经行落后。风寒湿三气合而成痹，起于颈项，波及肩臂肢肘，下及两股，痛剧难忍，业已九日。他医作痿证治，妄用鹿角霜、琐

阳、归、芍、沙参等温补之剂三帖，无怪乎痛势更增，寒热交作，脉象浮小而细。法宜祛风渗湿、通经活络为最也。

秦艽二钱 防风一钱半 制香附二钱 当归一钱半 片姜黄二钱 嫩桑枝二两，切 油松节三钱，劈 甘草八分 杉木节五钱，劈 苏木节五钱，劈 制半夏一钱半 陈皮一钱半

加去油乳香一钱 箬包押煎。

服一帖，痛去十之三，非前之痛如锥刺可比。且稍能睡，渐可进粥。

闰五月初一日复诊：头项风池穴觉重且痛，此湿痰为患。其余俱缓，即两股间痛亦可耐。原方去半夏、防风、杉节，加羌活、苡仁、晚蚕砂、威灵仙等煎服，痛势更减，再剂而风池穴之重痛亦大减矣。

初三日复诊：痛痹十去其八，惟右股骭仍觉小痛，再议舒理气血，冀其渐平。方用香附、芍、归、芎、陈、苓、草、桑枝、木瓜、青皮、苡仁辈，服之痛痹将愈。至四五日后，湿热下注，两足腿重肿且胀而痛（旁注：此即湿脚气也），朝轻夕盛，用白术、苡仁、茯苓、木通、防己、黄柏、炙草、蚕沙、青皮、升麻、柴胡、怀牛膝等十二味，煎服四

剂全愈。

(案 四) 海盐上舍张铁珊乃室血崩、汗多  
几危治验

海盐张铁珊乃室 ,道光丙戌十二月二十四  
日诊。

经停两月余 ,忽于是月十七经行三日 ,至  
二十日骤然大崩 ,以致神倦乏力 ,食少汗多 ,怕明  
喜暗。服药后经水仍频出不止 ,于是始告治于  
余。余至 ,适前医周半池兄诊定疏方 ,用人参、  
黄芪、於术、熟地、龟板、鹿角霜、牛角腮、枣仁、  
棕灰、龙齿、牡蛎、阿胶、续断、杜仲等 ,观其方意  
却是固气统血之法。第熟地、阿胶辈可从缓 ,一  
嫌其腻 ,又嫌其食饮未贪者恐不利于脾胃也。  
余于方中去此二味 ,加丹参三钱 ,血余炭五分 ,  
冲 ,五味子三分 ,临服冲入童便一酒杯。

佐此四味 ,取其安神定志 ,亦固纳止崩之一  
助耳。

复诊 (十二月二十五日) :

进昨议方 ,崩血渐减。因欲贪食 ,稍啖荤  
味 ,便泄随至 ,脉象细软。滋腻之剂 ,究宜缓投。  
宜以益气扶脾 ,冀其坤土得令 ,庶几无妨。用党

参、山药、芡实、茯苓、益智仁、煨木香、炙草、陈皮、南枣等。煎服三四剂，漏下已停，而便泄仍日四五次，皆缘脾土之不足耳。拟异功法加建莲、芡实、砂仁、归、芍、陈皮、南枣等治之。服两帖，便溏日一次，再二帖而止矣。

(案 圆) 洞庭东山金氏女素有肝胃气，发则腹痛且胀、欲呕，兼之目疾频发奇效

洞庭东山金氏女，年二十四岁，道光丁亥五月二十日。

素有肝胃气，发时遍体不疏，腹痛且胀，甚至欲呕。又有目疾频发，发时白珠色红，昏花起星。偶尔寒热，经水有时应期，脉形左弦右缓。种种见端由肝郁而波及于胃也，法当土中疏木，俾土木合德，诸恙向安矣。

制香附二钱 小青皮七分 醋炙 广木香六分  
当归一钱半 半夏曲一钱半 淡茺萸三分 宣木瓜  
八分 茯苓一钱半

加砂仁末三分，冲。

服后胀痛俱平，诸恙如失。

(案 圆) 黄圣涛室人素有肝气，当脐作痛

## 发厥治验

黄圣涛乃室，五十岁，丁亥岁七月初二，痛症复发。

素有肝气，当脐作痛，痛甚则厥，必得重手按脐方缓。今发尤甚，于前月二十五痛之不已，服他医通气泄肝药即止。未两日复痛，又用党参、首乌、石决明、沉香等药不应，因求治于余。腿膝觉冷，得暖则脐中痛缓，脉右沉细、左小弦。冲脉为病，里虚而痛者阴不足也，温养下元是其治法。

炒熟地四钱 当归一钱半 肉桂四分，去粗皮  
五灵脂一钱半，炒 小青皮一钱 醋炙 白芍一钱半  
紫石英五钱，研

加紫沉香三分，磨汁冲。

灯前进药，至二更脐腹痛顿止。次日再剂，痛势全无。

初四复诊：体瘦食少，素常如是。今痛既平，养胃兼之温润下焦为妥，且药不宜猛，当轻松调治更有益于肝脾耳。

建莲肉五钱，去心 云茯苓一钱半 薏苡仁四钱，炒  
陈皮一钱，炒 菟丝子一钱半，炒 淡苁蓉三钱  
砂仁壳八分 南枣两个，去核

上药八味 ,河水煎。服四五剂 ,食增神健 ,便溺通畅而痊。

(案 圆) 李建之内人下消症治验

李建之乃室 ,年逾三旬 ,嘉庆二十年乙亥冬十一月十六诊。

下消症迄今数日 ,他医用萆薢分清饮法 ,不应。病得之肝经郁结 ,而波及于心肾 ,致水火不交。口渴溲数 ,出如膏油。《经》云：“二阳结谓之消。”饮一溲二 ,此下消症也。由于肾水不能上承 ,心火难以下降 ,火在水上 ,正合未济之卦也。故渴饮溲数 ,下如稠浓膏油 ,脉形软数 ,尺脉虚濡 ,证岂轻候。

先君子曰：“饮一而溲一者 ,外饮之水下也。至于饮一而溲二 ,则高源素蕴之水下也。”

雪梨汁一小杯 ,冲 甘蔗汁一小杯 ,冲 生蛤壳二两 麦冬一钱半 沉香汁三分 ,冲 知母一钱半

上用长流水一盞 ,将蛤壳、麦冬、知母三味煎至半盞去渣 ,以前三汁冲入药汤内服之 ,约服于午前。临卧前一时用桂附八味丸四钱 ,建莲汤送下。

服三剂 ,下消之症渐自痊可。继以养胃、调

脾、舒肝之法收功。

(案 圆原) 邹氏姬年高泄泻、呕吐、腹痛治  
验 (附注)

邹氏姬 ,年八十三岁 ,道光丙戌八月十二。

泄泻五日 ,由食面、肉而起。胸闷不饥不食 ,食则呕吐并至 ,腹痛即泻 ,脉软滑而细。虽在高年而宿食停阻 ,当以运食舒中 ,使痛泻呕止为最。宜以生谷芽、制半夏、山楂肉、麦芽、藿香、枳壳、赤苓、甘草、木香等九味 ,加煨生姜两片。煎服两帖 ,而呕痛泻顿愈。

凡治病必欲于四诊中详求之 ,庶不误人。是证若因年高泄泻防脱 ,执虚妄补而致气壅食阻 ,甚至发厥而毙 ,深堪痛恨 ,而犹以为补之不及 ,自信无差 ,即主家亦以为然。岂知明者观之 ,不死于病而死于医人之手。呜呼 ! 其死其生斯谁辨之 ,识者鉴之。癸巳夏四月竹亭自识

(案 圆缘) 郑氏女肝气作楚 ,脐上块攻作胀  
治验

郑氏女 ,年逾三旬 ,道光元年五月十五。

肝气作楚 ,脐上素有之块又觉胀而不舒。

法宜肝胃并治，用二陈汤加香附、青皮、白扁豆、大腹绒、归身、佛手柑等。服两剂，块与痛胀俱全安矣。

(案 圆) 姜仰斋侧室痰厥火升等症治验

姜仰斋侧室，道光八年八月二十二。

痰厥症，发时面红火升，气逆腹疼呃忒，俱在晡后为甚，经行四五日未止，皆由于气郁而痰火凝结也。法当舒肝、豁痰、顺气，免其变幻，议温胆法。

姜半夏一钱半 制香附二钱 橘红八分 甘草四分 黑山栀一钱半 广木香五分，切 赤苓二钱 枳实八分 瓜蒌仁三钱，研 刀豆子二钱，炒

加鲜竹沥八钱，生姜汁一小匙，冲。

服后，胸闷气逆俱平，以故火升、面红、呃忒从此而尽彻矣。

二十四日：用二陈汤加鲜石斛、瓜蒌仁、黑芝麻、生谷芽辈，和胃止嗽而愈。

(案 圆) 汪书蕉二兄令爱九岁出正痧治

验

汪书蕉小姐，九岁。

出痧于道光己丑岁正月二十四日。身热四五日，热渐缓，头额面部始见痧点，咳嗽喷嚏，鼻流清涕，二目眼泪。宜以舒表，以冀透发，务须避风为最。

荆芥穗一钱半 蝉衣一钱半 去足 苏子一钱半，炒 杏仁三钱 牛蒡子一钱半 炒研 橘红八分 甘草六分 桔梗八分 前胡一钱半

加西河柳六钱，茅根三钱，去心。

复诊（二十五日）进昨方，头面两颧痧点满布，手臂腿足稀少将齐。舌苔白腐带剥，身热渐缓，邪未透彻，尚不贪食，大便结粪已解，口干欲饮不渴，咳嗽频频。仍宜疏表退热，嫌其眼虽有泪而鼻涕少。

葛根一钱半 前胡一钱半 荆芥一钱半 元参一钱半 查肉三钱 炒 牛蒡子二钱 炒 桔梗八分 甘草五分 薄荷六分 杏仁三钱 枳壳一钱半

加西河柳八钱同煎。

复诊（二十六日）痧点渐透，热缓，食渐进，咳声频频，舌苔白腻而剥亦十退其七矣，色转淡红。清疏肺胃为最，用前胡、杏仁、桔梗、苏子、象贝、桑皮、地骨皮、橘红、人中黄、西河柳、芦根同煎。服后热退七八，痧点渐收，咳嗽渐稀，舌

苔之膩白退矣。惟鼻无清涕 ,幸不干燥。痧出四朝 ,循序而收 ,食饮能进。

复诊 (二十七日) :

桑白皮一钱半 地骨皮一钱半 元参一钱半  
麦冬一钱半 ,去心 人中黄五分 黑苏子一钱半 炒  
桔梗八分 前胡一钱 赤茯苓一钱半 白杏仁三钱  
加老枇杷叶三大片 ,去毛。

复诊 (二十八日) :痧发五日 ,正值收回之际 ,鼻涕复来 ,足征邪去肺清。舌胎已退 ,而转淡红本色。头颅两腮尚有未退尽者 ,咳声未平 ,喜其食贪睡安 ,不足虑也。方用桑叶、麦冬、赤苓、杏仁、苏子、桔梗、甘草 加老枇杷叶三大片 ,去毛 ,煎服。

二十九日 :用百合、苡仁、款冬、贝母、瓜蒌仁、桑白皮、赤苓、甘草、枇杷膏等。服之鼻涕仍有 ,痧毒尽出也 ,再以清补肺胃之剂调理收功。正痧之后 ,须忌一切发味海鲜一百日 ,庶无痧疮 ,以免终身之累。

(案 圆) 张乙庭室人阴虚体质 ,神倦、肌瘦、口干、食少 ,甚至内热如蒸 ,汗出如洗 ,用益气养荣法果获奇效

张乙庭乃室，道光九年三月二十七日诊。

素体阴亏，内热汗多，忽增忽减。淹缠日久，体倦肌瘦，食少口干，百节疼而背胁如刺也，夜梦纷纭，心中摇荡。皆荣血亏而卫气弱，心为胃母，肾为肺子。心荣、肺卫两亏，无怪乎内热如蒸、汗出如洗也。深恐涸津而转涉虚损之门，前案已论。再议东垣益气养荣法合《圣济》大建中汤加味治之。

附 圣济八味大建中方：人参、冲、黄芪、炙、归身、白芍、炙草、龙骨、远志、泽泻八味，河水煎服。

人参五分，冲 炙黄芪一钱半 沙参三钱 归身一钱半 白芍一钱半 炒 炙甘草六分 龙骨五钱 远志一钱 炒 泽泻一钱半 地骨皮二钱 丹皮一钱 炒 麦冬一钱半 去心

加生谷芽五钱同煎服。

是日余定方之后，据述又延钟愚泉至，即于余方中批注云：“兹读尊方案，周匝尽善，无庸更章矣。钦服之至，僭加一二，聊为塞责，仍候教政。”于余前方中去归、芪、地骨皮三味，加石斛、红枣、十大功劳三钱。据乙庭云，愚泉至，余方已煎服矣。至次日，热与汗俱减半矣。再三剂，诸证咸安。数日后，天癸至，三四日止。日来食

后腹稍膨 ,足肿 ,便溏 ,两胁疼。议先补中藏之阳 ,而少佐养肝、舒肝之法 ,俾土木合德为妥。若徒事滋补 ,恐不利于坤土耳。依法治之 ,果获奇效。

(案 四) 张春山内人脘腹痛极 ,当脐块攻立救之验

张春山乃室 ,年逾二旬 ,道光己丑四月十三诊。

脘腹作痛 ,痛剧脐中块攻 ,气食交阻。脉象沉滑 ,沉者气之滞也 ,滑者食之阻也。法宜温中运食 ,防痛甚发厥。

姜厚朴一钱 淡干姜五分 ,炒 淡茺萸三分  
谷芽三钱 制香附一钱半 小青皮一钱 山查肉三钱  
炒 神曲三钱 炒 薤白头三钱

加荔枝核四钱 (切片炒) ,木香六分 (切片)。  
服药后 ,少顷腹中响动 ,痛止。次日清晨解结粪甚畅 ,脐中硬块拊之不觉矣 ,前所谓食积者此耳。

十四日 :原方去薤白、青皮 ,加元胡索、瓜蒌仁。再剂 ,又解结粪如前。

十五日 :仍照方去元胡索、瓜蒌 ,加陈皮、砂

仁壳。再剂 ,又大便结粪一次甚畅 ,从此膨胀、食块攻痛俱若失矣 ,食饮渐贪 ,再以和胃舒肝之剂而收全功矣。

(案猿) 金德升女干脚气症兼大小腹痛、食少、两足能屈不能伸危症奇验

金德升女 ,年逾二旬。

于道光六年两足小腿疼痛而起 ,已后举发无时 ,甚至痛剧难忍 ,小腿细小肉削 ,证名干脚气。渐至大小腹痛而且胀 ,以致食减。今于九年己丑岁六月十九求治于余 ,据云于四月生产 ,迄今两月 ,而脚气又发 ,疼痛如锥 ,大小腹仍然痛胀 ,食少 ,大便干结如栗 ,脉息细奕而涩。知其血燥筋枯 ,足能屈而不能伸。水不滋木 ,木强乘土 ,此大小腹之所以痛且胀也。议养水滋木以舒筋 ,俾其痛胀平而筋自舒 ,得谷乃昌。服后方三剂 ,而诸证全瘳矣。

制首乌五钱 炙鳖甲四钱 女贞子三钱 归身一钱半 宣木瓜一钱半 香附汁七分 ,开水磨冲 淡茺萸二分 木香六分 ,切片 柏子仁三钱 ,去油 九香虫一钱半 ,焙

加荔枝核四钱 打碎炒黄。

(案猿) 葑门姚惠时内人左胁块痛,兼之寒热、吐血、咳嗽等证几危奇效

葑门姚氏女,年三十四岁。

左肋肋块痛,自道光七年冬由寒热而起,缠绵日久,块渐大如杯,硬而不高,痛甚牵引腰背。延至九年秋,骤然吐血盈盂,三日而止。当时块痛顿平,后又复痛。是月望前,忽尔寒热成疟,而痛块又平。待疟止而块又至,且痛无宁刻,食少体瘦。自血吐之后,天癸未至约近两月。诊其脉,右软小无力,左关浮之弦细,按之小数。知其胸中郁郁不舒,肝火易动,甚至直冲而血溢上逆。病起两载,痛块日增,卧床食减,大便燥结。防涉虚门亟治之,或可从凶化吉。若假庸工之手,尤难之难矣。议以扶脾、养肝、润燥,兼之舒运,俾痛块日减、肠润、经行斯可矣。

焦冬术一钱半 制首乌四钱 女贞子四钱  
木瓜一钱半 乳香同炒 元胡索一钱 制香附二钱  
淡茺萸三分 青皮一钱 黑山栀一钱半 炙甘草六分  
归身一钱半 白芍一钱半

是方煎服六帖,块痛十去其四,牵引腰背之疼已平。大便之干结难解,自服予方后可以日解松爽,食亦渐增,颇为合宜。

复诊(九月初一日):向日痛甚即咳呛,是病之根皆由于块痛为患,必先治之。

西党参三钱 淮山药三钱,炒 制首乌五钱  
鳖甲四钱,炙 女贞子五钱 柏子仁三钱,研 巴旦杏三钱,去皮尖 茯苓一钱半 广木香六分,切片 归身一钱半 白芍药一钱半,炒 木瓜一钱半,乳香同炒  
炙甘草六分

加生姜两片,黑大枣两枚(去核)。

煎服六剂,块移于中,痛减其半,食饮又增,每次可进饭两盏,余安妥如前。

初八日复诊:用五味异功加归、芍、女贞、九香虫、木香,巴旦杏、柏子仁,加白花百合二两煎汤代水。

服六七剂块痛更减,惟夜间咳呛时则块痛渐增,大便通畅,经水将行。

复诊(十五日方):

西党参三钱 北沙参三钱 陈阿胶三钱 炙甘草六分 巴旦杏三钱,去皮尖 制首乌三钱 女贞子四钱 苡仁四钱,炒 柏子仁三钱,研 川贝母一钱半,去心 广木香六分

是方服十二帖,块小痛止,咳嗽亦平,仍用此方略为加减,再服十剂而收全功。

(案獭) 张氏女肝胃气痛,痛甚块攻、呕酸、便溏治验

张氏女,道光己丑九月二十六日诊。

肝气作楚,波及于胃,痛甚块攻,呕酸,便溏,业已七日。痛剧防厥,拟舒肝温中法。

淡茺萸三分 小青皮八分 香附汁八分 磨冲  
乌药一钱半 姜厚朴一钱 姜半夏一钱半 元胡索  
一钱 炒 木香六分 切片

加阳春砂仁末二分,冲。

服此一剂,痛即大减,再剂痛止块平。

(案獭) 张乙庭乃室中脘胀痛、小腹膨急、发厥治验

张乙庭乃室,己丑岁十月初六日。

中脘胀痛,波及小腹膨急,痛无宁刻。现在见厥,深虑汗多,食不喜进,脉息沉细迟缓。病势颇险,勿得忽视。

制香附二钱 归身一钱半 肉桂五分,去粗皮  
炮姜四分 炙甘草六分 陈皮一钱 九香虫一钱半  
加生谷芽一两,乌梅肉五分(炒)。

煎好午前服,少顷痛势渐缓。至酉初,钟愚泉见其痛缓,伊用旋覆花、姜半夏、白芍、肉桂三

分、水炙甘草、小麦、红枣等煎送乌梅丸三钱。

夜间煎服，到口即呕，再进再呕而停药。

至初七日仍延余诊：右脉软小无神，左脉弦细。肝胃并亏，面色白，神疲难支，二目半合，额有黏汗。自昨至今午，食毫不进。素亏之躯，加以痛剧见厥之后，深恐骤脱。议四君子加味，亟固胃气兼之定呕、纳谷为最。

人参五分 冲 於白术一钱半 土炒 茯苓一钱半  
炙草五分 白芍一钱半 肉桂三分同炒 归身一钱半  
淡茱萸三分 青皮六分 醋炙

加生谷芽五钱，乌梅肉五分，炒。

是方煎服，始能进粥盏许，呕止，痛胀俱松。

初八：即以原方去茯苓、茱萸，加茯神、远志、女贞子三味。服之渐可进粥三四盏，诸恙咸平。

初十日：用五味异功加归、芍、女贞子、枣仁、远志、南枣等，煎服三剂而愈。

（案獭）袁藹堂内人寒热、腕腹膨胀、小腿浮肿治验

袁藹堂乃室，年二十四岁，道光己丑十月初

八诊。

病由前月 ,黄昏微寒渐热 ,热至天明微汗而退 ,热时颇甚。舌苔早黑 ,少顷淡红。耳鸣 ,骨节疼 ,食无味。迄今廿日 ,寒热未解 ,脘腹膨胀。医以疏表清凉之剂 ,皆未去病 ,因延余治。脉象两关弦大 ,按之不足。邪热内伏 ,当以和解退热 ,脾胃土得令 ,纳谷为最 ,恐犯虚热之门。议小柴胡汤去半夏 ,加花粉、扁豆、苡仁、二苓、泽泻、秦艽、归身、地骨皮等 ,加姜、枣。煎服三帖 ,寒热顿减三之二 ,惟脘腹膨胀、腿足浮肿未退耳。

复诊 :灯前微寒即热 ,热至天明微汗而退 ,渐能进食。午前进饭碗许 ,夜间饮粥有味。大便仍结 ,小溲如常。而胸腹之胀、小腿之浮肿、皮色光亮 ,究关脾阳之不运 ,而湿阻于中也。今寒热已退大半 ,再温理中焦为亟亟也 ,否则防转中满。

穹窿术一钱 炒 白扁豆三钱 炒 苡仁五钱 炒  
茯苓三钱 姜厚朴一钱 草薹仁一钱 炒 干姜八分 炒  
归身一钱半 炙甘草六分 陈皮一钱半  
加生姜两片 ,黑大枣两枚 (去核)。  
服此方两剂 ,寒热退清 ,脘腹膨亦缓 ,再三

帖而肿胀俱平矣。

(案獠) 徐氏女咳呛、气逆、喉痒、呕痰治  
验

徐氏女，年逾四旬，道光己丑十二月十六。

咳呛气逆，呕痰盈盂，喉痒无宁。虚火上炎，当理肺胃，使气顺而火降，自无遗蕴矣。

旋覆花三钱，绢包 款冬花二钱 川贝母一钱  
半，去心 苡仁五钱，炒 生蛤壳五钱 黑苏子一钱  
半，炒 巴旦杏三钱，去皮尖 茯苓一钱半

加雪梨汁六钱，生姜汁两小匙，冲。

服两帖而痊。据述，后遇此病发，服之即安。

(案獠) 朱小伧女暑湿热阻，得于行经之后，以故寒热无期，朝轻夕重等症极验

朱小伧令爱，年十八岁，庚寅六月十三日诊。

暑湿热三气交阻，得于行经之后。血室空虚，邪乘虚入，以故寒热无期而朝轻暮重也。迄今十八日之久，更兼吟咏呓语、口干喜饮。阴气亏于下，而邪终不能解也。脉形弦细，按之不

足非无以也。证颇棘手，姑拟益阴退邪以冀转机。

生鳖甲五钱 青蒿子二钱 鲜石斛四钱 麦冬一钱半 地骨皮三钱 栝蒌根一钱半 广皮白八分 甘草七分

加西瓜汁一酒杯，冲。

服方一剂，寒止热如前。

十四日：原方加黄芩一钱半。再服一剂，当解结粪成条，外有瘀血裹粪而下，口吐黏痰盈盂。此行经后，寒热交作之时，他医早投生地、羚羊角、川黄连等凉药，遏住经血。得余养阴退热之剂，肠胃滑利，使数日未解之结粪与经血裹之而下也。其黏痰之多者，亦因寒凉遏之而成也。是好消息，惟热未净尽耳，耳聋如前。

十五日：仍以前法出入，加之和胃生津，热退食贪，夜能多寐，耳聪神健而安矣。

(案猿) 张养斋室人腕腹胀痛、呕酸等症治验

张养斋乃室，年逾三旬，道光九年十月二十四日。

腕腹胀痛，呕吐酸水，得汤愈增。经水过期

旬日，虽平日趱前，而此时之满腹不舒却无关于经水也，究属肝气郁而波及胃土也。

旋覆花二钱 绢包 姜厚朴八分 淡干姜七分，  
炒 木香六分 制半夏一钱半 沉香汁三分 磨冲  
山楂肉三钱 茯苓一钱半 橘皮一钱

加左金丸六分 药汤送下，乌梅肉四分。

服此方，呕止、痛缓而腹块未平，食亦未贪。

二十五日：原方去旋覆花、左金丸，加黑山  
梔、淡菜萸、生谷芽等煎服，如前安妥。惟脐上  
左右块攻即有疼意，此食块无足虑。今方能进  
粥半盏，不呕不痛。平素肠燥便结，约二三日一  
解，今已四五日未解矣。

二十六日：用制香附、干姜、半夏曲、陈皮、  
枳壳汁（冲服）、藿梗、木香、淡菜萸、黑山梔、生  
谷芽、鸡内金等，服之甚妥。再议养胃、和荣、舒  
肝之剂。三帖，大便通畅，块散食贪而愈。

（案 獮） 又，侧室腕腹作楚、欲呕、发厥、  
牙紧等治验

又，养斋侧室，二十二岁，己丑十月。

腕腹作楚欲呕，发厥手颤，二目上窜，牙关  
紧闭。面色娇红，鼻衄色紫，左脉弦滑且数。肝

郁火升 此厥衄之所由来耶。

羚羊角一钱 镑 小川连四分 姜半夏一钱半  
橘皮一钱 天竹黄一钱半 钩藤钩四钱 小生地三  
钱 青皮八分

加雪梨汁六钱 (入姜汁二匙冲) ,莱菔子三  
钱 (炒)。

服药后 厥发二次 至天明而平。腕腹痛缓  
三分 鼻洪止。

复诊：

羚羊角一钱 镑 川黄连三分 姜半夏一钱半  
青皮八分 瓜蒌仁三钱 黑山栀一钱半 九香  
虫一钱 焙 木香五分 鲜石斛四钱

加竹沥六钱 姜汁两小匙冲。

服此厥止 面红退 腹痛大减。惟体倦食  
少 大便秘结未通。

复诊 原方去羚羊角、山栀、竹沥、姜汁辈，  
加柏子仁、麦芽等。一剂 大便结粪甚少。再以  
生首乌一两、归身、薤白、郁李仁、砂仁壳、麻仁、  
大麦仁、青皮、木香、甘草等 服之当解结粪甚  
畅 痛止食贪 再以和肝养胃而痊。

(案 猿) 海盐张铁珊乃室唇肿痛、寒热、

## 发疗治验

海盐张铁珊乃室 ,道光元年辛巳岁十月十九日。

内唇肿硬畏寒 ,波及鼻傍漫肿 ,疼痛难忍 ,得热布熨之稍缓 ,见风则愈剧 ,脉象沉紧。荣气闭固 ,郁结不散 ,而成内唇疗。外宜疏散风寒 ,内以散肿拔疗为亟亟也。先用针刺唇口鼻下 ,泄其气并未见血。外用葱汁调家制霞城散敷肿上 ,如药干再以新绵蘸汁润之 ,则肿易消。内服苏叶、防风、蔓荆子、桔梗、柴胡、连翘、陈皮、甘草 ,加干浮萍草、葱白头同煎服。

二十日诊 :服昨药并敷后 ,今出脓水甚多 ,唇内之疗根始见。此处膏药难贴 ,必须勤换为妥。肿自唇至颧及眼泡 ,俱带漫肿 ,非轻候也 ,最怕走黄 ,慎勿渺视。上唇里面中间近牙根处一粒 ,大如黄豆 ,色红 ,用针刺之稍见血 ,用家制“滴滴金”掺上 ,膏盖 ,不拘时换贴。内服苏叶、桂枝、银花、白芷、陈皮、象贝、连翘、甘、桔、元参、乳香等。煎服后寒热即退 ,夜间少有烦闷 ,七八日便秘始解 ,当日睡安食进。

二十一日诊 :内唇疗根渐软小 ,自昨出脓血后今已大减 ,寒热罢 ,眼、鼻外、内唇之肿俱已渐

退。外用拔毒膏贴之，次日疔根提出，掺上青云散即能生肌收口，仍用膏药护之。再以养胃清火之剂，以退余毒而收功矣。

(案源) 叶氏女经行腹痛、呕吐酸水作泻治验 (附注赤带)

叶氏女，年二十四岁，道光二年闰三月十八日诊。

每遇临经前后，小腹必痛，而兼呕酸水，甚则增泻，据述病起四五载。脉右软小，左弦细。肝木犯胃土，甚则大便作泻者，以胃与大肠同属阳明也。自云幼年最喜生冷，迨年暑热水果不能戒，益见阳明胃土之久虚。及早禁之，服药勿懈，庶乎渐安。现在经转，治宜舒肝和胃。

制香附三钱 广木香六分，切片 青皮八分，盐水炒 归身一钱 淡茺萸二分 元胡索一钱半，炒 乌药一钱半，盐水炒 白芍一钱半，炒

加炒出汗川椒十二粒，拣去闭口者。

前方服两帖，痛止呕平，经水停，而泻亦已矣。据述昨经血中有一条如笔管式，长约寸余，中空，色带粉红，此即赤带之类也，全赖平时早

治 必待经行病至而后药之 恐无济事矣。

(案 源) 予内子陆氏冒风头痛且重、骨节痛治验

内人陆氏 道光六年丙戌三月二十一日诊。

素多劳役 连日头疼、骨节痛。昨早忽然头痛且重 举头不直 骨节间疼如针刺 身微热 口苦舌干 淡白苔 内热不喜冷饮 脉浮小乏力。阴虚体质 血不荣筋 加以外风相搏 故遍体疼如针刺。申刻进后方一剂 渐自微汗二三次。少顷觉饥 当饮薄粥盏许 顷之周身小汗。至戌初 头痛、骨疼顿缓。次日早晨 病若失矣。方附下：

当归一钱半 川芎一钱 蔓荆子一钱半 前胡一钱 秦艽一钱半 麦芽三钱 炒 山查炭三钱 陈皮一钱 甘草六分

上药九味 河水煎服。

(案 源) 詹氏女风暑相搏 头胀、腹闷、疼痛难忍治验

詹氏女 二十三岁 道光辛巳岁六月二十四。

风暑搏而头胀，小腹闷而疼痛难忍，带浊绵绵。病经六日，脉象浮小。当以疏解和肝，未可忽视。

老苏梗一钱半 赤茯苓一钱半 木香五分 藿梗一钱半 小青皮八分 淡茺萸三分 枳壳一钱半 甘草五分 台乌药一钱半 莱菔子一钱半 炒  
服前方一剂，热退，胀痛俱平，霍然而愈。

（案源） 吴师瞻内人脾湿下注，痰多、腹膨、背胀、腰胯漫肿、阴户湿痒、白带频下、经停三月极验

吴师瞻乃室，道光二年十一月二十九日。

脾虚挟湿，稠痰盈盂。肝气不舒，腹膨背胀。腰胯漫肿，波及大腿，惟小腿与足跗未肿。白带频下，阴户湿痒。食能进，多则胀。经停三月之久，脉形细爽，左虚弦，尺无滑疾之象，非胎也。诚恐脾土不运，而致有中满之虞。

西党参三钱 焦冬术一钱半 归身一钱半 怀牛膝一钱半 益智仁一钱 生姜皮一钱 茯苓二钱 广木香五分 新会皮一钱半 炙甘草八分 加佛手柑六分。

服此十五帖，腹膨背胀俱减，大腿之浮肿并

腰胯间亦渐宽松。

十五日复诊：再以“五味异功”加扁豆、木香、益智仁、归身、鸡内金等，煎好去渣，用砂仁末三分冲。

服此数剂，前恙已平，阴户之湿痒、白带之频下亦皆若失矣。

（案源）陆春帆乃室头颈痰毒自溃，温养气血自痊

陆春帆乃室，年逾二旬，道光二年十二月二十六日。

右颈痰毒，经年自溃，痰出稠黏，色如蛋清，日来溃处坚硬肿痛。风寒内侵，气血两虚。当以养荣汤法，使气血充而易于完口。外宜化痰膏贴之，以助生肌为最耳。

炙黄芪二钱 西党参四钱 焦冬术一钱半  
炙草八分 大熟地三钱 归身一钱半 上肉桂八分  
去粗皮 川芎一钱 左牡蛎五钱 煨块 白芍一钱半  
炒 广陈皮一钱半 茯苓一钱半

加生姜五分，黑大枣两枚（去核）。

（案源）黄埭朱姬夏间劳役，食后作胀，

## 腹疼兼块治验

黄埭车灵桥朱氏女，年二旬，道光壬午岁八月初七诊。

向有三症，年余方止，脾土大亏。夏间劳碌过度，迩来食入即胀，胀时腹疼。左腹有块，积成痞母。脉右虚小无力。失于将息，防成单腹胀。

焦冬术二钱 薏苡仁四钱，炒 木香六分 茯苓三钱 淡茺萸三分 炙甘草六分 陈皮一钱半 干姜六分 草薏仁八分，炒 焦谷芽三钱 鸡内金一钱半，炙

服此三帖，食入胀停痛止，经水已转，且身面俱发出小粒如痞，遍体松爽。此夏日所受暑湿之气发出，以免秋后之余波。得余温中却湿之方，服之前症尽除。买舟就诊换方，即于原方略为加减以应之。

（案源）横山江氏老姬前阴白带直溜，后阴红痢频下，亟固脾胃，果获奇效

横山江氏姬，年七十三。

道光丁亥六月望前得红痢症，延绵至八月初旬腹痛虽止，而昼夜尚有粉红冻七八次。小

腹膨闷不爽，带下直溜，腰疼食减，脉息虚软。脾胃两亏，亟理坤土，痢止为最。方用冬术、山药、扁豆、茯苓、煨木香、益智仁、炙甘草、地榆、椿根白皮等。煎服三帖，昼夜痢减二次，其余如前。

复诊 滑泻如冻，带下直溜，得食精神渐健。高年脉弱，治以益气调中，兼之厚肠固脱，亟平为妥。

带下直溜者，高年脾虚不能统摄之故。自若作湿热治，则祸不旋踵矣！

西党参三钱 焦冬术二钱 山药三钱，炒 白扁豆三钱，炒 煨木香八分 益智仁一钱半 茯苓一钱半 炙甘草七分 升麻四分 醋炙 诃子肉一钱，煨 桔梗一钱

加薏苡仁八钱，河水两盏煎至一盏服。

服三帖，滑泻顿减，日间一次，夜止。带下直溜之势亦减其半，余俱安妥。原方去升麻、苡仁，加生黄芪、白芍、赤石脂等。煎服数剂，调理收功。

（案源） 郑惕庵乃室中虚湿阻，腹鸣、足肿、便泄极效

嘉兴郑惕庵室人 ,年三十六岁 ,道光七年丁亥九月十三诊。

中虚挟湿 ,气声如鸣 ,两足浮肿 ,大便溏泄 ,日夜数行 ,食入觉噎。寒湿内蕴 ,面色痿黄 ,深恐木乘土位 ,致令腹胀成膈。脉形濡小 ,法当温中运湿。

焦冬术一钱半 淡干姜八分 炒 茅山术一钱 ,  
炒 苡仁五钱 益智仁一钱 炙甘草六分 云茯苓二钱 泽泻一钱半

□□□以河水 ,上用荷叶一小个作盖煎药 ,取浊降清升之意。

煎服一剂 ,腹中响声即减 ,便泄减半 ,再剂俱止 ,且食入亦不觉其噎矣 ,惟足之浮肿未减也。再以附子理中汤加薏苡仁、陈皮、木香辈 ,煎服两剂而足肿全退 ,诸证咸安矣。

(案源) 张舟姬血崩旬日 ,每发于夜 ,立止奇效

张舟姬 ,十一月初三。

血崩旬日 ,每发于夜。血去过多 ,阴虚血热 ,脉来濡数 ,速止为妥。

炒生地四钱 炒香附二钱 炒黑荷叶一钱 ,炒

存性 炒归身一钱半 炒蒲黄一钱半 炒黑藕节六  
个 丹参三钱 炒丹皮一钱半 伏龙肝三钱  
加真降香一钱 劈碎。  
服两帖 漏下顿止。

(案源) 金氏女痛块作胀迄今四载奇验  
金氏女 二十七岁 道光戊子四月十一。

痛块作胀 近于腕左 迄今四载 举发无时，  
脉象沉细 拟舒肝和胃法。

白蔻仁六分 元胡索一钱半 炒 九香虫一钱  
半 焙 木香六分 川郁金三分 磨冲 紫沉香三分，  
切片 小青皮八分 甘草六分 山查炭三钱 淡菜  
萸三分

加荔枝核四钱 打碎 炒。

服一剂 痛块顿平 胀亦渐松 再剂而安。

(案缘) 王岐山内人晡后寒热、胸腕胀闷  
治验

王岐山内人 年三旬 嘉庆庚辰五月十八。

寒热发于晡后 胸腕胀闷且响 恶心不饥，  
舌腻苔白。湿阻中宫 治宜和中却湿以退寒热。

青蒿子一钱半 地骨皮二钱 姜半夏一钱半

赤苓三钱 草蔻仁一钱炒 淡干姜六分 广木香六分 陈皮一钱半 广藿香一钱半

加生姜两片。

服两帖，寒热退，腹之胀响亦大减矣，渐能进食。原方去青蒿、地骨皮、干姜，加入健脾和胃之法，调理而痊。

(案缘) 海盐张铁珊室人小产垂危救苏治验

海盐张铁珊室人，小产垂危险症，道光丁亥岁八月二十诊。

停经三月又半，连发寒热四日，每日早晚两次。昨由寒热而致经血骤至，当即腰疼腹痛，随下一大块，外有衣膜裹血而下，果系小产。因病者讳胎，诊时嘱余莫谈，并云案中不可明言，亦执性也。据述腹中尚有如杯大之块，而今日之寒热更重。舌苔光滑而绛，气逆呻吟，口干喜饮，时欲恶心，脉形软小。议去恶露、退寒热为紧要关头。

制香附一钱半 丹参四钱 全当归一钱半 炮姜八分 山查炭三钱 炙甘草六分 川芎一钱 加黑豆皮一钱半，陈酒拌炒。

复诊(二十一日):服昨方血缓、痛减,腹块小如胡桃,惟气闷、神倦、欲呕如前。午时进诊,寒热未至,最妥。第脉象仍软小乏力,闭目则神思恍惚,张目则火光散大,是属险候。方意同前,少佐姜汁炒竹茹、川郁金,取其定呕恶而疗胸前之气闷。

服后二十二日诊:据述服之,昨寒热仍未至,极妙。但胸背热气时升,鼻孔似煽,脉仍奕小模糊,纳谷维艰。昨夜半大便后,精神更疲,多梦纷纭,至天明神识少安。色脉合参,深虑虚阳上越防脱。议亟护真气,兼之镇肝、敛神为稳。(早诊方附后)

人参七分,冲 陈阿胶三钱,蛤粉炒 生龙齿三钱 茯神三钱 归身一钱半 白芍药一钱半,炒 炒枣仁三钱 炙甘草六分 生牡蛎八钱 紫石英五钱

二十二日晚诊:

人参六分,冲 陈阿胶三钱,炒成珠 生龙齿三钱 茯神三钱 於潜术一钱,土炒 大麦冬一钱,朱砂填扎 五味子三分,研 归身一钱半 炒枣仁三钱 柏子仁三钱,去油 炙甘草六分 南枣两枚,去核

进药约更余,少顷安睡至夜半方醒,汗稍有,饮粥半瓯。小产后,余血绵绵未尽,偶有小

块如杏仁大。天晓醒后 ,神识语言渐爽 ,可饮粥  
盍余。

二十三日 :原方去阿胶、龙齿 ,加生黄芪、炮  
姜。

复诊 (八月二十四日) :

人参七分 冲 山药三钱 炒 制首乌三钱 归  
身一钱半 柏子仁三钱 去油 麦冬一钱半 去心 金  
石斛四钱 远志八分 茯神三钱 炙甘草六分 橘  
白六分 南枣两枚 去核

复诊 :服前方 ,恶露渐止 ,安睡汗少 ,诸恙俱  
减。惟晡时似有寒热之势 ,腹中时有小痛之象 ,  
遍体亦有不舒之状。皆由小产之后 ,去血过多 ,  
气荣两亏 ,荣卫失调之所致也。幸汗止安卧 ,食  
饮渐贪耳。议气血并补 ,以善其后。

人参六分 冲 制首乌三钱 菟丝子一钱半 炒  
归身一钱半 阿胶三钱 炒珠 鹿角霜一钱 茯神三  
钱 杜仲三钱 炒 续断一钱半 炒 广木香三分  
青皮六分

加龙眼肉五枚。

进前方 ,诸恙向安。再议四君子汤加首乌、  
女贞、归身、杜仲、木香等 ,服数剂全愈。

(案 纒) 李氏女邪解 ,咳嗽渐减用清燥法  
治验

李氏女 ,十四岁 ,嘉庆十八年三月二十六  
日。

客邪已退 ,咳呛稍缓 ,犹未尽彻。宜于清  
润 ,宗喻氏清燥救肺汤意。

北沙参二钱 款冬花二钱 麦冬一钱半 ,去心  
巴旦杏三钱 ,去皮尖 黑芝麻一钱半 陈阿胶三钱 ,蛤  
粉炒 甘草五分 冬桑叶一钱半 百合三钱  
加老枇杷叶三钱 ,去毛蜜炙。

是方即喻氏方去石膏 ,加百合、款冬花也。

服此三帖 ,咳呛全愈 ,食饮如常。

(案 纒) 邢氏女咳嗽、喉痒、痰红屡发之  
验

邢氏女 ,嘉庆二十三年十二月二十三。

咳嗽痰红 ,旧恙复发 ,脉虚小数 ,喉痒气逆。  
正值土旺之际 ,亟宜停止为妥。服后方一帖 ,血  
止。

北沙参三钱 紫菀二钱 百合四钱 苡仁五  
钱 ,炒 款冬花二钱 炙甘草八分 巴旦杏三钱 ,去  
皮尖 山药三钱 ,炒 陈阿胶三钱 ,蛤粉同炒

九味河水煎好去渣 ,加血余灰五分 ,研极细冲。

(案缘) 邵氏女血崩逾月 ,寒热兼厥、脉形虚芤治验

邵氏女 ,年逾三旬 ,嘉庆戊寅十二月廿七日。

血崩逾月 ,脉虚无力 ,左脉虚芤。血去过多 ,阴亏阳弱 ,荣阴不守 ,卫阳不固。此寒热而兼厥也 ,深虑骤变。为此时计 ,亟宜扶阳济阴 ,俾崩止厥回 ,庶无他虞。

人参七分 冲 於白术一钱 土炒 大熟地五钱  
炮姜二分 伏龙肝三钱 紫石英三钱 煨红醋淬三次  
旱莲草三钱 炙草八分

加炒黑荷叶一钱 ,血余五分 ,研细冲。

服一剂 ,崩血大减 ,厥止。再剂崩停、神健而寒热顿退矣。

(案缘) 陆氏女风暑外侵 ,身热、头痛、无汗、欲呕治验

陆氏女 ,年逾四旬 ,嘉庆壬申岁六月十一诊。

风暑外侵 ,身热、头痛、无汗、欲呕。太阳、阳明为病 ,宜于解肌退热。方用葛根、防风、豆豉、半夏、秦艽、藿香、香薷、赤苓、麦芽、滑石等。服后微汗、热缓 ,胸闷、欲呕俱稍减。

十二日 :原方再剂 ,身热、头痛等大减。

十三日 :用蔓荆子、苏梗、藿梗、陈皮、通草、花粉、滑石、鲜荷叶边三钱同煎。服之诸恙皆平 ,惟头热究未净尽 ,此暑热余火未清耳 ,再以养胃生津而热自除。

小生地三钱 麦冬一钱半 去心 青蒿子一钱半  
甘草六分 广皮白一钱 川石斛三钱 赤茯苓一钱  
半 连翘一钱半 去心

加藕二两 ,切薄片。

服后 ,热退、胃和而痊。

(案缘) 陆诚斋乃室产后脾虚泄泻足肿  
治验

陆诚斋内人 ,嘉庆壬申岁六月十三案。

产后脾虚泄泻 ,昼夜廿余度 ,口干足肿 ,迄今匝月。脉虚无力 ,脾气下陷 ,先理中宫。

焦冬术一钱半 白扁豆三钱 炒 苡仁四钱 炒  
甘草八分 煨木香一钱 广藿香一钱半 升麻三

分 蜜炙 茯苓二钱

加益智仁一钱半。

复诊(六月十五日)：服前三日方两剂，泄泻十减其半。再议补中益气汤去当归，加苡仁、建莲、煨木香等。煎服此方，昼夜又减，腹微疼，口干足浮如前。连服五帖，泻止痛停，口干亦平。仍用原方去柴胡、当归，加芡实、益智仁等。煎服数帖，足浮全退矣。

(案缘) 陆氏姬风暑挟湿，头胀、身热治验

陆氏女，嘉庆壬申七月初五。

暑风外袭，湿邪内阻，头胀舌苔腻滞，宜于清解。

香薷一钱 防风一钱半 蔓荆子一钱半 豆豉三钱 赤茯苓二钱 滑石三钱 广藿香一钱半 神曲三钱 炒 薄荷一钱

加鲜荷叶三钱。

午后身体壮热，随即煎服，少顷汗出热退而愈。

(案缘) 论治许铁舟女喘症常发之验(并

详明病原)

许铁舟长女,年逾二旬。

喘症有年,举发无时,经水落后无定期。近来喘发越勤,肌体瘦极,食饮日减。或冒风,或感寒停食,发则咳嗽频增。必先左目发痒,痒甚则喘症随发,发则气壅痰塞,呼吸不利,气尽奔于胸脘而不下达,以致声如曳锯,鼻煽畏寒,甚至一咳则小便直溜。卧不着枕,倚靠而坐,食难下咽。其所以难下者,缘胸脘气壅痰阻耳。今自初五喘发迄今,他医用紫菀、郁金、“三子养亲”及葶苈、二陈等汤,投之不应而反增重。更医,医作冲脉气逆治,以熟地、沉香、桑、丹、苓、芍、紫石英等以为纳气之法,服后胸脘愈觉壅塞,大便燥结十余日未解,喘汗肢冷,米饮不进,奄奄一息,于七月十九日始求治于余。余察脉审症,气喘汗冷,胸前窒塞,肌体骨立,食毫不进,搜出热短。脉细如丝,左脉微弦。肺金虚而气壅,脾土弱而痰生,子母并亏,肝木从中乘土侮金。以故病发则目之上下两弦作痒异常,而喘病随发,因目为肝窍,两弦属脾,喘属于肺。木之乘土凌金,信不爽也。察脉审症,脱势已显。权拟一方,若能气渐下降再商。

北沙参三钱 款冬花三钱 巴旦杏三钱,去皮尖 茯神三钱 薏苡仁四钱,炒 炙甘草六分 左牡蛎六钱 南枣两枚,去核 川贝母一钱半,去心  
加陈粳米四钱,生绢袋包煎,渣倒河中。

复诊(七月二十日方)进昨方约申正煎服,服后胸膈之气渐松而下达,上焦毫无壅塞而喘急之势顿平。少顷遵予言,随捣鲜芡实作粥,饮其一盏颇安。已后进米粉糕等胸中适意,可以坐立问答,与昨之病形大相远矣。第脉仍如昨,能于斯而日渐减可,庶乎尽善。即于原方内去牡蛎,加百合、五味子等。服之如前未喘,饮粥如前安妥,大便之燥结亦从此而解矣。

二十一日:即以昨方再加扁豆、黑芝麻等,煎服四剂而愈。

(案缘) 姚若水室人产后恶露未净误补发厥,恶血停阻,牙关紧闭,几无生理,得辅正逐瘀法立刻救苏之验

姚若水室人,十八岁。

道光十年七月十八产子,腹痛腰疼,顷之包浆水下,稳婆未至,儿已落地。约半时之久婆至,始将脐胞顺手而下,当时恶露甚少。次日血

下无几而停，斯时惟日进益母草汤及米粥调养。于二十日后早进野味，至二十四吃饭四盏，较之平常反增倍，而犹嫌心嘈，贪啖野味。至廿五日忽觉胸腹胀闷、气阻不爽，延医，医以为产后体虚，当用四物汤加减。廿六日神识似清非清，夜来错语，头汗如雨，牙关紧闭，小腹膨胀。主人问其恶露有否，医者答曰全无。用熟地、归、芍、龙齿、牡蛎、茯神、枣仁、黄芪诸补纳之剂二三帖，病愈剧，于二十九日始求治于余。余至，细审病情兼察色脉。脉象虚而滞，左脉弦紧。答问如常，神识尚清。舌中焦黄有津，口唇燥裂，却能纳粥。据述昨夜腹膨痛胀，陡然汗出自头至膝，牙关紧闭，与前无异。将参片含之，少顷渐自关开，神清。余知其恶露未净，医者过投补纳而无逐瘀之法，是以至夜而病愈剧也。当亟以辅正通瘀，佐以止汗，为吃紧关头，迟恐棘手矣。

人参五分，冲 归尾一钱半 茺蔚子一钱半  
 茯神二钱 桃仁三钱，研 炙甘草六分 沉香汁三分，开水磨冲 藕节五个

加麻黄根一钱同煎。

此方未服，轻信前医仍用补纳之法。是夜

仍厥，腹膨胀痛，甚至牙关紧闭，汗出遍身，几无生理，因将余前方速煎服之。少顷腹痛，随下瘀血，色黑韧极，以物拨之、扯之不散。始信余言，果然瘀血停阻，深感再生之德。

又案（七月三十日）：察脉审证，问答清爽。自觉脐下尚有一块如杯大者，仍时痛膨胀。主家仍防如昨之厥，余曰昨立方时，曾已告明产后十二朝恶露停畜已久，深虑血不下而致厥脱上攻之变，而不得不用之方也。岂仍宗前医补纳，顷遭斯变，幸急进余前方而恶露瘀块顿下。今细绎之，犹未净也。再以益气、温经、逐瘀，冀其恶露尽彻，庶乎渐安。若不此之求，而概作产后补纳为法，其如瘀恶未净从何可出。无胆无识，难以救人于顷刻。仆才疏学浅，既蒙垂青，聊为塞白。

人参六分 冲 於白术一钱 土炒 炮姜六分  
淡附子三分 茯神三钱 桃仁泥二钱 木香五分  
炙甘草六分 元胡索一钱 炒

加陈粳米四钱，生绢袋扎煎，米倒河中。

服之恶露又下，从此痛缓块平，而脘腹中究有不舒之势，食饮未贪。脉象虚奕，右关沉小。八月初一，用和胃调中兼以润燥之法投之，大便

内又解黑粪成堆 ,与前畜积未化之食物齐下。足征新产之后 ,胃火升而多啖食物 ,兼之产后肠燥得余和润之剂 ,而腹中宿滞顿下 ,从斯块消痛止矣。再用和胃生津之剂 ,口唇之燥裂、腕中之不爽亦俱减矣。数余日后又因口燥便结、白带频下 ,用生津润肠之剂而渐平复。又肝脾并调 ,俾腕腹舒畅、肠胃滋润 ,调治两月而痊。

于九月十八日 ,继以丸方调理收功。平素经水应期 ,自幼有胃腕痛症 ,举发无时 ,迩来或受寒、气郁、停食皆发 ,发之至剧者必厥。据述痛甚得温暖自缓 ,足征胸中少阳和氤氲之气 ,以故恒发无定也 ,今因产后调补气血而兼治之可也。方用八珍汤加柏子仁、广木香、杜仲、新会皮、四制香附等 ,炼白蜜为丸 ,如桐子大。每服五钱 ,清晨滚水送下 ,或泡建莲汤送亦可。

(案 述) 文学高仰山乃室素有肝胃气 ,发则呕痛并至 ,又兼寒热、头疼、咳嗽无痰治验

文学高仰山乃室 ,道光辛卯九月十六诊。

素有肝胃气 ,发则呕痛交加。日来寒热 ,咳嗽无痰 ,头疼。舌绛 ,脉右浮缓 ,左弦细。先理寒热为妥 ,用苏梗、前胡、蔓荆子、杏仁、川芎、茯

苓、瓜蒌仁、地骨皮、黑芝麻、沉香辈，加生姜皮五分同煎服。进三帖，寒热退，咳嗽未平。

二十日诊：用沙参、款冬、巴旦杏、冬桑叶、苡仁、茯苓、苏子、百合、黑芝麻、枇杷叶去毛煎服五剂，咳嗽全愈，旧恙肝胃气又发，脐之上下作痛，兼之呕吐，每发于申酉而至夜半者居多。年近三旬，前缘产后，面目、小腿俱有虚浮之势，亦脾土之久亏也，脉息两关小弦，当理肝胃。

制香附二钱 广木香六分 淡干姜六分 炒  
陈皮一钱半 淡茺萸三分 姜半夏一钱半 云茯苓  
一钱半 苡仁四钱 炒 紫沉香三分

煎服三剂，肝胃气痛顿止，再二剂而虚浮之势亦渐退矣。

(案 远) 内人陆氏齿痛异常，夜间更甚治验

余内人陆氏。

齿痛异常，夜间更甚，进清火、舒散等法皆不应。诊得左脉虚数，因其痛而饮食难进，用后方一剂，疼痛顿缓，再三剂而痛止。已后又有小疼之势，又进数余帖而全愈。此道光十一年辛卯岁五月初一日方也，方附下：

大熟地五钱 当归头一钱半 白芍一钱半 炒  
川芎八分 山萸肉一钱半 薄荷头六分 元参三钱  
炙草五分 女贞子三钱  
上九味，河水煎服。

(案 迂) 万松岩内人骤然头眩眼暗欲仆，  
上重下轻如在舟车，呕吐酸苦治验

万松岩乃室，年六旬。

体丰多劳，酷好浓茶，中虚挟湿多痰、肝脾  
不足之躯。前月初旬得臂腕疼痛难忍，波及手  
指。延次子茂常诊治，用舒筋活络间佐气荣两  
补之法，调理而安。忽于九月初十午刻，骤然头  
眩，眼暗欲仆，兼之呕吐酸苦食物，舌白胸闷，起  
立运跌如在舟车，上重下轻，脉形浮滑弦紧。外  
受之寒引动内风，风火交煽，气阻痰凝，此头眩、  
呕酸之所由来耶。深恐变幻，亟宜止呕、定眩为  
最，不可藐视。时在道光辛卯岁九月初十日诊。

羚羊角一钱半 镑 钩藤钩五钱 石决明一两  
天麻一钱 煨 川黄连四分 白池菊一钱 半夏曲  
一钱半 神曲三钱 炒 小青皮一钱

加炒出汗开口川椒七粒同煎。

临服用生姜汁八分冲。

服前方一帖，至戌初头眩渐平，眼黑、呕酸等亦止矣。至次日清晨始进粥一盞，少顷心嘈，又进炒米粉浆半瓯，可以坐立，亦不觉上重下轻。

十一日：用和胃、舒肝、化痰之法，方以二陈汤去甘草，加元参、天麻、石决明、木瓜、池菊、青皮、生谷等，煎服时仍用姜汁八分冲，两帖全愈。

（案 选） 何怡堂内人产后半月恶露频下、潮热治验

何怡堂内人，年逾二旬，道光辛卯十一月二十一诊。

新产十七朝，感寒潮热不已，恶露频下，舌苔中心绛剥，食不喜进，小溲短赤。胃土不和，正值气荣两亏之际。宜亟退其热，则胃和而思食，庶免产后余波。

西党参二钱 白扁豆三钱 炒 炙鳖甲三钱  
茯神三钱 青蒿子一钱半 炙甘草六分 金石斛四钱  
麦冬一钱 去心 陈皮一钱半 生谷芽三钱

加生姜六分，大枣两枚，去核。

进前方一帖，未大热。次日再剂，至更余身热，至二更而渐退。少顷汗出过多，神倦眼闭渐

渐而平。舌心淡黄带润，大便燥结，食仍不贪。产后气血大亏，虚热不已，加之汗出过多，岂不虑其虚脱。况脉形软弱无力，必得气荣两固、扶养胃气为急急也。

生黄芪二钱 西党参三钱 扁豆三钱 炒归身一钱 金石斛四钱 左牡蛎七钱 茯神三钱 枣仁一钱半 炒炙甘草六分 川芎八分 陈皮一钱

加生姜两片，黑大枣两枚，去核。

服此，热未一刻即退，汗亦从此而减，三剂诸恙向安矣。

（案 辽源）於潜董仲海内人，两头角痛甚、乳房结硬治验

於潜董仲海内人，年二十六，道光十年九月二十一诊。

感冒风邪，头之两角疼痛难忍，更兼右乳房结硬如胡桃，牵引胀痛，稚子吮乳愈疼。当用生香附、羌活、川芎、陈皮、甘草辈治头角痛。兼以疏通，外用葱白头捣烂炒热熨痛硬处。内服、外熨，头痛顿止，乳房结硬渐松。两日后块消，忽于乳头下结硬焮痛，吮乳内如刀割，由阳明（指乳房）而致厥阴（指乳头）结硬不消，尚可消也。

若疡科早投苦寒或外傅以凉药，未有不误事者，速与之消散为善也。服后方一剂，结硬之块大消且不痛矣，再剂而病霍然矣。方附下：

生香附二钱 瓜蒌全三钱 蒲公英三钱 青皮一钱 橘皮一钱半 甘草节八分 大贝母一钱半，去心 枳壳一钱半 赤芍药一钱半，炒 乳香一钱半，去油

用陈酒、河水各半煎。

(案 遂) 文学陈畏甫令爱寒痰凝阻成饮治验

文学陈畏甫令爱，年十七岁，道光庚寅十二月十九诊。

据述病由：九月间胸闷不爽，腹中时疼，疼久口吐涎沫。医用疏通不应，又有作虫治，用乌梅丸等，偶有蛔虫一条写出。以后痛仍作，淹延二三月。天癸自起病至今，三月之余未转。日来脘腹闭闷，不饥纳少，腹按之如裹水之状，漉漉有声。脉象沉紧弦细，按之无力。其为痰饮无疑，致令络脉不利。病在脾、胃、肝，而关冲、任脉也，一以贯之。

茅山术一钱半 麻油拌焙 茯苓三钱 淡干姜七

分炒 苡仁四钱 炒 制半夏一钱半 淡茺萸二分  
广木香六分 炙草六分 广皮白一钱

加生谷芽四钱同煎。

复诊(二十三日):服前方痰多,腹未痛,按之仍觉腹中漉漉之声,不按不响,响在脐上,得转失气下觉脘腹舒畅。脉象沉紧弦细无力,四肢觉冷。中脘寒痰凝阻成饮,是以按之有声如水,中气有亏,停经三月余。当温理中宫,自尔渐平。方用附子理中汤合“香砂六君子”去陈皮方也。

西党参三钱 於白术一钱半 土炒 茯苓二钱  
炙甘草六分 淡附子六分 淡干姜六分 制半夏  
一钱半 木香六分

煎好去渣,入砂仁末三分冲。

复诊(十二月二十六日):服前方颇为合宜,仍宗前法,附子理中汤加味治之。

西党参三钱 焦冬术一钱半 淡附子八分  
炙草五分 淡干姜八分 炒 制半夏一钱半 云茯苓二钱 香附三钱 炒 山查肉三钱 生谷芽五钱  
益智仁一钱半

是方年内服两帖,至辛卯正月初三四又服两帖,寒痰全无,按之并无水声,亦无涎沫吐出,

脘腹松爽。于初八日天癸转，瘀块频下，腹中亦无所痛，诸恙咸安。再立丸方调理收功。方用四物汤合“香砂六君子”去半夏，加四制香附，共为细末，炼白蜜为丸，桐子大。每服四钱，清晨莲心汤送。

（案远）王省斋大令爱经水愆期，白带频下，调经丸方

王省斋大令爱，年二十，道光辛卯六月望日，丸方。

素体瘦弱食少，气血不足，天癸每逾期二三月而至，白带频下，脉象细粟尺濡。阴阳两亏之体，宜温养血气，俾八脉融和，冲为血海，经行应期，庶几无妨。

炙黄芪四两 西党参六两 焦冬术三两 山药四两 炒 大熟地八两 炒 全当归二两 云茯苓二两 白芍一两半 炒 乌贼骨二两 炙 野艾叶二两 醋炙 元胡索一两半 炒 川芎一两 新会皮一两半 砂仁一两五钱 炙甘草一两半

上为细末，炼白蜜为丸，如桐子大。每服五钱，清晨滚水送，或用建莲汤送更妙。

据述此丸服毕，身体渐健，经行不至愆期，

颇为合宜。

(案述) 张氏姬痢疾,腹痛、里急后重、高年红积治验

张氏姬,年七十六,道光四年八月二十二日。

痢疾腹痛难忍,里急后重,色红挟冻。右寸软弱,两关弦硬。来势颇险,恐高年人难以胜任,先以疏通和胃,以冀转机。

淡豆豉三钱 生扁豆三钱 煨葛根一钱半  
 红曲三钱 广木香六分,磨冲 生香附一钱半 元  
 胡索一钱半,炒 赤芍一钱半 淡茺萸四分 山查  
 肉三钱 六神曲三钱,炒

加红扁豆花十六朵。

服之痛稍缓,所妙者粪多于积,呕去黏痰,稍能进粥。

复诊(八月二十四日)用调中法,兼以治积。

白扁豆三钱 苡仁四钱,炒 黄芩一钱半,炒  
 木香八分 生甘草六分 赤苓二钱 淡茺萸四分  
 赤芍二钱,炒 车前子一钱半,炒 五谷虫二钱,炙  
 陈皮一钱半

服此,腹痛滞下俱减七八,食亦渐贪,溲亦

渐长 ,仍以原方略为增减 ,三剂而痊。

药用灵活 ,奏功甚捷 ,况高年之滞下耶。

(案 选) 虞氏女晡后寒热 ,热轻寒重治验  
山阴虞氏女 ,道光甲申岁九月初三日。

寒热发于酉后 ,寒甚热微 ,顷之复寒 ,夜半而止。病起三日 ,每日如期。舌苔白腻 ,脉象奕小。年近二旬 ,经水已过。法从温中和解 ,兼治头疼。

草蔻仁一钱 煨 桂枝一钱 甘草六分 陈皮一钱半  
淡干姜六分 炒 半夏曲一钱半 谷芽三钱 ,炒  
藿梗一钱半 蔓荆子一钱半

加生姜两片 ,黑枣两枚 ,去核。

服后寒势十去其七 ,热亦甚轻而退 ,惟头疼未已 ,又加小腹痛。次日即原方去藿梗、谷芽 ,加木香、川芎等 ,两帖而愈。

(案 选) 许铁舟女喘症屡发防脱治验

许铁舟长女 ,道光壬辰岁三月二十六日。

旧恙屡发 ,气逆不降 ,神疲肢冷 ,食少肉削。脉弱 ,按之若无。脾阳大败 ,元阴亦亏 ,只恐骤变。议用扶土益金法 ,究防虚脱。

西党参三钱 苡仁四钱,炒 南枣两枚,去核  
橘白八分 川贝母一钱半,去心 炙甘草六分 生  
谷芽四钱 巴旦杏三钱,去皮尖 茯神三钱 海浮  
石三钱

加北五味子二分,研。

进药后,气逆之势渐降,脘腹膨响亦缓,喘咳从此而平。

廿九日复诊:原方略为增减,再三帖而全安。

**(案苑)** 姚若水室人微冒,咳嗽、咽疼、无寒热、忽吐血杯许并紫块治验

姚若水室人,道光壬辰五月初九诊。

产后八月,冒风咳嗽咽疼,身无寒热。于两日前,忽吐鲜血数口,次日又吐杯许,色带紫块,今日亦然,因邀予诊。脉象浮小兼数,阳明胃土攸关。《经》云:“阳络伤则血外溢”,宜以清降则血散火退矣。

参三七五分,开水磨冲 元参二钱 麦冬一钱,去心  
鲜石斛四钱 人中白六分 巴旦杏三钱,去皮尖  
甘草五分 侧柏叶三钱,炙 川贝母一钱半,去心  
加藕节七节,拍碎同煎。

服前方两帖,血渐散,咳缓,紫块血大减,咽疼止。

十一日复诊:血已渐停,尚有如米粒大者约略有数口。原方去元参、柏叶、贝母,加丹参、茯苓等,两帖而痊。

(案 苑) 万梅圃乃室感邪身热内陷,耳聩、便泄极效

万梅圃乃室,壬辰五月廿九。

温邪旬日,头痛呕恶已减,而身热犹未尽彻。舌糙无津,口干饮少,耳聋且鸣,火气上升,自觉头如钵大,今晨便泄数次。体质素薄,兼多肝郁,恐热久津涸,邪从内陷,亟亟退热止泄为稳。

耳聋且鸣,自疑头大如钵,皆火浮于上也,退其虚热自己。

小生地四钱 丹皮一钱半,炒 地骨皮二钱  
赤苓三钱 青蒿子一钱半 鳖甲四钱,炙 小青皮  
八分 橘红八分 川贝母一钱半,炒不研 薄荷一钱  
川石斛四钱 谷芽四钱

加鲜荷叶三钱同煎。

服此,热势较昨又减,约有二三分,便泄十

去其半。

六月初一复诊：用生地、麦冬、甘草、花粉、赤苓、半夏曲、藿梗、鲜石斛、薏苡仁等，加生谷芽、鲜荷叶蒂一个同煎。服后热缓如前，便泄仅三次，夜安睡如前，惟食仍未贪。

梅圃乃室复诊（六月初二日）：脉右软小，左濡数。热未净尽，是以食不贪耳。议育阴降火一法，免其变幻。

西洋参一钱半 川黄连四分 麦冬一钱半，去心  
丹皮一钱半，炒 地骨皮一钱半 鲜石斛四钱 甘  
草四分 南枣两枚，去核

加生谷芽四钱同煎。

进药后，顷之肢体、颈胸俱有微汗，从此热渐退清，大便渐结，小溲甚长，耳聋渐聪，口干大减，惟食饮仍未贪耳。

初三日：原方略为增减。

又，初四日：忽又大便溲泻，自早至申泻已六次。脉软小无力，左濡小。肝郁乘土，拟养胃止泻法。

人参须五分 白扁豆三钱，炒 芡实三钱，炒  
赤苓三钱 金石斛四钱 益智仁七分 橘皮六分  
麦冬一钱半，去心 大南枣两枚，去核

用锅焦心二两、河水两盏，煎三四滚，去锅焦，取汤煎前药一盞服。

又，初六日方：食入，顷之即便泄，不食则不泻，食仍不贪。

人参七分，另煎冲 玉竹四钱 南枣两枚，去核  
建莲肉四钱，去心 茯苓一钱半 益智仁七分 炙  
草五分 金石斛四钱 煨木香七分

加生谷芽四钱、荷叶一个。

服此两帖，食饮渐贪，便泄亦止。

初八日：仍于前方出入，食贪神健，便溺调匀，脉形尚爽小无力。已后延诊着次子茂常往诊，调理收功。

**(案苑)** 杨沛泉乃室素有肝气，左胁块攻于右侧，呕吐并至治验

杨沛泉夫人，年五十九，道光乙酉延诊。

肝气有年，波及于脾，块起于左胁而痛发于右腕，甚则呕吐并至，今则痛发亦在左。肝气过旺，肝亦自伤也。迩来发之无时，不常作疼，两足素有浮肿，今则两颧亦浮，面色痿黄，大便素结，结则肝气易发，溏则肝气少发。据述发时必以黄连清之渐愈，不喜温燥，斯言亦不作深信。

就此刻而论 ,肝脾两伤 ,所虑者防转中虚。法宜养肝、舒肝 ,加以调脾 ,庶几戩穀。

制首乌四钱 炙鳖甲三钱 女贞子四钱 归身一钱半 白扁豆三钱 ,炒 大南枣两枚 ,去核 焦冬术一钱半 玉竹四钱 小川连三分 淡茺萸一分 紫沉香三分 ,切片

上药十一味 ,河水两盏煎至一盏服 ,是方服两帖全愈。

(案 殽) 陈蔚甫令爱脘腹膨胀有声服药极验

陈蔚甫文学令媛 ,十九岁 ,道光壬辰四月二十四日。

脘腹膨胀有声 ,脉息右奕 ,左微弦。脾土亏而肝木不舒。病起有日 ,经水尚调 ,当从土木并治。

西党参一钱半 焦冬术一钱半 淡茺萸三分 茯苓二钱 白蔻仁六分 水炙甘草五分 广木香五分 陈皮一钱半 制香附一钱

前方进十剂 ,膨胀已平 ,腹中时响 ,食不加餐 ,头角跳动。

复诊 :用四君子汤加扁豆、芎、归、白芍、砂

仁、香附、淡茺萸等，八剂而安。

（案苑）甥王宗华内人大小便出时并紧不爽治验

甥王宗华之内，道光壬辰七月初七诊。

肠红渐减，迩来大便时后阴并紧，小腹闭闷不爽；小便时前阴亦并紧，出时亦不爽。病虽阻于二阴之间，实关乎厥、少二阴之经也。

细生地四钱 川木通一钱 川黄柏一钱，盐水炒 知母一钱半 块滑石三钱 椿根白皮一钱半，炒黑存性 制香附一钱半 青皮一钱

加藕节七个同煎。

服三剂，肠红渐止，大便时后阴之并紧亦缓，惟小便时少腹并紧不爽如前，末后溺孔亦有痠疼之势。仍用前方去木通，加淡茺萸三分。

煎服三剂遂愈。

〔附案〕先大人治江氏孀居，病极验

余先大人雨香公嘉庆元年丙辰岁治江氏，孀居，年二十四岁。

肝虚气滞，热郁生风，发而为悞，脉左虚弦。治在养肝，毋泛作风痰治。

制首乌三钱 炙鳖甲三钱 女贞子三钱 当归一钱半 白芍药一钱半 炒 粉丹皮一钱半 炒 丹参三钱 甘草五分 制香附一钱半 钩藤三钱 加萱花草三钱。

服二十剂而癩症竟不发矣，追思先君用药每于平淡中见神奇，真足法矣。道光十三年季夏二日采邻百拜于有竹居之存存斋中，时年六十有九。

又治槎溪程瑶山女身热夹经极险治验（并论）

先大人治槎溪程瑶山女，乾隆辛亥八月下旬。

病热夹经，胸膈热闷，手足清凉，并兼指麻、舌麻，不时冷汗，谵语烦躁。眼一闭即惊惕，眼一开则怕火。大小便两日不通，左寸关脉弦数。想此女风暑相搏，内有郁热，故眼开羞明，闭则魂不归肝而发惊也。曾服荆、防、藿香等不应，用后方一帖病减八九，身凉人静，二便俱通。

姜汁炒生地三钱 丹皮三钱 炒 赤茯苓一钱半 泽泻一钱半 川木通一钱 香薷一钱半 甘草梢七分 香附一钱半 钩藤钩三钱 后入

九味河水煎服。

暑邪伤心，心火一泻而心之母亦清，所以藏血者不致血热，藏魂者不致魂飞。方中生地用姜汁炒者，固是寒因热用，而亦取其开郁而不泥膈也。据云服药后吐痰碗许，胸次顿开，二便并下。药之对症，其效如此。

是案已载先君子《忖心知医案》中，今暂录女科一二于斯，以见先君用药灵活、随机应变之妙，有非笔舌所能罄者。采邻再笔

**（案 殒）** 王春元内人骨痹，痛极如锥，治法奇效奏功

王春元内人，年二十一岁，道光辛卯十一月初二日。

病由感寒腹痛而起，渐自右股骱骨，痛如刀割，朝缓夜剧，迄今匝月，证名骨痹，痛甚见厥。乃寒与气郁，湿阻关节，引动内风，肝虚气滞，脉象沉紧。法从温舒，方用制香附、元胡索、当归、肉桂、木瓜、陈皮、独活、杜仲、淡茺萸等九味。煎服两帖，痛如前，不增不减。

风寒湿三气杂合而为痹，骨痹者以冬遇此为骨痹也。

复诊(十一月初四日方):

制首乌四钱 女贞子四钱 归身一钱半 杜仲三钱 盐水炒 虎右股骱骨五钱 酥炙 制香附三钱 炮姜六分 炙甘草六分 葱汁炒独活一钱半 苏木节四钱 肉桂七分 去粗皮 松树节三钱

上药十二味,长流水煎。服两帖,骨痹之痛顿缓,即痛亦不至于痛极难忍之状,食亦稍加,大便亦不至天明而解。皆缘痛缓,而诸恙亦缓矣。

初六日复诊:前方去香附、独活,加鳖甲、续断二味。再两剂而痛苦失矣。

(案苑) 陆琴轩乃室停经小产治验(并附膏滋方)

陆琴轩乃室,辛卯九月十六日诊。

停经五十余日,于是月初旬经水渐至,不以为意。忽于今晨小产,恶露随下。少顷小腹痛甚,所进之粥亦尽呕出,头眩眼花。余辰刻至彼诊视,见其平卧于床,嘱其坐起,以被褥靠背坐直,膝宜竖起勿伸直,随饮热童便一盞。闭目静养,勿令熟睡,防血气上壅为最耳。

制香附三钱 归尾一钱半 桃仁泥三钱 甘

草六分 元胡索一钱半 炮姜三分 五灵脂一钱  
 青皮一钱 广木香六分 淡茺萸三分 茺蔚子一钱  
 半

河水煎服。

服后 ,至申末呕止痛缓 ,血块渐下 ,夜间饮粥未呕。

次日复诊 :恶露未尽 ,心荡口苦 ,食无味。脉形虚芤 ,左弦细 ,体倦神疲 ,加意图维。方用当归、川芎、炒蒲黄、五灵脂、炙草、陈皮、炮姜、苡仁、生谷芽等。煎服后 ,恶露渐少 ,心荡头眩 ,夜寐不宁。

十八日 :用丹参、茯神、炒枣仁、当归、川芎、青皮、木香、甘草、半夏曲、茺蔚子等 ,煎服二三次而平矣。继以膏滋方气荣两补 ,脾冲、任充盛以冀毓麟之喜。方用四物汤合党参、二茯、柏子仁、元参、枣仁、杜仲、陈皮、黑芝麻、乌鲂骨、四制香附等十五味 ,如法煎膏。每晨服五六钱 ,隔汤炖温服。服后经水调 ,诸恙向安矣。(膏内药味分量未载者 ,临时酌之可也)

(案 苑) 许铁舟女喘症极险屡发治验  
 许铁舟长女 ,癸巳五月二十二日。

喘咳气逆，旧恙屡发。肺金虚而痰沫频频，纳谷维艰。每发必眼鼻作痒异常，易于动怒，肝火冲肺也。昔年案中已详论之。今脉右软弱，左弦细。深虑喘汗并至，亟宜益气定喘为最也。

蛤粉炒阿胶三钱 北沙参三钱 苡仁五钱 炒  
茯苓一钱半 巴旦杏仁三钱 去皮尖 黑苏子一钱半，  
炒 百合三钱 山药二钱 炒 水炙甘草五分 海  
浮石三钱 芡实三钱 炒

加老枇杷叶三钱，去毛炙。

煎服五剂，喘咳渐平。

于六月初三复诊，正值初伏，火旺金衰，水不滋木，加意调摄，最怕喘复。方用熟地、北沙参、女贞子、黑苏子、黑芝麻、天冬、茯神、薏苡仁、叭啞杏、炙甘草、山药、南枣等十二味，煎服数帖而安。

**(案苑)** 高朗亭内人经行骤阻，小腹疼痛，洩出涓滴不爽，经阻挟淋，乃房劳不节所致，极验。

高朗亭乃室，癸巳正月二十九诊。

吮乳两载未停，数日前忽然经行，骤阻，小腹痛胀，经带并下，洩出疼痛有涓滴不爽之势，

脉象弦数。经阻挟淋，兼而疗之。

制香附二钱 川萆薢三钱 川木通一钱 青皮一钱半 元胡索一钱半 炒 甘草梢七分 桃仁泥三钱 乌药一钱半 山查肉三钱 炒 当归梢一钱半

加荷叶一小个托底煎药。

煎服三帖，经止带减，小溲出时涓滴、痠痛俱大减。再以原方去萆薢、桃仁、查炭，加海金沙、车前子等，再三剂而痊。

**(案苑)** 进士杨苹香先生如君吐血屡发治验

浙江平湖进士，原任四川彭水县杨苹香先生如夫人，道光癸巳五月十五日诊。

吐血有年，举发无时，体伟神健，素好浓茶，不无湿痰。白带频下，年逾半百，天癸未停。时而气逆喉痒则血势上溢，时而火升心嘈则胸中摇荡，皆血去过多故耳。虽阳明为多气多血之乡，而久吐非宜。《经》云：“阳络伤则血上溢”。胃络岂可久伤也，况值天癸应止而未止耶。此刻虑其上溢，久恐防其下崩，《经》又云：“阴络伤则血下溢”，正此谓耳。脉形虚软，预为调摄，庶

乎戩穀。

生黄芪三钱 西党参二钱 二原地四钱 茯  
神三钱 款冬花二钱 巴旦杏三钱,去皮尖 旱莲  
草三钱 甘草六分,炙 生蛤壳五钱 建莲肉三钱,  
去心

十味用河水煎好去渣,入血余炭七分冲。  
服数剂,血停呛平。

(案愿) 慈溪文学叶心水乃嫂孀居,痺症  
掣痛治验(附药酒方)

慈溪文学叶心水乃嫂,寡居,年三十七岁,  
道光癸巳仲冬二日。

自京回籍,舟泊吴郡途中得痺症,问治于  
余,方案列下:

风寒湿三气合而为痺,始于左足,屈伸不  
便,疼痛抽掣。素喜浓茶,经水愆期,病起半月。  
进舒筋、除湿、调经、活络之剂。服三帖,痛势渐  
松,波及于右,右轻而左甚。《易》曰:“震为足”,  
足属东方木也。由左达右,木强乘土,土虚金  
弱,西方之兑金弗克制木,以故内风动而风生。  
“风淫末疾”,此腿足之所以疼且痛也。再验之  
脉右虚奕,左弦细,更显有明征耶。法宜扶土祛

湿,舒肝却风,庶乎戩穀。

制香附三钱 研 薏苡仁五钱 炒 秦艽二钱  
独活一钱五分 虎胫骨三钱 炙 全当归一钱半 木  
瓜一钱 杜仲三钱 炒 嫩桑枝五钱 乳香一钱同炒  
怀牛膝一钱半 蒸 青皮一钱

上药十一味,用长流水一盞半加绍兴酒半盞和匀同煎,服后渐自痊可。

又 浸药酒方:冬季最宜,每日早晚量饮。

生黄芪二两 西党参三两 大熟地五两 当  
归一两 制香附一两 五加皮一两半 炙甘草一两  
木瓜一两 怀牛膝一两半 虎胫骨四两 酥炙 大  
南枣四两 陈皮一两半

上药十二味,计重二十六两五钱。用无灰绍兴酒二十六斤大坛盛贮,以本色夏布袋将前药放内,线缝其口,袋宜宽大则药味易出。用粗草纸数层以重物压紧瓶口,约半月后可以开饮。每日早晚,随量饮之。服完后可将药渣晒干为末,炼白蜜为丸,如桐子大。每服四五钱,清早滚水送下。

(案愿) 钱氏女咽嗑溃痛,微有寒热,天癸将行治验

钱氏女,年三十七岁,道光十三年癸巳季秋。

咽嗑溃痛,悬乳垂下,微有寒热。正值天癸将至,舒解为最,禁用寒凉。

老苏梗一钱半 制天虫一钱半,即僵蚕 薄荷八分  
元参三钱 川贝母一钱半 人中黄六分 马勃一钱 桔梗八分

加白萝卜汁一酒杯冲。

外用家制红炉雪吹喉。

服一帖,寒热退,喉痛、嗑溃俱大减。

次日复诊:原方去苏梗、薄荷、马勃,加苏子、牛蒡、甘草等,吹药如前,服之全愈。

(案愿) 张莲卿乃室,经行不寐,愈后调经种子丸方(并论奇效)

张莲卿乃室,年逾二旬,仲冬下浣。

经行五日未停,色淡且少。夜寐不宁,内热火升耳鸣,心攵攵而肌肤毛耸,易于出汗。舌苔淡白,脉象虚奕,左小弦。皆血海不足,虚火上炎,荣虚卫弱,见证多端耳。理宜气荣两固,第胃土未和,当先调荣护卫以止汗,兼之养胃和肝,冀其纳谷乃昌。

黄芪皮一钱半 当归一钱 人参须六分 白芍一钱半 炒 茯神三钱 淮小麦四钱 广皮白六分 杜仲二钱 炒 生谷芽五钱

服六七剂 经停汗止 食饮渐贪矣。继以丸方调经种子 兼治白带。（道光癸巳岁仲冬定）

生香附六两 分四处四制：一用盐水浸两宿，一用米醋浸两宿，一用米泔浸两宿，一用陈酒浸两宿，俱晒干焙研和匀  
西党参五两 怀熟地六两 切片炒 全当归二两  
川芎一两半 焦冬术二两 云茯苓三两 白芍药二两 炒 杜仲三两 盐水炒 海螵蛸四两 焙 广木香一两半 不经火 炙甘草一两半 芡实五两 炒

上药十三味 各焙研筛细和匀 用炼白蜜为丸 如梧桐子大。每服五钱 清晨滚水送下 或莲心汤送更妙。

丸药合好 外用左牡蛎三两煨粉 棉布袋包扎置丸药瓶内。遵先君子雨香公云：“于牡蛎条下得‘纯雄无雌’之句 因悟及怀胎之永不生男者 一时灵机想出用药妙法。”又云“布袋得气”之说更妙，“如必连滓服之 恐牡蛎之功用不一，倘有不合其妇之证者岂不有误差，但用其纯阳之气 不取其咸寒之味 有至理焉。时嘉庆八年七月朔日书此 待时而行之。后有不弃予言者 亦

可由此参变。雨香孙廷问识于有竹居之存存斋中,时年七十有七。”

但得纯阳之气而不取其味也,此先君子之妙法可传也。

是方也,先君创法于前,邻遵行于后,果然灵妙。笔之于斯,传之后世,庶不负先君子之道术精通矣。时道光乙未岁四月二十四日,男采邻百拜敬识于三吴之红杏山庄,时年七十有一。

前丸于十三年十一月服此之后,至道光甲午岁十二月十七生一男子,深感余之方妙。而予卜其早年得子,亦福运使然也,所谓有其福而再得此妙法,宜乎子之必得也。竹亭(邻)再笔

(案愿) 万芸轩女七岁溺时疼痛,洩出如瘡治验

万芸轩女,甲午四月二十一诊,七岁。

童龄纵啖生冷,脾胃失运,湿阻不化。小洩混浊,白腻如泔,溺时疼痛难忍,夜间发热。皆脾胃失调,以故水道不利,宜以东垣升清降浊法。

薏苡仁四钱 炒 白扁豆三钱 炒 丹皮一钱 炒  
瞿麦一钱半 黑山栀一钱 地骨皮一钱半 木通一

钱 柴胡四分 甘草梢七分 海金沙一钱半  
加鲜荷叶蒂一个。

服两帖，溺出痛止，惟溲出仍混浊如泔。再以补中益气法出入之，渐自痊可。

（案 愿） 王芝峤兄四妾咳嗽、内热几成虚怯治验

王芝峤四妾，道光辛卯岁六月。

咳嗽朝轻夕重，内热口干，手足心热，食饮稍减，痰中偶兼血丝，白带频下，脉形细数。阴气亏而肺胃之气不足，延绵日久，土虚金弱，水亏火升。日进滋泥之剂，与肺、胃大不相宜。以故内热咳嗽终未除也。于六月初旬延余诊治，用后方数余剂而诸恙顿平。

北沙参三钱 淮山药三钱 炒 建莲肉三钱 去心  
茯苓一钱半 青蒿子一钱半 地骨皮二钱 川  
贝母一钱半 去心 丹皮一钱半 炒 蛤粉炒阿胶三钱  
大麦冬一钱半 去心

加老枇杷叶三钱，去毛。

（案 愿） 张氏姬风暑内侵，寒热、头重、无汗、骨节疼治验

张姬,七月望日诊。

暑风内侵,畏寒身热,头重无汗,胸闷,骨节疼,腰胯痠痛。舌苔白泥满布,脉形浮缓。其势匪轻,速于舒解,微汗为妥。

香薷一钱 防风一钱半 秦艽一钱半 白蔻仁八分 研 豆豉三钱 枳壳一钱半 神曲三钱 炒 鲜藿香一钱半 陈皮一钱半 查肉三钱 炒

加鲜荷叶三钱。

服后得小汗,而诸恙霍然矣,药用对证,捷如桴鼓之应。

(案愿圆) 娄芝轩内人两足大指夜睡即麻治验

娄芝轩乃室。

两足大指夜睡即麻,攸关肝脾。盖足大指属脾,穴名隐白,临睡即麻,脾阴不足可知。而又兼乎肝者,肝之大敦穴亦在足大指也。况经事每多趲前,有时一月两至,非无以也。右脉软和,左脉濡细乏力,经水虽速,究属虚象,脉可凭耳。于是用於术、熟地、归身、白芍、制首乌、炙甘草、制香附、木瓜(乳香同炒),服数剂全瘳。

(案感) 予内子陆氏脐上作痛异常,牵连左胁治验

余内人陆氏,年五十六岁,道光甲午端阳日。

清晨脐上作痛,乍止乍甚,甚至异常之痛,牵连左胁。饮以姜汤,兼用汤熨,皆不应。随用后方一剂,顷之痛停,左胁之牵疼亦毫不觉矣。孰谓药之不灵也,特恐制方之不善耳。

制香附三钱 广木香七分 广藿梗一钱五分  
陈皮一钱半 淡茱萸五分 草蔻仁八分,炒 山查肉三钱,炒 青皮一钱 建神曲二钱 台乌药一钱半  
加生姜两片。

(案感) 戈心梅乃室常发肝气,呕吐发厥治验

戈心梅乃室,年五十九,甲午十一月十九。

肝气旧恙复发,胸脘刺痛,气逆呕吐,肢冷发厥,脉象沉紧,感寒挟食,舌苔泥白,宜于温舒。

制香附二钱 老苏梗一钱半 姜半夏一钱半  
橘红八分 广木香六分,切片 淡茱萸四分 草蔻仁一钱,炒 麦芽三钱,炒 九香虫一钱半,焙 沉香

三分,切片

加荔枝核三钱,炒研,生姜渣八分。

服两剂,呕痛咸平,食饮渐贪矣。

(案愿) 王青藜室人天癸愆期,头眩、肠红、溲数等治验

王青藜夫人,年三十二岁,甲午十一月二十七诊。

素体丰健,惟多湿痰,迨年天癸每多愆期,头眩眼花,肠红频发,小溲频数有不及登圃之速。脉形软滑,左弦细。此肝肾阴亏,脾土弱而不能统摄者皆有之也。

制首乌三钱 归身一钱 女贞子三钱 茯神三钱  
酸枣仁一钱半,炒 元参二钱 制香附二钱  
陈皮一钱半 建莲肉五钱,去心 益智仁一钱

加大南枣四枚,去核。

服数剂,诸恙渐减。

## 附 案 计五案

(案员) 先大人治马赞育母胸脘满痛高凸

## 邪结救生

先大人雨香公乾隆甲寅年治马赞育母。

时热虽解 ,而胸脘满痛高凸。疫邪固结 ,不为无因。脉象弦涩 ,年近七旬 ,证在垂危 ,未便许可 ,而究不忍坐待也。

马氏脘腹高凸形状 :离脐上寸许 ,如小锅式 ,非泛泛之平满也。绘形于后 :掬高约二寸。

川黄连五分 肉桂三分 制半夏二钱 干姜二分 西党参三钱 甘草五分 黑大枣两枚 ,去核

用地浆水煎药 (即新汲水沃黄土搅浊 ,澄清) ,用水一盞又半煎至一半服。

又 熨方 :

生香附二两 红曲二两 苏木二两 大腹皮二两 生姜二两 葱二两 瓜蒌一个 大皂角四挺

共八味 ,各切碎 ,用酒、水各半煎汤。用棉布浸透略绞熨胸腹 ,冷则易。如法服药、熨后胸腹顿开 ,皮起皱纹 ,高凸之形减其大半。

次日复诊 :仍用原方 ,略为加減 ,仍以地浆水煎药服 ,不必再熨。

再诊 :用养胃生津之剂调理收功。

(案 圆) 又 ,焦氏姬风暑湿食夹杂成痢立

## 救奇验

又附嘉庆元年治焦姬风、暑、湿、食夹杂成痢，使其通则不痛。

茅山术一钱半 炒 姜厚朴一钱半 枳壳一钱半  
薤白三钱 当归一钱半 六神曲三钱 炒 甘草五分  
大黄三钱 淡豆豉三钱

加广木香六分，开水磨冲。

未服药之先，里急后重，每解点滴，昼夜无数。服此一帖，宿垢大通，登圜不过十余次矣，快甚！

**(案猿)** 苏府任太守恭人风火内郁，怔忡、眩晕治验

苏州太守任蓝轩先生恭人，嘉庆三年七月二十一日延诊。

案云：始而火为风搏，风乃外来之风；既而风自火出，火乃内郁之火。火得风而摇动，风得火而熏蒸。痰因火起，悸由痰成，此怔忡、眩晕、汗多之所由来也，为之养阴清火，而风痰不致为累。

制首乌三钱 炙鳖甲五钱 归身二钱 白芍二钱 炒 粉丹皮一钱半 半夏曲一钱半 茯神二钱

陈皮一钱半 远志肉一钱半 炒 酸枣仁一钱半 炒  
用旧铁器两许烧红 ,淬药汤即取出 ,候温服 ,三剂而愈。

(案源) 金廕飞乃室素有肝气 ,兼呕血、便血垂危治验 (并附丸方论治)

金廕飞室人 ,嘉庆九年九月初四诊。

素有肝气痛病 ,甚则便血并呕血 ,此上年春间事也。今秋因肝气发后 ,始而大便下血 ,继以呕血 ,第一次约三盏 ,二次又三盏。一日之间几乎欲脱 ,因清晨延予视之。

案云 :脉虚细而数 ,始而便血 ,继则呕血。肝不能藏 ,脾不能统 ,而阳明之受累也深矣。盖脾与胃相为表里 ,大肠与胃同属阳明也。脱血过多 ,“有形之血不能速生 ,无形之气在所急固。”本此以治 ,是为上着。

元武板一两 炙 炙鳖甲一两 侧柏叶一两 炙  
麦冬二钱 ,去心 西党参五钱 五味子三分 ,研 童便半小杯 冲 红曲一钱 ,炒黑 广陈皮三分

河水两盏 ,先将元武、鳖甲煎至一盏半 ,再入余药同煎。煎好去渣 ,将童便冲服。服此一剂 ,血停汗止。

复诊：血止汗停，脉象稍静，似好消息，而调治之法尚费经营。

元武板八钱 炙 炙鳖甲八钱 侧柏叶八钱 炙  
麦冬二钱 去心 西党参五钱 茯神三钱 广藿梗  
八分 橘白五分 藕节炭三钱

复诊：血停汗止，速于清肝和胃，俾得两胁宁静，中脘舒松，食不恶而气不呛，预留受补之地。

西党参五钱 炙鳖甲五钱 制首乌三钱 天  
冬二钱 去心 川贝母一钱半 去心 侧柏叶三钱 炙  
茯神二钱 橘白八分

加生谷芽一两先煎二三滚，投后药同煎。

复诊：食纳呛稀，而且粥进三碗而未足，胃口已开。脉来五至而有余，阴气渐得，是好消息也。但脱血之后务须归经，而引导之法不可躐等<sup>①</sup>，亦不宜过泥，是在乎用药之轻清。

西党参五钱 白花百合五钱 炙鳖甲四钱  
茯神三钱 制首乌四钱 酸枣仁一钱半 炒 川贝  
母二钱 去心 天冬二钱 去心 广皮白八分

加生谷芽五钱。

① 躐等 (liè 列 ~ )：不按次序，逾越等级。

上药十味用河水煎 ,服数剂体健食增 ,证渐痊愈。继以归脾汤加减 ,调理半月后再服丸剂收功。

方案列下 ,九月二十二日定。

历年肝气时发 ,今因胀痛之极 ,忽而大便下血不止。药饵乱投 ,甚至呕血盈盆 ,十日之内约有斗许。虚汗淋漓 ,几乎欲脱。予用养阴吸阳法 ,一剂回春 ,并无点血。继用脱血固气、阴阳双补等法 ,调治全瘳。因立丸方 ,以善其后。此症之所以敢治者 ,因病在垂危尚有胃脉也。

真黄精四两 大熟地五两 元武胶三两 烱化  
 山药四两 炒 制首乌三两 建莲肉五两 ,去心炒  
 归身二两 酒洗 白芍二两 炒 茯神三两 杜仲三  
 两 盐水炒断丝 生香附四两 ,分四处四制 :一用米泔浸一宿 ,一用盐水浸一宿 ,一用滴醋浸一宿 ,一用陈酒浸一宿 ,俱晒干炒 鳖血四两 ,用鲜木瓜两大个 ,切盖存用。将瓜瓢挖空 ,倾入鳖血 ,仍用原盖签定 ,外以皮纸密封 ,竖安饭锅内蒸熟 ,切开取血 和药捣匀 木瓜不用。

上药照方制焙 ,外用西党参、生黄芪各六两煎膏 ,代蜜为丸 ,如桐子大。每服五钱 ,清晨用桂圆汤送下。

(案缘) 薛峰毓室人白带直溜,以致血崩无度丸方(残)

薛峰毓乃室丸方,嘉庆甲子十月十二日案。

脱血必先固气,补阳自可生阴。况血因带下而崩,迄红已先停,而白仍未断,阳气之不固可知。设无挈领提纲之法,恐气愈虚而阳愈陷,任其滑溜,统摄何时。法宜补脾土者,厚培坤元。自尔土生金,金生水,阴血即亏不补亦补矣。或者诘之曰:“崩血既多,何不重用滋阴。”而岂知现在白带淋漓,而再以纯阴者滑之,有是理乎,然而此意亦但可为知者道。

淘净晒干黄土六两研碎存用。

西党参六两 生黄芪四两 建莲肉四两 於术四两……

以下残缺

(案远) 韩晚香侧室病后调理丸方(缺)<sup>①</sup>

<sup>①</sup> 原书无此句,今据目录加。